CanoScan 5400F スキャナ操作ガイド

スキャンのしかた

スキャナの基本操作手順を紹介します。

目的別にスキャンする

用途に合わせたスキャンの方法を紹介します。

ScanGear CSの使いかた

スキャナドライバ「ScanGear CS」の機能を解説しています。

もっと上手にスキャンする

スキャンのヒントや、ノウハウなどを集めました。

CanoScan Toolboxの使いかた

簡単にスキャンするためのアプリケーションソフト「CanoScan Toolbox」の機能を解説しています。

困ったときには

トラブルへの対処方法を紹介します。

アプリケーションソフトについて

スキャナに付属するアプリケーションソフトについて、簡単に紹介してします。

索引

このマニュアルで使われている用語の索引です。

 このガイドの使いかた 用語解説 総目次 お問い合わせ先

※ このマニュアルの画面例は、実際の表示と若干異なる場合があります。

※ キヤノンおよび他社のホームページへアクセスするには、あらかじめインターネットが使用できるようになっている必要があります。また、通信費用はお客様のご負担となります。

アンケートにご協力ください
当社では、より良いサービスの提供と今後の製品開発の参考資料として活用するためにアンケートを実施しています。下記URLからアクセスし、アンケートへのご記入をお願いします。

http://cweb.canon.jp/canoscan/enq.html　本機についてのアンケート受付期間は、2006年6月末日までです。

I-OJ-060A

CanoScan 5400F スキャナ操作ガイド

スキャンのしかた

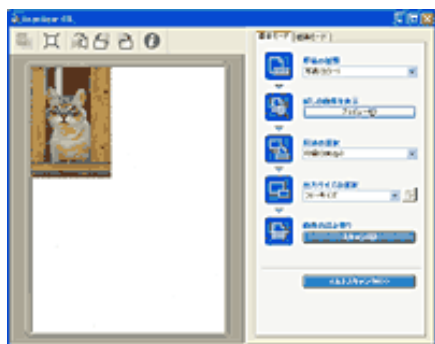
EZボタンを使ったスキャン、CanoScan Toolboxのボタンを使ったスキャン、アプリケーションソフトのメニューから行うスキャンのそれぞれの手順を紹介します。

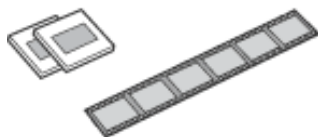
EZボタンでスキャンする

EZボタンを押すだけで、原稿をスキャンし、プリンタでコピー印刷、画像編集ソフトへの取り込み、PDFファイルへの保存、あるいはメールへの添付を行うことができます。
COPY、SCANボタンではフィルムもスキャンできます。

CanoScan Toolboxでスキャンする

印刷、メール添付、文字の読み取り、PDF文書の作成、アプリケーションソフトへの取り込みなど、8つのボタンに設定されているいろいろなスキャン方法がワンタッチで使えます。
［コピー］、［プリント］、［保存］、［スキャン（-1／-2）］ボタンではフィルムもスキャンできます。

ScanGear CSでスキャンする

フォトレタッチソフトやScanGear Starterを起動して、スキャンする方法です。
その他のアプリケーションソフトでスキャンするには、「アプリケーションソフトについて」をご覧ください。

フィルムをスキャンする

CanoScan Toolboxやフォトレタッチソフトを起動して、フィルムをスキャンする方法です。

- ここでの操作を行うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- プリンタで印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- Eメール機能を使うには、Eメールソフトがコンピュータにインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

Windows Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
（メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）
Macintosh Mail、EUDORA、MS Entourage

- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

先頭へ戻る▲

EZボタンでスキャンする

EZ（イージー）ボタンを押すだけで、印刷や画像編集ソフトへの取り込み、PDFファイルの作成やEメール添付ができる、とても簡単で便利なスキャン方法です。

COPYボタンで印刷する <紙/写真・フィルム>
原稿をスキャンし、プリンタで印刷します。

SCANボタンで画像を取り込む <紙/写真・フィルム>
原稿をスキャンし、ArcSoft PhotoStudioに画像を表示します。

PDFボタンでPDFファイルを作成する <紙/写真>
原稿をスキャンし、PDF形式のファイルとして保存し、アプリケーションソフトに渡します。

- PDF（Portable Document Format）とは、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerなどで表示・印刷できるファイル形式で、ファイル容量が小さく、文書と画像の管理に便利です。
  このスキャナのPDFボタンやCanoScan Toolboxの［PDF］ボタンを使うと、簡単にスキャン画像をPDF形式にして保存できます。
  複数のページを1つのPDFファイルにしたり、文字検索が可能なPDFも作成できます。

E-MAILボタンでメールに添付する <紙/写真>
原稿をスキャンし、メールソフトの新規メッセージに画像ファイルを添付します。メール添付に適したファイル容量に設定されています。

- EZボタンを使うには、CanoScan Toolbox、ArcSoft PhotoStudio、ファイル管理革命Lite (Windows)/Adobe Acrobat Reader (Macintosh)、プリンタドライバ、メールソフトがインストールされている必要があります。
- EZボタンはCanoScan Toolboxと連動していますので、CanoScan Toolboxの設定を変更して、ボタンに割りあてられた機能を変更することができます。変更したいときは→Toolboxの「［設定］ボタン」をご覧ください。
- EZボタンを押したときにCanoScan Toolboxが起動せずに「アプリケーションの選択」画面が表示されたときは→「困ったときには」の「スキャンのトラブル」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

COPYボタンで印刷する

1 プリンタを準備します。

- この操作をするときは、スキャナとプリンタがコンピュータに接続され、同時に使用できる状態になっていることが必要です。プリンタの準備方法については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

2 スキャナに原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。
フィルムをスキャンするときは→「フィルムをスキャンする」

3 COPYボタンを押します。

CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。
スキャンされた画像はプリンタで印刷されます。初期設定では、自動的にA4サイズの用紙にプリントします。

- 原稿を替えEZボタンを押すだけで、同じ設定で続けてスキャンできます。CanoScan Toolboxの画面が表示されたままでボタンを押してもかまいません。
- 設定を変えたいときは、［スキャン中］のダイアログで［キャンセル］ボタンをクリックし、CanoScan Toolboxの「コピー画面」で変更します。コピー画面で［コピー］ボタンをクリックするとスキャンを開始します。

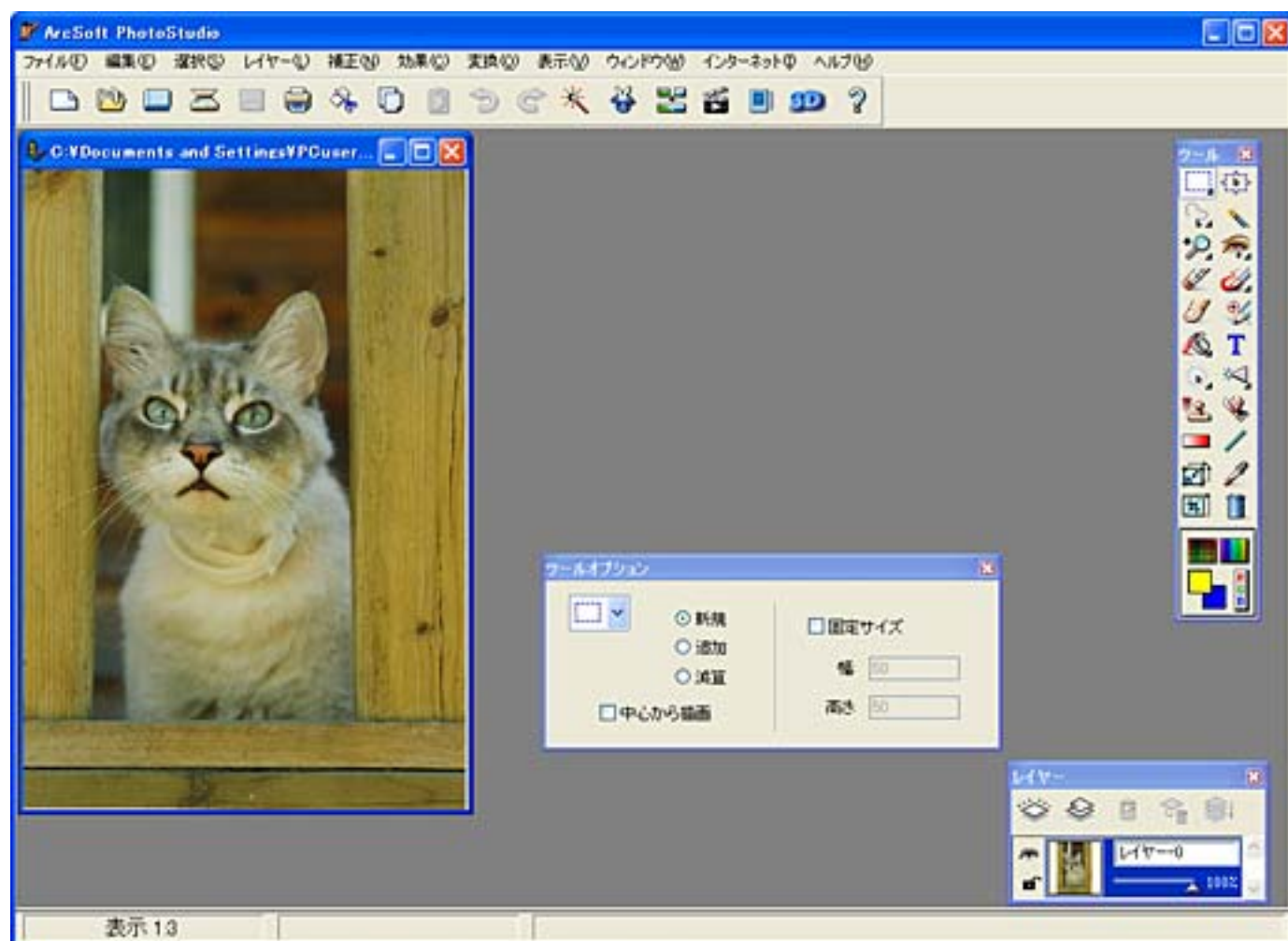
先頭へ戻る▲

SCANボタンで画像を取り込む

1 スキャナに原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。
フィルムをスキャンするときは→「フィルムをスキャンする」

SCANボタンを押します。

CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。
画像が保存され、ArcSoft PhotoStudioに表示されます。

Windows

- 初期設定では、スキャンした画像は、［My Documents］－［My Pictures］－［2005-01-15］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。
  お使いの環境によっては保存先の表示が［My Documents］-［My Pictures］ではなく［マイドキュメント］-［マイピクチャ］と表示されることがあります。

Macintosh

- 初期設定では、スキャンした画像は次の所に保存されています。

  Macintosh HDの［ユーザ*］ —［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］ —［ピクチャ*］ —［My Pictures］ —［2005-01-15］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。

  * Mac OS Xの仕様のため、［ユーザ］、［ピクチャ］フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では［Users］、［Pictures］と表示されることがあります。

- 原稿を替えEZボタンを押すだけで、同じ設定で続けてスキャンできます。CanoScan Toolboxの画面が表示されたままでボタンを押してもかまいません。
- 設定を変えたいときは、［スキャン中］のダイアログで［キャンセル］ボタンをクリックし、CanoScan Toolboxの「スキャン画面」で変更します。スキャン画面で［スキャン］ボタンをクリックするとスキャンを開始します。

先頭へ戻る▲

PDFボタンでPDFファイルを作成する

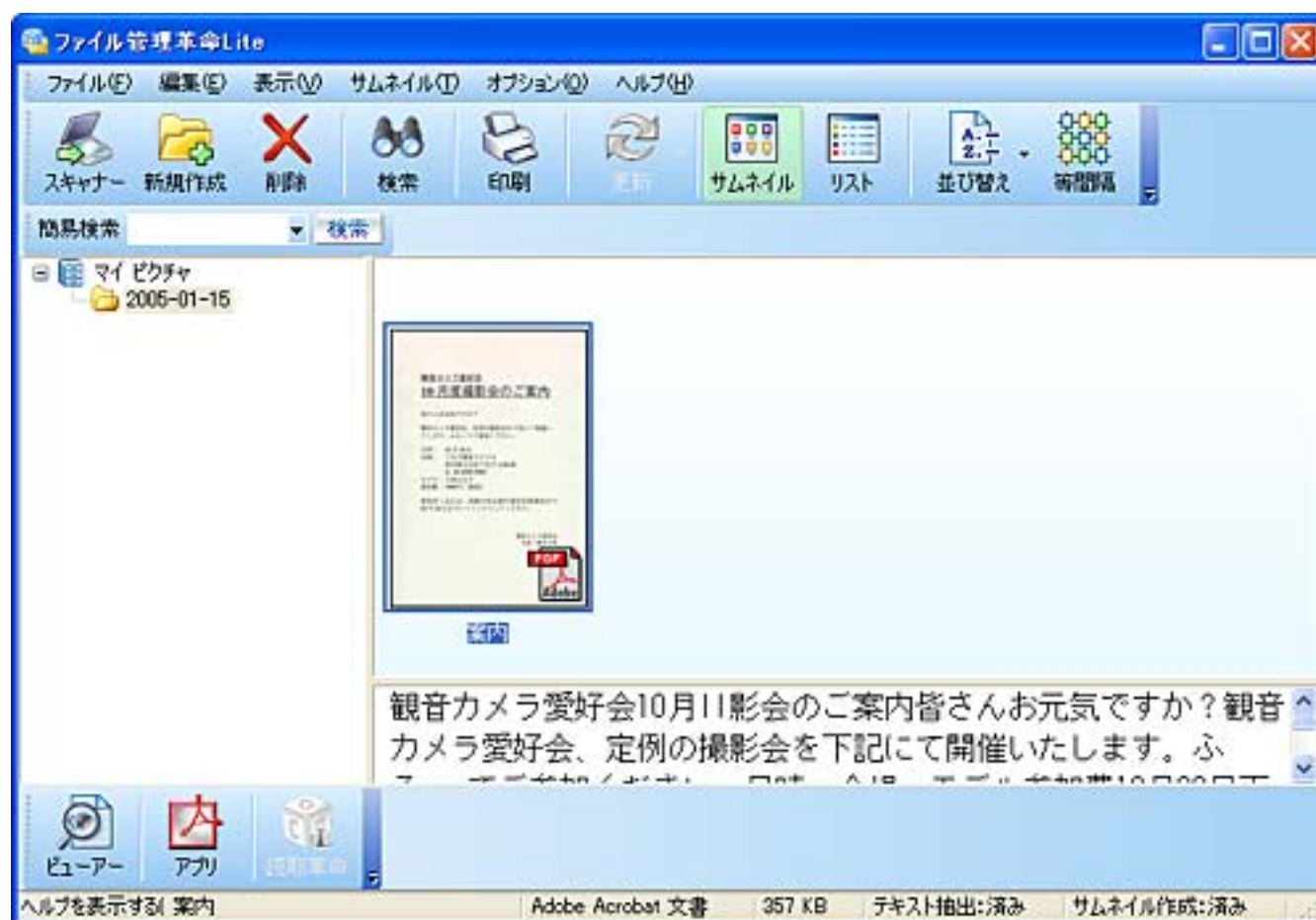
1 スキャナに原稿をセットします。

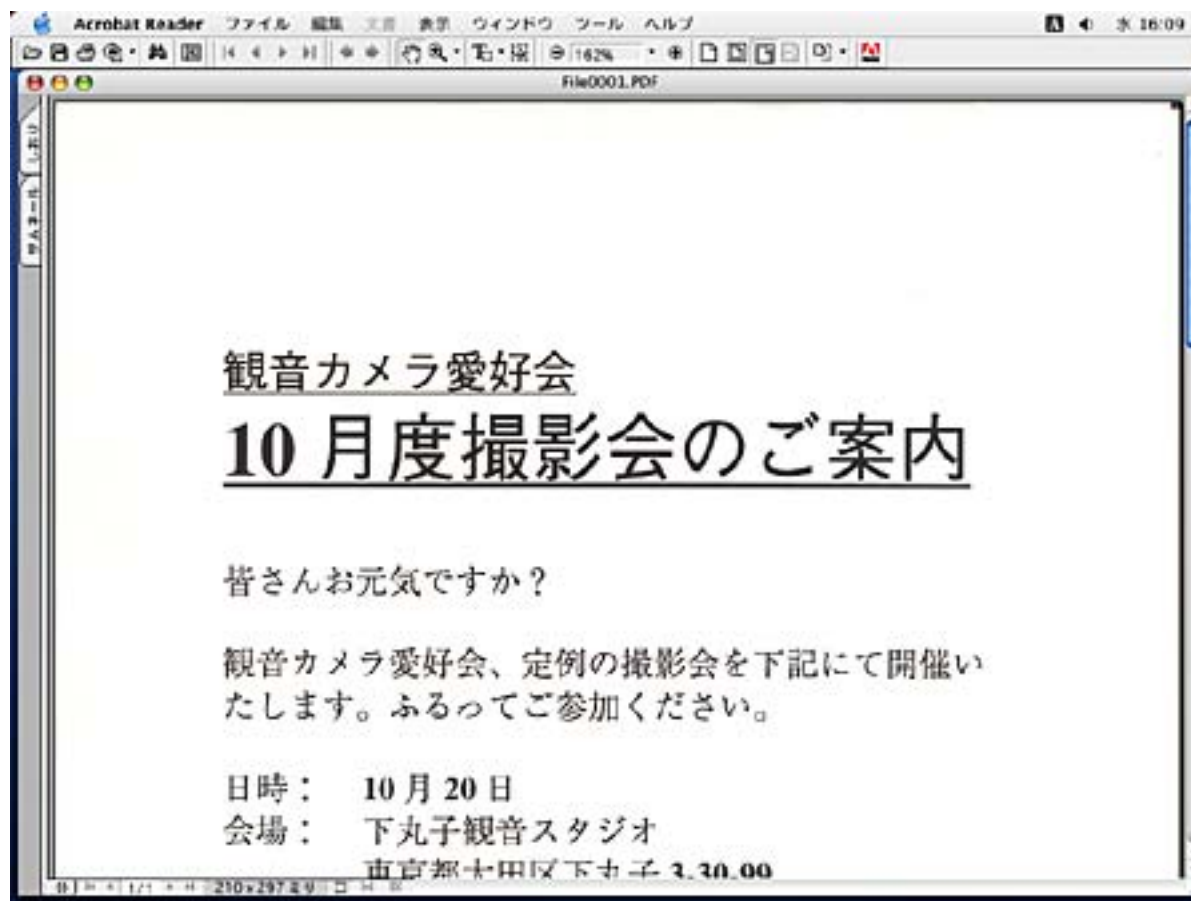
原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

2 PDFボタンを押します。

CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。
画像がPDF形式で保存され、ファイル管理革命Lite (Windows) / Adobe Acrobat Reader (Macintosh)に表示されます。

- 1枚目の原稿のスキャンが終了すると、メッセージが表示されます。
  原稿の枚数に応じて、メッセージにしたがった操作をしてください。

Windows

- 初期設定では、スキャンした画像は、［My Documents］－［My Pictures］－［2005-01-15］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。
  お使いの環境によっては保存先の表示が［My Documents］-［My Pictures］ではなく［マイドキュメント］-［マイピクチャ］と表示されることがあります。
- サムネイル表示作成のためにAdobe Acrobat Reader/Adobe Acrobatが起動することがあります。
  また、同じフォルダにMicrosoft Officeドキュメントなどがある場合、それらのアプリケーションが起動することがあります。

Macintosh

- 初期設定では、スキャンした画像は次の所に保存されています。
  Macintosh HDの［ユーザ*］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［ピクチャ*］－［My Pictures］－［2005-01-15］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。
  * Mac OS Xの仕様のため、［ユーザ］、［ピクチャ］フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では［Users］、［Pictures］と表示されることがあります。

- 次にスキャンするときも、EZボタンを押すだけで、同じ設定で続けてスキャンできます。CanoScan Toolboxの画面が表示されたままでボタンを押してもかまいません。
- 設定を変えたいときは、［スキャン中］のダイアログで［キャンセル］ボタンをクリックし、CanoScan Toolboxの「PDF画面」で変更します。PDF画面で［スキャン］ボタンをクリックするとスキャンを開始します。

E-MAILボタンでメールに添付する

・本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

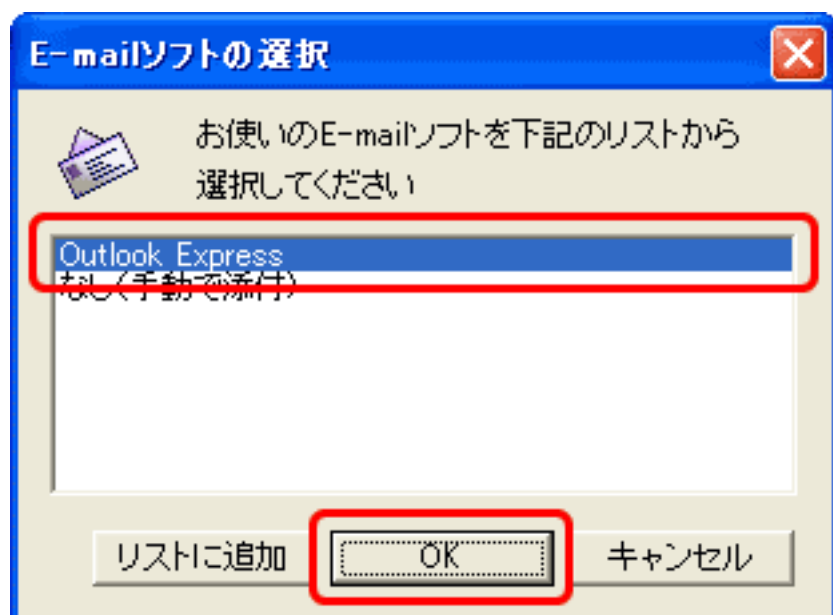
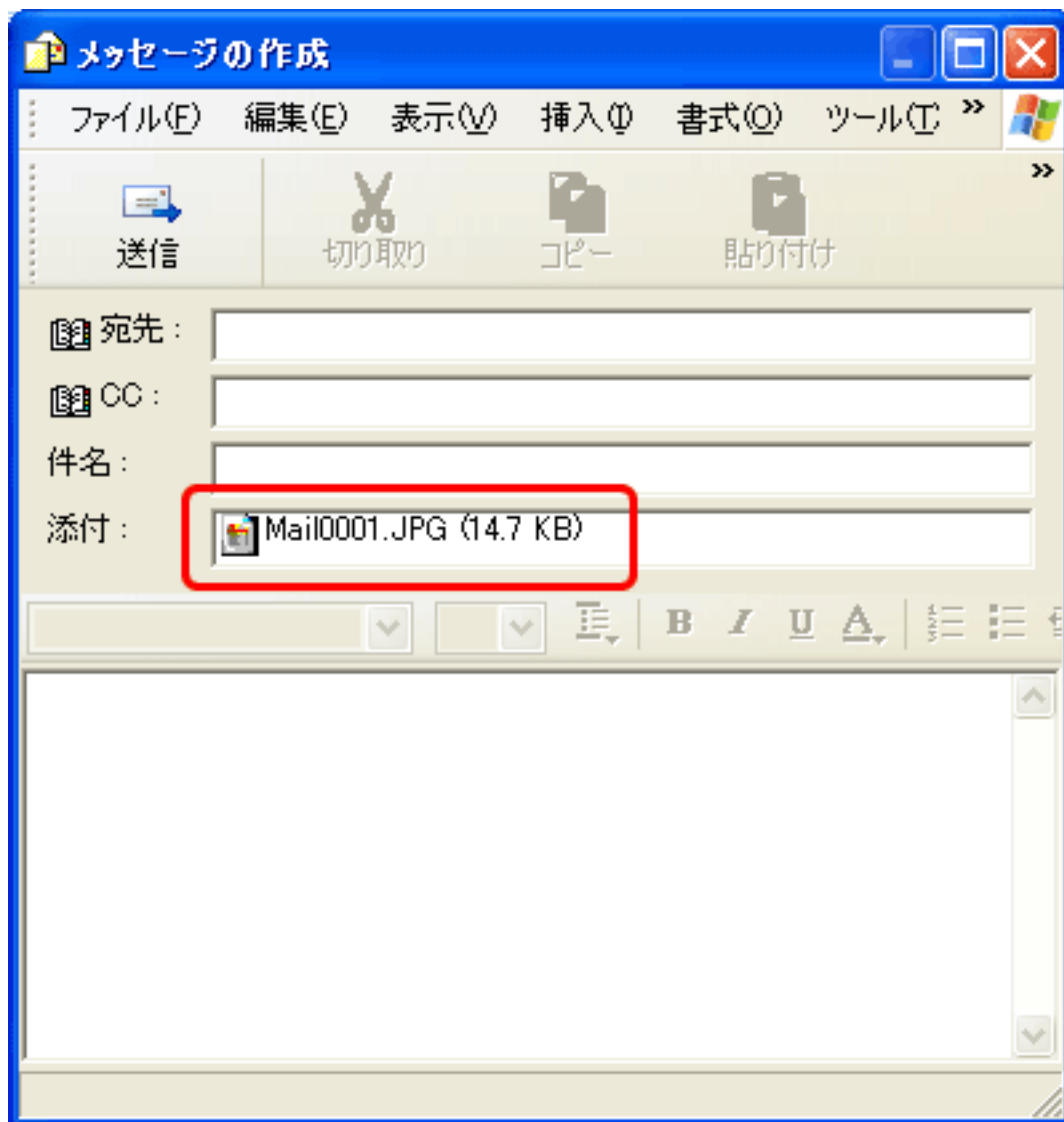
Windows Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
（メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

Macintosh Mail、EUDORA、MS Entourage

1 スキャナに原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

2 E-MAILボタンを押します。

3 CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。
E-mailソフトの選択画面で、使用するメールソフトを選択し、［OK］ボタンをクリックします。（初回のみ）

メールソフトが起動し、新規送信メッセージが表示されます。このとき、スキャンされた画像は、添付ファイルとして、このメッセージに添付されています。
メールの宛先、タイトル、本文などを入力し、送信できます。

- 使用するEメールソフトが選択画面に表示されないときは、「なし（手動で添付）」を選択し、スキャンが終わったら以下のフォルダに保存されている画像を手動でメールに添付してください。
- 初期設定では、スキャンした画像は次の所に保存されています。

  Windows ［My Documents］ ― ［My Pictures］ ― ［2005-01-15］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。
  お使いの環境によっては保存先の表示が［My Documents］-［My Pictures］ではなく［マイドキュメント］-［マイピクチャ］と表示されることがあります。

  Macintosh Macintosh HDの［ユーザ*］ ― ［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］ ― ［ピクチャ*］ ― ［My Pictures］ ― ［2005-01-15］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。

  * Mac OS Xの仕様のため、［ユーザ］、［ピクチャ］フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では［Users］、［Pictures］と表示されることがあります。

- 原稿を替えEZボタンを押すだけで、同じ設定で続けてスキャンできます。CanoScan Toolboxの画面が表示されたままでボタンを押してもかまいません。

- 設定を変えたいときは、「スキャン中」のダイアログで［キャンセル］ボタンをクリックし、CanoScan Toolboxの「メール画面」で変更します。メール画面で［スキャン］ボタンをクリックするとスキャンを開始します。

先頭へ戻る▲

CanoScan Toolboxでスキャンする

ユーティリティソフトCanoScan Toolboxのメイン画面のボタンをクリックするだけで、印刷、メール添付、文字の読み取り、PDF文書の作成、アプリケーションソフトへの取り込みなどができます。機能に合わせていろいろな設定ができます。

CanoScan Toolboxの基本操作

CanoScan Toolboxは、［設定］ボタンを除き、どのボタンもほぼ同様の手順で操作できます。ここでは、［スキャン-1］ボタンを例に説明します。

1. スキャナに原稿をセットします。

   原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。
   フィルムをスキャンするときは→「フィルムをスキャンする」

2. CanoScan Toolboxを起動します。

   Windows

   ［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.9］→［CanoScan Toolbox 4.9］を選択します。

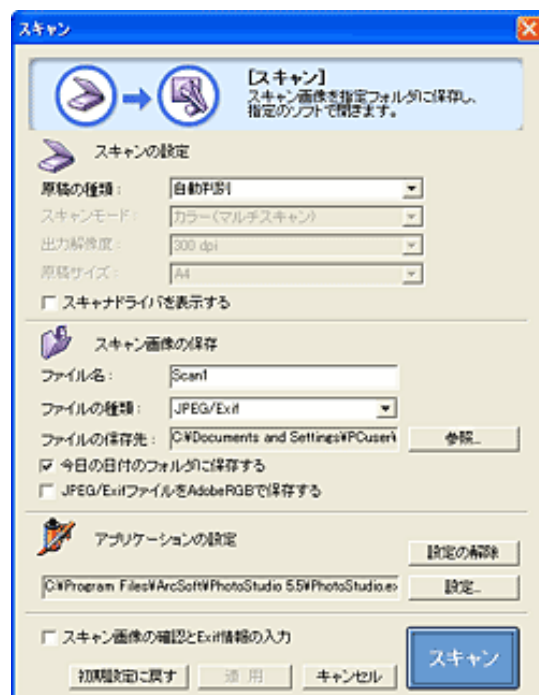
   Macintosh

   Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.9］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

   CanoScan Toolboxのメイン画面が表示されます。

3. ボタンをクリックします。
   ここでは例として［スキャン-1］ボタンを選択します。その他のボタンについては、各「ボタンの機能」をご参照ください。

   それぞれのボタンに応じた設定画面が表示されます。

4. 必要な場合は、スキャン方法やスキャン画像の保存先、プリンタなどの設定をします。

スキャン-1の設定画面の例

- コピー画面の設定のしかた
- プリント画面の設定のしかた
- メール画面の設定のしかた
- OCR画面の設定のしかた
- 保存画面の設定のしかた
- PDF画面の設定のしかた
- スキャン-1、スキャン-2画面の設定のしかた

5　［スキャン］ボタンをクリックします。

これで指定した設定でスキャンが始まり、スキャンが終わると、それぞれのボタンに応じた機能が実行されます。

- ［コピー］では、［コピー］ボタンをクリックすると、原稿をスキャンし自動的に印刷を開始します。
- ［プリント］では、［スキャン］ボタンをクリックすると、「印刷レイアウト」画面で画像を確認することができます。

先頭へ戻る▲

ScanGear CSでスキャンする

スキャナドライバScanGear CSはスキャンするためのソフトウェアです。
ここでは、ScanGear CSでスキャンする手順を2通り説明します。

アプリケーションソフトを使ってスキャンする
ScanGear Starterを使ってスキャンする

アプリケーションソフトを使ってスキャンする

TWAIN*対応のアプリケーションソフト（ArcSoft PhotoStudioなど）からScanGear CSを呼び出し、ScanGear CSでさまざまな設定をしてスキャンします。
スキャン後は、アプリケーションソフトで編集・印刷・保存などができます。

- TWAIN とは、スキャナやデジタルカメラなどのデバイスからコンピュータに情報を転送するための業界標準規格です。イメージスキャナなどの入力装置のアプリケーション・プログラミング・インターフェース（API）の標準規格で、装置とアプリケーションソフトの両方がこの規格に対応していれば、メーカーやモデルの違いに関係なく互換性を持つことができます。

手順の概要

アプリケーションソフトを起動

ScanGear CSを起動

ScanGear CSで設定してスキャン

ScanGear CSを終了

アプリケーションソフトで編集・印刷・保存

操作手順

例としてPhotoStudioを使ってスキャンする方法を紹介しています。
その他のアプリケーションソフトでスキャンする方法は、「アプリケーションソフトについて」をご覧ください。

- ご使用のアプリケーションソフトがTWAIN規格に対応しているかは、各アプリケーションソフトの製造元にご確認ください。
- 各アプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出す方法やアプリケーションソフトの操作方法については、各アプリケーションソフトの製造元にご確認ください。

1 スキャナに原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。
フィルムをスキャンするときは→「フィルムをスキャンする」

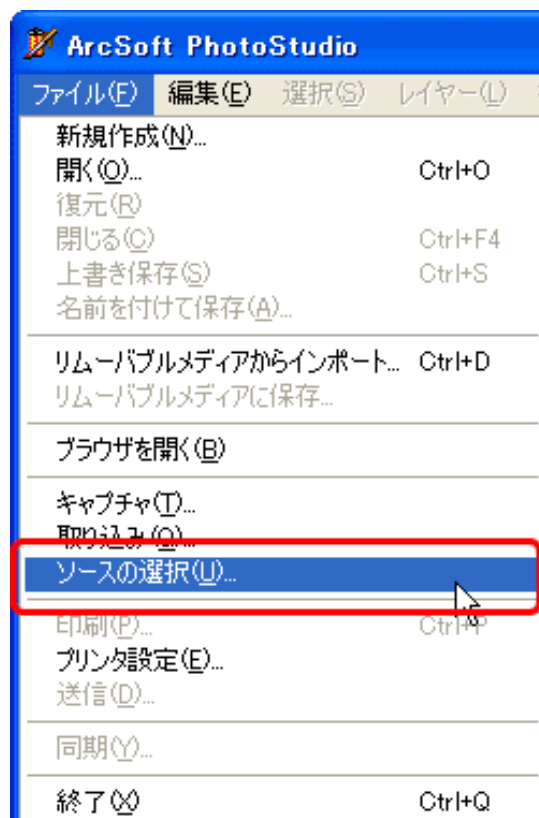
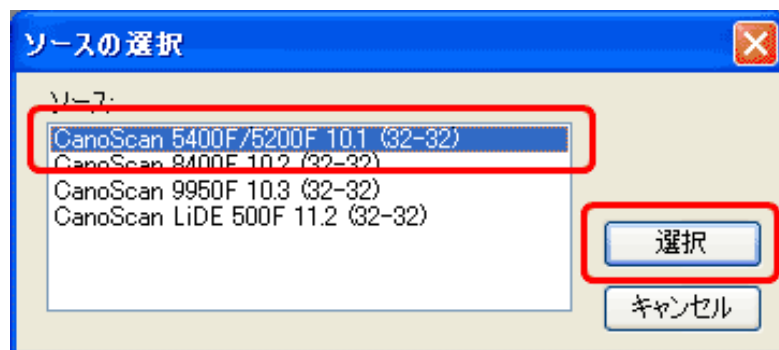
2 PhotoStudioを起動します。

Windows

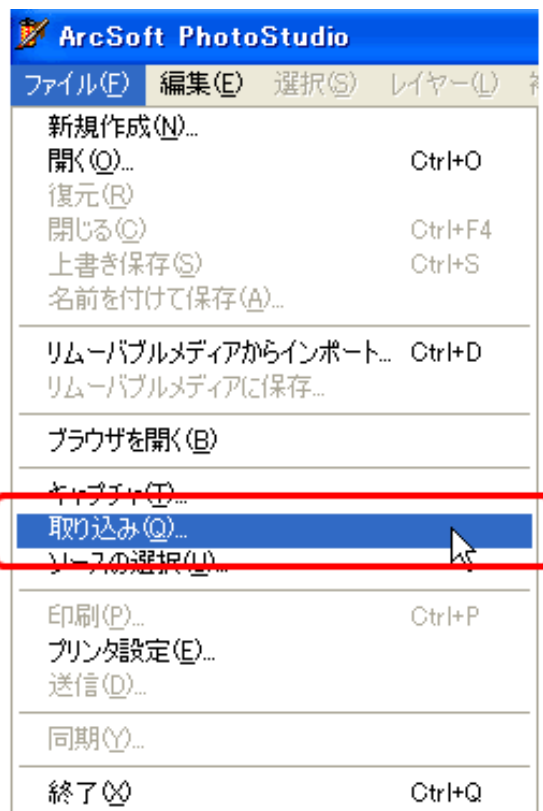
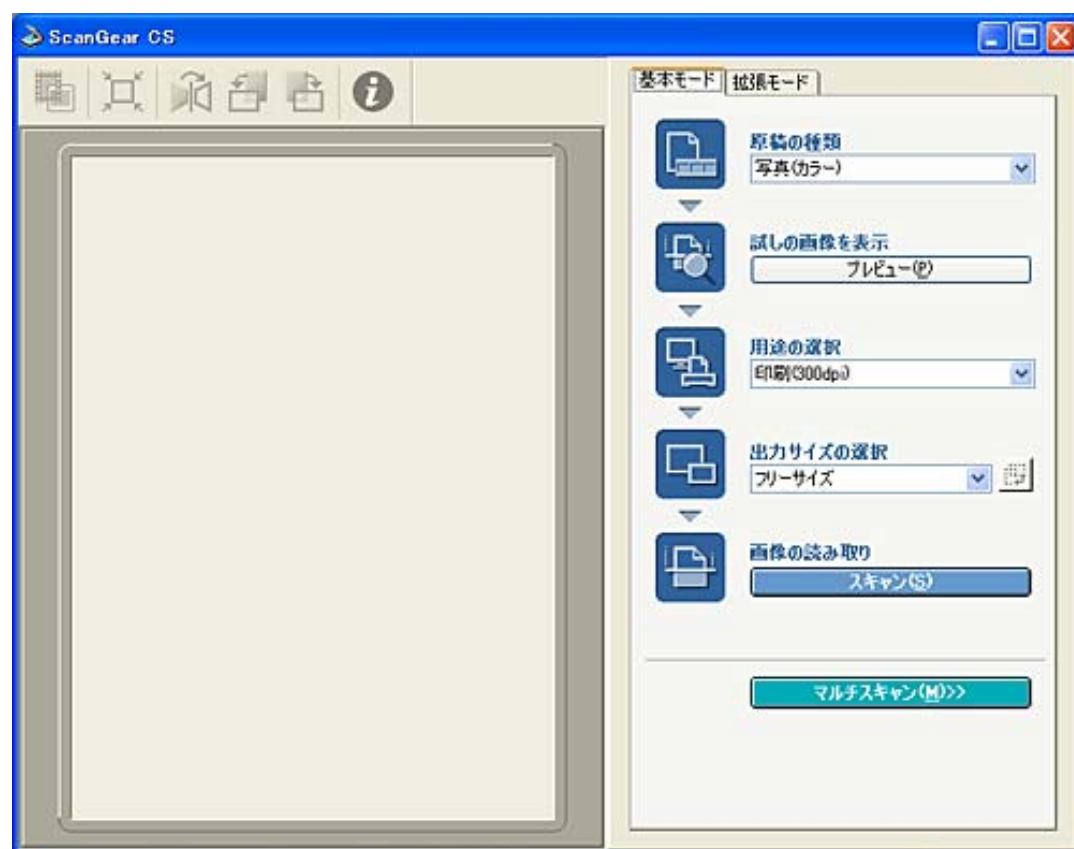
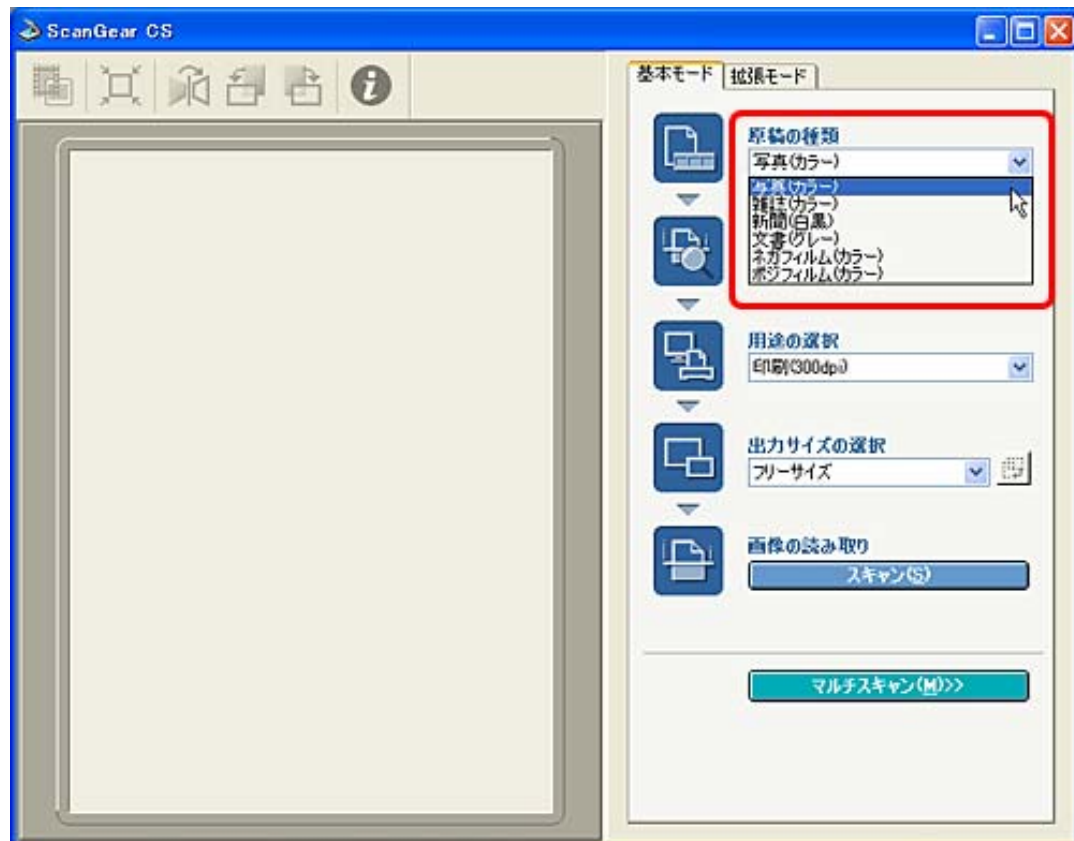
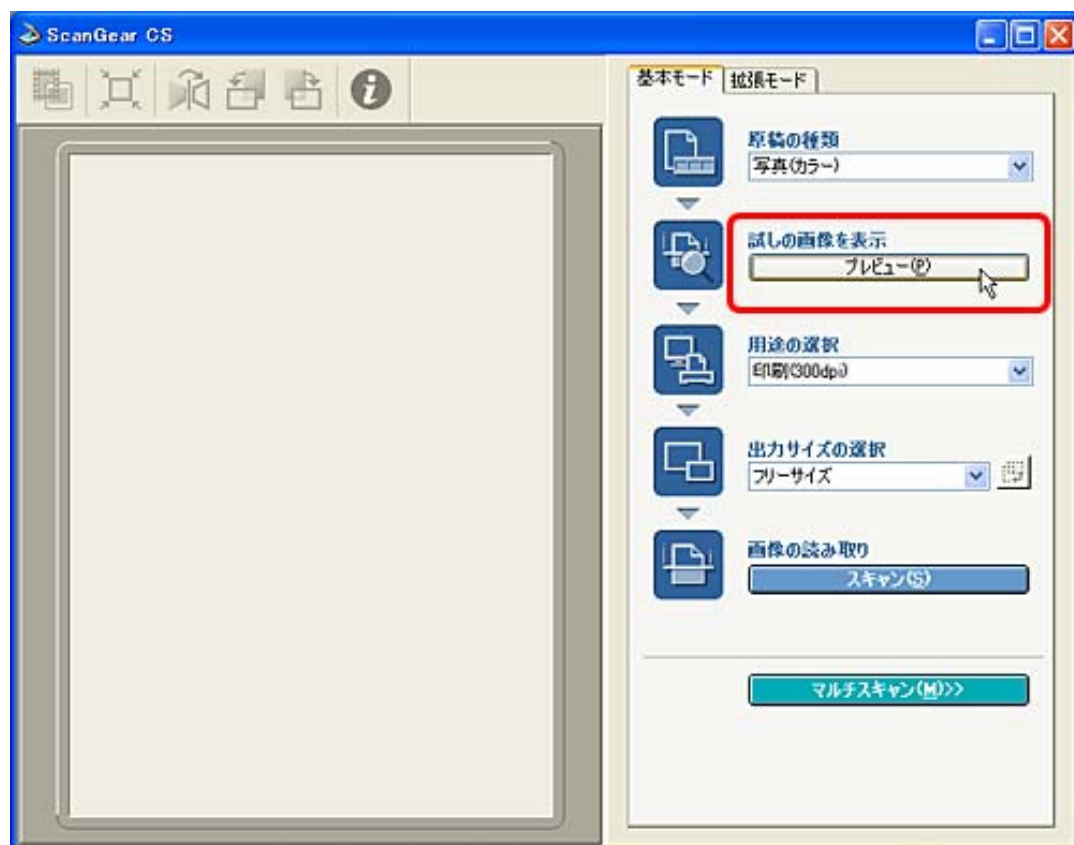
［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5］を選択します。

Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［PhotoStudio］フォルダを開き、［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

3 スキャナを選択します。
［ファイル］メニューから［ソースの選択］を選択します。

「ソースの選択」画面が表示されます。
お使いのスキャナ名を選択して［選択］（Windows）/［OK］（Macintosh）をクリックします。

* OSにより若干表示が異なります。

- この操作は最初に設定しておけば、2回目以降必要ありません。
- 他のスキャナやデジタルカメラを選択したあとは、再設定が必要です。

4 ScanGear CSを起動します。
［ファイル］メニューから［取り込み］を選択します。

ScanGear CSの画面が表示されます。

5 セットした原稿に合わせて「原稿の種類」を設定します。
[写真（カラー）]、[雑誌（カラー）]、[新聞（白黒）]、[文書（グレー）]、［ネガフィルム（カラー）］、［ポジフィルム（カラー）］が選択できます。
ここでは、[写真（カラー）]を選択します。

6 ［プレビュー］ボタンをクリックします。

プレビューエリアに画像が表示され、自動的にクロップ（原稿に合わせてスキャン範囲を指定）されます。

7 用途を選択します。
［印刷（300dpi）］か［画面表示（150dpi）］かを選択します。

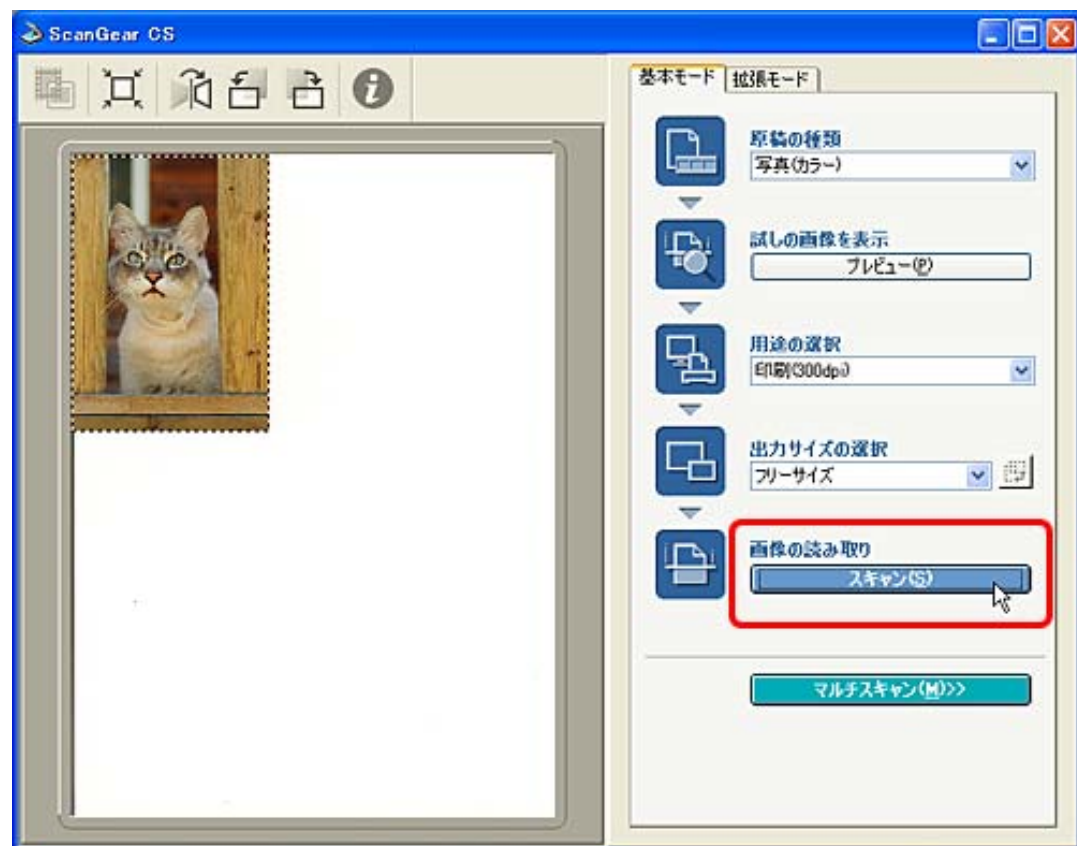
［印刷（300dpi）］を選ぶと「出力解像度」が300dpiに、［画面表示（150dpi）］を選択すると、「出力解像度」が150dpiに、それぞれ設定されます。

8 出力サイズを選択します。

手順7で［印刷（300dpi）］を選択した場合	フリーサイズ フリーサイズ L判 2L判 はがき A4 追加/削除...
手順7で［画面表示（150dpi）］を選択した場合	フリーサイズ フリーサイズ 640 x 480 ピクセル 800 x 600 ピクセル 1024 x 768 ピクセル 1600 x 1200 ピクセル 2048 x 1536 ピクセル 追加/削除...

- ［フリーサイズ］を選ぶと、クロップ枠で囲んだスキャン範囲を等倍でスキャンします。
- ［フリーサイズ］以外を選ぶと：
  - ［印刷（300dpi）］の場合、出力サイズを用紙サイズで指定できます。クロップ枠で囲んだスキャン範囲を、その大きさになるように、自動的に拡大／縮小して出力します。
  - ［画面表示（150dpi）］の場合、出力サイズの縦横をピクセル数で選択できます（ピクセルとは、画像を構成する１つ１つの点のことです）。コンピュータのディスプレイサイズやデジタルカメラの出力サイズに合わせることができます。

9 必要があれば、プレビュー画像の周囲の読取枠（クロップ枠）の大きさや位置を調整します。

10 ［スキャン］ボタンをクリックします。

11 ScanGear CSのクローズボックス（Windows）または（Macintosh）をクリックして終了してください。

PhotoStudioにスキャンした画像が表示されます。

Windows

Macintosh

12 ［ファイル］メニューから［名前を付けて保存］を選択します。

13 ファイル形式や保存先を指定し、ファイル名を入力して保存します。

・ファイルの種類／フォーマットに［PhotoStudio File（*.PSF）/PhotoStudio ファイル］を選ぶと、ArcSoft PhotoStudio 以外のアプリケーションソフトでは開くことができなくなりますので、ご注意ください。

・ファイルの種類（フォーマット）については、「スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）」をご覧ください。

・PhotoStudioの詳しい使いかたについてはキヤノスキャン セットアップCD-ROMの「マニュアル表示」から、電子マニュアル「ArcSoft PhotoStudio マニュアル」をお読みください。「電子マニュアル（PDF）の読みかた」

先頭へ戻る▲

ScanGear Starterを使ってスキャンする

ScanGear StarterでScanGear CSを起動し、ScanGear CSでさまざまな設定をしてスキャンします。
スキャン後は、指定したフォルダに指定したファイル形式で保存することができます。
スキャンして保存するだけの目的のときにご利用ください。
保存された画像は、その後アプリケーションソフトで編集することはもちろん、いろいろな用途で使用できます。

手順の概要

ScanGear StarterからScanGear CSを起動

ScanGear CSで設定してスキャン

ScanGear CSを終了

ScanGear Starterで保存

操作手順

1 スキャナに原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。
フィルムをスキャンするときは→「フィルムをスキャンする」

2 ScanGear Starterを起動します。

Windows

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］-［ScanGear Starter］-［ScanGear Starter］を選択します。

Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［ScanGear Starter 1.1J］フォルダを開き、［ScanGear Starter 1.1J］アイコンをダブルクリックします。

・複数のスキャナをご使用の場合、「スキャナの選択」画面が表示されます。お使いのスキャナ名を選択してください。

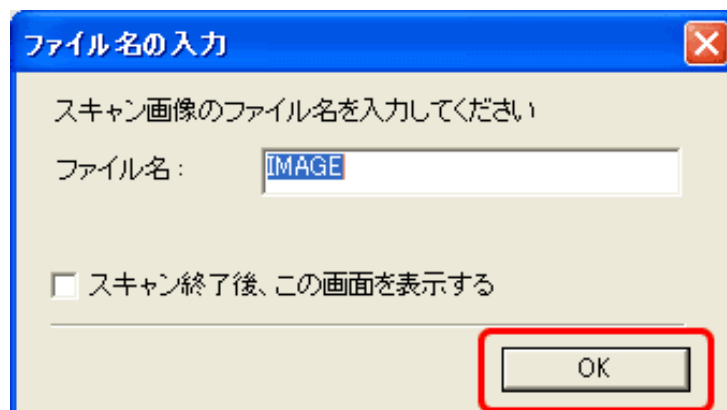
ScanGear CSの画面が表示されます。

3 ScanGear CSで設定をおこなって、スキャンします。「アプリケーションソフトを使ってスキャンする」の手順5～10と同じ操作をおこないます。

4 スキャンが終了したら、ScanGear CSのクローズボックス（Windows）または（Macintosh）をクリックして終了してください。

「スキャン画像」ウィンドウにスキャンしたサムネイル（縮小）画像が表示されます。

5 必要に応じて、「ファイルの種類」、「ファイルの保存先」を指定します。

- 最初の画像から、"0001" などの4桁の通し番号がファイル名の後ろに付けられて使用されます。
  （例：IMAGE0001→IMAGE0002→IMAGE0003...)。
  この「IMAGE」の部分は変更できます。「ファイル名」をクリックして「ファイル名の入力」ウインドウで、指定します。［OK］ボタンをクリックして、「ファイル名」の入力ウインドウを閉じます。

6 ［保存］ボタンをクリックすると、スキャンした画像を指定した保存先に保存し、ScanGear Starterは終了します。［終了］ボタンをクリックすると、画像を保存せずに、ScanGear Starterを終了します。

先頭へ戻る▲

フィルムをスキャンする

本機では、35mmフィルム（スリーブ、マウント）をスキャンすることができます。スリーブ（6コマずつつながった通常の現像仕上がり状態）とマウント（1コマずつスライド用マウントにセットした状態）の両方に対応しています。

フィルムをスキャンするには、次の4つの方法があります。

EZボタンでスキャンする

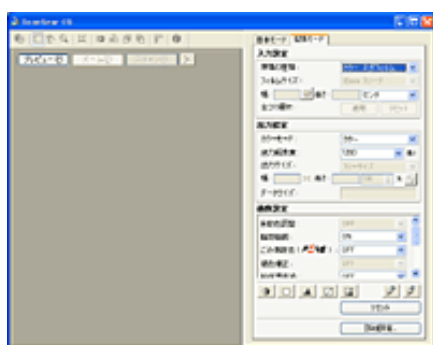
COPYボタンやSCANボタンを使って、35mmフィルム（スリーブ、マウント）をスキャンする方法です。

CanoScan Toolboxでスキャンする

CanoScan Toolboxのボタンを使って、35mmフィルム（スリーブ、マウント）をスキャンをする方法です。

ScanGear CSの「基本モード」でスキャンする

アプリケーションソフトからScanGear CSの画面を呼び出し、「基本モード」で簡単に35mmフィルム（スリーブ、マウント）をスキャンする方法です。

ScanGear CSの「拡張モード」でスキャンする

アプリケーションソフトからScanGear CSの画面を呼び出し、「拡張モード」で詳しく設定して、35mmフィルム（スリーブ、マウント）スキャンする方法です。

- EZボタン、CanoScan Toolboxのボタンを使ってスキャンできるフィルムは、35mmフィルム（スリーブ、マウントポジフィルム）だけです。マウントネガフィルム、モノクロフィルムはスキャンできません。
- マウントネガフィルム、モノクロフィルムをスキャンする場合は、アプリケーションソフトからScanGear CSを起動させて、「拡張モード」でスキャンしてください。→「ScanGear CSの「拡張モード」でスキャンする」
- ネガフィルムとポジフィルムをひとつのフィルムガイドにセットしないでください。

- フィルムを複数コマスキャンするときには、推定残り時間が表示されます。この表示はおおまかな目安であり、お使いの環境やスキャン時の設定によって誤差が発生することがあります。また1コマのみスキャンするときには、推定残り時間は表示されません。

- コマの外側までプレビュー表示された場合は、必要なスキャン範囲をクロップ枠で指定してからスキャンしてください。
  クロップ範囲にフィルムベースやフィルムガイドが残ったままスキャンすると、色味が若干悪くなることがあります。

先頭へ戻る▲

EZボタンでスキャンする

スキャナ前面のEZ（イージー）ボタンを押すだけで、フィルムをスキャンし、印刷や画像編集ソフトへの取り込みができる、とても簡単で便利なスキャン方法です。

COPYボタンで印刷する
原稿をスキャンし、プリンタで印刷します。

SCANボタンで画像を取り込む
原稿をスキャンし、ArcSoft PhotoStudioに画像を表示します。

- EZボタンを使うには、CanoScan Toolbox、ArcSoft PhotoStudio、プリンタドライバ、メールソフトがインストールされている必要があります。
- PDFボタン、E-MAILボタンでは、フィルムスキャンできません。
- EZボタンを使ってスキャンできるフィルムは、35mmフィルム（スリーブ、マウントポジフィルム）だけです。マウントネガフィルム、モノクロフィルムはスキャンできません。
- マウントネガフィルム、モノクロフィルムをスキャンする場合は、アプリケーションソフトからScanGear CSを起動させて、「拡張モード」でスキャンしてください。→「ScanGear CSの「拡張モード」でスキャンする」
- EZボタンはCanoScan Toolboxと連動していますので、CanoScan Toolboxの設定を変更して、ボタンに割りあてられた機能を変更することができます。変更したいときは→Toolboxの「［設定］ボタン」をご覧ください。
- EZボタンを押したときにCanoScan Toolboxが起動せずに「アプリケーションの選択」画面が表示されたときは→「困ったときには」の「スキャンのトラブル」をご覧ください。
- ネガフィルムとポジフィルムをひとつのフィルムガイドにセットしないでください。

- フィルムを複数コマスキャンするときには、推定残り時間が表示されます。この表示はおおまかな目安であり、お使いの環境やスキャン時の設定によって誤差が発生することがあります。また1コマのみスキャンするときには、推定残り時間は表示されません。
- コマの外側までプレビュー表示された場合は、必要なスキャン範囲をクロップ枠で指定してからスキャンしてください。
  クロップ範囲にフィルムベースやフィルムガイドが残ったままスキャンすると、色味が若干悪くなることがあります。

先頭へ戻る▲

COPYボタンで印刷する

1 プリンタを準備します。

- この操作をするときは、スキャナとプリンタがコンピュータに接続され、同時に使用できる状態になっていることが必要です。プリンタの準備方法については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

2 原稿台カバーの保護シートを取りはずします。

3 原稿台へフィルムガイドを置き、フィルムをセットします。

保護シートの取り扱い方法、フィルムとフィルムガイドの取り扱い方法については、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

- マウントネガフィルム、モノクロフィルムをスキャンする場合は、アプリケーションソフトからScanGear CSを起動させて「拡張モード」でスキャンしてください。→「フィルムをスキャンする」の「ScanGear CSの「拡張モード」でスキャンする」

4 原稿台カバーを閉じます。

5 COPYボタンを押します。

CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。
スキャンされたフィルムのコマはプリンタで印刷されます。初期設定では、自動的にL判サイズ（8.9 x 12.7cm）でプリントします。

6 フィルムのスキャンがすべて終わったら、原稿台カバーに保護シートを取り付けます。

- フィルムをスキャンしないときは、光源部を傷つけないために、かならず保護シートを取り付けておいてください。

先頭へ戻る▲

SCANボタンで画像を取り込む

1 原稿台カバーの保護シートを取りはずします。

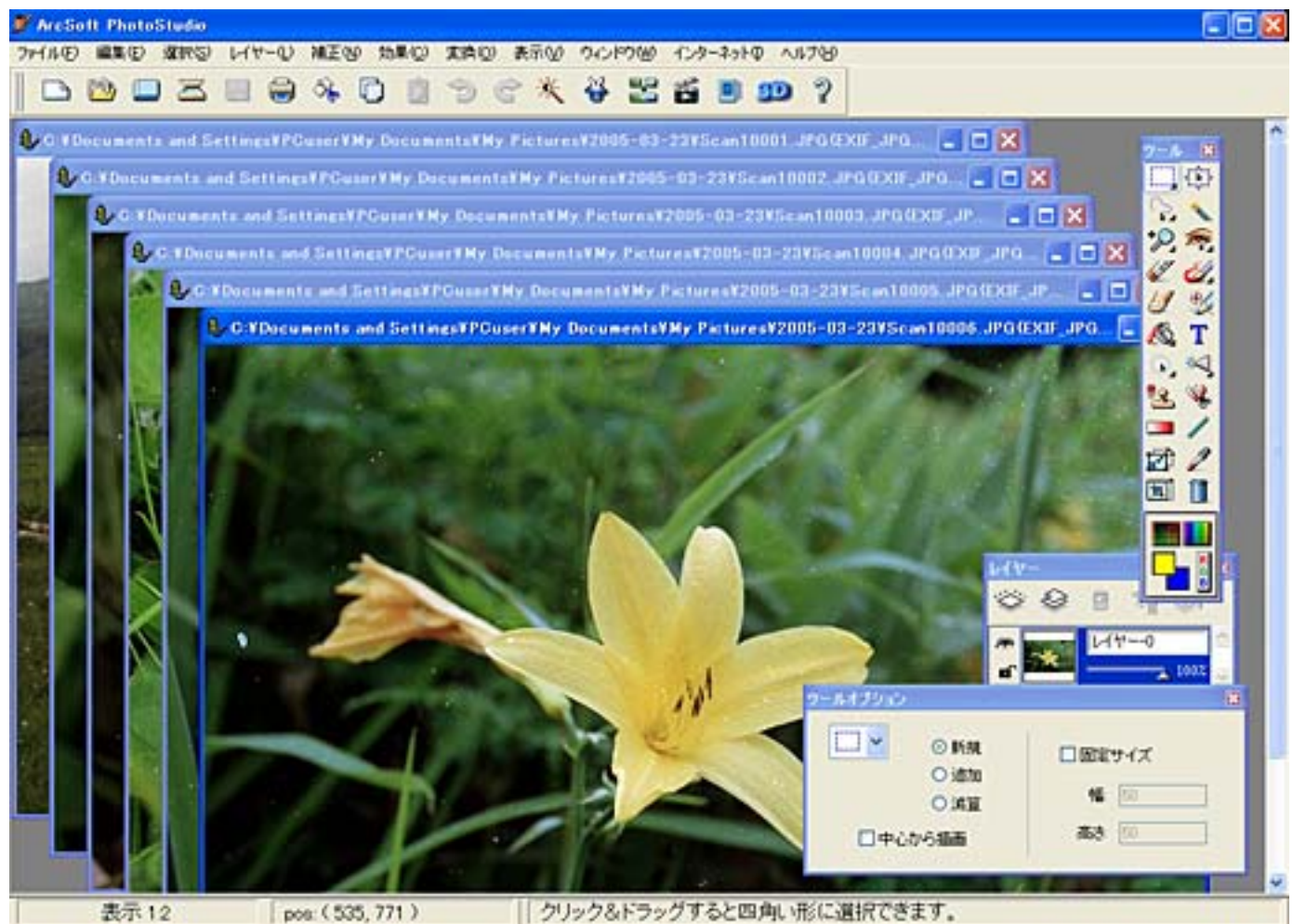
2 原稿台へフィルムガイドを置き、フィルムをセットします。

保護シートの取り扱い方法、フィルムとフィルムガイドの取り扱い方法については、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

- マウントネガフィルム、モノクロフィルムをスキャンする場合は、アプリケーションソフトからScanGear CSを起動させて「拡張モード」でスキャンしてください。→「フィルムをスキャンする」の「ScanGear CSの「拡張モード」でスキャンする」

3 原稿台カバーを閉じます。

4 SCANボタンを押します。

CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。
スキャンされたフィルムのコマは保存され、ArcSoft PhotoStudioに表示されます。

Windows

- 初期設定では、スキャンした画像は、［My Documents］－［My Pictures］－［2005-01-15］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。
  お使いの環境によっては保存先の表示が［My Documents］-［My Pictures］ではなく［マイドキュメント］-［マイピクチャ］と表示されることがあります。

Macintosh

- 初期設定では、スキャンした画像は次の所に保存されています。
  Macintosh HDの［ユーザ*］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［ピクチャ*］－［My Pictures］－［2005-01-15］などの日付フォルダが作られ、その中に保存されています。
  * Mac OS Xの仕様のため、［ユーザ］、［ピクチャ］フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では［Users］、［Pictures］と表示されることがあります。

5 フィルムのスキャンがすべて終わったら、原稿台カバーに保護シートを取り付けます。

- フィルムをスキャンしないときは、光源部を傷つけないために、かならず保護シートを取り付けておいてください。

CanoScan Toolboxでスキャンする

CanoScan Toolboxでは、［コピー］、［プリント］、［保存］、［スキャン-1］、［スキャン-2］ボタンでフィルムをスキャンすることができます。どのボタンも操作はほぼ同じです。

- ［メール］、［OCR］、［PDF］ボタンでは、フィルムをスキャンできません。

1 原稿台カバーの保護シートを取りはずします。

2 原稿台へフィルムガイドを置き、フィルムをセットします。

保護シートの取り扱い方法、フィルムとフィルムガイドの取り扱い方法については、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

- マウントネガフィルム、モノクロフィルムをスキャンする場合は、アプリケーションソフトからScanGear CSを起動させて「拡張モード」でスキャンしてください。→「フィルムをスキャンする」の「ScanGear CSの「拡張モード」でスキャンする」

3 原稿台カバーを閉じます。

4 CanoScan Toolboxを起動します。

Windows

［スタート］をクリックし、［（すべての）プログラム］の［Canon］-［CanoScan Toolbox 4.9］から［CanoScan Toolbox 4.9］を選択します。

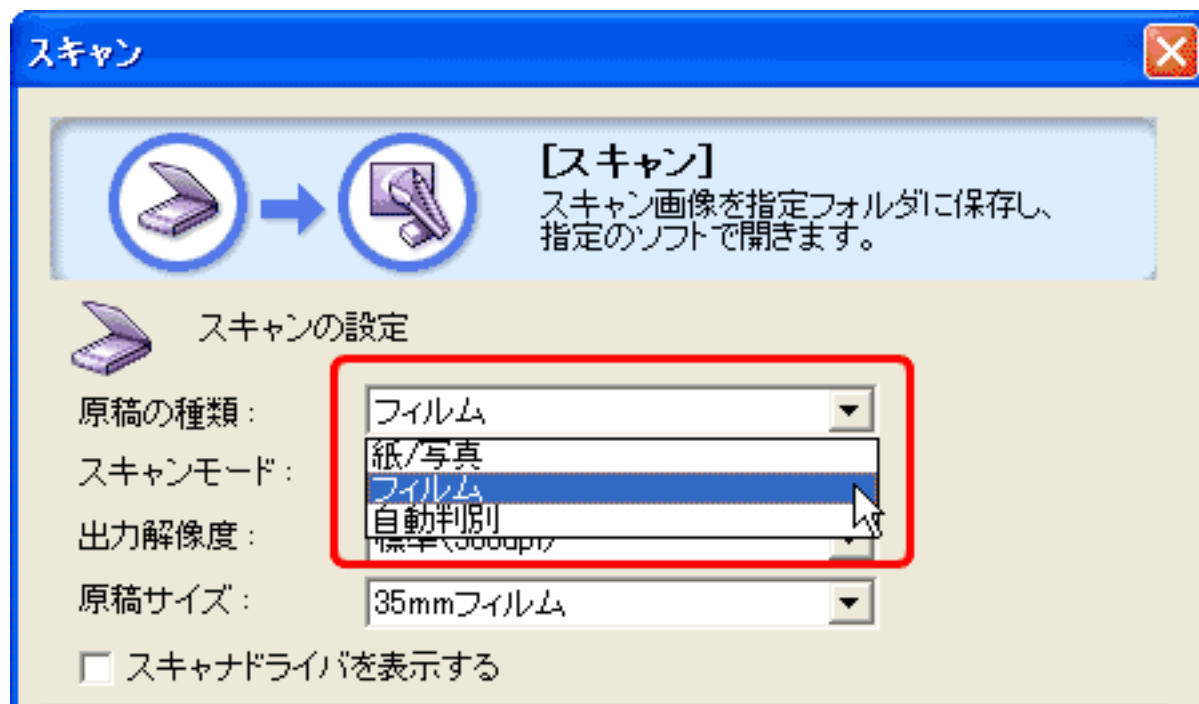
Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.9］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

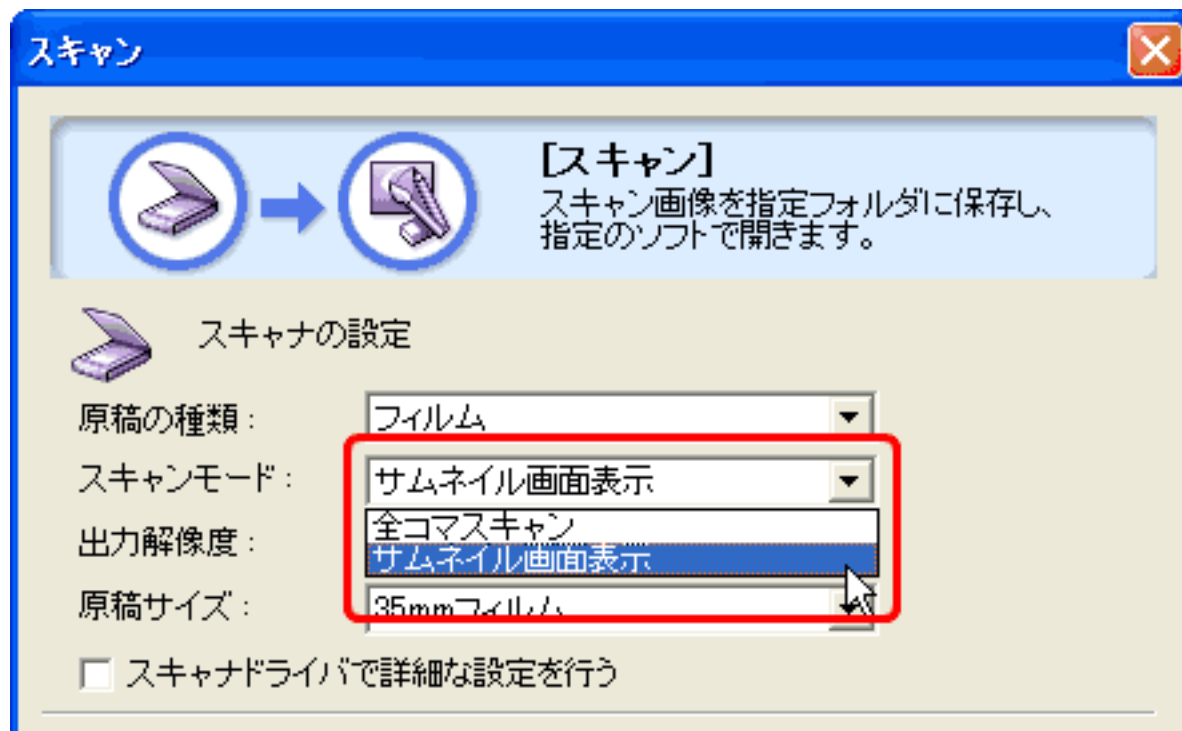
5 CanoScan Toolboxの目的のボタンをクリックして設定画面を表示します。

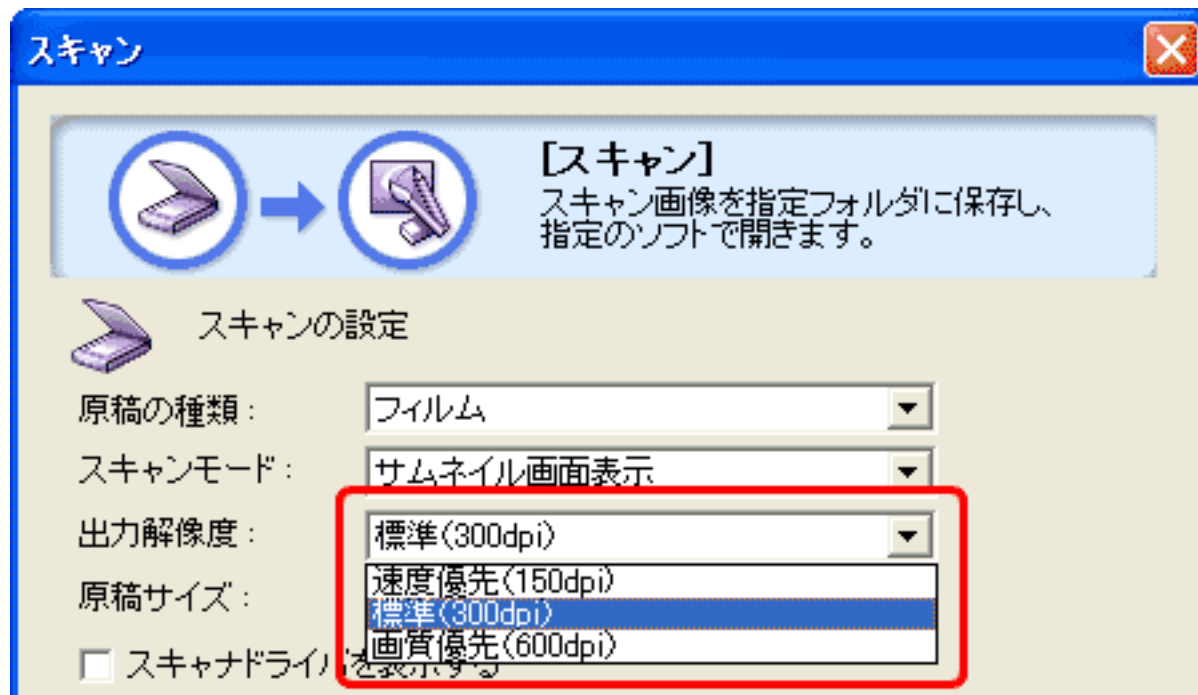
上の枠で囲まれた機能でフィルムをスキャンできます。
ここでは例として、［スキャン-1］ボタンを選択します。

CanoScan Toolboxの設定画面が表示されます。

6 「原稿の種類」を設定します。

［フィルム］	「出力解像度」を選択できます。
［自動判別］	300dpiのL判（8.9 x 12.7cm）サイズ画像としてスキャンを行います。「出力解像度」は選択できません。［自動判別］を選択した場合は手順9に進んでください。

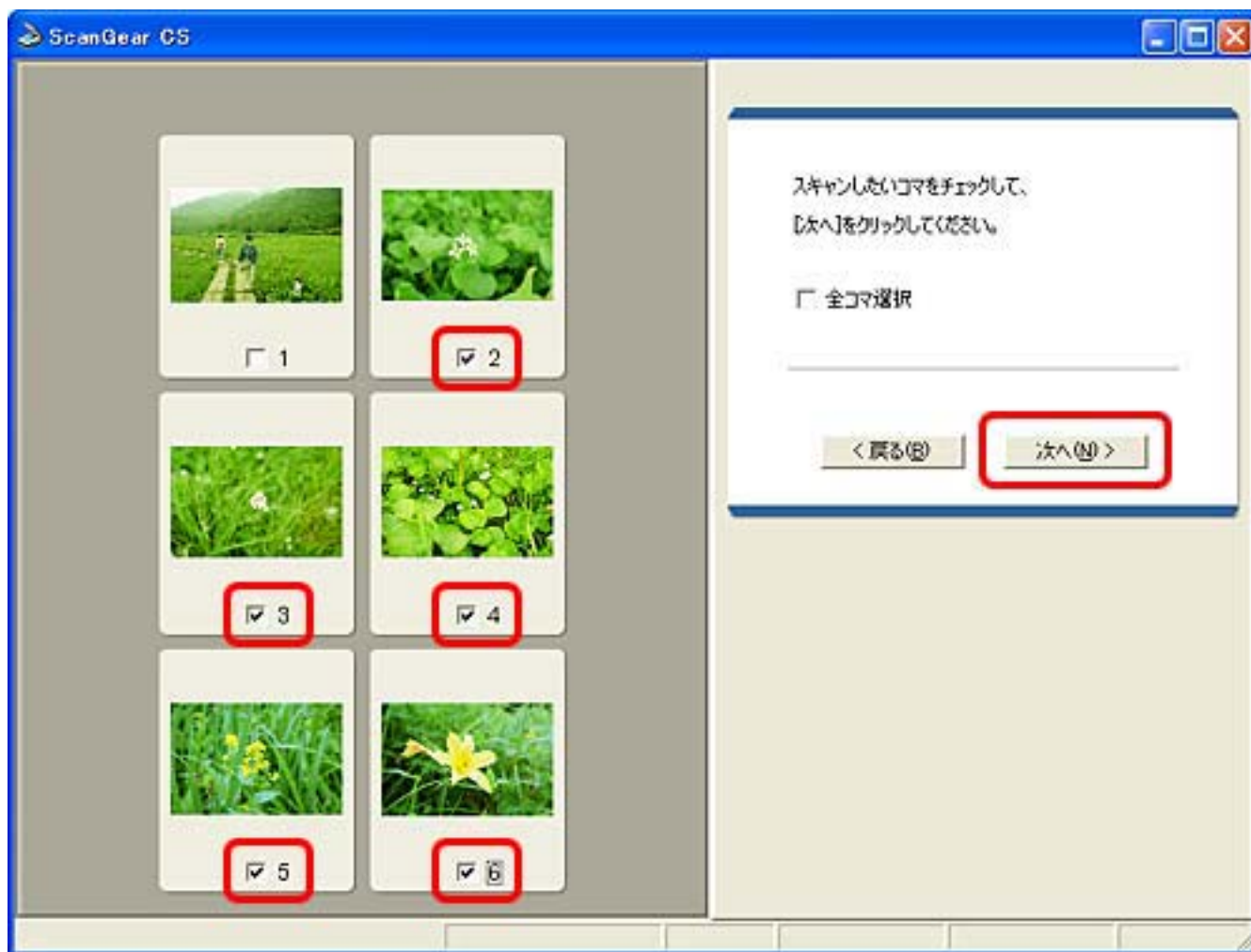
- ［保存］ボタンの「原稿の種類」の初期設定は［紙/写真］です。［フィルム］または［自動判別］をかならず選択してください。

7 「スキャンモード」を設定します。

［全コマスキャン］	認識されたコマをすべてスキャンします。最大6コマまでスキャンできます。
［サムネイル画面表示］	認識されたコマをサムネイル表示します。必要なコマにチェックマークをつけると、一度に複数のコマをスキャンできます。

8 「出力解像度」を設定します。

［速度優先（150dpi）］	ホームページ用などにディスプレイで見たり、L判写真サイズ（8.9 x 12.7cm）で印刷する場合に適した解像度です。
［標準（300dpi）］	L判写真サイズ（8.9 x 12.7cm）やはがきサイズ程度までの大きさで高画質カラープリントするのに適した解像度です。
［画質優先（600dpi）］	A4サイズ程度まで拡大してカラープリントするときや、高性能カラープリンタでプリントするのに適した解像度です。

9 ［スキャン］ボタンをクリックします。

［全コマスキャン］を選択した場合は、認識されたコマが自動的にスキャンされます。
［サムネイル画面表示］の場合は、認識されたコマのサムネイルが表示されます。

10 「サムネイル画面表示」の場合は、必要なコマにチェックマークを付けて、［次へ］ボタンをクリックします。

選択したコマがスキャンされ、アプリケーションソフトに取り込まれたり、保存されます。

フィルムのスキャンがすべて終わったら、原稿台カバーに保護シートを取り付けます。

- フィルムをスキャンしないときは、光源部を傷つけないために、かならず保護シートを取り付けておいてください。

先頭へ戻る▲

ScanGear CSの「基本モード」でスキャンする

アプリケーションソフトでフィルムをスキャンする場合は、ScanGear CSを呼び出します。「基本モード」では、簡単な操作でスキャンできます。

1 原稿台カバーの保護シートを取りはずします。

2 原稿台へフィルムガイドを置き、フィルムをセットします。

保護シートの取り扱い方法、フィルムとフィルムガイドの取り扱い方法については、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

- マウントネガフィルム、モノクロフィルムをスキャンする場合は、アプリケーションソフトからScanGear CSを起動させて「拡張モード」でスキャンしてください。→「フィルムをスキャンする」の「ScanGear CSの「拡張モード」でスキャンする」

---

3 原稿台カバーを閉じます。

4 アプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出します。

＜例：PhotoStudioからScanGear CSを呼び出す方法＞

Windows

1. ［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5］を選択します。

2. ［ファイル］の［取り込み］を選択します。

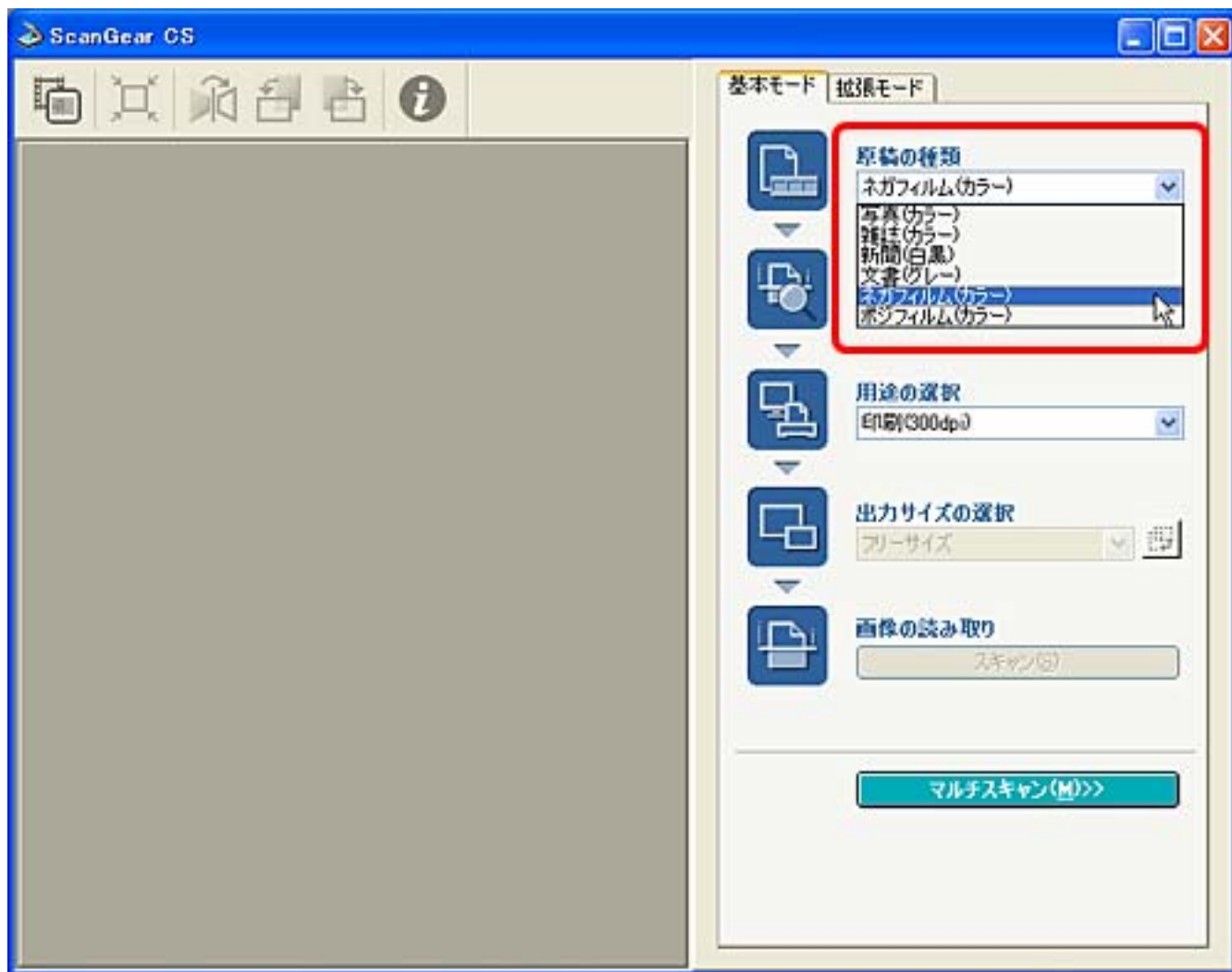
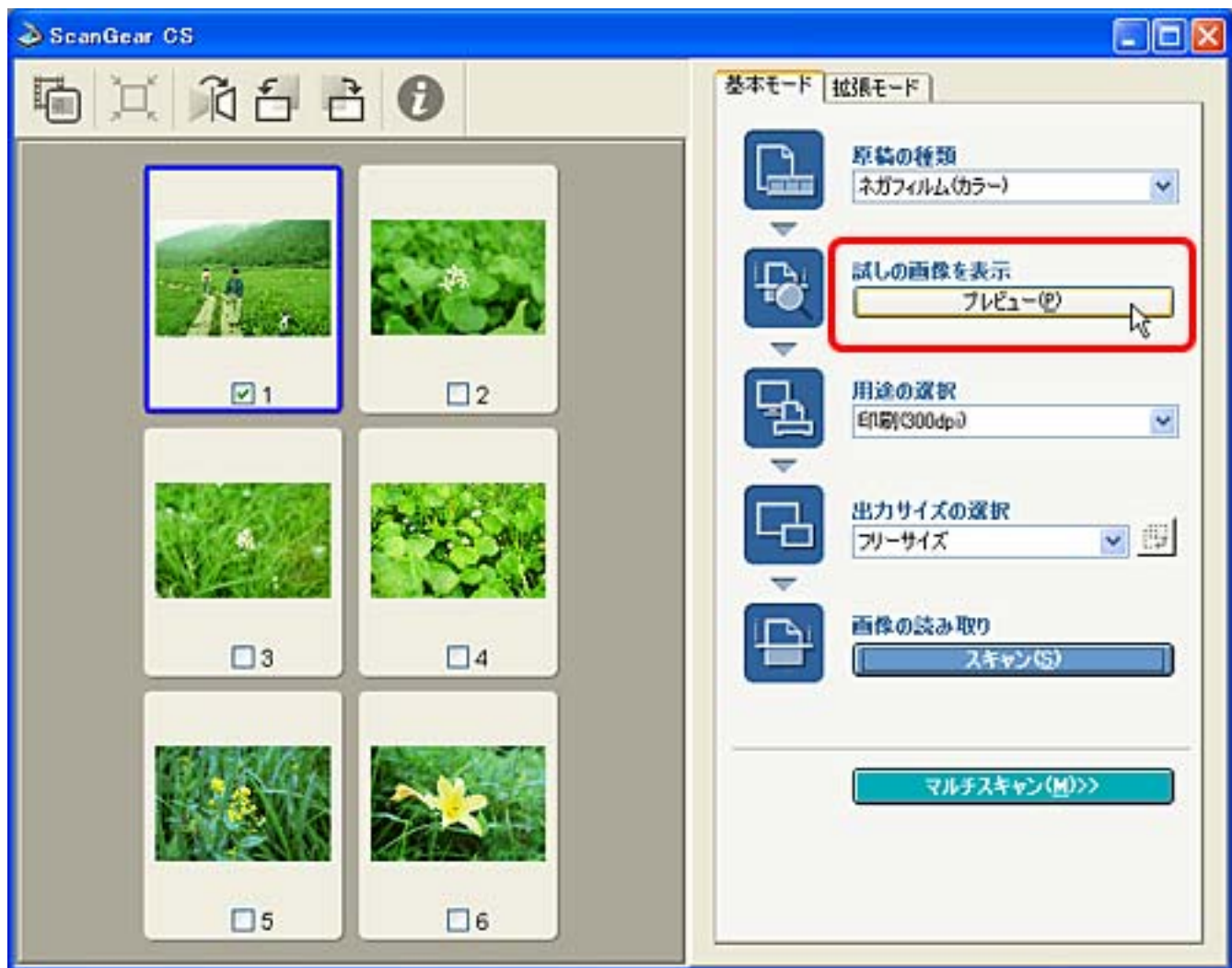
Macintosh

1. Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［PhotoStudio］フォルダを開き、［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

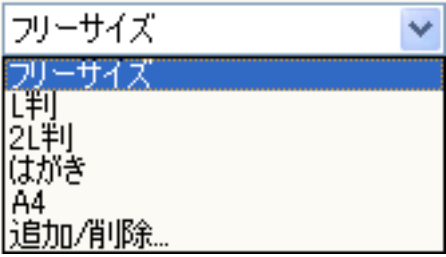
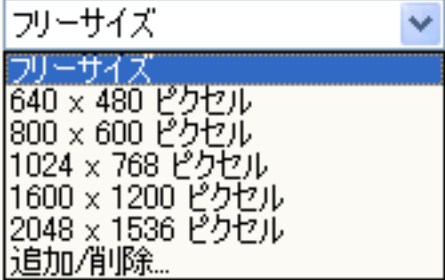
2. ［ファイル］の［取り込み］を選択します。

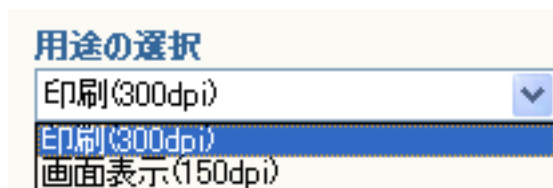
ScanGear CSの画面が表示されます。

5 ScanGear CSが「拡張モード」のときは、「基本モード」タブをクリックして「基本モード」画面にします。

6 「原稿の種類」をセットしたフィルムに合わせ、［ネガフィルム（カラー）］または［ポジフィルム（カラー）］に設定します。

7 ［プレビュー］ボタンをクリックします。

コマのサムネイル（縮小画像）が表示されます。

- プレビュー画像が正しく表示されない場合は、フィルムガイドにセットしたフィルムの位置を調整してから、［プレビュー］ボタンを押し直してください。

8 スキャンするコマにチェックマークを付けます。
（1コマ目には、自動的にチェックマークが付けられています。スキャンする必要がなければ、チェックマークをクリックして、チェックマークをはずします。）

9 用途を選択します。

コマを選択して（クリックして、青枠を表示します）、スキャンする画像の目的に応じて、［印刷（300dpi）］か［画面表示（150dpi）］かを選択します。
どちらの用途を選択するかで、次の手順で選択できる「出力サイズ」が異なります。

・　同時に複数のコマを選択（青枠の表示）することはできません。

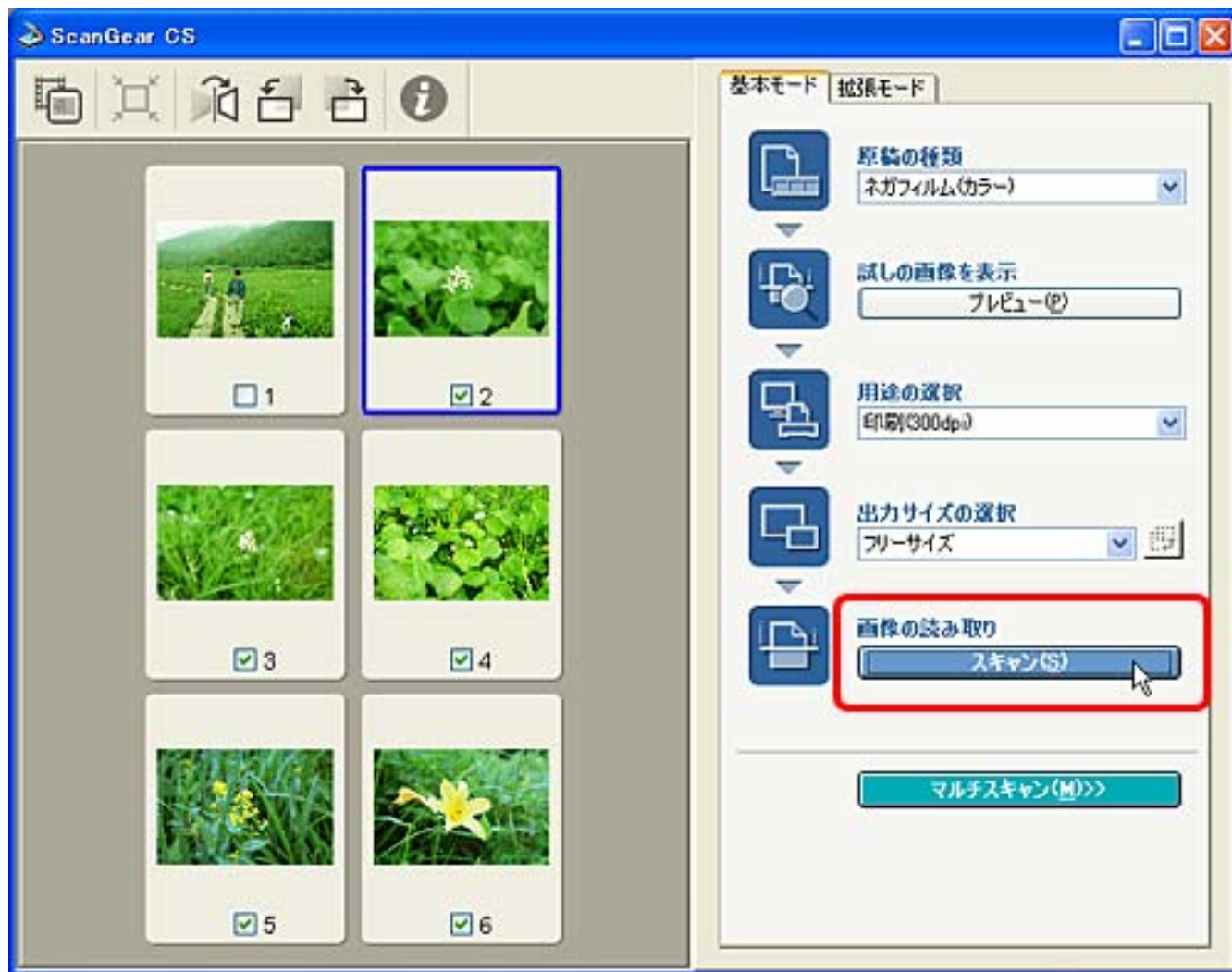
10 出力サイズを選択します。

用途が［印刷（300dpi）］の場合	用途が［画面表示（150dpi）］の場合
出力サイズの選択 フリーサイズ フリーサイズ L判 2L判 はがき A4 追加/削除...	出力サイズの選択 フリーサイズ フリーサイズ 640 x 480 ピクセル 800 x 600 ピクセル 1024 x 768 ピクセル 1600 x 1200 ピクセル 2048 x 1536 ピクセル 追加/削除...

- ［フリーサイズ］を選ぶと、35mmフィルムをL判（8.9 x 12.7cm）相当に拡大してスキャンします。
- ［フリーサイズ］以外を選ぶと：
  - ［印刷（300dpi）］の場合、出力サイズを用紙サイズで指定できます。クロップ枠で囲んだスキャン範囲を、その大きさになるように、自動的に拡大／縮小して出力します。「追加/削除」では任意の出力サイズを設定できます。
  - ［画面表示（150dpi）］の場合、出力サイズの縦横をピクセル数で選択できます（ピクセルとは、画像を構成する１つ１つの点のことです）。これらの縦横のピクセル数は、通常ディスプレイ（コンピュータのモニタ）で設定できる画面の大きさと同じですので、そのまま壁紙として使えます。また、デジタルカメラでも設定できる出力サイズですので、スキャンした画像を、デジタルカメラで撮影した画像と一緒に管理することもできます。［追加/削除］では任意の出力サイズを縦横のピクセル数で設定できます。

- ［追加/削除］で削除できる出力サイズは、追加で作成したものだけです。元から用意されている出力サイズを削除することはできません。

スキャンするすべてのコマについて、手順9、10を行います。

11 ［スキャン］ボタンをクリックします。

12 ScanGear CSを、クローズボックス（Windows）または（Macintosh）をクリックして終了します。
画像はアプリケーションソフトに渡されます。

13 画像を必要に応じて保存します。
保存のしかたはアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

14 フィルムのスキャンがすべて終わったら、原稿台カバーに保護シートを取り付けます。

- フィルムをスキャンしないときは、光源部を傷つけないために、かならず保護シートを取り付けておいてください。

先頭へ戻る▲

ScanGear CSの「拡張モード」でスキャンする

アプリケーションソフトでフィルムをスキャンする場合は、ScanGear CSを呼び出します。「拡張モード」では、解像度の他、色調整やフィルタなど、いろいろな機能を設定してスキャンできます。

1 原稿台カバーの保護シートを取りはずします。

2 原稿台へフィルムガイドを置き、フィルムをセットします。

保護シートの取り扱い方法、フィルムとフィルムガイドの取り扱い方法については、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

3 原稿台カバーを閉じます。

4 アプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出します。

＜例：PhotoStudioからScanGear CSを呼び出す方法＞

Windows

1. ［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5］を選択します。

2. ［ファイル］の［取り込み］を選択します。

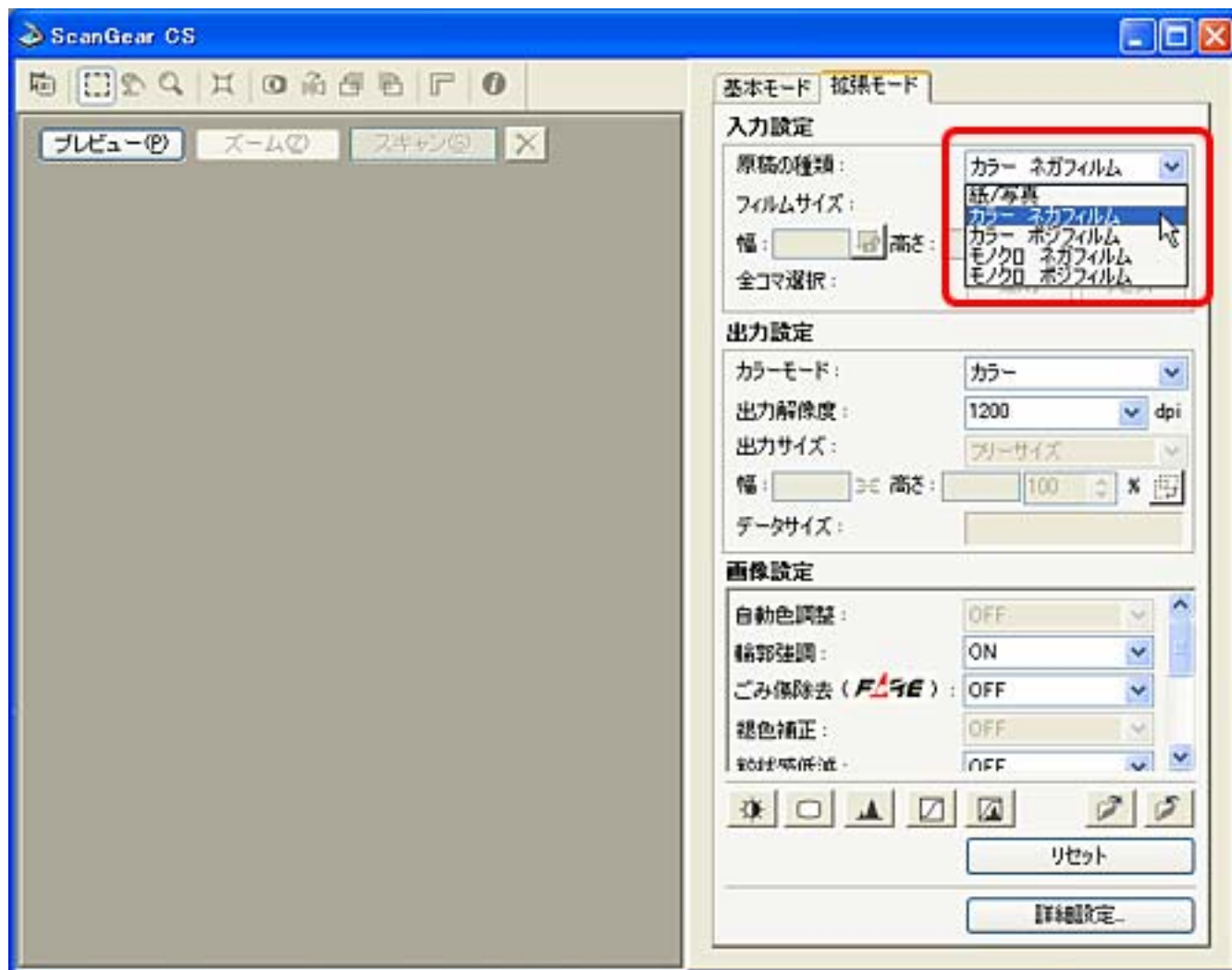
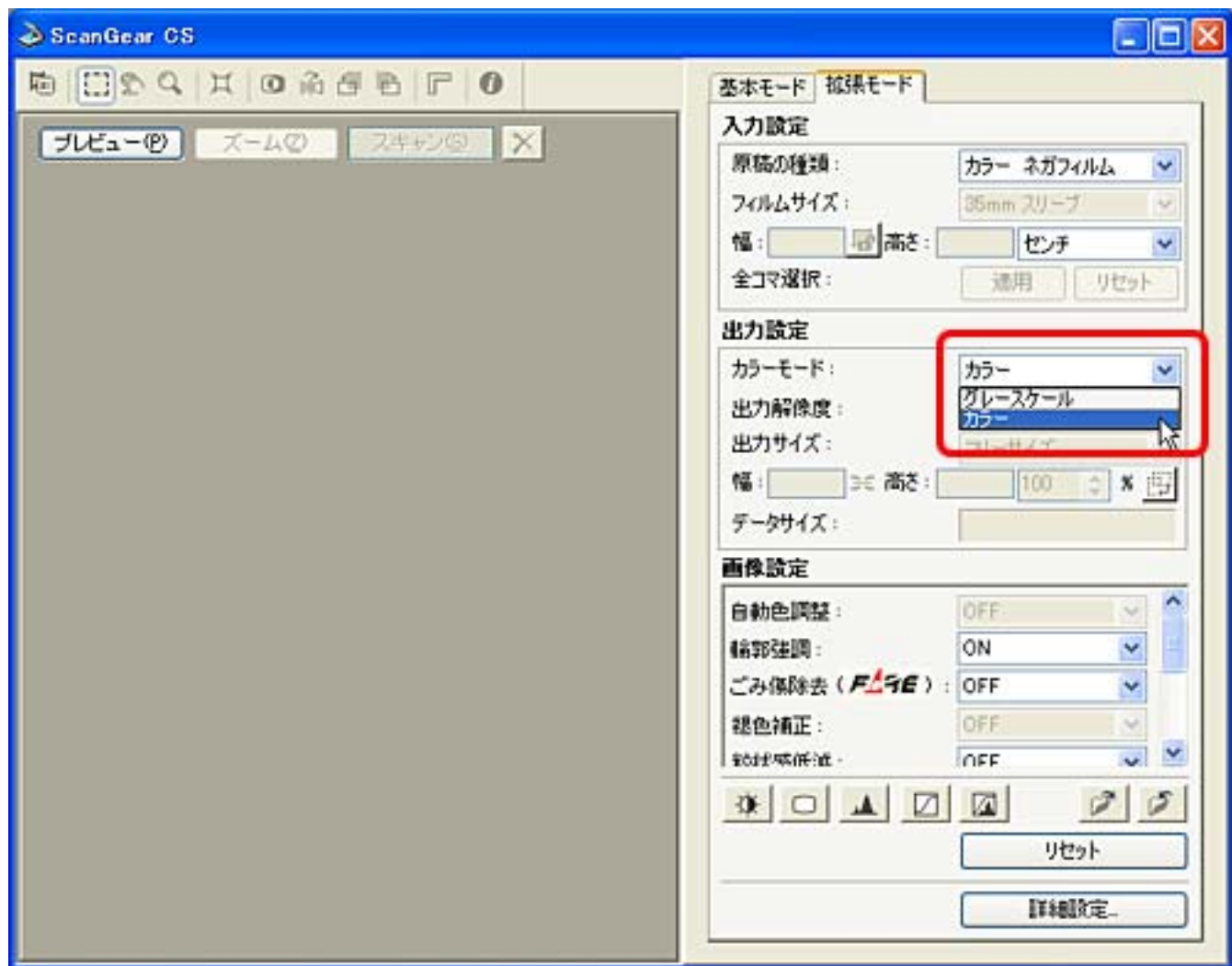
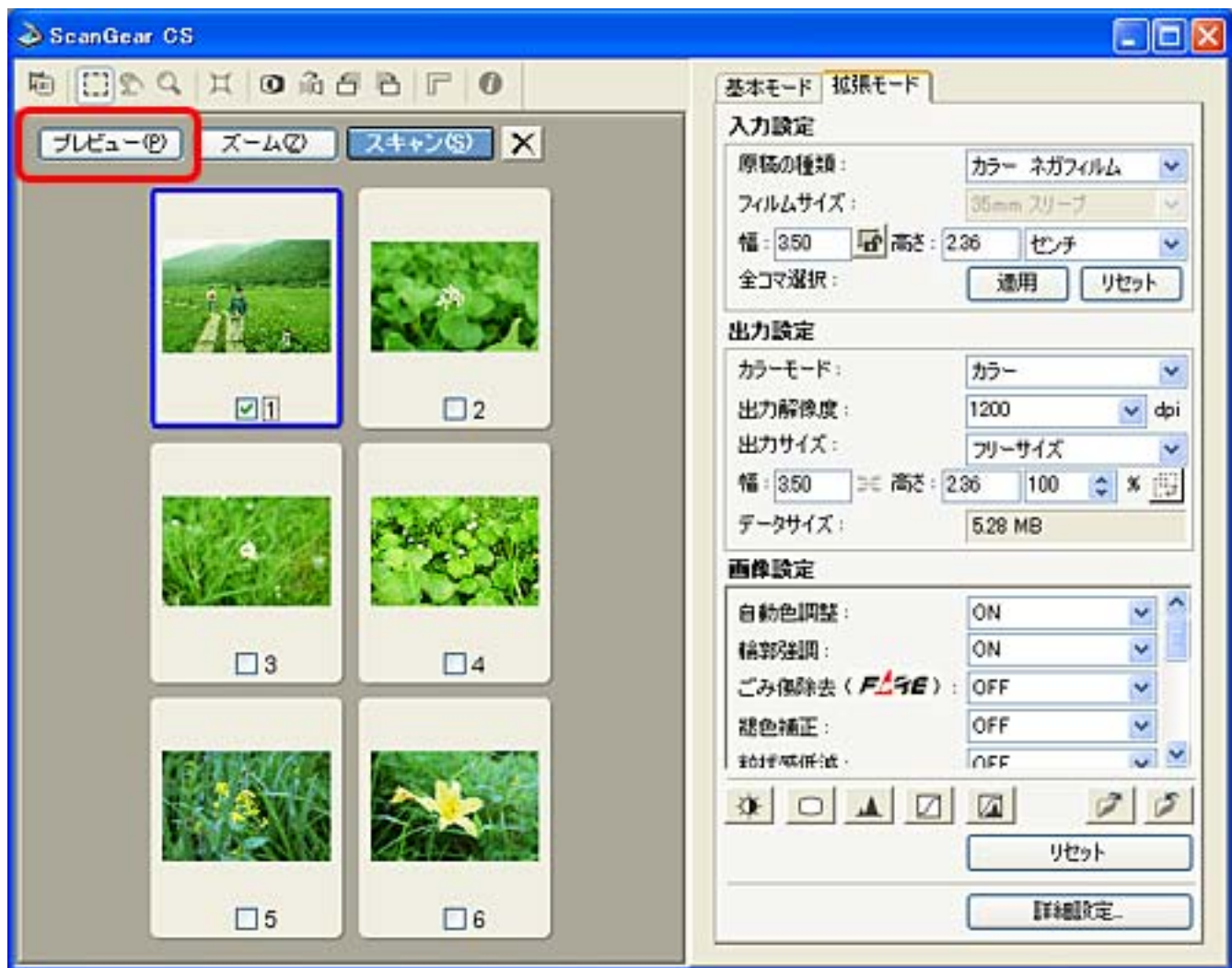
Macintosh

1. 「アプリケーション」フォルダ内の「PhotoStudio」フォルダを開き、［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

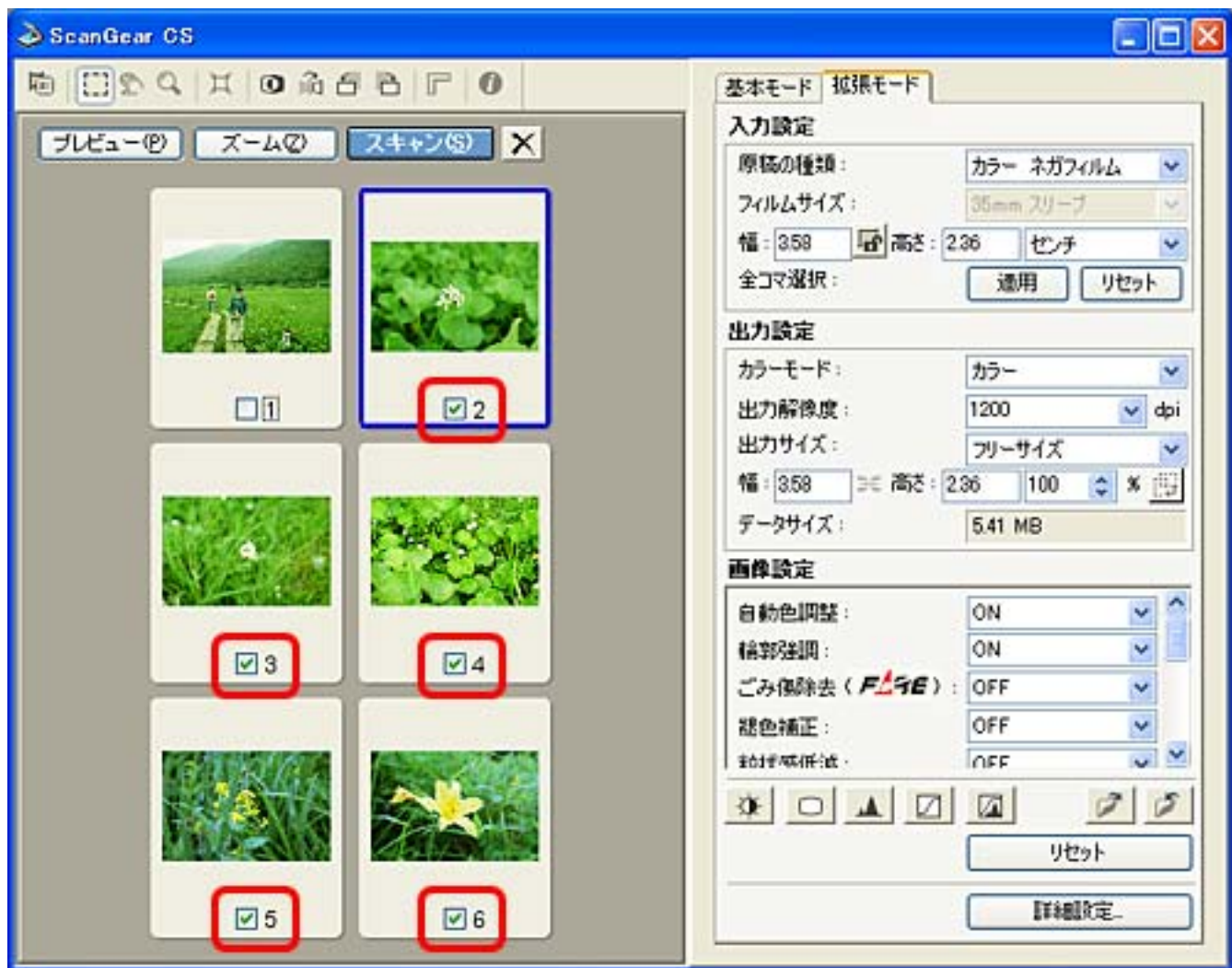
2. ［ファイル］の［取り込み］を選択します。

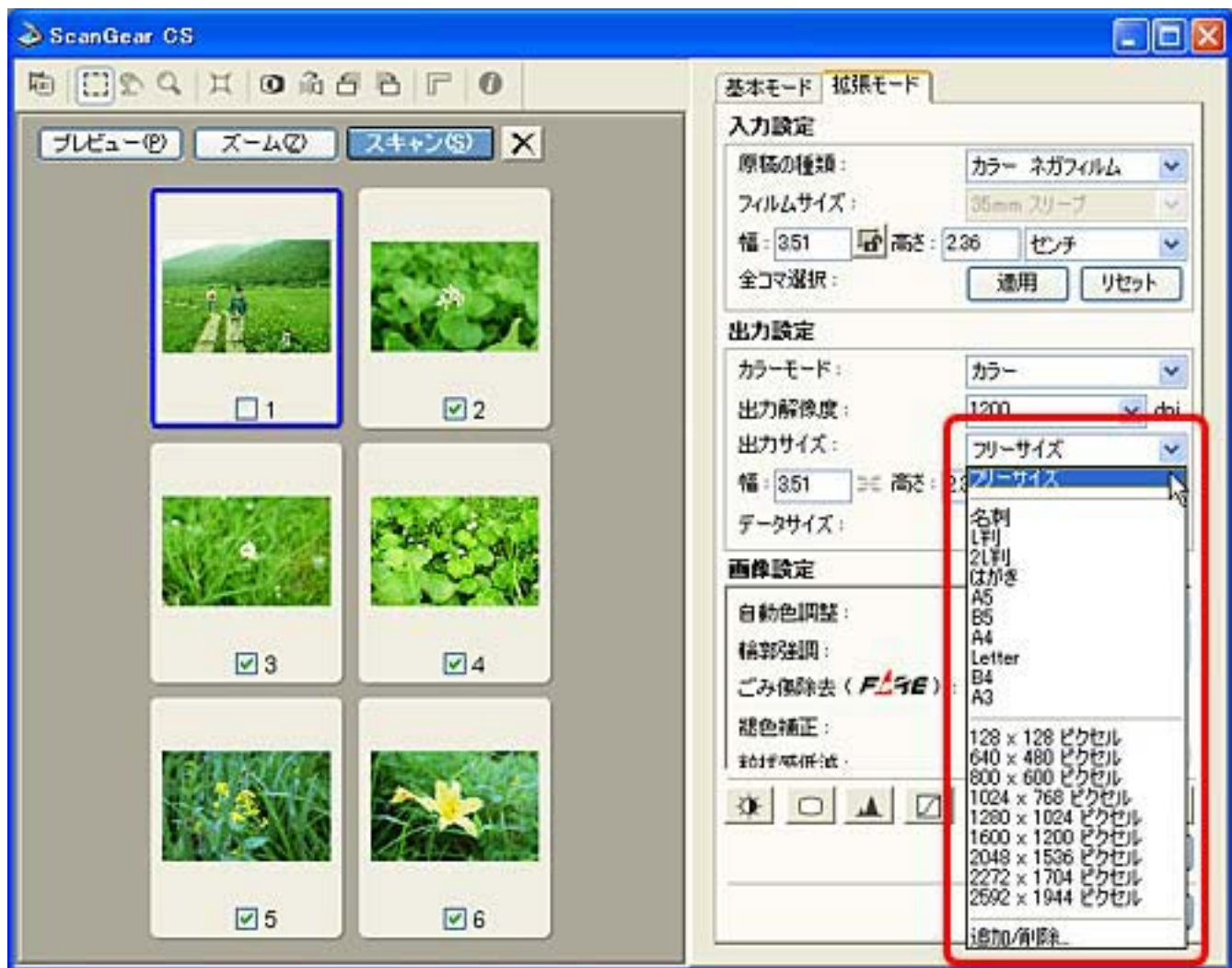
ScanGear CSの画面が表示されます。

5 ScanGear CSが「基本モード」のときは、「拡張モード」タブをクリックして「拡張モード」画面にします。

6 「原稿の種類」をセットしたフィルムに合わせて設定します。

7 「カラーモード」をスキャンしたい画像に合わせて設定します。

8 ［プレビュー］ボタンをクリックします。

コマのサムネイル（縮小画像）が表示されます。

・ コマが正しく表示されない場合は、フィルムガイドにセットしたフィルムの位置を調整してから、［プレビュー］ボタンを押し直してください。

9 スキャンするコマにチェックマークを付けます。
（1コマ目には、自動的にチェックマークが付けられています。スキャンする必要がなければ、チェックマークをクリックして、チェックマークをはずします。）

10 「出力サイズ」を選択します。

スキャンするすべてのコマ１つずつについて、クリックして青枠表示にしてから、「出力サイズ」を設定します。
（すべてのコマをフリーサイズでスキャンするときは、この操作は必要ありません）
必要ならスキャン範囲を指定します。→「プレビューエリア」

- フリーサイズ
  ［フリーサイズ］を選択すると、「出力解像度」を幅、高さ、倍率を選択できます。
  初期設定では「出力解像度」1200dpi、倍率100%になっていますので、目的に応じて設定し直してください。

- 印刷目的のサイズ
  ［名刺］、［L判］、［2L判］、［はがき］、［A5］、［B5］、［A4］、［Letter］、［B4］、［A3］から選択できます。
  「出力解像度」の初期設定は300dpiです。幅、高さ、倍率は選択できません。指定したクロップ枠の大きさに応じて、倍率が自動的に調整されます。

- 画面表示目的のサイズ
  ［128x128 ピクセル］、［640x480 ピクセル］、［800x600 ピクセル］、［1024x768 ピクセル］、［1280x1024 ピクセル］、［1600x1200 ピクセル］、［2048x1536 ピクセル］、［2272x1704 ピクセル］、［2592x1944 ピクセル］から選択できます。ディスプレイサイズやデジタルカメラの出力サイズに合わせることができます。
  「出力解像度」の初期設定は150dpiです。幅、高さ、倍率は選択できません。サイズを指定すると、そのサイズに応じてプレビュー画像が自動的にクロップされます。クロップ枠は縦横比を保ったままの拡大/縮小、移動ができます。

- 「出力解像度」は［フリーサイズ］、「印刷目的のサイズ」、「画面表示目的のサイズ」の各用途ごとに別々に設定することができます。また、1つの用途内では、同じ「出力解像度」が使用されます。
- 「出力解像度」を必要以上に大きく設定すると警告メッセージが表示されます。そのままスキャンを行った場合、スキャン時間が長くかかったり、ファイル容量が非常に大きくなることがあります。

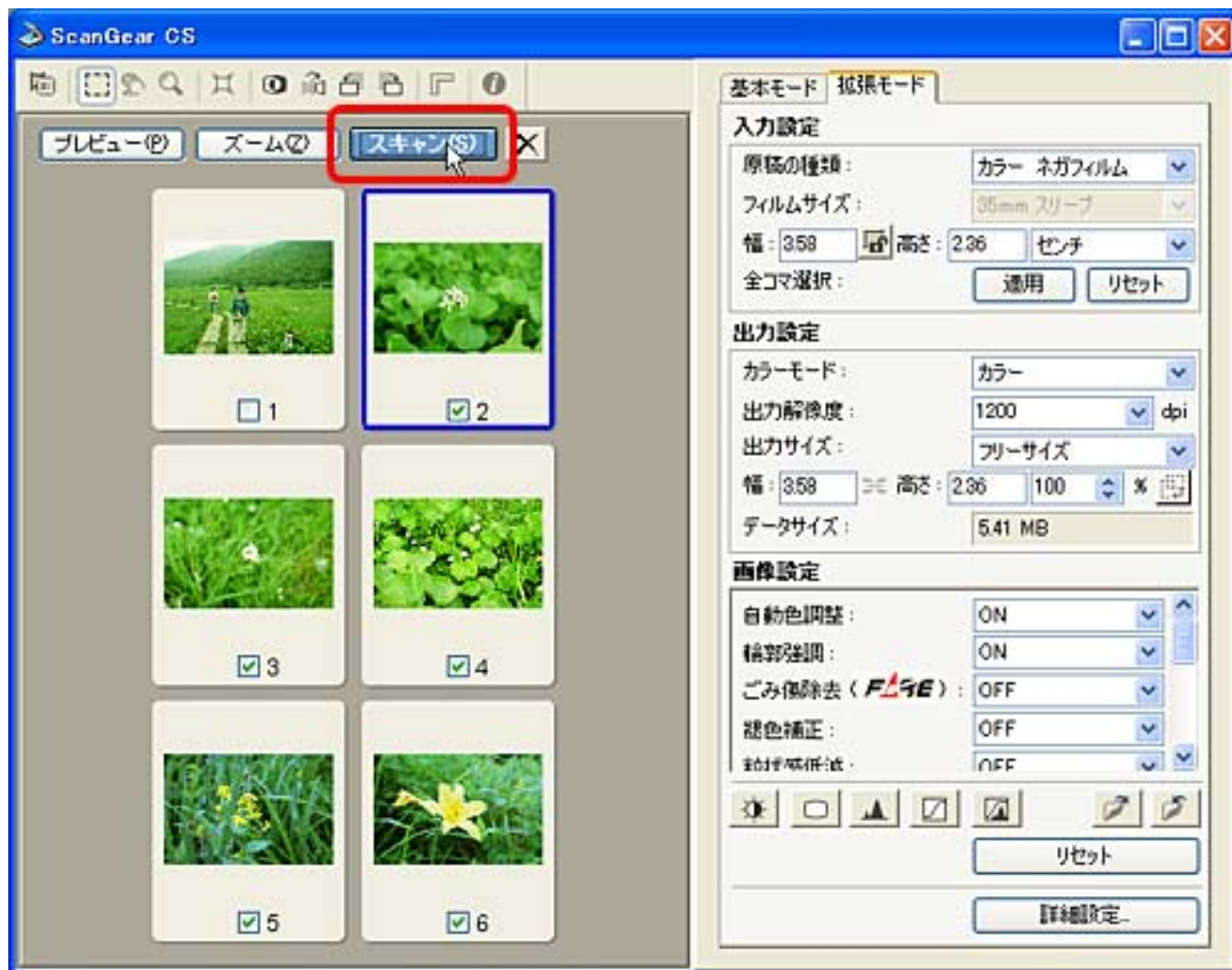
保存容量のめやす
35mmカラーフィルムをL判サイズに拡大する場合

「出力解像度」と出力サイズの設定	倍率	実際にスキャンする解像度	データ容量
300dpi、L判	約4倍	約1200dpi (300 dpi x 400%)	4.51MB
600dpi、L判	約4倍	約2400dpi (600dpi x 400%)	18.05MB
1200dpi、L判	約4倍	約4800dpi (1200dpi x 400%)	72.20MB
2400dpi、L判	約4倍	約9600dpi (2400dpi x 400%)	288.80MB

※データ容量はBMP、PICTで保存した場合です。JPEGなど圧縮ファイル形式で保存すると、容量は小さくなります。

11 その他の項目を必要に応じて設定します。

→「「拡張モード」の機能」

12 ［スキャン］ボタンをクリックします。

13 ScanGear CSを、クローズボックス ✖（Windows）または ⊗（Macintosh）をクリックして終了します。
画像はアプリケーションソフトに渡されます。

14 画像を必要に応じて保存します。
保存のしかたはアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

15 フィルムのスキャンがすべて終わったら、原稿台カバーに保護シートを取り付けます。

! ・ フィルムをスキャンしないときは、光源部を傷つけないために、かならず保護シートを取り付けておいてください。

先頭へ戻る▲

ScanGear CSの使いかた

ScanGear CSは、スキャナにセットされた原稿をスキャンするためのドライバソフトです。

ScanGear CSには、簡単な設定だけで手早くスキャンできる「基本モード」と、より細かな設定でスキャンできる「拡張モード」があります。

- ここでの操作を行うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

先頭へ戻る▲

ScanGear CSの起動

アプリケーションからの起動
ScanGear Starterからの起動

アプリケーションからの起動

ScanGear CSはTWAIN（トウェイン）という規格のスキャナ用のドライバソフトで、その規格に対応したアプリケーションソフトから起動します。
一般的に、TWAIN対応のアプリケーションソフトからScanGear CSを起動する場合、TWAIN機器を選択（ソースの選択ともいいます）してから、「入力」や「取り込み」などの機能をメニューから選びます。
ここでは、ArcSoft PhotoStudioからScanGear CSを起動する例で説明します。

 ・ ScanGear CSを起動するときは、スキャナが正しく接続されていることを確認してください。

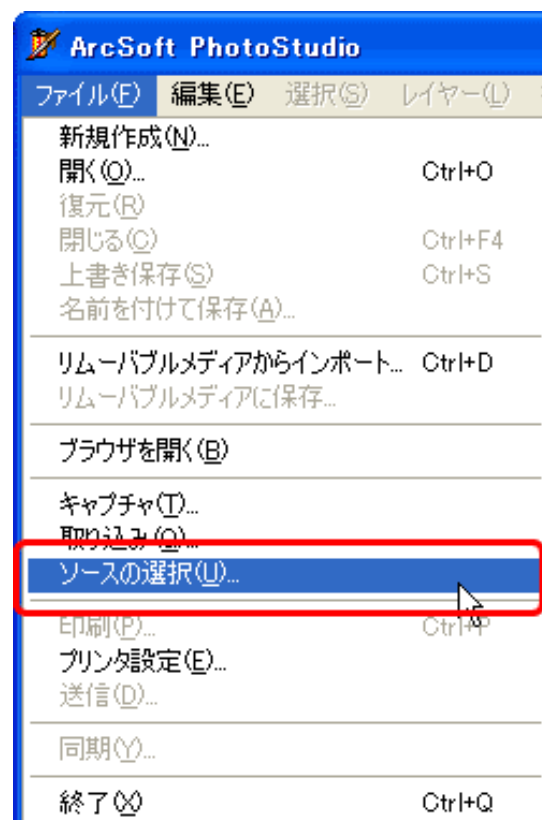
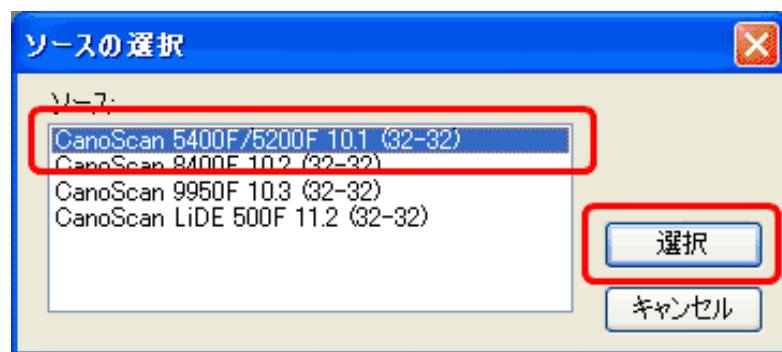
1 PhotoStudioを起動します。

Windows

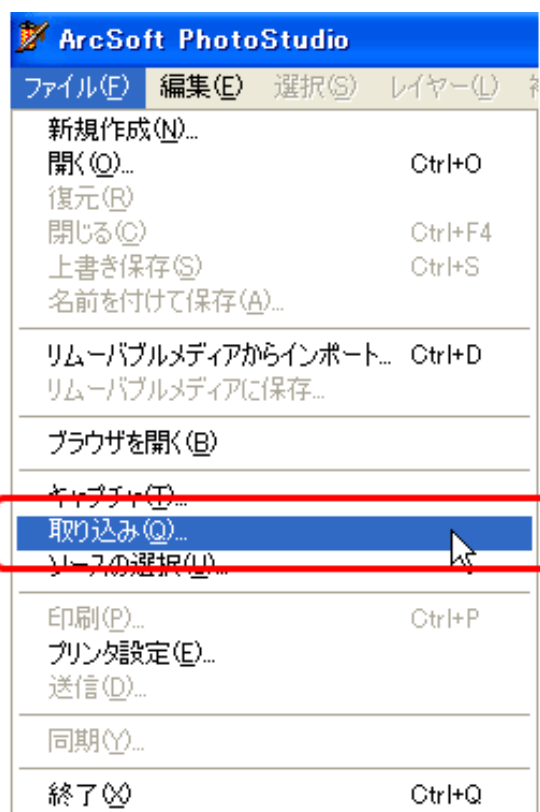
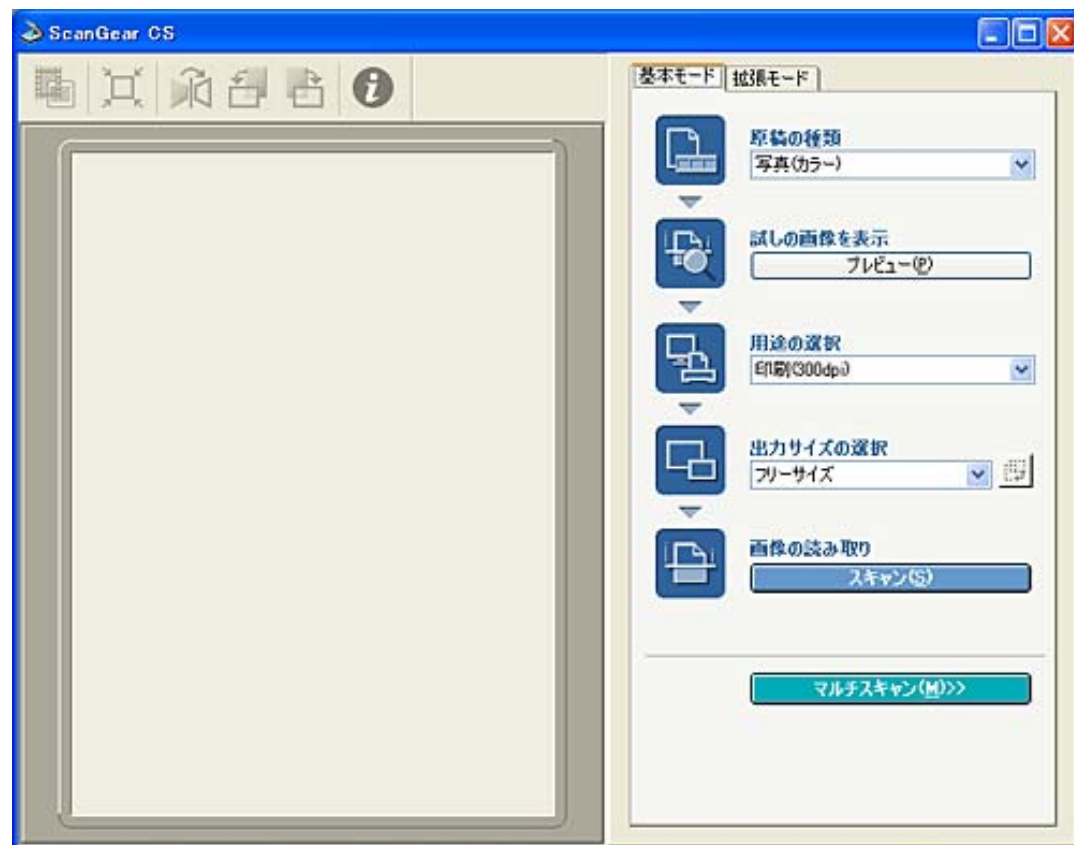
［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5］を選択します。

Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［PhotoStudio］フォルダを開き、［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

2 スキャナを選択します。
［ファイル］メニューから［ソースの選択］を選択します。

「ソースの選択」画面が表示されます。
お使いのスキャナ名を選択して［選択］（Windows）/［OK］（Macintosh）をクリックします。

* OSにより若干表示が異なります。

・この操作は最初に設定しておけば、2回目以降必要ありません。他のスキャナやデジタルカメラを選択したあとは、再設定が必要です。

3 ScanGear CSを起動します。
［ファイル］メニューから［取り込み］を選択します。

ScanGear CSの画面が表示されます。

- CanoScan ToolboxからScanGear CSを起動する手順については、「ボタンの機能」の各ボタン画面で表示される「スキャナドライバを表示する」の解説をご覧ください。

- ScanGear CSの設定で、［スキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる］をオンに設定しているときは、スキャンが終了するとScanGear CSは自動的に終了します。（インストール直後の状態では、オフに設定されています。→「「拡張モード」／詳細設定」の「スキャンシート」の「スキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる」
- アプリケーションソフトによっては、［スキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる］をオンに設定していなくても、スキャン後ScanGear CSのウィンドウを自動的に閉じるものもあります。

先頭へ戻る▲

ScanGear Starterからの起動

ScanGear Starterを使用すると、簡単にScanGear CSを起動することができます。

Windows

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［ScanGear Starter］→［ScanGear Starter］を選択します。

Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［ScanGear Starter 1.1J］フォルダを開き、［ScanGear Starter 1.1J］アイコンをダブルクリックします。

ScanGear CSの画面が表示されます。

- 複数のスキャナをご使用の場合、「スキャナの選択」画面が表示されます。お使いのスキャナ名を選択してください。
- ScanGear Starterは、ScanGear CSを起動して、スキャンした画像を保存します。スキャン画像の保存については、「ScanGear Starterで画像を保存する」を参照してください。

ScanGear CSの使いかた

- ScanGear CSの起動
- スキャンの手順
- 「基本モード」の機能
- 「拡張モード」の機能

スキャンの手順

ScanGear CSを使ったスキャンには、「基本モード」を使う方法と「拡張モード」を使う方法があります。ここでは基本的な操作の手順を簡単に説明します。

■紙/写真原稿のとき
「基本モード」のスキャン手順
「拡張モード」のスキャン手順

■フィルム原稿のとき
「基本モード」のスキャン手順
「拡張モード」のスキャン手順

■紙/写真原稿のとき

「基本モード」のスキャン手順

1. 「原稿の種類」を[写真（カラー）]、[雑誌（カラー）]、[新聞（白黒）]、[文書（グレー）]から選択します。
2. ［プレビュー］ボタンをクリックして試しの画像を表示します。
3. スキャン範囲を指定（クロップ）します。
4. 「用途の選択」をします。
5. 「出力サイズの選択」をします。
6. 必要があれば、ツールバーのボタンで画像を調整します。
7. ［スキャン］ボタンをクリックします。

詳しくは、「「基本モード」の機能」をご覧ください。

- 複数の原稿を一度にスキャンしたいときは、手順1の次に［マルチスキャン］ボタンをクリックし、「マルチスキャン」画面で「カラーモード」や「解像度」などを設定し、［次へ］ボタンをクリックしてください。
- ScanGear StarterでScanGear CSを起動した場合、スキャンボタンをクリックしてスキャンをおこなったあと、ScanGear CSを終了させると、「スキャン画像の保存」画面にスキャンした画像が表示されます。スキャン画像の保存については、「ScanGear Starterで画像を保存する」を参照してください。

先頭へ戻る▲

「拡張モード」のスキャン手順

1 「原稿の種類」で、［紙/写真］を選択します。

2 ［プレビュー］ボタンをクリックします。

3 「カラーモード」を選択します。

4 「出力サイズ」を選択します。
［フリーサイズ］の初期設定は、「出力解像度」300dpiです。
［名刺］、［L判］などは印刷目的のサイズです。初期設定は、「出力解像度」300dpiです。
［128x128ピクセル］などは、画面表示目的のサイズです。初期設定は、「出力解像度」150dpiです。

5 スキャン範囲を指定（クロップ）します。

6 必要があれば、「出力解像度」も変更します。
［フリーサイズ］の場合、「幅」、「高さ」、「倍率」も選択できます。

7 必要があれば、ツールバーのボタンや画像設定で、画像を調整します。

8 ［スキャン］ボタンをクリックします。

詳しくは、「「拡張モード」の機能」をご覧ください。

- 「出力サイズ」が［フリーサイズ］以外のときには、［マルチクロップ］の［適用］ボタンは使用できません。
- ScanGear StarterでScanGear CSを起動した場合、スキャンボタンをクリックしてスキャンをおこなったあと、ScanGear CSを終了させると、「スキャン画像の保存」画面にスキャンした画像が表示されます。スキャン画像の保存については、「ScanGear Starterで画像を保存する」を参照してください。

先頭へ戻る▲

■フィルム原稿のとき

「基本モード」のスキャン手順

1 「原稿の種類」を、［ネガフィルム（カラー）］または［ポジフィルム（カラー）］から選択します。

2 ［プレビュー］ボタンをクリックして試しの画像を表示します。

3 サムネイルにチェックを付けて、スキャンするコマを選択します。

4 1コマずつクリックして青枠を表示させます。

5 「用途の選択」をします。

6 「出力サイズの選択」をします。
［フリーサイズ］を選択したときは、35mmフィルムをL判（8.9×12.7cm）相当に拡大してスキャンします。
［名刺］、［L判］などは、「用途を選択する」で［印刷（300dpi）］を選んだときに表示されます。
［128x128ピクセル］などは、「用途を選択する」で［画面表示（150dpi）］を選んだときに表示されます。

必要があれば、ツールバーのボタンで画像を調整します。

7
8 ［スキャン］ボタンをクリックします。

詳しくは、「「基本モード」の機能」をご覧ください。

- モノクロフィルムのスキャンは「拡張モード」で行います。

- 複数のコマを一度にスキャンしたいときは、手順1の次に［マルチスキャン］ボタンをクリックし、「マルチスキャン」画面で「カラーモード」や「解像度」などを設定し、［次へ］ボタンをクリックしてください。
- ScanGear StarterでScanGear CSを起動した場合、スキャンボタンをクリックしてスキャンをおこなったあと、ScanGear CSを終了させると、「スキャン画像の保存」画面にスキャンした画像が表示されます。スキャン画像の保存については、「ScanGear Starterで画像を保存する」を参照してください。

先頭へ戻る▲

「拡張モード」のスキャン手順

1 「原稿の種類」を、［カラー　ネガフィルム］、［カラー　ポジフィルム］、［モノクロ　ネガフィルム］、［モノクロ　ポジフィルム］から選択します。

2 ［プレビュー］ボタンをクリックします。

3 「カラーモード」を選択します。

4 サムネイルにチェックを付けて、スキャンするコマを選択します。

5 1コマずつクリックして青枠を表示させます。

6 「出力サイズ」を選択します。
［フリーサイズ］の初期設定は、「出力解像度」1200dpi、倍率100%です。
［名刺］、［L判］などは印刷目的のサイズです。初期設定は、「出力解像度」300dpiです。
［128x128ピクセル］などは、画面表示目的のサイズです。初期設定は、「出力解像度」150dpiです。

7 必要があれば、ツールバーのボタンや画像設定で、画像を調整します。

8 必要があれば、「出力解像度」を指定します。
［フリーサイズ］の場合、「幅」、「高さ」、「倍率」も選択できます。

9 ［スキャン］ボタンをクリックします。

詳しくは、「「拡張モード」の機能」をご覧ください。

- 複数のコマをスキャンするときの「出力解像度」は、［フリーサイズ］、印刷目的のサイズ、画面表示目的のサイズの各用途内で、それぞれ1種類ずつ設定できます。
- ScanGear StarterでScanGear CSを起動した場合、スキャンボタンをクリックしてスキャンをおこなったあと、ScanGear CSを終了させると、「スキャン画像の保存」画面にスキャンした画像が表示されます。スキャン画像の保存については、「ScanGear Starterで画像を保存する」を参照してください。

先頭へ戻る▲

「基本モード」の機能

簡単な操作ですぐにスキャンできるのが「基本モード」です。ScanGear CS をインストールした直後には、このモードになっています。「原稿の種類」、「用途の選択」と「出力サイズの選択」を選ぶだけで、使用目的に合った「カラーモード」や「解像度」を設定することができます。スキャンの操作にあまり慣れていない方はこのモードをお使いください。

「原稿の種類」が[写真（カラー）]、[雑誌（カラー）]、[新聞（白黒）]、［文書（グレー）］の場合

下の画面の枠内をクリックすると説明文にジャンプします。

マニュアルでの表記について

ScanGear CSの「基本モード」の「原稿の種類」の、[写真（カラー）]、[雑誌（カラー）]、[新聞（白黒）]、[文書（グレー）]を［紙／写真］と表記している箇所があります。

「原稿の種類」が［ネガフィルム（カラー）］、［ポジフィルム（カラー）］の場合

下の画面の枠内をクリックすると説明文にジャンプします。

マニュアルでの表記について

ScanGear CSの「基本モード」の「原稿の種類」の、［ネガフィルム（カラー）］、［ポジフィルム（カラー）］を［フィルム］と表記している箇所があります。

- 「原稿の種類」で［ネガフィルム（カラー）］または［ポジフィルム（カラー）］を選ぶとプレビューエリアはフィルムの表示に変わります。
- モノクロフィルムをスキャンする場合は、アプリケーションソフトからScanGear CSを起動させて「拡張モード」でスキャンしてください。→「フィルムをスキャンする」の「ScanGear CSの「拡張モード」でスキャンする」

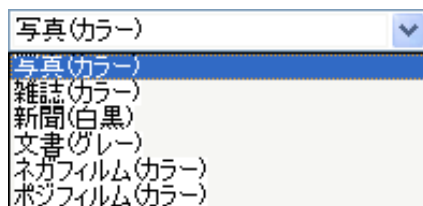
ツールバー

ツールバーのボタンを使うと、サムネイル表示（フィルムスキャン時）、オートクロップ（紙/写真スキャン時）、反転、回転、スキャン情報の表示などができます。

各ボタンの詳しい説明は「ツールバーのボタン」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

設定項目と操作のボタン

「原稿の種類」

紙や写真をスキャンするときは読み取る原稿に合わせて、[写真（カラー）]、[雑誌（カラー）]、[新聞（白黒）]、[文書（グレー）]を、フィルムをスキャンするときは［ネガフィルム（カラー）］または［ポジフィルム（カラー）］を選びます。

タイプ	使いかた
［写真（カラー）］	カラー写真をスキャンするとき
［雑誌（カラー）］	カラーの雑誌をスキャンするとき
［新聞（白黒）］	文字や線画だけの原稿をスキャンするとき
［文書（グレー）］	カラーの写真や原稿をモノクロでスキャンしたいとき 特に高解像度のモノクロ画像が必要なとき
［ネガフィルム（カラー）］	35mmのカラーネガフィルム（スリーブ）をスキャンするとき
［ポジフィルム（カラー）］	35mmのカラーポジフィルム（スリーブ、またはマウント）をスキャンするとき

先頭へ戻る▲

試しの画像を表示 プレビュー(P) ［プレビュー］ボタン

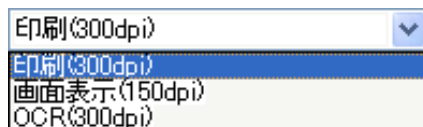
試しに原稿を読み取るときに使います。

「原稿の種類」が[写真（カラー）]、[雑誌（カラー）]、[新聞（白黒）]、[文書（グレー）]の場合
［プレビュー］ボタンをクリックすると、画像は「原稿サイズ」に合わせて自動的にクロップされます。プレビューエリアには読み込まれた画像（試しの画像）が表示されます。

「原稿の種類」が［ネガフィルム（カラー）］、［ポジフィルム（カラー）］の場合
［プレビュー］ボタンをクリックすると、フィルムが読み取られ、表示されます。

・スキャナをはじめて使う場合、自動的にスキャナの補正（キャリブレーション）が行われます。続いてプレビューが開始されるまでしばらくお待ちください。

先頭へ戻る▲

「用途の選択」

スキャンした画像を［印刷（300dpi）］か［画面表示（150dpi）］か［OCR（300dpi）］かを選択します。
［OCR］は「原稿の種類」が［新聞（白黒）］か［文書（グレー）］のときに選択できます。
選択した項目で選択できる「出力サイズ」が異なります。

タイプ	使いかた
［印刷（300dpi）］	スキャンした画像をプリンタで印刷するときに選択します。
［画面表示（150dpi）］	スキャンした画像をディスプレイで見るときに選択します。
［OCR（300dpi）］	「原稿の種類」で[新聞（白黒）]、[文書（グレー）]を選択したときだけ表示されます。OCRソフトで文字を読み取りたいときに選択します。

先頭へ戻る▲

「出力サイズの選択」

画面に表示する大きさ、または印刷の大きさをプルダウンメニューから選択します。
「原稿の種類」と用途で選択できる内容が異なります。

「原稿の種類」が[写真（カラー）]、[雑誌（カラー）]、[新聞（白黒）]または[文書（グレー）]の場合

「用途の選択」で［印刷（300dpi）］を選択した場合	フリーサイズ フリーサイズ L判 2L判 はがき A4 追加/削除...
「用途の選択」で［画面表示（150dpi）］を選択した場合	フリーサイズ フリーサイズ 640 x 480 ピクセル 800 x 600 ピクセル 1024 x 768 ピクセル 1600 x 1200 ピクセル 2048 x 1536 ピクセル 追加/削除...
「用途の選択」で［OCR（300dpi）］を選択した場合	フリーサイズ フリーサイズ

- ［フリーサイズ］を選ぶと、クロップしたサイズと同じ大きさでスキャンします。
- ［フリーサイズ］以外を選ぶと：
  - ［印刷（300dpi）］の場合、出力サイズを用紙サイズで指定できます。クロップ枠で指定したスキャン範囲を、その大きさになるように、自動的に拡大／縮小して出力します。［追加/削除］では任意の出力サイズを設定できます。
  - ［画面表示（150dpi）］の場合、出力サイズの縦横をピクセル数で選択できます（ピクセルとは、画像を構成する１つ１つの点のことです）。これらの縦横のピクセル数は、通常ディスプレイ（コンピュータのモニタ）で設定できる画面の大きさと同じですので、そのまま壁紙として使えます。また、デジタルカメラでも設定できる出力サイズですので、スキャンした画像を、デジタルカメラで撮影した画像と一緒に管理することもできます。［追加/削除］では任意の出力サイズを縦横のピクセル数で設定できます。

「原稿の種類」が［ネガフィルム（カラー）］または［ポジフィルム（カラー）］の場合

「用途の選択」で［印刷（300dpi）］を選択した場合	フリーサイズ フリーサイズ L判 2L判 はがき A4 追加/削除...
「用途の選択」で［画面表示（150dpi）］を選択した場合	フリーサイズ フリーサイズ 640 x 480 ピクセル 800 x 600 ピクセル 1024 x 768 ピクセル 1600 x 1200 ピクセル 2048 x 1536 ピクセル 追加/削除...

- ［フリーサイズ］を選ぶと、35mmフィルムをL判（8.9 x 12.7cm）に拡大してスキャンします。
- ［フリーサイズ］以外を選ぶと：
  - ［印刷（300dpi）］の場合、出力サイズを用紙サイズで指定できます。クロップ枠で指定したスキャン範囲を、その大きさになるように、自動的に拡大／縮小して出力します。［追加/削除］では任意の出力サイズを設定できます。
  - ［画面表示（150dpi）］の場合、出力サイズの縦横をピクセル数で選択できます（ピクセルとは、画像を構成する１つ１つの点のことです）。これらの縦横のピクセル数は、通常ディスプレイ（コンピュータのモニタ）で設定できる画面の大きさと同じですので、そのまま壁紙として使えます。また、デジタルカメラでも設定できる出力サイズですので、スキャンした画像を、デジタルカメラで撮影した画像と一緒に管理することもできます。［追加/削除］では任意の出力サイズを縦横のピクセル数で設定できます。

- ［フリーサイズ］以外を選択すると、サイズに応じたクロップ枠（選択範囲）が表示されます。

  クロップ枠の縦横を90度回転するときは右側の（縦横比切り替えボタン）をクリックしてください。
  枠の大きさや位置はマウスドラッグで変更できます。ただし、縦横比は変更できません。
  マウスドラッグのしかたについては「プレビューエリア」をご覧ください。

- 「追加/削除」を選択すると、次のような「出力サイズの追加/削除」画面が表示されます。

出力サイズの追加/削除

出力サイズ名：新規設定

幅：12.70

高さ：8.90

単位：センチ

追加　削除

出力サイズ一覧：

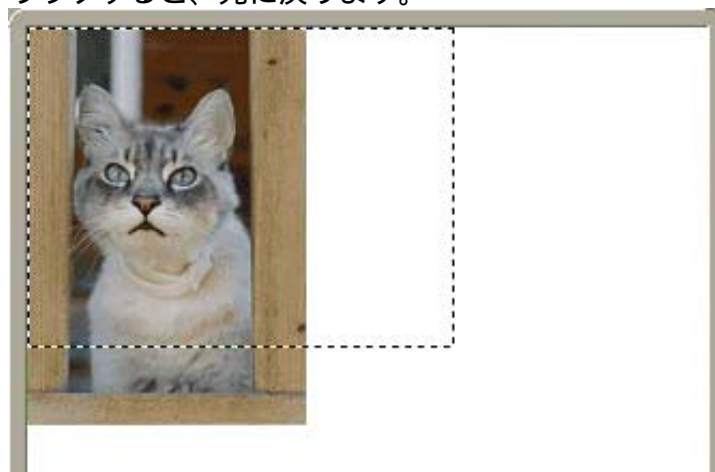
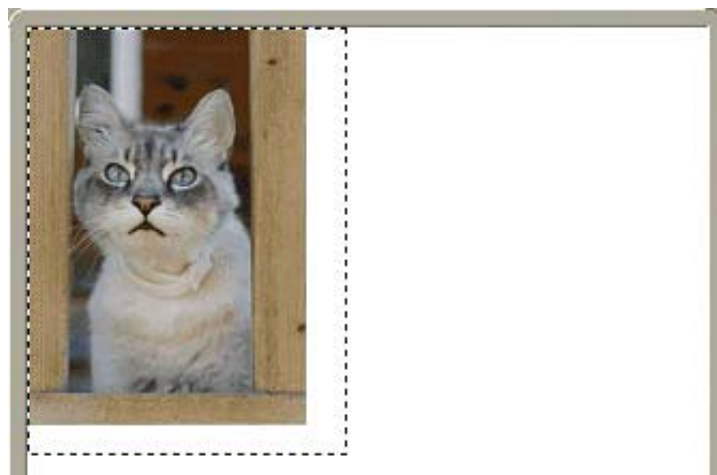
保存　キャンセル

「出力サイズ名」、「幅」、「高さ」を入力して［追加］ボタンを押すと「出力サイズ一覧」に登録されます。
［保存］ボタンを押すと、その設定が有効になると同時に「出力サイズ選択」のプルダウンメニューに名称が表示され、以降プルダウンメニューから選択できるようになります。

- 「出力サイズの追加/削除」で登録できる「出力サイズ」の数は、用途に応じて最大10個まで設定できます。
- ［削除］で削除できる出力サイズは、追加で作成したものだけです。元から用意されている出力サイズを削除することはできません。

先頭へ戻る▲

縦横比切り替えボタン

「出力サイズの選択」が、［フリーサイズ］以外のときに使用できる機能です。
このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横比を切り替えます。もう一度クリックすると、元に戻ります。

先頭へ戻る▲

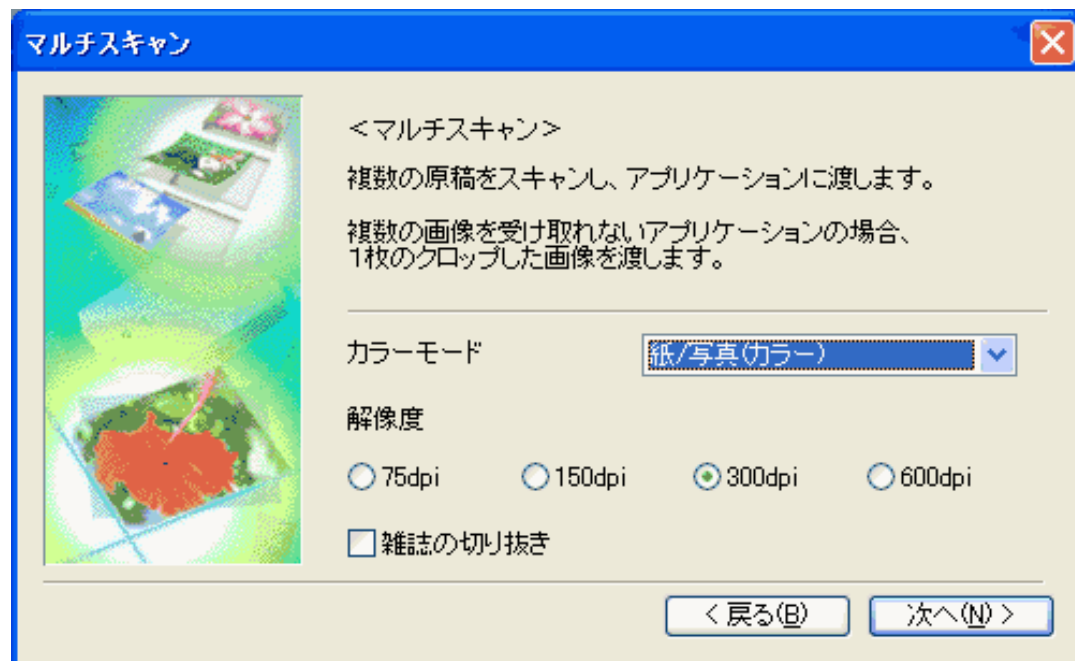
画像の読み取り スキャン(S) ［スキャン］ボタン

このボタンをクリックすると、画像が読み取られアプリケーションソフトに渡されます。アプリケーションソフトの画面には、読み取られた画像が表示されます。

- 範囲を指定していない場合は、「原稿サイズ」（オートクロップ）または「フィルムサイズ」で読み取られます。範囲を指定した場合は、その範囲の画像だけが読み取られます。→「プレビューエリア」
- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、［キャンセル］ボタンをクリックします。
- 読み取る画像の大きさが100MB以上になる場合、読み込みと画像処理のために時間がかかるため、注意をうながすメッセージが表示されます。スキャンを続ける場合は［OK］ボタンを、スキャンを中止する場合は［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

先頭へ戻る▲

マルチスキャン(M)>> ［マルチスキャン］ボタン（紙／写真）

マルチスキャンを使うと、原稿台に置かれた複数枚の原稿を自動的に検出し、枚数分の画像として読み取ることができます。原稿台に置かれた原稿がわずかに斜めになっていても、傾斜が10度以内ならば自動的に補正されます。→「原稿の置きかた」
［マルチスキャン］ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。

設定項目を選択して［次へ］ボタンをクリックすると、マルチスキャンが開始され、スキャンされた複数の原稿がアプリケーションソフトの画面に表示されます。

「カラーモード」	［紙/写真（カラー）］、［紙/写真（グレー）］、［紙/写真（白黒）］の中から選択します。
「解像度」	［75dpi］、［150dpi］、［300dpi］、［600dpi］の中から選択します。
「雑誌の切り抜き」	本や雑誌に印刷されている写真や絵をスキャンするときに選択します。「モアレ」と呼ばれる濃淡のむらや縞模様が現れるのを防ぎます。

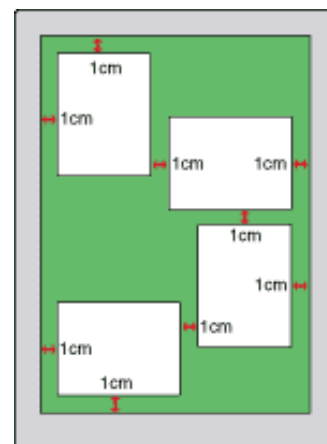
マルチスキャンを中止するには、［戻る］ボタンをクリックしてScanGear CSのメインウィンドウに戻ります。

 Macintosh

- 「解像度」に［600dpi］は選択できません。
- 「雑誌の切り抜き」を選択すると、［300dpi］と［600dpi］は選択できなくなります。

原稿の置きかた

次の点に注意して、原稿を原稿台に置いてください。

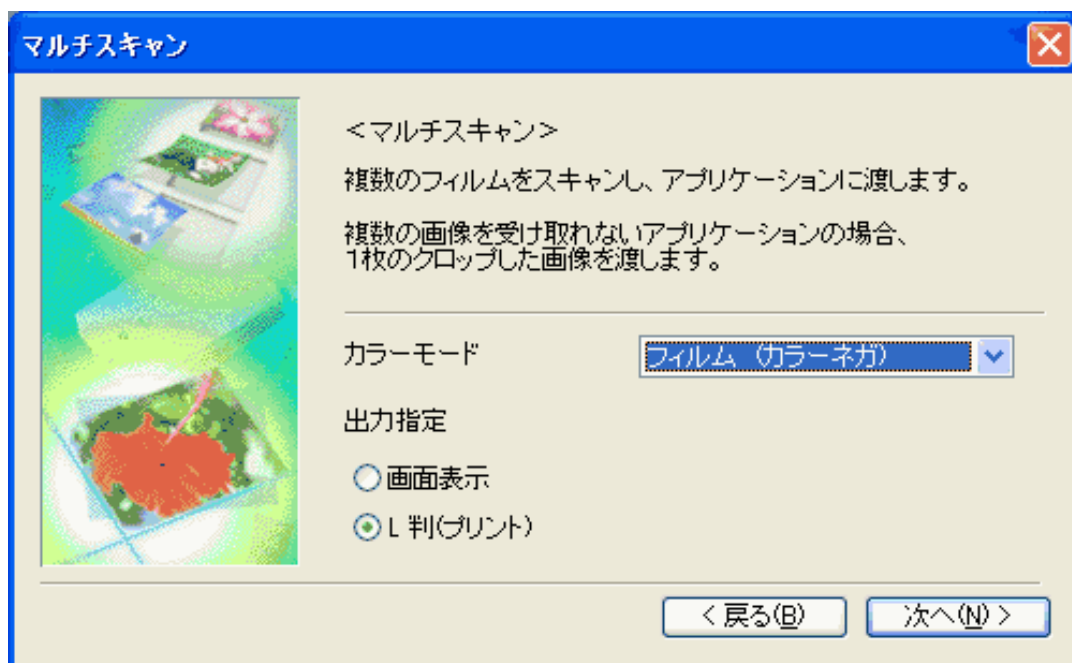
- 以下のそれぞれの間隔は1cm以上にしてください。
  - 原稿と原稿の間
  - 原稿台の左右の端と写真の間
  - 原稿台の奥の端と原稿の間
  - 原稿台の手前（EZボタン側）の端と原稿の間
- 原稿の枚数の制限は10枚です。
- 原稿がわずかに斜めになっていても斜度が10度以内ならば自動的に補正されます。

- 全体が白っぽい原稿、周囲が白っぽい原稿では、正しく機能しないことがあります。
- 写真以外の原稿（特に白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など）では正しく機能しないことがあります。
- プレスキャンやクロップ（スキャン範囲の切り取り）、スキャンが行われている間は、原稿台カバーを開けないでください。
  スキャンが終了すると、再び、ScanGear CSのメインウィンドウが表示されます。

- 複数枚の画像を受け取ることができないアプリケーションソフトで「マルチスキャン」を行った場合、複数の原稿を1枚の画像としてスキャンして、アプリケーションソフトに渡されます。また、アプリケーションソフトによっては、マルチスキャンによってクロップされた画像のうち1枚目だけがアプリケーションソフトに渡される場合があります。その場合は、Toolbox、PhotoStudioなどを使用してマルチスキャンを行い、画像を保存した後、使用したいアプリケーションソフトで保存した画像を開いてください。
- マルチスキャンでは写真などの四角い原稿のみをサポートしています。
- 長方形以外の変型した写真（いろいろな形に切りぬいたような写真）は正しく認識できません。

- 「拡張モード」／「詳細設定」の「色の設定シート」で［推奨］が選択されている場合、画像1枚ずつに「自動色調整」が行われます。

先頭へ戻る▲

マルチスキャン(M)>>　［マルチスキャン］ボタン（フィルム）

マルチスキャンを使うと、フィルムのコマ数分の画像を読み取り、アプリケーションソフトに渡します。
［マルチスキャン］ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。

設定項目を選択して［次へ］ボタンをクリックすると、マルチスキャンが開始され、スキャンされた複数のコマ（フィルム画像）がアプリケーションソフトの画面に表示されます。

「カラーモード」	［フィルム（カラーネガ）］、［フィルム（カラーポジ）］のどちらかを選択します。
［画面表示］	ホームページで使う画像やパソコンの画面に表示するための画像をスキャンするときに選択します。150dpiの画像がアプリケーションソフトに手渡されます。
［L判（プリント）］	L判サイズ（8.9 x 12.7cm）相当でプリントしたいときに選択します。L判サイズ（8.9 x 12.7cm）になるように自動的に解像度が設定され、アプリケーションソフトに渡されます。

先頭へ戻る▲

拡張モード　「拡張モード」タブ

このタブをクリックすると、「拡張モード」に切り替わります。

- モードを切り替えても、2つのモードに共通の設定内容は、切り替え後のモードに引き継がれます。
- モードを切り替えた後にScanGear CSを終了すると、次回起動したときには、終了したときと同じモードで起動します。

先頭へ戻る▲

プレビューエリア

プレビューエリアは、［プレビュー］ボタンで読み込まれた試しの画像が表示される場所です。

「出力サイズの選択」で［フリーサイズ］を選んだとき

読み取り範囲の初期状態

「原稿の種類」が[写真（カラー）]、[雑誌（カラー）]、[新聞（白黒）]、[文書（グレー）]のときは、［プレビュー］ボタンで読み取られた画像には、自動的に原稿のサイズに合わせて（オートクロップ）、画像の周囲に枠（クロップ枠）が表示されます。
「原稿の種類」が［ネガフィルム（カラー）］、［ポジフィルム（カラー）］で、サムネイル非表示のときには「フィルムサイズ」に合わせて、枠（クロップ枠）が表示されます。サムネイル表示/非表示の操作方法は、「サムネイルボタン」をご覧ください。

読み取り範囲の指定

原稿の一部分を読み取りたいときは、マウスのドラッグで範囲を指定することができます。
範囲が指定された状態で［スキャン］ボタンをクリックすると、指定した範囲だけが読み取られ、アプリケーションソフトに渡されます。

読み取り範囲の変更

すでに指定されている範囲を変更する場合は、次のような操作で変更できます。

マウスポインタをクロップ枠上に合わせると、形状が↔↕↖↗に変わります。そのまま矢印の方向へマウスドラッグすると、クロップ枠が拡大・縮小します。

マウスポインタをクロップ枠の内側に合わせると、形状が✥に変わります。そのままマウスドラッグすると、クロップ枠全体が移動します。

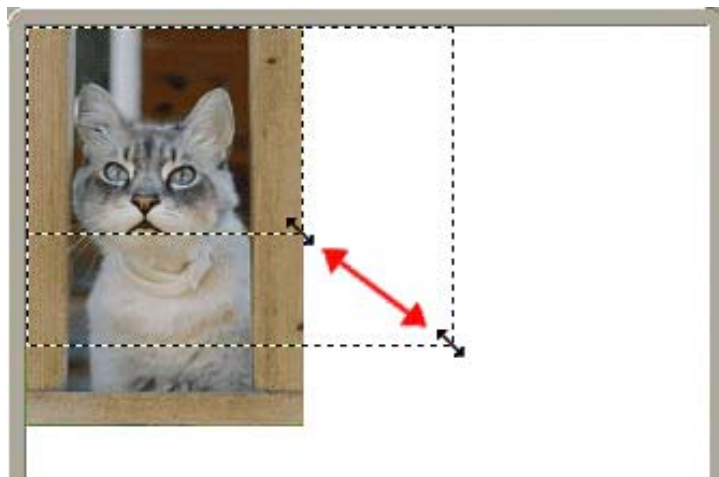
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、自動的に「原稿サイズ」に合わせてオートクロップを行う設定になっています。自動でクロップしないようにすることもできます。→「拡張モード」／「詳細設定」の「プレビューシート」の「プレビュー後のクロップ枠の設定」
- 画像の左上の隅まで範囲指定したい場合は、右下から左上に向かってマウスをドラッグし、画像の外側でマウスボタンをはなすと、簡単に指定できます。
- ツールバーを使うと、プレビュー画像で確認しながら、回転や反転をすることができます。ツールバーのボタンの使いかたについては「ツールバーのボタン」をご覧ください。
- サムネイル表示オンでフィルムをスキャンすると、初期状態ではクロップ枠は表示されません。サムネイルをクリックして青枠を表示させ、画像の中でカーソルをドラッグすると、クロップ枠が表示されます。このクロップ枠を移動、拡大・縮小してスキャン範囲を指定することができます。

「出力サイズの選択」で［フリーサイズ］以外を選んだとき

読み取り範囲の初期状態

［プレビュー］ボタンで読み取られた画像には、自動的に指定のピクセル数や出力サイズに合わせて、画像の周囲に枠（クロップ枠）が表示されます。

読み取り範囲の変更

マウスでクロップ枠をドラッグして（カーソルは✥）、クロップ枠を移動させることができます。
クロップ枠の4辺や4隅をドラッグして（カーソルは↔↕⤡⤢）クロップ枠を拡大／縮小できますが、このときも、指定されたピクセル数は維持されます。

また、縦横比切り替えボタンで、クロップ枠を90度回転させることもできます。

- サムネイル表示オンでフィルムをスキャンするとき、サムネイルが選択される（青枠が表示される）までクロップ枠は表示されません。スキャン範囲を指定するには、サムネイルをクリックして、まず青枠が表示された状態にしてください。

先頭へ戻る▲

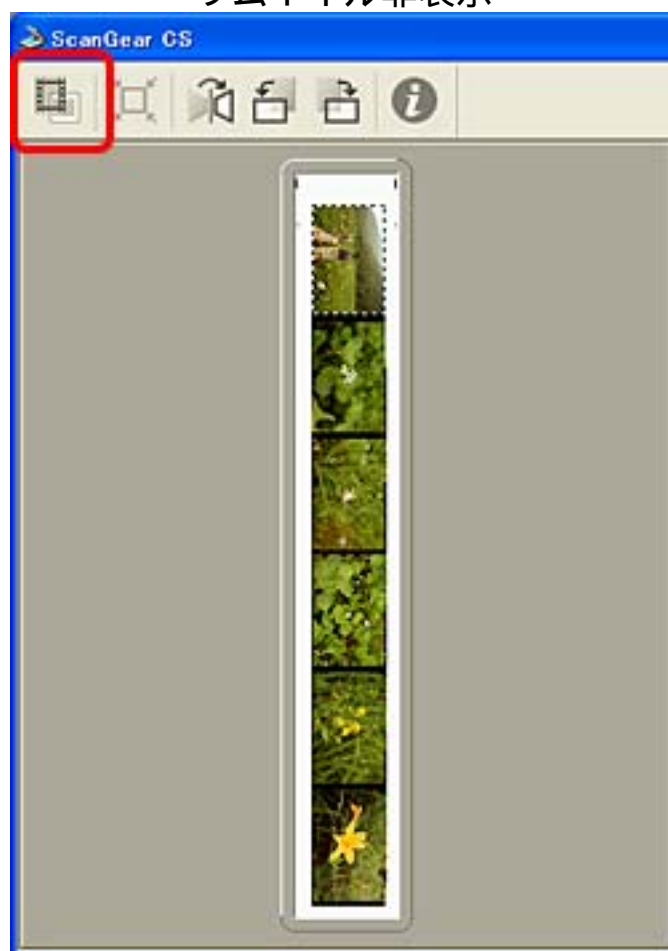
ツールバーのボタン

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

サムネイルボタン

フィルムのスキャン時に、コマのサイズでクロップしたサムネイルを表示するか、クロップしない画像全体を表示するかを切り替えます。

サムネイル表示

・サムネイル非表示のときは、点線のクロップ枠が表示され、手動でクロップ範囲を指定することもできます。→「プレビューエリア」

先頭へ戻る▲

オートクロップボタン

このボタンをクリックすると、自動的にプレビューエリア内の画像部分だけが選択され、クロップ枠が表示されます。

- 「原稿の種類」で［フィルム］を選択した場合、このボタンは使えません。

- オートクロップボタンをクリックするたびに、選択される範囲が狭くなります。何度かクリックしても正しく囲まれないときは、手動でスキャン範囲を設定してください。→プレビューエリア

先頭へ戻る▲

鏡像ボタン

プレビューエリアの画像の左右を反転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を左右反転した後、再びプレビューを行うと、反転した画像は反転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

左回転ボタン

プレビューエリアごと画像を反時計回りに90°回転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を回転した後、再びプレビューを行うと、回転した画像は回転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

右回転ボタン

プレビューエリアごと画像を時計回りに90°回転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を回転した後、再びプレビューを行うと、回転した画像は回転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

情報ボタン

スキャンする画像の情報を表示します。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

スキャンの情報

ドライババージョン：	10.1.5.0
LLDバージョン：	1.0.0.0
インタフェース：	USB2.0
原稿の種類：	写真(カラー)
原稿サイズ：	原稿台全面
幅：	8.77 センチ
高さ：	12.53 センチ
カラーモード：	カラー
出力解像度：	300 dpi
出力サイズ：	フリーサイズ
幅：	8.77 センチ
高さ：	12.53 センチ
拡大/縮小：	100 %
データサイズ：	4.38 MB
自動色調整：	ON
輪郭強調：	ON
モアレ低減：	OFF
ごみ傷低減：	OFF
褪色補正：	OFF
粒状感低減：	OFF
逆光補正：	OFF
スキャン前に毎回キャリブレーションを実行：	OFF
色の設定：	推奨
サイレントモード：	OFF

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

スキャンの情報

ドライババージョン：	10.1.5.0
LLDバージョン：	1.0.0.0
インタフェース：	USB2.0
原稿の種類：	ネガフィルム(カラー)
幅：	3.50 センチ
高さ：	2.36 センチ
カラーモード：	カラー
出力解像度：	300 dpi
出力サイズ：	フリーサイズ
幅：	13.20 センチ
高さ：	8.90 センチ
拡大/縮小：	376 %
データサイズ：	4.68 MB
自動色調整：	ON
輪郭強調：	ON
ごみ傷除去：	OFF
褪色補正：	OFF
粒状感低減：	OFF
逆光補正：	OFF
手動露光調整：	OFF
選択範囲の色調整データを保持：	OFF
高画質モード：	OFF
スキャン前に毎回キャリブレーションを実行：	OFF
色の設定：	推奨
サイレントモード：	OFF

表示される内容は、お使いのスキャナドライバのバージョンや、インタフェース、各種設定により異なります

「拡張モード」の機能

「拡張モード」は、カラーモードや解像度、画像の明るさや色合いなどを詳しく設定してスキャンするモードです。スキャンの操作に慣れていて、画像補正の知識をお持ちの方はこちらのモードをお使いください。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

下の画面の枠内をクリックすると説明文にジャンプします。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

下の画面の枠内をクリックすると説明文にジャンプします。

マニュアルでの表記について

ScanGear CSの「拡張モード」の「原稿の種類」の、［カラー　ネガフィルム］、［カラー　ポジフィルム］、［モノクロ　ネガフィルム］、［モノクロポジフィルム］を、［フィルム］と表記している箇所があります。

ツールバー

ツールバーのボタンを使うと、サムネイル表示（フィルムスキャン時）、オートクロップ、反転、回転、スキャン情報の表示などができます。

各ボタンの詳しい説明は「ツールバーのボタン」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

プレビューとスキャンのボタン

［プレビュー］ボタン

試しに原稿を読み取るときに使います。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

［プレビュー］ボタンをクリックすると、画像は「原稿サイズ」に合わせて自動的にクロップされます。プレビューエリアには読み込まれた画像（試しの画像）が表示されます。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

［プレビュー］ボタンをクリックすると、フィルムが読み取られ、表示されます。

先頭へ戻る▲

ズーム(Z) ［ズーム］ボタン

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

プレビューエリア内で範囲を指定し、［ズーム］ボタンをクリックすると、指定した範囲の画像を再スキャンして拡大表示します。
拡大表示されると、［ズーム］ボタンが［戻す］ボタンに変わります。拡大表示を元に戻すには［戻す］ボタンをクリックします。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

［ズーム］ボタンをクリックすると、選択されている1コマまたはクロップ枠で指定した範囲の画像を再スキャンして拡大表示します。
拡大表示されると、［ズーム］ボタンが［戻す］ボタンに変わります。拡大表示を元に戻すには［戻す］ボタンをクリックします。

- 拡大表示した画像をさらに拡大することはできません
- ［ズーム］ボタンとツールバーのズームボタンを使った拡大表示との違い

  ［ズーム］ボタンによる拡大表示は、画像をプレビューし直して表示します。表示されるまでに時間がかかりますが、高解像度のプレビュー画像が表示されます。

  ツールバーのズームボタンをクリックすると、すでにあるプレビュー画像を拡大して表示します。すぐに表示されますが、拡大しすぎると画像が粗くなります。

先頭へ戻る▲

スキャン(S) ［スキャン］ボタン

このボタンをクリックすると、画像が読み取られアプリケーションソフトに渡されます。アプリケーションソフトの画面には、読み取られた画像が表示されます。

- 範囲を指定していない場合は、「原稿サイズ」（オートクロップ）または「フィルムサイズ」で読み取られます。範囲を指定した場合は、その範囲の画像だけが読み取られます。→「プレビューエリア」
- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、［キャンセル］ボタンをクリックします。
- 読み取る画像の大きさが100MB以上になる場合、読み込みと画像処理のために時間がかかるため、注意をうながすメッセージが表示されます。スキャンを続ける場合は［OK］ボタンを、スキャンを中止する場合は［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

先頭へ戻る▲

クリアボタン

このボタンをクリックすると、プレビューエリアからプレビュー画像が消去されます。
また、ツールバーの設定、色調整の設定がリセットされます。

先頭へ戻る▲

プレビューエリア

プレビューエリアは、［プレビュー］ボタンで読み込まれた試しの画像が表示される場所です。

「出力サイズ」で［フリーサイズ］を選んだとき

読み取り範囲の初期状態

「原稿の種類」が［紙/写真］のときは、［プレビュー］ボタンで読み取られた画像には、自動的に原稿のサイズに合わせて（オートクロップ）、画像の周囲に枠（クロップ枠）が表示されます。
「原稿の種類」が「カラーネガフィルム」、「カラーポジフィルム」、「モノクロネガフィルム」、「モノクロポジフィルム」で、サムネイル非表示のときには「フィルムサイズ」に合わせて、枠（クロップ枠）が表示されます。サムネイル表示/非表示の操作方法は、「サムネイルボタン」をご覧ください。

読み取り範囲の指定

原稿の一部分を読み取りたいときは、マウスのドラッグで範囲を指定することができます。
範囲が指定された状態で［スキャン］ボタンをクリックすると、指定した範囲だけが読み取られ、アプリケーションソフトに渡されます。

読み取り範囲の変更

すでに指定されている範囲を変更する場合は、次のような操作で変更できます。

クロップ枠

マウスポインタをクロップ枠上に合わせると、形状が↔ ↕ ⤡ ⤢に変わります。そのまま矢印の方向へマウスドラッグすると、クロップ枠が拡大・縮小します。

マウスポインタをクロップ枠の内側に合わせると、形状が✥に変わります。そのままマウスドラッグすると、クロップ枠全体が移動します。

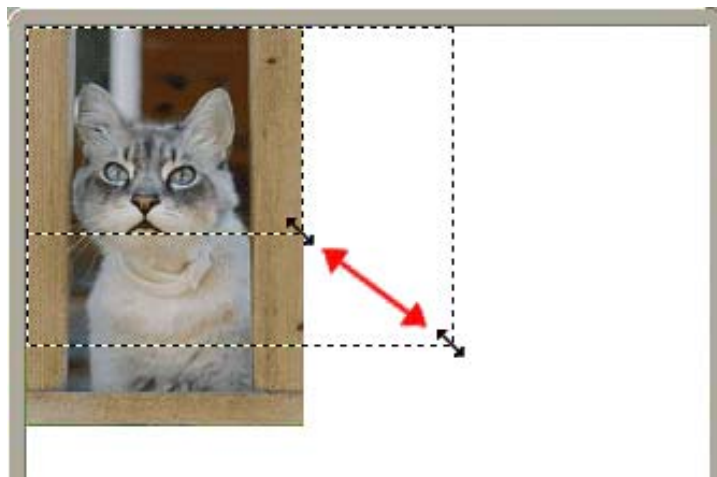
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、自動的に「原稿サイズ」に合わせてオートクロップを行う設定になっています。自動でクロップしないようにすることもできます。→「拡張モード」／「詳細設定」の「プレビューシート」の「プレビュー後のクロップ枠の設定」
- 画像の左上の隅まで範囲指定したい場合は、右下から左上に向かってマウスをドラッグし、画像の外側でマウスボタンをはなすと、簡単に指定できます。
- ツールバーを使うと、プレビュー画像で確認しながら、回転や反転をすることができます。ツールバーのボタンの使いかたについては「ツールバーのボタン」をご覧ください。
- サムネイル表示オンでフィルムをスキャンすると、初期状態ではクロップ枠は表示されません。サムネイルをクリックして青枠を表示させ、画像の中でカーソルをドラッグすると、クロップ枠が表示されます。このクロップ枠を移動、拡大・縮小してスキャン範囲を指定することができます。

「出力サイズ」で［フリーサイズ］以外を選んだとき

読み取り範囲の初期状態

［プレビュー］ボタンで読み取られた画像には、自動的に指定のピクセル数や出力サイズに合わせて、画像の周囲に枠（クロップ枠）が表示されます。

読み取り範囲の変更

マウスでクロップ枠をドラッグして（カーソルは✥）、クロップ枠を移動させることができます。
クロップ枠の4辺や4隅をドラッグして（カーソルは↔ ↕ ⤡⤢）クロップ枠を拡大／縮小できますが、このときも、指定されたピクセル数や出力サイズは維持されます。

また、縦横比切り替えボタン で、クロップ枠を90度回転させることもできます。

- サムネイル表示オンでフィルムをスキャンするとき、サムネイルが選択される（青枠が表示される）までクロップ枠は表示されません。スキャン範囲を指定するには、サムネイルをクリックして、まず青枠が表示された状態にしてください。

先頭へ戻る▲

基本モード　「基本モード」タブ

このタブをクリックすると、「基本モード」に切り替わります。

- モードを切り替えても、2つのモードに共通の設定内容は、切り替え後のモードに引き継がれます。
- モードを切り替えた後にScanGear CSを終了すると、次回起動したときには、終了したときと同じモードで起動します。

先頭へ戻る▲

入力設定

「原稿の種類」やサイズ、「マルチクロップ」などのスキャン条件を設定します。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

下の画面の枠内をクリックすると説明文にジャンプします。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

下の画面の枠内をクリックすると説明文にジャンプします。

入力設定

原稿の種類： カラー　ネガフィルム

フィルムサイズ： 35mm スリーブ

幅： 3.59　高さ： 2.34　センチ

全コマ選択： 適用　リセット

先頭へ戻る▲

「原稿の種類」

スキャンする原稿の種類を次の5種類の中から選択します。

［紙／写真］
［カラー　ネガフィルム］
［カラー　ポジフィルム］
［モノクロ　ネガフィルム］
［モノクロ　ポジフィルム］

先頭へ戻る▲

「原稿サイズ」（紙/写真）

プレビューする範囲を、次の中から選択します。

［名刺サイズ］
［L判 縦］
［L判 横］
［はがき 縦］
［はがき 横］
［2L判 縦］
［2L判 横］
［A5 縦］
［A5 横］
［B5］
［A4］
［Letter］
［原稿台全面］

「原稿サイズ」を選択すると、プレビューエリアの大きさ（縦横比率）が、選択したサイズに合わせて変わります。

- この操作は、プレビューのときや、スキャン範囲を指定しないスキャンのときに、必要以上の範囲をスキャンしないようにするためのものです。
- 原稿のサイズがわからないときは、大きめのサイズに設定しておいてください。実際には、プレビュー後にスキャン範囲を指定してスキャンすることになります。
- プレビュー後に「原稿サイズ」を変更すると、プレビュー画像が消去されます。
- L判サイズは8.9 x 12.7cm、2L判サイズは12.7 x 17.8cmです。
- Letterは21.6 x 27.9cm、主に北米で使用されているサイズです。

先頭へ戻る▲

「フィルムサイズ」（フィルム）

フィルムサイズ：35mm スリーブ
35mm スリーブ
35mm マウント

フィルムのサムネイル表示を行っているときは設定できません。
サムネイル表示をオフにして、フィルム全体をスキャンするときの、クロップ枠の初期の大きさの設定です。
スキャンするフィルムのタイプに合わせて次の2種類の中から選択します。

［35mm スリーブ］
［35mm マウント］

- サムネイル表示/非表示の操作は、ツールバーの「サムネイルボタン」で行います。

先頭へ戻る▲

入力サイズ

「原稿の種類」が［紙/写真］の場合、プレビュー前には「原稿サイズ」が、プレビュー後には、クロップ枠のサイズが表示されます。
「原稿の種類」が［フィルム］でサムネイル表示の場合、プレビュー前には何も表示されず、プレビュー後にはフィルムのサイズが表示されます。
「原稿の種類」が［フィルム］でサムネイル非表示の場合、プレビュー前には何も表示されず、プレビュー後には、「フィルムサイズ」での設定に対応したクロップ枠のサイズが表示されます。

通常は、この項目の設定は不要ですが、プレビュー後に直接数値を入力して、スキャン範囲（クロップ枠の大きさ）を厳密に設定することもできます。

幅と高さ	［幅］と［高さ］の表示部に数値を入力します。入力後、マウスポインタで他の表示部をクリックするか［Enter］キーを押すと、クロップ枠の大きさが変わります。
単位	［幅］と［高さ］の単位（インチ、センチ、ピクセル）を変更できます。

- 入力サイズの表示や設定は、［出力設定］の「出力サイズ」が［フリーサイズ］の場合にしか行えません。［フリーサイズ］以外を選択すると、「出力サイズ」と「出力解像度」から算出されたクロップ枠が表示され、この枠の縦横の比率は固定されます。

- アプリケーションソフトによっては、受け取れるスキャンデータの容量に制限があります。スキャン可能な範囲は以下の通りです。
  - 21,000×30,000ピクセル以下
  - 10,000×30,000ピクセル以下（48ビットカラー／16ビットグレースケールの場合）

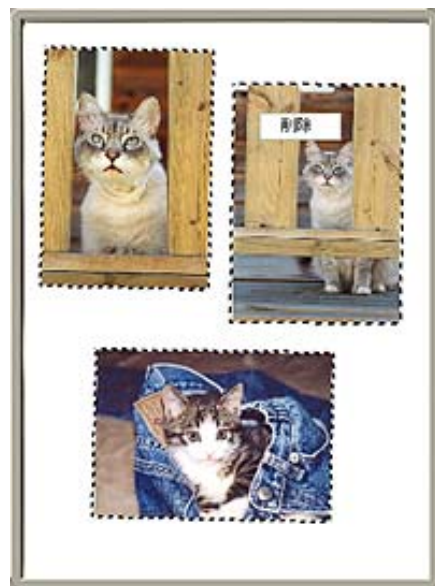
- 入力できる数値は、選択されている「原稿サイズ」の範囲内です。ただし、最小選択範囲は、「出力解像度」が600dpi、［拡大／縮小率］が100%に設定されている状態で、96x96ピクセルです。
- オートクロップを実行すると、選択範囲のサイズを優先するため、縦横比の固定は無効になります。

先頭へ戻る▲

「マルチクロップ」（紙/写真）

［適用］ボタンを使うと、原稿台に置かれた複数枚の原稿を自動的に検出し、枚数分の画像として読み取ることができます。原稿台に置かれた原稿がわずかに斜めになっていても、傾斜が10度以内ならば自動的に補正されます。
解像度は、25～600dpiまで設定できます。
Macintosh 300dpi以上は設定できません。

適用 ［適用］ボタン

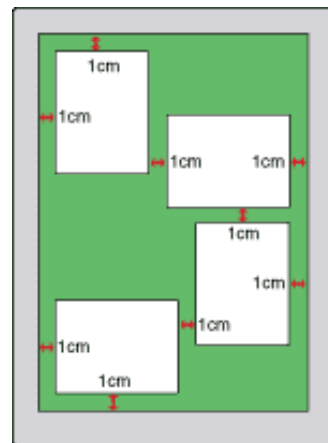
原稿台に置かれた複数の原稿をスキャンしたときに複数枚の画像を、1枚ずつ自動的にクロップ（範囲指定）します。
クロップされた画像のうち、指定した画像だけを読み取るようにするには、必要のない画像のクロップ枠を解除します。

- クロップされた画像内でクリックすると、そのクロップ枠が選択された状態（クロップ枠が回っているように見える）になります。また、［Ctrl］キーを押しながらクリックすると、複数のクロップ枠を選択できます。
- 選択されている、すべてのクロップ枠の選択状態を解除するには、枠の外側でクリックします。
- 特定のクロップ枠を解除するには、画像を選択し［Delete］キーを押します。
  Windows
  クロップ枠を解除したい画像内で右クリックし、[削除]を選択することもできます。

リセット ［リセット］ボタン

複数の、指定された範囲を一度に解除します。

原稿の置きかた

次の点に注意して、原稿を原稿台に置いてください。

- 以下のそれぞれの間隔は1cm以上にしてください。
  - 原稿と原稿の間
  - 原稿台の左右の端と写真の間
  - 原稿台の奥の端と原稿の間
  - 原稿台の手前（EZボタン側）の端と原稿の間
- 原稿の枚数の制限は10枚です。
- 原稿がわずかに斜めになっていても斜度が10度以内ならば自動的に補正されます。

- 全体が白っぽい原稿、周囲が白っぽい原稿では、正しく機能しないことがあります。
- 写真以外の原稿（特に白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など）では正しく機能しないことがあります。
- プレスキャンやクロップ（スキャン範囲の切り取り）、スキャンが行われている間は、原稿台カバーを開けないでください。
- 複数枚の画像を受け取ることができないアプリケーションソフトで「マルチスキャン」を行った場合、複数の原稿を1枚の画像としてスキャンして、アプリケーションソフトに渡されます。また、アプリケーションソフトによっては、マルチスキャンによってクロップされた画像のうち1枚目だけがアプリケーションソフトに渡される場合があります。その場合は、Toolbox、PhotoStudioなどを使用してマルチスキャンを行い、画像を保存した後、使用したいアプリケーションソフトで保存した画像を開いてください。
- サムネイル非表示で［フィルム］をプレビューしたときには、このボタンは使用できません。サムネイル表示で［フィルム］をプレビューしたときには、このボタンは[全コマ選択]ボタンになります。

- 「拡張モード」／「詳細設定」の「色の設定シート」で［推奨］が選択されている場合、画像1枚ずつに「自動色調整」が行われます。

先頭へ戻る▲

「全コマ選択」（フィルム）

全コマ選択： ［適用］［リセット］

「原稿の種類」で［フィルム］を選択して、サムネイル表示を選択していると設定できるようになります。
「全コマ選択」の［適用］ボタンを使うと、プレビューエリアのすべてのコマを一度に選択することができます。
選択されたコマをすべて選択解除するには［リセット］ボタンをクリックします。

先頭へ戻る▲

出力設定

カラーモードや「出力解像度」、出力サイズなどの出力条件を設定します。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

 下の画面の枠内をクリックすると説明文にジャンプします。

出力設定

カラーモード：カラー
出力解像度：300 dpi
出力サイズ：フリーサイズ
幅：8.73 高さ：12.49 100 %
データサイズ：4.35 MB

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

下の画面の枠内をクリックすると説明文にジャンプします。

出力設定

カラーモード：カラー
出力解像度：1200 dpi
出力サイズ：フリーサイズ
幅：3.59 高さ：2.34 100 %
データサイズ：5.38 MB

先頭へ戻る▲

「カラーモード」（紙／写真）

スキャンした画像を［カラー］にするか、［グレースケール］にするか、［白黒］または［テキスト（OCR）］にするかを選択します。原稿の種類とスキャンした画像の用途に応じたカラーモードを選択してください。

「カラーモード」の種類	
［白黒］	写真などの原稿をモノクロのプリンタで出力するときに選択します。画像を白と黒の2色で表現します。画像の明暗をあるレベル（スレッショルド値）で白と黒に分割し、2値で表現します。スレッショルド値は任意に設定できます。
［グレースケール］	白黒写真などのスキャンやモノクロ画像が必要なときに選択します。画像を白黒256段階（グレースケール）で表現します。
［カラー］	カラー写真をスキャンするときに選択します。画像を、R、G、B各色256段階（8ビット）で表現します。
［カラー（48ビット）］	カラー写真をスキャンするときに選択します。画像を、R、G、B各色65536段階（16ビット）で表現します。
［テキスト（OCR）］	文字などをはっきりと読み取るときに選択します。特に、OCRソフトなどでテキストを読み込むときに選択します。600dpi以下でスキャンして下さい。 原稿を白と黒の2色だけで表現します。Macintoshでは選択できません。

・［テキスト（OCR）］の場合、グレースケールで読み取り、白と黒の2値に変換するため、［白黒］よりスキャンにかかる時間が長くなります。

・［カラー（48ビット）］は、「拡張モード」／「詳細設定」の「スキャンシートでの設定項目」の「48/16ビット出力を有効にする」がオンになっていないと表示されません。

先頭へ戻る▲

「カラーモード」（フィルム）

スキャンした画像を［カラー］にするか、［グレースケール］にするかを選択します。原稿の種類とスキャンした画像の用途に応じたカラーモードを選択してください。

「カラーモード」の種類	
［グレースケール］	モノクロフィルムなどのスキャンやモノクロ画像が必要なときに選択します。画像を白黒256段階（グレースケール）で表現します。
［グレースケール（16ビット）］	モノクロフィルムなどのスキャンやモノクロ画像が必要なときに選択します。画像を白黒65536段階（16ビット）で表現します。
［カラー］	カラーフィルムをスキャンするときに選択します。画像を、R、G、B各色256段階（8ビット）で表現します。
［カラー（48ビット）］	カラーフィルムをスキャンするときに選択します。画像を、R、G、B各色65536段階（16ビット）で表現します。

・［カラー（48ビット）］と［グレースケール（16ビット）］は、「拡張モード」／「詳細設定」の「スキャンシートでの設定項目」の「48/16ビット出力を有効にする」がオンになっていないと表示されません。

先頭へ戻る▲

「出力解像度」（紙／写真）

出力解像度： 300 dpi
75
100
150
200
300
400
600
1200

「出力解像度」を選択します。
スキャナは、原稿を明るさや色の情報を持った点の集まりとして読み取ります。この点の密度を「解像度」といい、1インチあたりの点（ドット）の数を「dpi（ドット・パー・インチ）」で表します。解像度を高く（数字を大きく）すると、きめ細かく、低く（数字を小さく）すると粗く原稿をスキャンします。
解像度を、次の中から選択します。
［75dpi］、［100dpi］、［150dpi］、［200dpi］、［300dpi］、［400dpi］、［600dpi］、［1200dpi］。
また、25～2400dpiの範囲の数値（1dpi刻み）、あるいは4800、7200、9600dpiいずれかの数値を直接入力して設定することもできます。

・解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」、「解像度とデータ容量」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「出力解像度」（フィルム）

「出力解像度」を選択します。
スキャナは、原稿を明るさや色の情報を持った点の集まりとして読み取ります。この点の密度を「解像度」といい、1インチあたりの点（ドット）の数を「dpi（ドット・パー・インチ）」で表します。解像度を高く（数字を大きく）すると、きめ細かく、低く（数字を小さく）すると粗く原稿をスキャンします。
解像度を、次の中から選択します。
［75dpi］、［150dpi］、［300dpi］、［600dpi］、［1200dpi］、［2400dpi］。
また、25～2400dpiの範囲の数値（1dpi刻み）、あるいは4800、7200、9600dpiいずれかの数値を直接入力して設定することもできます。

・「出力解像度」を必要以上に大きく設定すると、警告メッセージが表示されます。そのままスキャンを行った場合、スキャン時間が長くかかったり、ファイル容量が非常に大きくなることがあります。

・解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」、「解像度とデータ容量」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「出力サイズ」

出力サイズ：
フリーサイズ
フリーサイズ
名刺
L判
2L判
はがき
A5
B5
A4
Letter
B4
A3
128 x 128 ピクセル
640 x 480 ピクセル
800 x 600 ピクセル
1024 x 768 ピクセル
1280 x 1024 ピクセル
1600 x 1200 ピクセル
2048 x 1536 ピクセル
2272 x 1704 ピクセル
2592 x 1944 ピクセル
追加/削除...

スキャン画像の出力サイズ（縦横の大きさ）を、プルダウンメニューから設定します。

「出力サイズ」に［フリーサイズ］を選んだ場合
プレビュー画像のクロップ枠の大きさを表示部（縦、横）に表示します。表示部に直接数値を入力して、出力サイズを厳密に設定することもできます。また、表示部で拡大/縮小率を%で入力して指定できます。

幅 : 21.60 高さ : 29.70 100 %

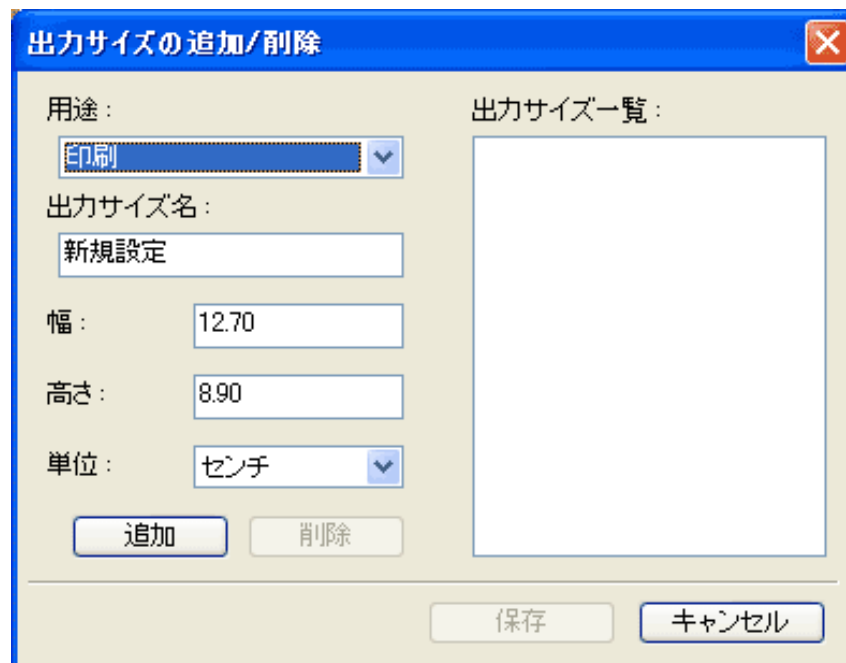
「出力サイズ」に［フリーサイズ］以外を選んだ場合
［フリーサイズ］以外の選択項目は、印刷するための選択項目、画面に表示するための選択項目、追加/削除に分けることができます。
これらを選択すると、指定したサイズに応じたクロップ枠が表示され、そのクロップ枠は縦横比を保ったまま拡大/縮小することができます。また、縦横比切り替えボタンで、クロップ枠を90度回転させることもできます。
「出力サイズ」に［フリーサイズ］以外を選んだときは、読み取り解像度は、「出力解像度」に応じて、自動的に調整されます。

	縦横比を自由に選択する項目	印刷用紙に縦横比をあわせる選択（印刷用途）	画面に縦横比をあわせる選択（画面表示用途）
「出力サイズ」のメニュー項目	［フリーサイズ］	［名刺］、［L判］、［2L判］、［はがき］、［A5］、［B5］、［A4］、［Letter］、［B4］、［A3］	［128x128 ピクセル］、［640x480 ピクセル］、［800x600 ピクセル］、［1024x768 ピクセル］、［1280x1024 ピクセル］、［1600x1200 ピクセル］、［2048x1536 ピクセル］、［2272x1704 ピクセル］、［2592x1944 ピクセル］
デフォルトで選ばれる「出力解像度」	［1200dpi］（等倍）	［300dpi］	［150dpi］

- 「出力解像度」は［フリーサイズ］、［印刷目的のサイズ］、［画面表示目的のサイズ］の各用途ごとに別々に設定することができます。また、1つの用途内では、同じ「出力解像度」が使用されます。

［追加/削除］を選んだ場合
［追加/削除］を選択すると、次のような「出力サイズの追加/削除」画面が表示されます。

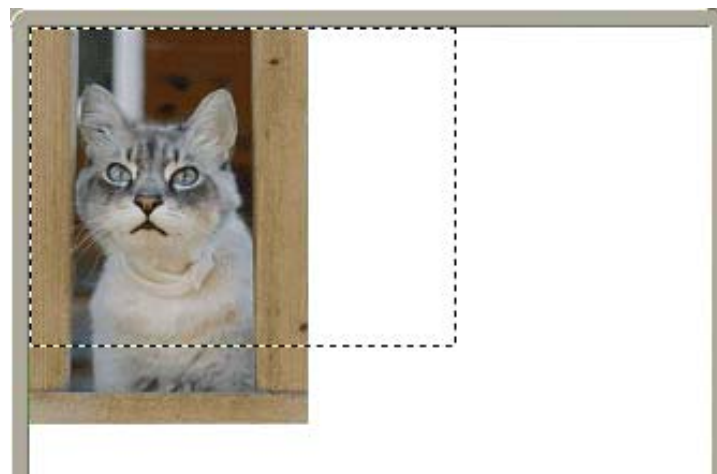
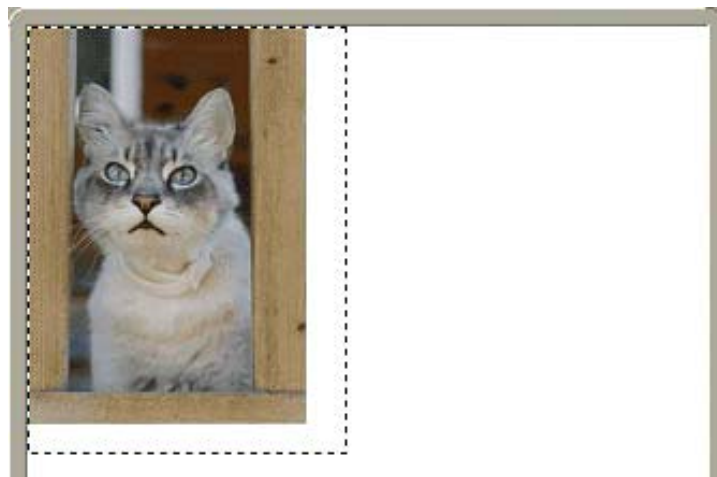
出力サイズの追加/削除

用途：印刷
出力サイズ名：新規設定
幅：12.70
高さ：8.90
単位：センチ
追加　削除
出力サイズ一覧：
保存　キャンセル

「用途」を［印刷］、［画面表示］から選んで、「出力サイズ名」、「幅」、「高さ」を指定します。このとき、「用途」が［印刷］なら「センチ/インチ」になり、［画面表示］なら「単位」はピクセルになります。［追加］ボタンを押すと「出力サイズ一覧」に登録されます。
［保存］ボタンを押すと、その設定が有効になると同時に「出力サイズ選択」のプルダウンメニューに名称が表示され、以降プルダウンメニューから選択できるようになります。
「出力サイズの追加/削除」で登録できる「出力サイズ」の数は、用途に応じて最大10個まで設定できます。

- ［削除］で削除できる出力サイズは、追加で作成したものだけです。元から用意されている出力サイズを削除することはできません。

先頭へ戻る▲

縦横比切り替えボタン

「出力サイズ」が、［フリーサイズ］以外のときに使用できる機能です。
このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横比を切り替えます。もう一度クリックすると、元に戻ります。

先頭へ戻る▲

「データサイズ」

データサイズ：	25.61 MB

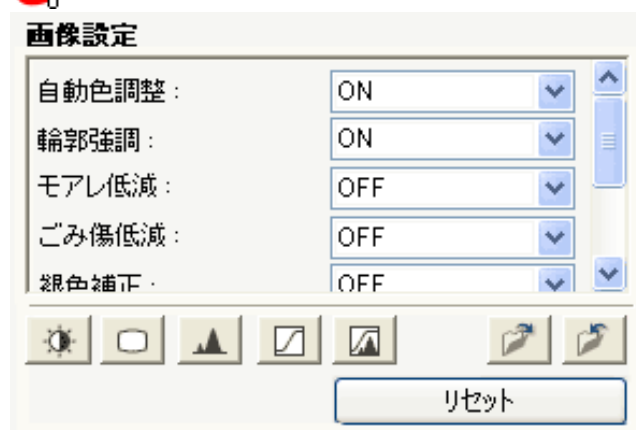
クロップ枠内のプレビュー画像を、指定されているカラーモードでスキャンしたときに作成される画像ファイル（BMP/PICT形式）の大きさを表示しています。
プレビュー画像がないときには、「原稿サイズ」に対して算出したものを表示しています。

 ・ データサイズが100MB以上になった場合は、文字が赤く表示されます。

先頭へ戻る▲

画像設定

各種画像補正のオン/オフや明るさ、コントラスト、ガンマなどを設定します。

 下の画面の枠内をクリックすると説明文にジャンプします。

スクロール枠内の設定項目

ここでの各項目の設定は、右側のスクロールボタンで、設定項目をスクロールさせて、表示して行います。
また、通常は設定する必要性の低い項目は非表示になっていますので、ボタンをクリックして表示させて、設定を行います。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

下の画面の枠内をクリックすると説明文にジャンプします。

自動色調整：	ON
輪郭強調：	ON
モアレ低減：	OFF
ごみ傷低減：	OFF
褪色補正：	OFF
粒状感低減：	OFF
逆光補正：	OFF
キャリブレーション設定	
キャリブレーション：	実行
スキャン前に毎回実行：	OFF

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

下の画面の枠内をクリックすると説明文にジャンプします。

自動色調整：	ON
輪郭強調：	ON
ごみ傷除去（FARE）：	OFF
褪色補正：	OFF
粒状感低減：	OFF
逆光補正：	OFF
露光・色調整設定	
手動露光調整：	100 %
選択範囲の色調整データを保持：	取得 リセット
読取設定	
高画質モード：	OFF
キャリブレーション設定	
キャリブレーション：	実行
スキャン前に毎回実行：	OFF

先頭へ戻る▲

「自動色調整」

自動色調整：ON

［ON］にすると、スキャンした画像に対して、自動色調整を行います。

- この機能を使って画像の色調整を変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。

- 「自動色調整」はクロップ枠の内側のデータを用いて色調整を行います。インストール直後の設定（「「拡張モード」/詳細設定」の色の設定シートで「常に自動色調整を行う」がチェックされています）では、プレビュー後オートクロップ枠内のデータを用いて自動色調整が実行されます。色調整の結果は、クロップ枠に関係なくプレビューエリア全体に反映されます。
- プレビュー画像が表示されていないときや、カラーモードが［白黒］または［テキスト（OCR）］（Windowsのみ）のときは、自動色調整を実行できません。
- ［Canon ColorGear (Windows)/ColorSync (Macintosh)］がオンまたは［色補正なし］のときは、自動色調整を実行できません。→「拡張モード」／「詳細設定」の「色の設定シートでの設定項目」
- 「マルチクロップ」の［適用］をクリックしたときには、この設定は変更できなくなります。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では［ON］になっています。

先頭へ戻る▲

「輪郭強調」

輪郭強調：ON

［ON］にすると、画像の輪郭を強調する機能（アンシャープマスク）が働きます。
ピントのあまい写真などをスキャンするときに効果的で、全体がシャープな印象の画像になります。

- 「モアレ低減」を［ON］にしても十分にモアレが低減できない場合は、「輪郭強調」を［OFF］にすることをおすすめします。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［ON］になっています。

先頭へ戻る▲

「モアレ低減」（紙/写真）

モアレ低減：OFF

［ON］にすると、本や雑誌に印刷されている写真や絵を、モアレを低減してスキャンします。

- 「モアレ」とは、本や雑誌の写真や絵（細かな点の集まりで表現されています）をスキャンしたときに、点と点が干渉したために現れることがある、濃淡のむらや縞模様のことです。「モアレ低減」は、このモアレを少なくする機能です。

- 「カラーモード」が［白黒］または［テキスト（OCR）］（Windowsのみ）のときは、設定できません。
- デジタルプリント写真で、モアレが発生する場合があります。
- 「モアレ低減」が［ON］になっていても、「輪郭強調」が［ON］になっていると、モアレが残ることがあります。この場合は、「輪郭強調」を［OFF］にしてください。

- ScanGear CSのメインウィンドウを表示しないアプリケーションソフトから起動した場合は、設定できません。
  ただし、ScanGear CSを使用せず、CanoScan Toolboxからスキャンする場合は、「スキャンモード」で［カラー（雑誌、カタログ）］を選択すると「モアレ低減」を行えます。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［OFF］になっています。

先頭へ戻る▲

「ごみ傷除去（FARE）」（フィルム）

ごみ傷除去（FARE）： OFF

「原稿の種類」で、［カラー　ネガフィルム］または［カラー　ポジフィルム］を選択したときに設定できる項目です。 フィルムをスキャンするときに、フィルム上の小さなごみや傷を自動的に除去してスキャンします。

［OFF］	ごみ傷除去を行いません。
［弱］	コントラストの強いごみや傷を除去します。大きいごみや傷については、修復処理できない場合があります。
［標準］	通常はこの設定を選択することをおすすめします。
［強］	コントラストの弱いごみや傷も除去します。大きいごみや傷についても、修復する場合がありますが、処理後の痕跡が残ることがあります。

- この機能は、モノクロフィルムでは使用できません。
- スキャン範囲が小さすぎると、ごみ・傷が除去できない場合があります。
- 画像の上下端のごみ・傷は、除去できない場合があります。
- 通常よりスキャン時間がかかります。

- この機能は、空など、広い部分が均一な色合いになっている箇所のごみ、傷について特に有効です。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［OFF］になっています。

先頭へ戻る▲

「ごみ傷低減」（紙/写真）

ごみ傷低減： OFF

写真原稿をスキャンしたときに、主にごみや傷が原因でできた白い点状のノイズが現れることがあります。このごみや傷をできるだけ少なくしてスキャンを行うときに、［弱］［標準］［強］のいずれかを選択します。

［OFF］	ごみ傷低減を行いません。
［弱］	小さなごみや傷を減らします。大きいごみや傷は残ることがあります。
［標準］	通常はこの設定を選択することをおすすめします。
［強］	大きいごみや傷も減らすことできますが、処理をしたあとが残ったり、画像の微妙な部分を消去してしまう場合があります。

- 印刷物をスキャンするときは、「ごみ傷低減」を［OFF］にすることをおすすめします。
- 写真の種類によっては、この機能を使わない方がよい場合があります。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［OFF］になっています。

先頭へ戻る▲

「褪色補正」

褪色補正：	OFF

経年変化などで、褪色したフィルムや色カブリした写真およびフィルムを色補正してスキャンします。［OFF］、［弱］、［標準］、［強］から選択します。
プレビュー画像を表示した状態で「褪色補正」の設定を変更すると、変更結果がプレビュー画像に反映されます。

［OFF］	褪色補正を行いません。
［弱］	わずかに褪色または色カブリした場合に指定します。
［標準］	通常はこの設定を選択することをおすすめします。
［強］	かなり強く褪色または色カブリした場合に指定します。画像の色合いに影響を与えてしまう場合があります。

- この機能は、モノクロのフィルムおよび写真では使用できません。
- この機能は、プレビュー後に設定できます。
- 「カラーモード」が［白黒］、「グレースケール」または［テキスト（OCR）］（Windowsのみ）のときは設定できません。
- スキャン範囲が小さすぎると、褪色補正できない場合があります。
- 通常よりスキャン時間がかかります。
- 「マルチクロップ」の［適用］をクリックしたときには、この設定は変更できなくなります。

- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［OFF］になっています。

先頭へ戻る▲

「粒状感低減」

粒状感低減：	OFF

高感度フィルムや増感撮影されたフィルムおよび、それらのフィルムから作成された写真、または高解像度でフィルムをスキャンした場合に感じられる粒状感を低減する機能です。
［OFF］、［弱］、［標準］、［強］から選択します。

［OFF］	「粒状感低減」を行いません。
［弱］	わずかに粒状感の目立つフィルムおよび写真の場合に指定します。画像のシャープネスに影響を与えない設定です。
［標準］	通常はこの設定を選択することをおすすめします。画像のシャープネスと「粒状感低減」のバランスを適切に保つ設定です。
［強］	かなり強く粒状感の目立つフィルムおよび写真の場合に指定します。画像の階調性やシャープネスに影響を与えてしまう場合があります。

- スキャン範囲が小さすぎると、粒状感が低減できない場合があります。
- 通常よりスキャン時間がかかります。
- 「カラーモード」が［白黒］または［テキスト（OCR）］（Windowsのみ）のときは設定できません。
- プレビュー画像には処理結果は反映されません。

・ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［OFF］になっています。

先頭へ戻る▲

「逆光補正」

逆光補正：OFF

逆光で撮影されたフィルム、写真を補正します。
［OFF］、［弱］、［標準］、［強］から選択します。

プレビュー画像を表示した状態で「逆光補正」の設定を変更すると、変更結果がプレビュー画像に反映されます。

［OFF］	「逆光補正」を行いません。
［弱］	わずかに逆光の目立つフィルムおよび写真の場合に指定します。画像のコントラストに影響を与えない設定です。
［標準］	通常はこの設定を選択することをおすすめします。
［強］	かなり強く逆光の目立つフィルムおよび写真の場合に指定します。画像のコントラストに影響を与えてしまう場合があります。

・この機能はプレビュー後に設定できます。
・「拡張モード」／「詳細設定」の「色の設定シートでの設定項目」で、「推奨」がオンのときに設定できます。
・スキャン範囲が小さすぎると、「逆光補正」できない場合があります。
・スキャンする画像によっては、「逆光補正」が機能しない場合があります。
・「逆光補正」を行うとノイズが目立つことがあります。ノイズを目立たなくするために、「粒状感低減」を［ON］、「輪郭強調」を［OFF］にすると、効果のある場合があります。
・「マルチクロップ」をクリックしたときには、この設定は変更できなくなります。

・「カラーモード」が［白黒］または［テキスト（OCR）］（Windowsのみ）のときは、設定できません。

先頭へ戻る▲

「手動露光調整」（フィルム）

手動露光調整：100 %

フィルムに応じて露光データを任意に調整できる機能です。
フィルムの濃度に応じて自動的に露光データ（RGBそれぞれの露光量やレベル補正）が設定され、最適なスキャン画像が得られます。
スキャン後にアプリケーションソフトで画像調整をする場合や、オーバー気味またはアンダー気味にスキャンしたい場合には、チェックボックスにチェックマークを付けて［ON］にしてください。
この項目を［ON］にすると、50%～200%の範囲で1%刻みの露光調整ができます。また、同時に［自動色調整を行う］が［OFF］になり、自動色調整が行われなくなります。

・「基本モード」では、常に「手動露光調整」は行われないようになっています。ポジフィルムでアンダー気味の画像にしたい場合は、「拡張モード」で「手動露光調整」を［ON］にしてスキャンしてください。

・［OFF］にすると、フィルムに合わせて、露光量を自動最適化するために、スキャンするフィルムによってスキャンにかかる時間が異なります。
・ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［OFF］になっています。

先頭へ戻る▲

「選択範囲の色調整データを保持」（フィルム）

選択範囲の色調整データを保持： 取得 リセット

［取得］をクリックすると、選択されているコマまたはクロップ枠の範囲の色調整データを取得し、他のコマに反映させます。以後のスキャンには、その色調整データが使用されます。［リセット］をクリックするまで有効です。
同じ日に、同じ場所で撮影したフィルムを同じ色合いでスキャンしたい場合などに有効な機能です。

先頭へ戻る▲

「高画質モード」（フィルム）

高画質モード： OFF

「原稿の種類」で［フィルム］を選択すると設定できるようになります。
この項目を［ON］にすると、より高画質、低ノイズの画像が得られるようにスキャンします。

- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［OFF］になっています。

先頭へ戻る▲

キャリブレーション［実行］ボタン

キャリブレーション： 実行

プレビュー画像の色合いが原稿と大きく違ったり、白の部分に色が付くようになってきたときは「キャリブレーション」を行ってください。
［実行］ボタンをクリックすると、キャリブレーションがはじまり、スキャンした画像が正しい色合いになるように調整されます。

- キャリブレーションとは、基準の白が正しい白色になるように自動的に調整するスキャナの機能です。

先頭へ戻る▲

「スキャン前に毎回実行」

スキャン前に毎回実行： OFF

この項目を［ON］にすると、スキャンの前に毎回キャリブレーションを実行します。

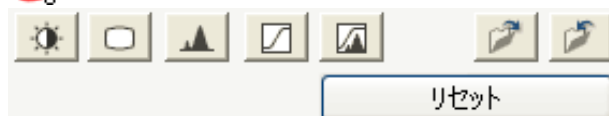
- キャリブレーションが行われている間は、絶対に原稿台カバーをあけないでください。

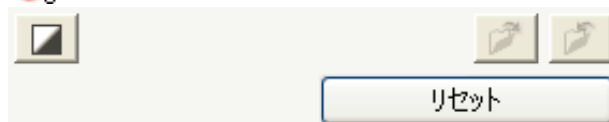
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［OFF］になっています。

先頭へ戻る▲

画像の色調整のためのボタン

これらのボタンでは、画像全体の明るさ（ブライトネス）や画像の明暗差（コントラスト）の調整、モニタの明るさに合った調整（ガンマ値の補正）、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）など、画像の明るさや色合いにかかわる詳細な設定ができます。

「カラーモード」が［白黒］、［テキスト（OCR）］（Windowsのみ）以外の場合

「カラーモード」が［白黒］の場合

下の画面の枠内をクリックすると説明文にジャンプします。

「カラーモード」が［テキスト（OCR）］（Windowsのみ）の場合

なにも表示されません。

- 「色の設定シート」が［Canon ColorGear (Windows)/ColorSync (Macintosh)］または［色補正なし］のとき、色調整のためのボタンは表示されません。→「拡張モード」／「詳細設定」の「色の設定シートでの設定項目」
- 色調整のためのボタンを使って画像を調整すると、その結果はすぐにプレビュー画像に反映されます。また、スキャン時にもここで調整した結果が反映されます。

先頭へ戻る▲

明るさ・コントラストボタン

画像全体、または画像の各要素のRGBの明るさ（ブライトネス）や画像の明暗差（コントラスト）を調整します。スキャンする前の元の画像が、暗すぎたり、明るすぎたり、明暗差が少なくフラットな画質のときに調整します。

→「明るさ・コントラスト」

先頭へ戻る▲

ガンマボタン

モニタ（ディスプレイ）のガンマ値を設定することで、そのモニタの特性に合った明るさに調整します。元の画像の色調と、モニタに表示された画像の色調が違う場合に設定します。

→「ガンマ」

先頭へ戻る▲

ヒストグラムボタン

どれだけの明るさのレベルにどれだけのデータが集中しているかを見るのがヒストグラムです。画像の中のもっとも明るいレベル（ハイライト）ともっとも暗いレベル（シャドウ）を適切に指定して、それらをカットし、中間の階調に広がりを持たせたいときに使います。

→「ヒストグラム」

先頭へ戻る▲

トーンカーブボタン

明暗のバランスを示した「トーンカーブ」というグラフの形を編集して入力と出力のバランスを調整し、画像の明るさを調整します。トーンカーブによる設定では、特定の領域の明るさを、きめ細かく調整することができます。

→「トーンカーブ」

先頭へ戻る▲

最終確認ボタン

色調整の最終確認ボタンです。RGB各チャネル別（カラーモードがグレースケールのときは、グレーのみ）に表示します。また、最終の合成トーンカーブと、その後の画像処理（ネガポジ反転など）で得られるヒストグラムを表示します。

→「最終確認」

先頭へ戻る▲

白黒設定ボタン

白黒画像で、白と黒に分ける境（「2階調化の境界値」といいます）を設定します。

→「白黒設定」

先頭へ戻る▲

トーンカーブの読み込みボタン

保存されている画像調整値ファイルを読み込み、プレビュー画像に反映させます。
このボタンをクリックすると、「ファイルを開く」のダイアログが表示されます。画像調整値ファイルを指定して、［開く］をクリックします。

- 「カラーモード」が［白黒］、［テキスト（OCR)］（Windowsのみ）の場合には、このボタンは使えません。
- 画像調整値ファイルの拡張子は、［カラー］の場合は「.adc」に、［グレースケール］の場合は「.adg」です。

先頭へ戻る▲

トーンカーブの保存ボタン

色調整のためのボタンで作成されたトーンカーブを画像調整値ファイルに保存します。同じ画像を再度スキャンするときに、最初の設定値を保存しておけば、あらたに調整する必要がなく、保存しておいた設定値で同じ画像調整ができます。
このボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」のダイアログが表示されます。画像調整値ファイルの保存先フォルダ、ファイル名を指定して、[保存]をクリックします。

- 「カラーモード」が［白黒］、［テキスト（OCR)］（Windowsのみ）の場合には、このボタンは使えません。
- 画像調整値ファイルの拡張子は、［カラー］の場合は「.adc」に、［グレースケール］の場合は「.adg」です。

先頭へ戻る▲

リセット ［リセット］ボタン

［マスタ］［赤］［緑］［青］および明るさ・コントラスト、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブ、白黒すべての調整項目の調整をとりやめ、初期状態にします。また、自動補正で調整した画像も、もとの状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

詳細設定... ［詳細設定］ボタン

このボタンをクリックすると、「詳細設定」画面が表示されます。スキャンやプレビュー時の動作、スキャナのテストなどの設定ができます。

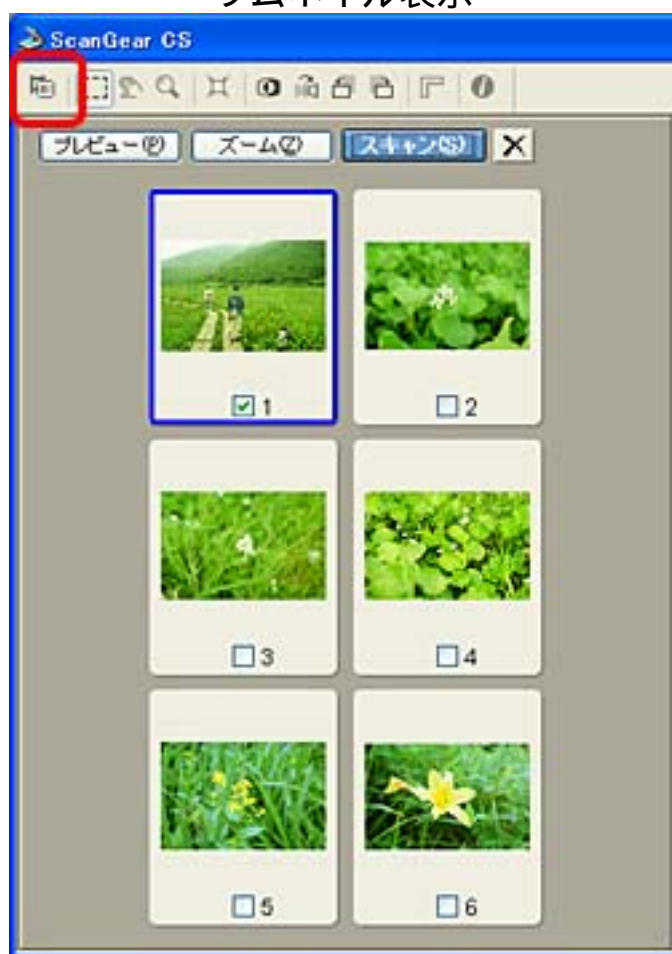
→「「詳細設定」画面」

先頭へ戻る▲

ツールバーのボタン

下の画面の指マークになった所をクリックすると、各アイコンの説明にジャンプします。

サムネイルボタン

フィルムのスキャン時に、コマのサイズでクロップしたサムネイルを表示するか、クロップしない画像全体を表示するかを切り替えます。

サムネイル表示　　サムネイル非表示

- サムネイル非表示のときは、点線のクロップ枠が表示され、手動でクロップ範囲を指定することができます。→「プレビューエリア」

先頭へ戻る▲

クロップボタン

範囲を手動で設定するときにクリックします。十字の形のマウスポインタをドラッグして、範囲を枠（クロップ枠）で囲みます。

- クロップ枠の外でマウスをクリックすると、範囲の指定が解除されます。
- クロップ枠の外でマウスポインタをドラッグすると、新たに範囲の指定ができます。
- 範囲を指定しなかった場合、プレビューエリア全体がプレビューやスキャンする範囲になります。
- 選択できる最小の範囲は、「出力解像度」が600dpi、等倍表示の状態で96 x 96ピクセルです。

先頭へ戻る▲

画像移動ボタン

プレビュー画像をプレビューエリア内で移動するときに使います。
ズームボタンを使って拡大表示されているプレビュー画像をプレビューエリア内で移動して、確認することができます。
画像が拡大表示されているときにこのボタンをクリックすると、マウスポインタが手の形に変わります。そのまま画像の上でマウスをドラッグすると、それに合わせてプレビュー画像がプレビューエリア内で移動します。

- この機能は、プレビューエリアの画像を移動するだけで、実際のスキャンには反映されません。
- サムネイルボタンでサムネイル表示にして、フィルムのプレビューをした場合、このボタンは使えません。

- 画像移動ボタンは、ズームボタンで画像を拡大したときのみ有効です。

先頭へ戻る▲

ズームボタン

このボタンをクリックした後、マウスポインタを画像の拡大したい部分に移動してマウスの左ボタンを押すと、その部分を中心に画像が拡大表示されます。
マウスの右ボタンをクリックすると、画像が縮小表示され拡大する前の大きさに戻ります。
ズームボタンを使って画像を拡大すると、プレビューエリアの右側と下側にスクロールバーが表示されます。スクロールバーの操作で画像を移動できます。

- この機能は、プレビューエリアの表示を拡大するだけで、実際のスキャンには反映されません。
- サムネイルボタンでサムネイル表示にして、フィルムのプレビューをした場合、このボタンは使えません。

- Macintosh
  ズームボタンをクリックした後、マウスポインタを画像の拡大したい部分に移動してマウスのボタンを押し、画像を拡大表示します。画像を縮小表示するときは、［option］キーを押しながらマウスのボタンを押します。
- ［ズーム］ボタンとツールバーのズームボタンを使った拡大表示との違い
  ［ズーム］ボタンによる拡大表示は、画像をプレビューし直して表示します。表示されるまでに時間がかかりますが、高解像度のプレビュー画像が表示されます。
  ツールバーのズームボタンをクリックすると、すでにあるプレビュー画像を拡大して表示します。すぐに表示されますが、拡大しすぎると画像が粗くなります。

先頭へ戻る▲

オートクロップボタン

このボタンをクリックすると、自動的にプレビューエリア内の画像部分だけが選択され、クロップ枠が表示されます。

- 「原稿の種類」で［フィルム］を選択した場合、このボタンは使えません。

- オートクロップボタンをクリックするたびに、選択される範囲が狭くなります。何度かクリックしても正しく囲まれないときは、クロップボタンをクリックして手動でスキャン範囲を設定してください。

先頭へ戻る▲

色反転ボタン

プレビュー画像の色を反転します。

- この機能を使って画像の色を変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。

- 反転した画像を、再び反転すると、元の画像に戻ります。
  画像を反転した後、再びプレビューを行うと、反転した色は反転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

鏡像ボタン

プレビューエリアの画像の左右を反転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を左右反転した後、再びプレビューを行うと、反転した画像は反転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

左回転ボタン

プレビューエリアごと画像を反時計回りに90°回転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を回転した後、再びプレビューを行うと、回転した画像は回転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

右回転ボタン

プレビューエリアごと画像を時計回りに90°回転します。

- この機能を使って画像の向きを変更すると、実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 画像を回転した後、再びプレビューを行うと、回転した画像は回転前の状態に戻ります。

先頭へ戻る▲

ルーラーボタン

範囲の寸法を知りたいときに使います。このボタンをクリックすると、プレビューエリアの上部と左側にルーラー（定規）が表示されます。

- サムネイルボタンでサムネイル表示にして、フィルムのプレビューをした場合、このボタンは使えません。

先頭へ戻る▲

情報ボタン

スキャンする画像の情報を表示します。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

スキャンの情報

ドライババージョン：	10.1.5.0
LLDバージョン：	1.0.0.0
インタフェース：	USB2.0
原稿の種類：	紙/写真
原稿サイズ：	原稿台全面
幅：	8.80 センチ
高さ：	12.49 センチ
カラーモード：	カラー
出力解像度：	300 dpi
出力サイズ：	フリーサイズ
幅：	8.80 センチ
高さ：	12.49 センチ
拡大/縮小：	100 %
データサイズ：	4.39 MB
自動色調整：	ON
輪郭強調：	ON
モアレ低減：	OFF
ごみ傷低減：	OFF
褪色補正：	OFF
粒状感低減：	OFF
逆光補正：	OFF
スキャン前に毎回キャリブレーションを実行：	OFF
色の設定：	推奨
サイレントモード：	OFF

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

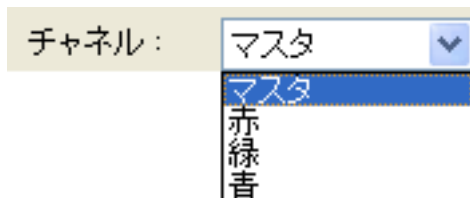
スキャンの情報

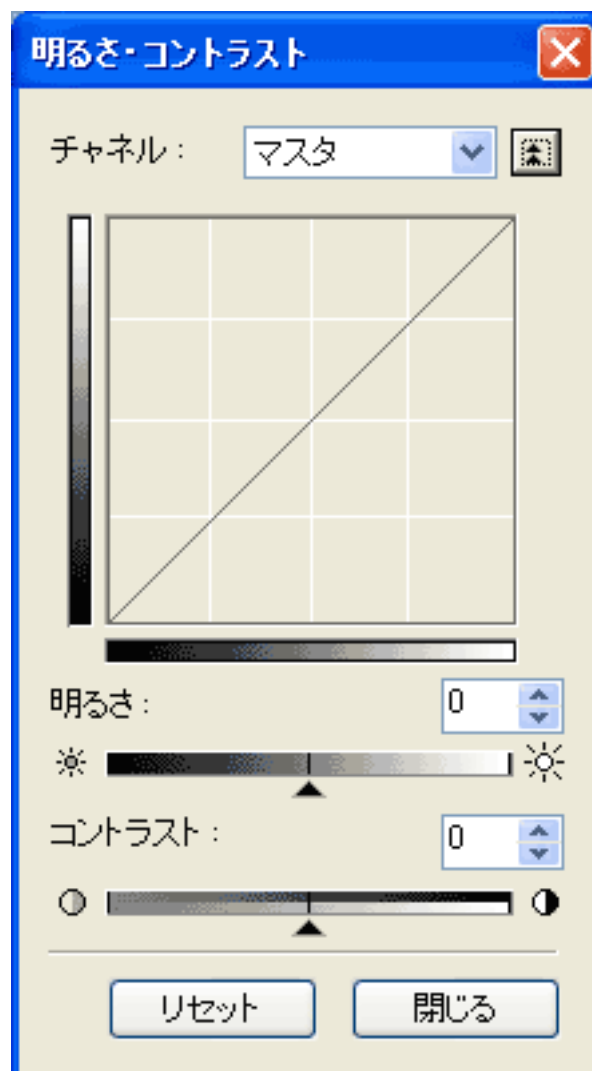
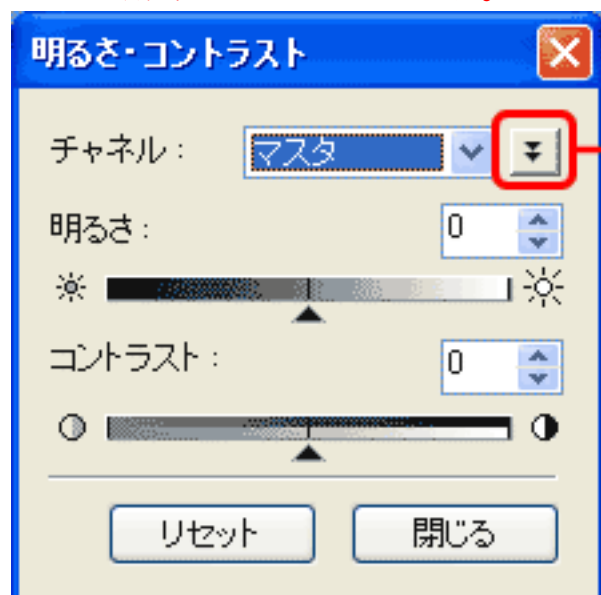
ドライババージョン：	10.1.5.0
LLDバージョン：	1.0.0.0
インタフェース：	USB2.0
原稿の種類：	カラー　ネガフィルム
幅：	3.50 センチ
高さ：	2.36 センチ
カラーモード：	カラー
出力解像度：	1200 dpi
出力サイズ：	フリーサイズ
幅：	3.50 センチ
高さ：	2.36 センチ
拡大/縮小：	100 %
データサイズ：	5.28 MB
自動色調整：	ON
輪郭強調：	ON
ごみ傷除去：	OFF
褪色補正：	OFF
粒状感低減：	OFF
逆光補正：	OFF
手動露光調整：	OFF
選択範囲の色調整データを保持：	OFF
高画質モード：	OFF
スキャン前に毎回キャリブレーションを実行：	OFF
色の設定：	推奨
サイレントモード：	OFF

表示される内容は、お使いのスキャナドライバのバージョンや、インタフェース、各種設定により異なります。

先頭へ戻る▲

明るさ・コントラスト

画像全体、または画像の各要素のRGBの明るさ（ブライトネス）や画像の明暗差（コントラスト）を調整します。スキャンする前の元の画像が、暗すぎたり、明るすぎたり、明暗差が少なくフラットな画質のときに調整します。
明るさ・コントラストボタンをクリックすると、明るさ・コントラストの設定ウィンドウが表示されます。

- 「カラーモード」が［カラー］と［グレースケール］のときに有効な調整項目です。
- 明るさとコントラストの調整方法の詳細は、「もっと上手にスキャンする」の「明るさとコントラストの調整方法」をご覧ください。

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

「チャネル」

スキャンした画像の各ドットの色は、赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）をさまざまな割合（階調）で調整することにより、表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャネル」です。

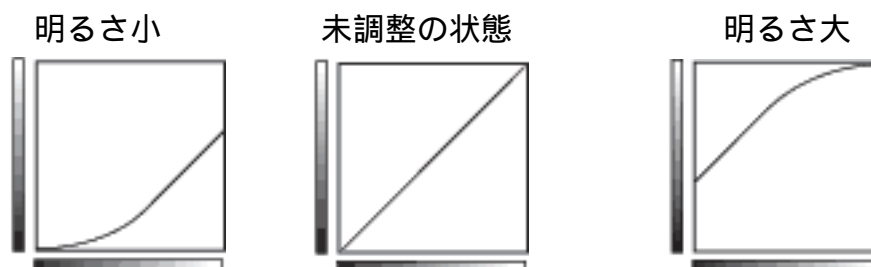
［マスタ］	赤（R）、緑（G）、青（B）を統合した状態での調整／設定を行います。
［赤］	画像のうち赤の要素だけの調整／設定を行います。
［緑］	画像のうち緑の要素だけの調整／設定を行います。
［青］	画像のうち青の要素だけの調整／設定を行います。

- 「カラーモード」が［グレースケール］のときは、「チャネル」は［グレー］のみになります。

先頭へ戻る▲

「明るさ」

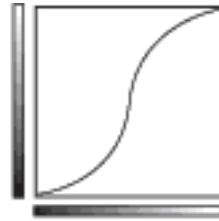
スライダを左右にドラッグして設定します。右に動かすほど明るくなり、左に動かすほど暗くなります。ここでの設定と連動して、グラフが変化します。

- 入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

先頭へ戻る▲

「コントラスト」

スライダを左右にドラッグして設定します。右に動かすほど明暗差が大きくなり、左に動かすほど少なくなります。ここでの設定と連動して、グラフが変化します。

・　入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

コントラスト小←　　未調整の状態　　→コントラスト大

先頭へ戻る▲

リセット　［リセット］ボタン

表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態にします。

先頭へ戻る▲

閉じる　［閉じる］ボタン

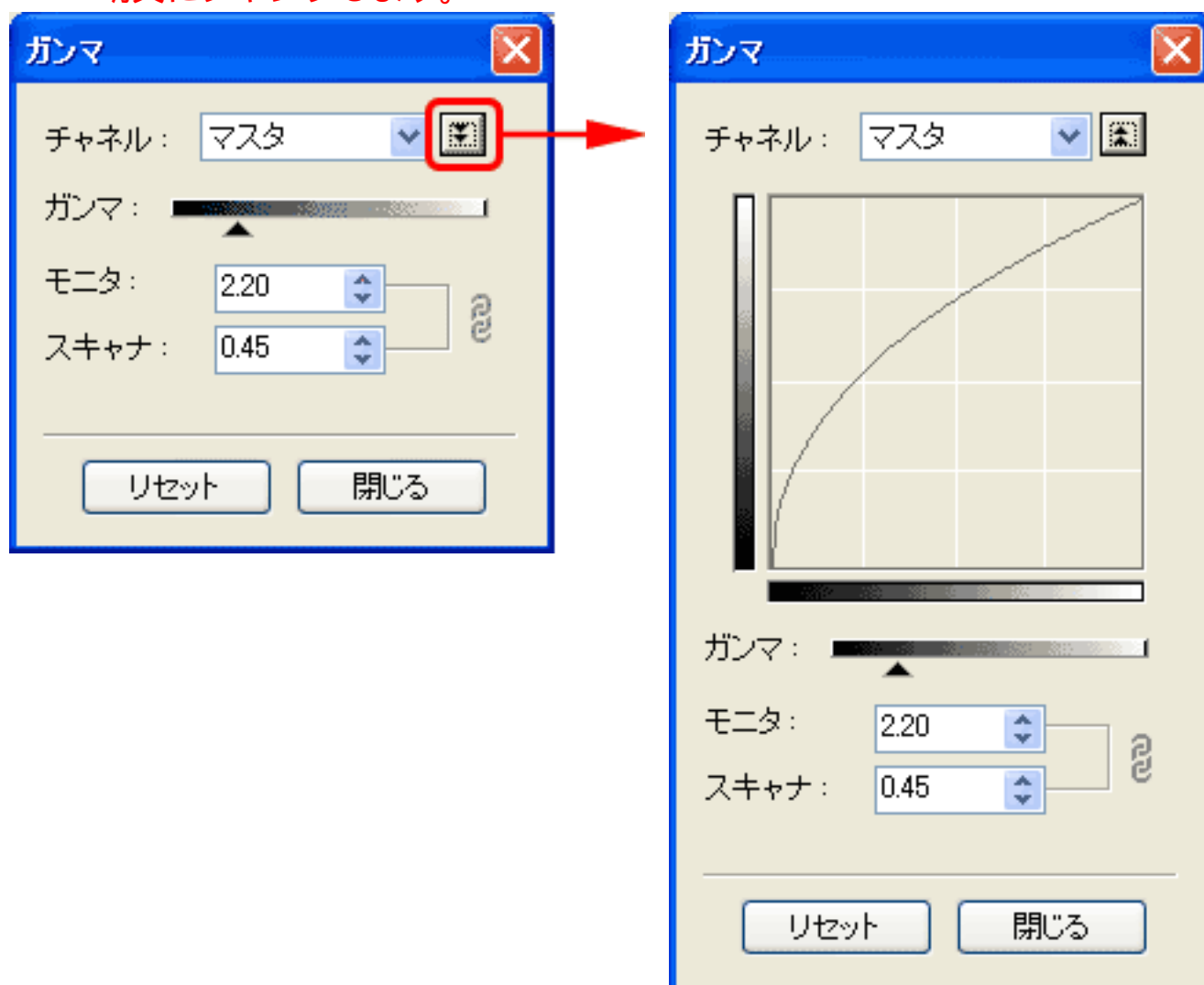
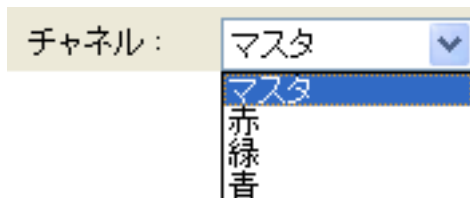
このボタンをクリックすると、設定を有効にしてウインドウを閉じます。

先頭へ戻る▲

ガンマ

モニタ（ディスプレイ）のガンマ値を設定することで、そのモニタの特性に合った明るさに調整します。元の画像の色調と、モニタに表示された画像の色調が違う場合に設定します。
ガンマボタンをクリックすると、ガンマの設定ウィンドウが表示されます。

- 「カラーモード」が［カラー］と［グレースケール］のときに有効な調整項目です。
- ガンマ値の設定に関する詳細は「もっと上手にスキャンする」の「ガンマ値の設定方法」をご覧ください。

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

先頭へ戻る▲

「チャネル」

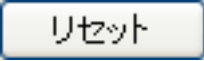
スキャンした画像の各ドットの色は、赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）をさまざまな割合（階調）で調整することにより、表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャネル」です。

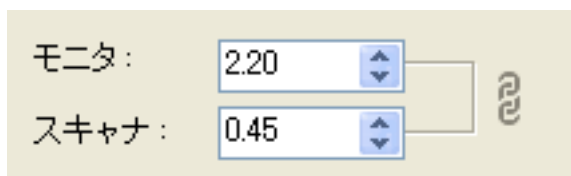
［マスタ］	赤（R）、緑（G）、青（B）を統合した状態での調整／設定を行います。
［赤］	画像のうち赤の要素だけの調整／設定を行います。
［緑］	画像のうち緑の要素だけの調整／設定を行います。
［青］	画像のうち青の要素だけの調整／設定を行います。

・「カラーモード」が［グレースケール］のときは、「チャネル」は［グレー］のみになります。

先頭へ戻る▲

「ガンマ」

スライダを左右にドラッグしてガンマ値を設定します。右に動かすほどモニタのガンマ値が大きくなり、左に動かすほど小さくなります。ここでの設定と連動して、「スキャナ」と「モニタ」の数値とグラフが変化します。

先頭へ戻る▲

「モニタ」／「スキャナ」

「スキャナ」または「モニタ」のガンマ値を直接入力します。入力できる値は0.10～10.00です。「スキャナ」と「モニタ」の項目は連動しており、片方に数値を入力すると、もう片方には入力した数値の逆数が自動的に設定されます。また、ここでの設定と連動して、スライダが左右に動きます。

先頭へ戻る▲

リセット ［リセット］ボタン

表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態にします。

先頭へ戻る▲

閉じる ［閉じる］ボタン

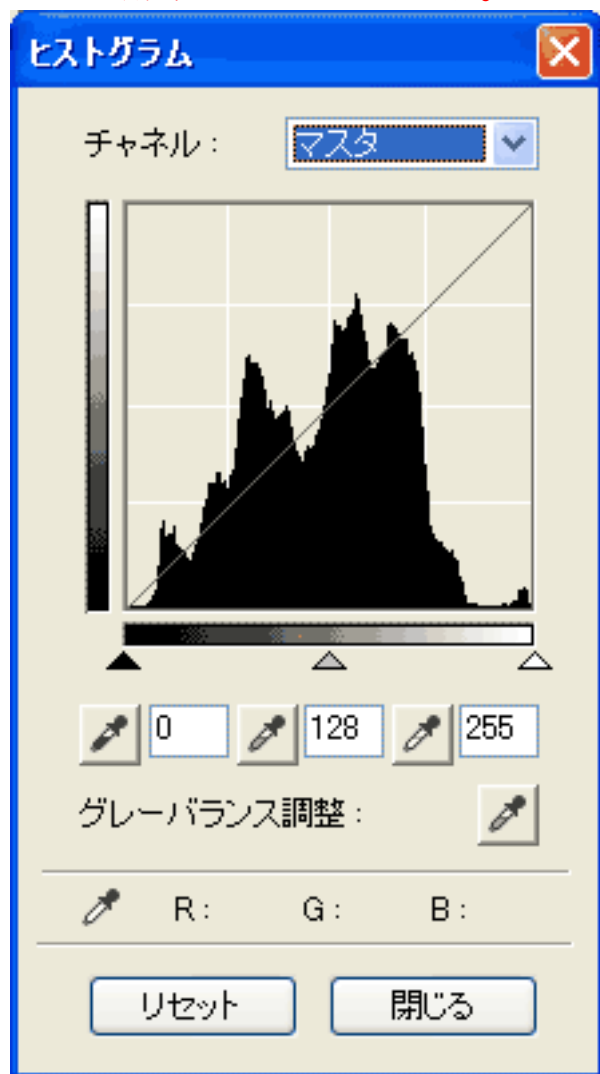
このボタンをクリックすると、設定を有効にしてウインドウを閉じます。

先頭へ戻る▲

ヒストグラム

どれだけの明るさのレベルにどれだけのデータが集中しているかを見るのがヒストグラムです。画像の中のもっとも明るいレベル（ハイライト）ともっとも暗いレベル（シャドウ）を適切に指定して、それらをカットし、中間の階調に広がりを持たせたいときに使います。
ヒストグラムボタンをクリックすると、ヒストグラムの設定ウィンドウが表示されます。

- 「カラーモード」が［カラー］と［グレースケール］のときに有効な調整項目です。
- ヒストグラムの調整についての詳細は「もっと上手にスキャンする」の「ヒストグラムの見かたと調整」をご覧ください。

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

先頭へ戻る▲

「チャネル」

スキャンした画像の各ドットの色は、赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）をさまざまな割合（階調）で調整することにより、表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャネル」です。

［マスタ］	赤（R）、緑（G）、青（B）を統合した状態での調整／設定を行います。
［赤］	画像のうち赤の要素だけの調整／設定を行います。
［緑］	画像のうち緑の要素だけの調整／設定を行います。
［青］	画像のうち青の要素だけの調整／設定を行います。

・「カラーモード」が［グレースケール］のときは、「チャネル」は［グレー］のみになります。

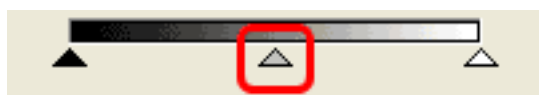
先頭へ戻る▲

暗点スライダ

スライダを左右にドラッグして暗点レベルを設定します。ここの設定より暗いデータはすべてレベル0（シャドウ）になります。ここでの設定と連動して、暗点レベル入力ボックスの数値が変化します。

・レベル入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

先頭へ戻る▲

中間点スライダ

明点と暗点の中間に自動的に移動します。左右にドラッグして中間点レベルを設定することもできます。この設定の明るさがレベル128（ハイライトとシャドウの中間）になります。ここでの設定と連動して、中間点レベル入力ボックスの数値が変化します。

 ・ レベル入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

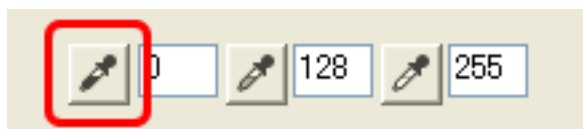
先頭へ戻る▲

明点スライダ

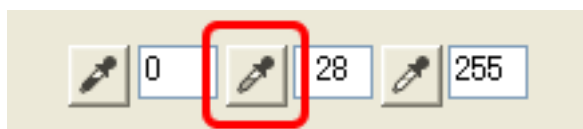
スライダを左右にドラッグして明点レベルを設定します。ここの設定より明るいデータはすべてレベル255（ハイライト）になります。ここでの設定と連動して、明点レベル入力ボックスの数値が変化します。

 ・ レベル入力ボックスに直接数値を入力することもできます。

先頭へ戻る▲

暗点ピッカー

クリックすると、プレビュー画像上のマウスポインタの形状がスポイトに変わります。このスポイトでクリックした位置を黒（0）に設定します。

先頭へ戻る▲

中間点ピッカー

クリックすると、プレビュー画像上のマウスポインタの形状がスポイトに変わります。このスポイトでクリックした位置を中間点に設定します。

先頭へ戻る▲

明点ピッカー

クリックすると、プレビュー画像上のマウスポインタの形状がスポイトに変わります。このスポイトでクリックした位置を白（255）に設定します。

先頭へ戻る▲

「グレーバランス調整」

グレーバランス調整：

クリックすると、グレーバランスの調整を行います。
ボタンをクリックし、カーソルをプレビュー画像の上に置きます。その画素のRGB値（「カラーモード」が［グレースケール］のときは、K値）を表示します。その画素上でクリックすると、その画素のRGB値をもとに、グレーバランス調整を行います。

グレーバランス調整とは、画像の上でクリックされた点を無彩色にし、それに応じた調整を画像すべてにおこなう機能です。
雪が青みがかって写っている写真などで効果があります。

- このボタンのクリックで行えるグレーバランス調整は１回だけです。再度グレーバランス調整を行うには、もう一度、このボタンをクリックして操作します。

先頭へ戻る▲

リセット

［リセット］ボタン

表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態にします。

先頭へ戻る▲

閉じる

［閉じる］ボタン

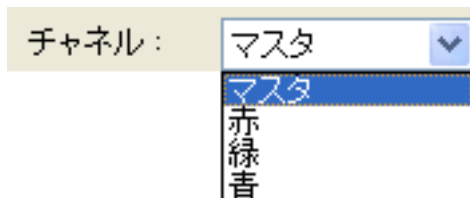
このボタンをクリックすると、設定を有効にしてウインドウを閉じます。

先頭へ戻る▲

トーンカーブ

明暗のバランスを示した「トーンカーブ」というグラフの形を編集して入力と出力のバランスを調整し、画像の明るさを調整します。トーンカーブによる設定では、特定の領域の明るさを、きめ細かく調整することができます。
トーンカーブボタンをクリックすると、トーンカーブの設定ウィンドウが表示されます。

- 「カラーモード」が［カラー］と［グレースケール］のときに有効な調整項目です。
- トーンカーブの調整についての詳細は「もっと上手にスキャンするには」の「トーンカーブの見かたと調整」をご覧ください。

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

先頭へ戻る▲

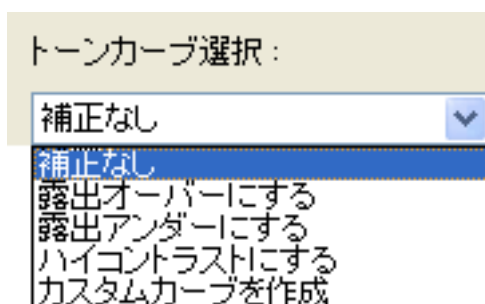
「チャネル」

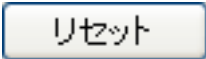
スキャンした画像の各ドットの色は、赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）をさまざまな割合（階調）で調整することにより、表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャネル」です。

［マスタ］	赤（R）、緑（G）、青（B）を統合した状態での調整／設定を行います。
［赤］	画像のうち赤の要素だけの調整／設定を行います。
［緑］	画像のうち緑の要素だけの調整／設定を行います。
［青］	画像のうち青の要素だけの調整／設定を行います。

- 「カラーモード」が［グレースケール］のときは、「チャネル」は［グレー］のみになります。

先頭へ戻る▲

「トーンカーブ選択」

トーンカーブの調整を、次の中から選択します。

［補正なし］
［露出オーバーにする］
［露出アンダーにする］
［ハイコントラストにする］
［カスタムカーブを作成］

「トーンカーブ選択」－［カスタムカーブを作成］の設定
［カスタムカーブを作成］を選択すると、グラフ表示部が編集可能になります。次のような操作でグラフを編集できます。

- グラフ表示部の任意の点をクリックすると、その点を通る滑らかな曲線が作られます。指定した点は黒で表示されます。指定できる点の数は両端を含めて15個以内です。

- 点を移動するときは、マウスドラッグをします。このとき、トーンカーブも連動して変形します。
- 点を削除するときは、グラフの外に点をドラッグします。（Windows の場合は、右クリックで削除できます）
- グラフ表示部を直接クリックしても、［カスタムカーブを作成］を選択した状態になります。

先頭へ戻る▲

リセット

［リセット］ボタン

表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態にします。

先頭へ戻る▲

閉じる

［閉じる］ボタン

このボタンをクリックすると、設定を有効にしてウインドウを閉じます。

先頭へ戻る▲

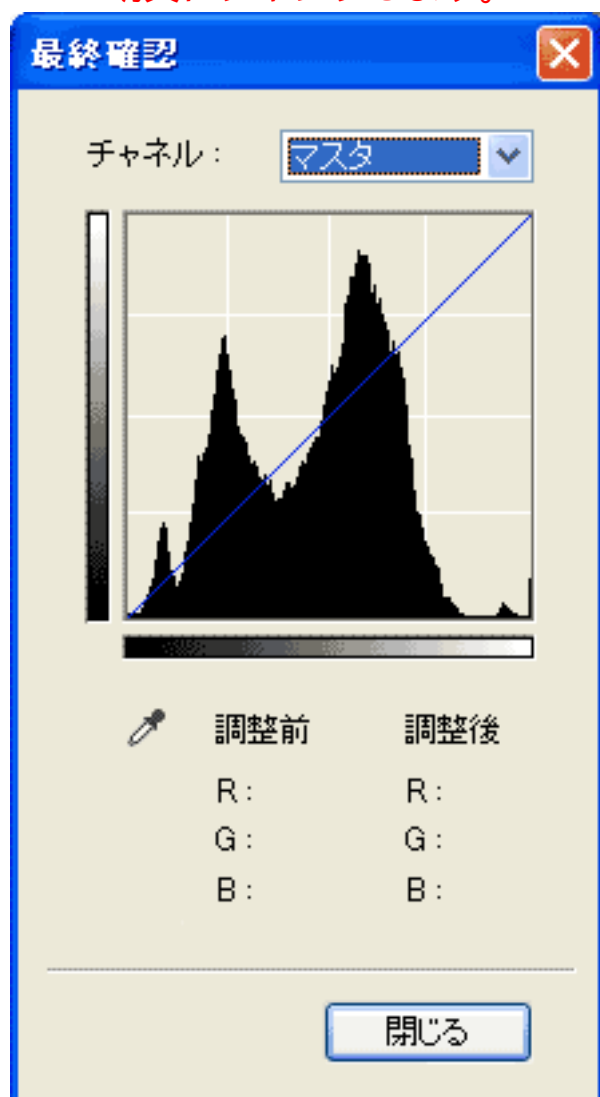
最終確認

色調整の最終確認ボタンです。RGB各チャネル別（「カラーモード」が［グレースケール］のときは、［グレー］のみ）に表示します。また、最終の合成トーンカーブと、その後の画像処理（ネガポジ反転など）で得られるヒストグラムを表示します。
最終確認ボタンをクリックすると、最終確認のウインドウが表示されます。

・「カラーモード」が［カラー］と［グレースケール］のときに有効です。

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

先頭へ戻る▲

「チャネル」

「チャネル」の設定に関係なく、RGB各チャネル（「カラーモード」が［グレースケール］のときは、［グレー］のみ）のトーンカーブを表示します。

先頭へ戻る▲

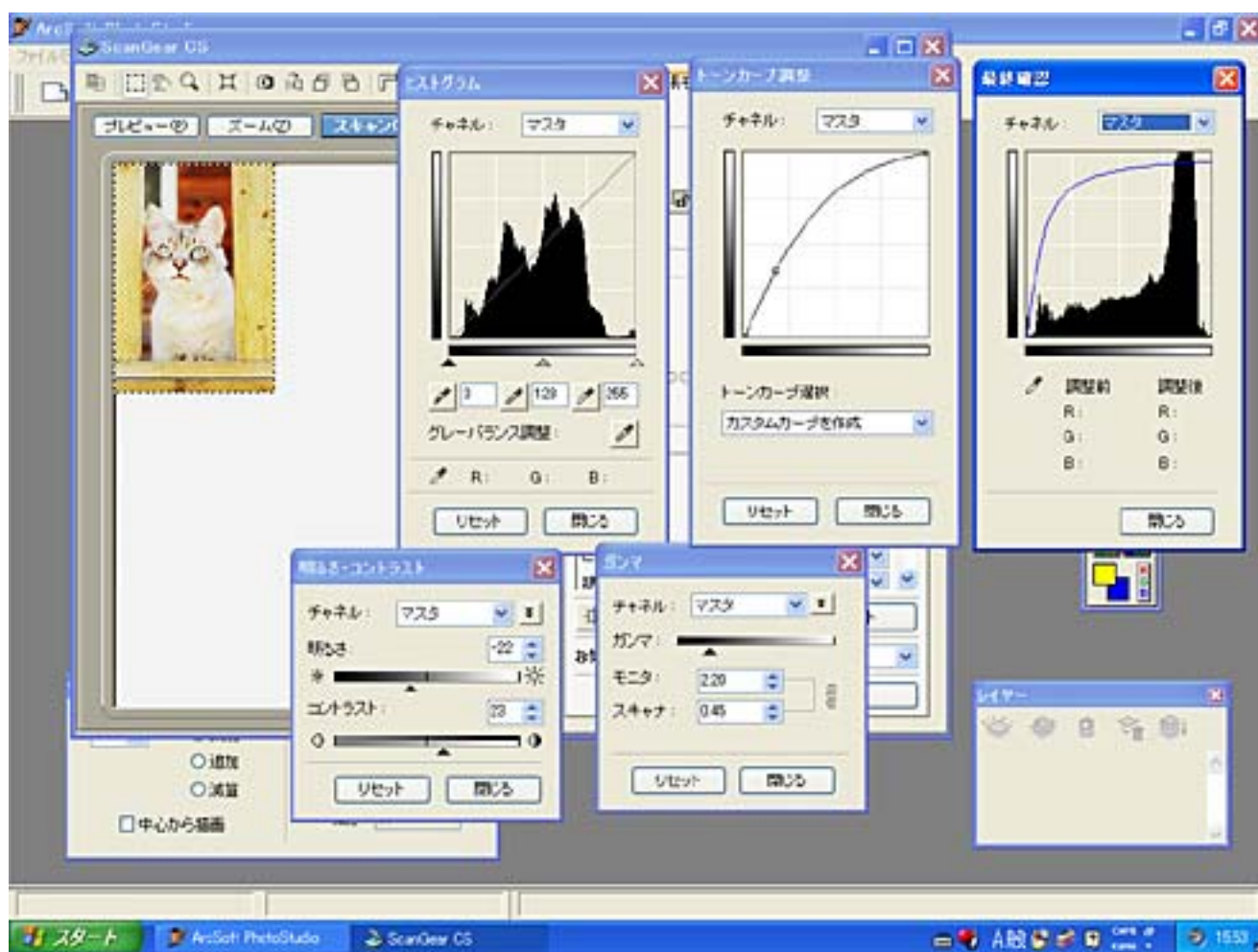
画素値情報表示欄

	調整前		調整後	
	R：	194	R：	194
	G：	176	G：	176
	B：	139	B：	139

プレビュー画像上にカーソルを置くと、その位置の画素の調整前と調整後のRGB値（「カラーモード」が［グレースケール］のときは、K値）を表示します。
プレビュー画像がないとき、カーソルがプレビュー画像上にないときは、何も表示されません。

- 最終確認のウインドウでは、設定する項目はありません。
- 他のボタンの設定ウインドウと同時に表示させて、最終確認しながら各トーンカーブの設定をすることができます。

先頭へ戻る▲

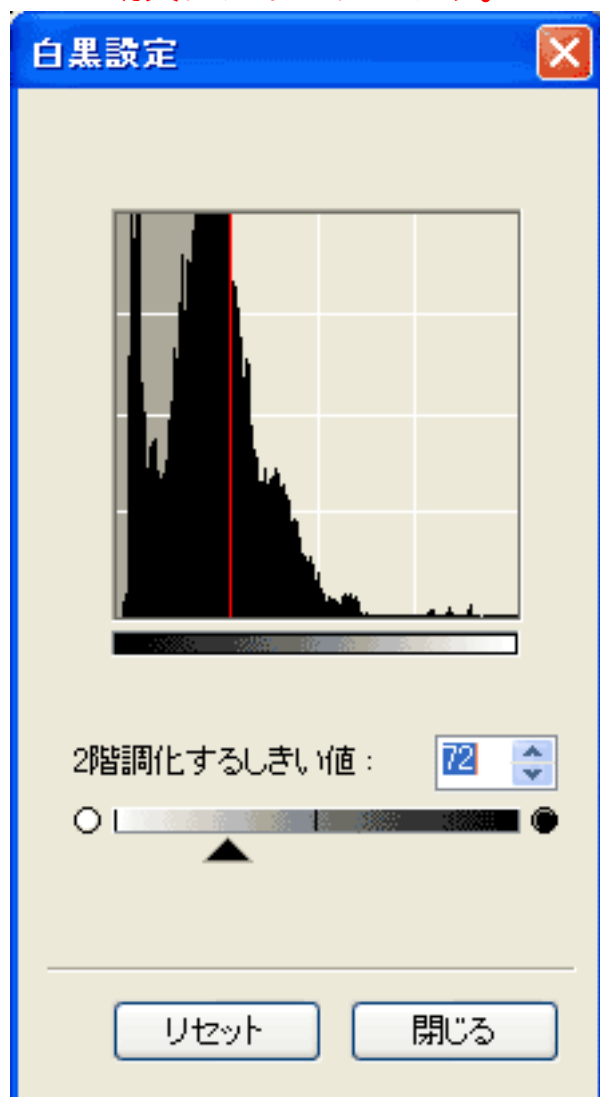
閉じる

［閉じる］ボタン

このボタンをクリックすると、ウインドウを閉じます。

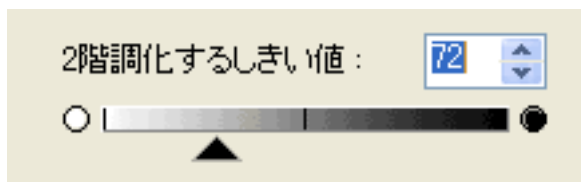
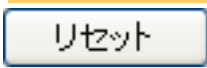
先頭へ戻る▲

白黒設定

カラーやグレースケールの画像では明るさを0～255の数値で表現しますが、白黒の場合は中間色の部分も、白（255）と黒（0）のいずれかに分けて表現します。このときの、白と黒に分ける境を「2階調化する境界値」といいます。2階調化する境界値は、文字原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減するときに便利な機能です。
「白黒設定」では、この2階調化する境界値の設定を行います。

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

- 「カラーモード」が［白黒］のときに有効な調整項目です。［白黒］にすると、色調整のためのボタンが白黒設定ボタンだけに変わります。

先頭へ戻る▲

「2階調化する境界値」

スライダを左右にドラッグして2階調化する境界値を設定します。右に動かすほど値は大きくなり、左に動かすほど値は小さくなります。ここでの設定と連動して、入力ボックスの数値が変化します。

・入力ボックスに、2階調化する境界値の値を直接入力することもできます。入力できる値は0～255です。ここでの設定と連動して、スライダが左右に動きます。

2階調化する境界値の調整
2階調化する境界値の値を大きくすると、白になる部分が少なく（黒になる部分が多く）なり、値を小さくすると、白になる部分が多く（黒になる部分が少なく）なります。

先頭へ戻る▲

リセット

［リセット］ボタン

このボタンをクリックすると、変更された2階調化する境界値の値が初期値に戻ります。

先頭へ戻る▲

閉じる

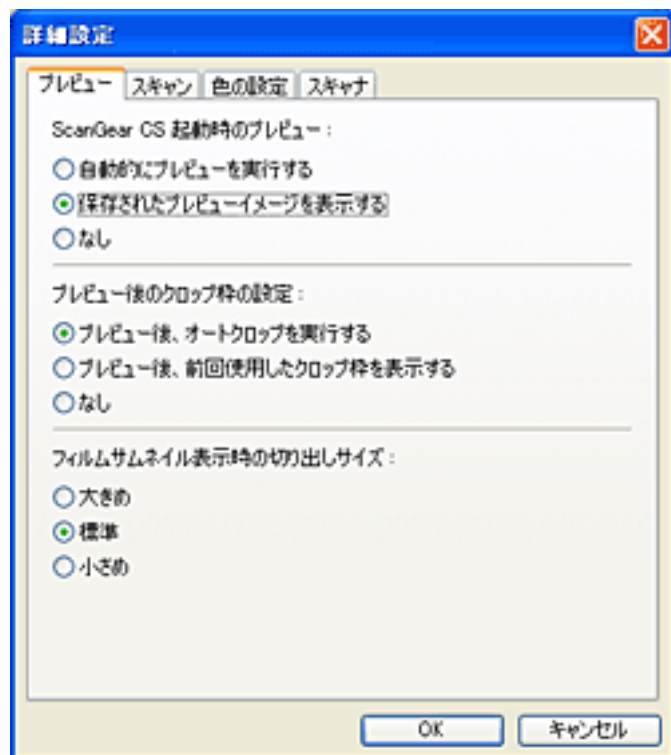
［閉じる］ボタン

このボタンをクリックすると、設定を有効にしてウインドウを閉じます。

先頭へ戻る▲

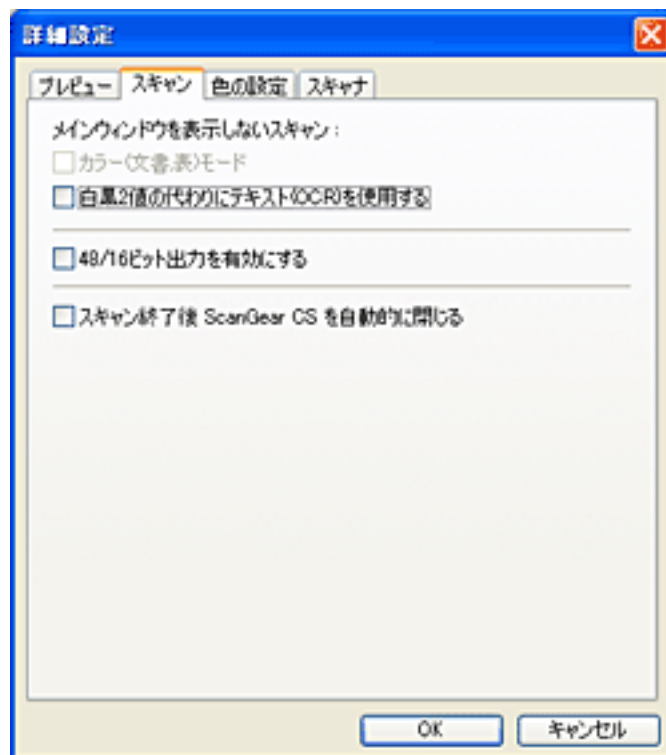
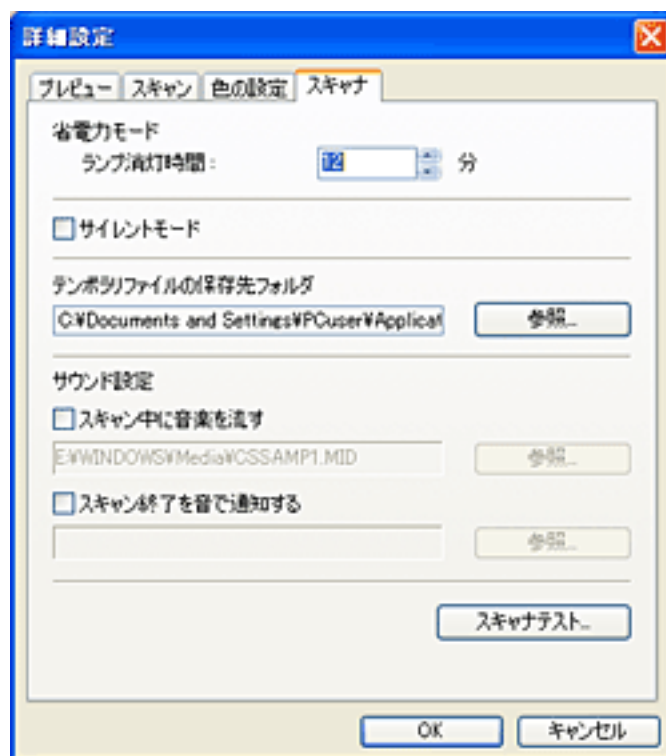
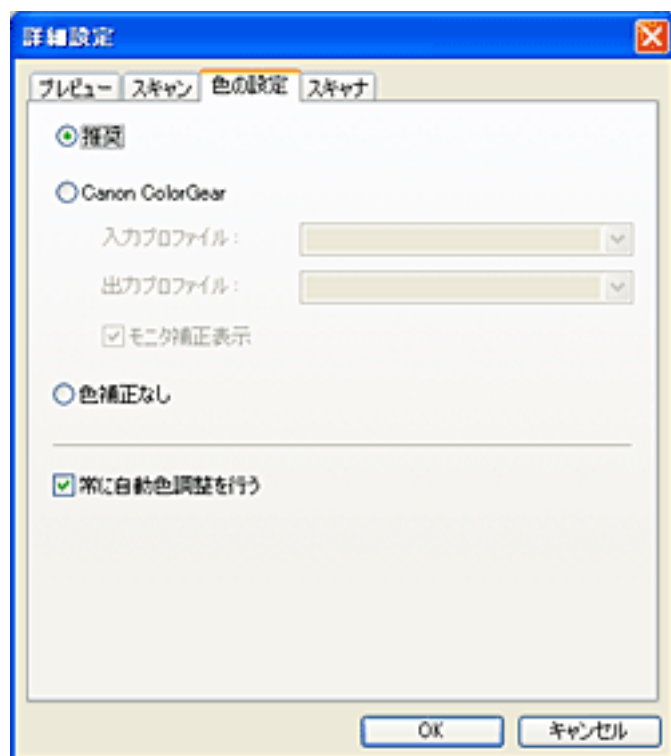
「詳細設定」画面

「詳細設定」画面では、スキャンやプレビュー時の動作、オートクロップや自動色調整など、あらかじめ設定しておくことで自動的に行われる機能について設定します。

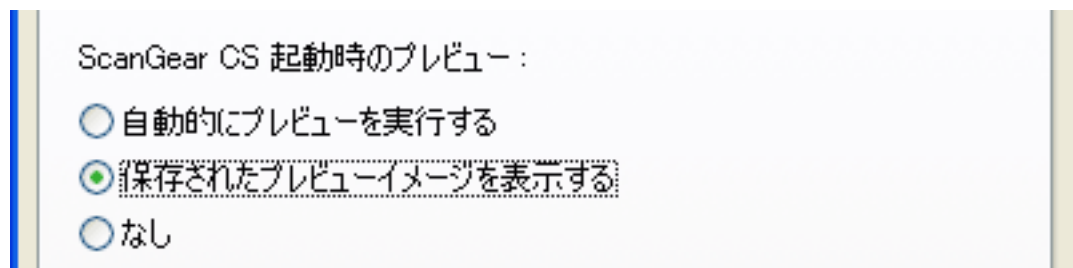
下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

プレビューシートでの設定項目

スキャンシートでの設定項目

[色の設定シートでの設定項目](#) [スキャナシートでの設定項目](#)

先頭へ戻る▲

プレビューシートでの設定項目

「ScanGear CS起動時のプレビュー」

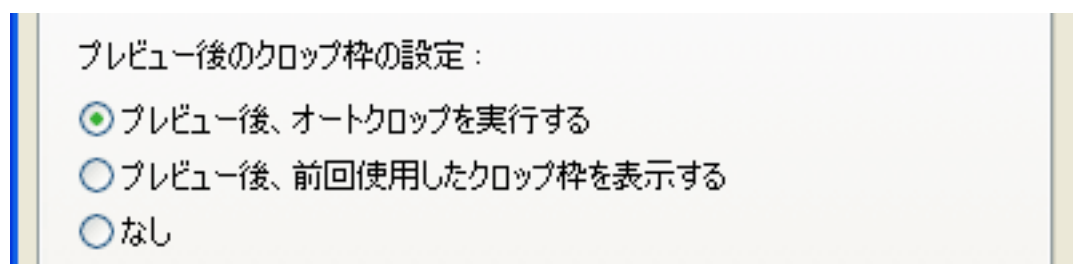
ScanGear CS 起動時のプレビュー：
- ○自動的にプレビューを実行する
- ◉保存されたプレビューイメージを表示する
- ○なし

ScanGear CSを起動したときのプレビューの動作を設定します。次のいずれかをクリックします。

［自動的にプレビューを実行する］	起動後、自動でプレビューを開始します。
［保存されたプレビューイメージを表示する］	ScanGear CS終了時にプレビューエリアのプレビュー画像を保存し、次回ScanGear CSを起動したときに、このプレビュー画像を表示します。
［なし］	起動後、前回のプレビュー画像を表示しません。

- ［保存されたプレビューイメージを表示する］にチェックマークを付けた場合は、プレビュー画像の保存時に、色調整のためのボタンの各設定項目、ツールバーの鏡像、左回転、右回転、色反転、ルーラーボタンの設定も保存されます。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［保存されたプレビューイメージを表示する］がオンになっています。

先頭へ戻る▲

「プレビュー後のクロップ枠の設定」

プレビュー後のクロップ枠の設定：
- ◉プレビュー後、オートクロップを実行する
- ○プレビュー後、前回使用したクロップ枠を表示する
- ○なし

プレビューした後のクロップの動作を設定します。次のいずれかをクリックします。

［プレビュー後、オートクロップを実行する］	プレビューした後、自動的に「原稿サイズ」に合わせてクロップします。
［プレビュー後、前回使用したクロップ枠を表示する］	プレビューした後、前回クロップした範囲と同じ枠を表示します。
［なし］	プレビューした後、クロップ枠は表示しません。

オートクロップを実行した
ときのプレビュー後の状態

オートクロップを実行しない
ときのプレビュー後の状態

- この機能は「原稿の種類」が［紙／写真］の場合のみ有効です。

- 「オートクロップ」は、原稿台に置かれた原稿を1枚とみなしてクロップします。したがって、複数枚の原稿が置かれていた場合には、すべての原稿を含んで1枚の原稿になるようにクロップします。これに対して「マルチクロップ」は、複数の原稿をそれぞれ検知して枚数分のクロップを行います。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では［プレビュー後、オートクロップを実行する］がオンになっています。

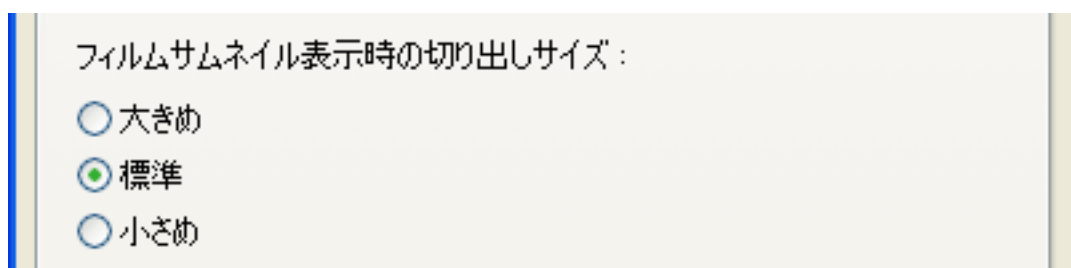
先頭へ戻る▲

「フィルムサムネイル表示時の切り出しサイズ」

フィルムサムネイル表示時の切り出しサイズ：

○ 大きめ

◉ 標準

○ 小さめ

フィルムをサムネイル表示でスキャンするときに、どれくらい余分にスキャンするかを設定します。
次のいずれかをクリックします。

［大きめ］	標準のフィルムの１コマに対して約105%（長さ比）でスキャンします。コマ全体が確実にスキャンされます。コマとコマの間のすき間もスキャンされることがあります。
［標準］	自動的にフィルム枠を切り出す標準設定です。
［小さめ］	標準のフィルムの１コマに対して約95%（長さ比）でスキャンします。コマの周辺で光量が落ちているときなどに有効な設定です。

- コマの外側までクロップしてプレビュー表示された場合は、必要なスキャン範囲をクロップ枠で指定してからスキャンしてください。
  クロップ範囲にフィルムベースやフィルムガイドが残ったままスキャンすると、色味が若干悪くなることがあります。
- この設定を変更するとプレビュー画像に対する設定はすべてリセットされます。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では［標準］になっています。

先頭へ戻る▲

スキャンシートでの設定項目

「メインウィンドウを表示しないスキャン」

メインウィンドウを表示しないスキャン：
☐ カラー(文書,表)モード
☐ 白黒2値の代わりにテキスト(OCR)を使用する

OCRソフトなど、アプリケーションソフトによっては、スキャン時にScanGear CSのメインウィンドウを表示しないものがあります（UIオフモード）。これらのアプリケーションソフトでは、アプリケーションソフトの設定値でスキャンが実行され、「カラーモード」の変更はできません。アプリケーションソフトの設定値を無視して、特定の「カラーモード」でスキャンしたい場合は、この項目で設定します。

［白黒2値の代わりにテキスト（OCR）を使用する］ （Windowsのみ）	この項目にチェックマークを付けた場合は、アプリケーションソフトの設定にかかわらず、「カラーモード」を［テキスト（OCR）］にしてスキャンします。

- この設定は、UIモード（メインウィンドウを表示するモード）のときは無効になります。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、オフになっています。

先頭へ戻る▲

「48／16ビット出力を有効にする」

☐48/16ビット出力を有効にする

この項目をオンにすると、「拡張モード」の「カラーモード」に［カラー（48ビット）］と［グレースケール（16ビット）］が追加され、より高精細なスキャンができるようになります。

- ［グレースケール（16ビット）］は、「原稿の種類」が［フィルム］の場合のみ設定できます。［紙／写真］の場合は設定できません。

- 「拡張モード」画面で、［カラー（48ビット）］または［グレースケール（16ビット）］を選択した後、詳細設定画面で［48／16ビット出力を有効にする］をオフにすると、［カラー（48ビット）］は［カラー］に、［グレースケール（16ビット）］は［グレースケール］に変更されます。
- ［カラー（48ビット）］、［グレースケール（16ビット）］でスキャンされた画像を受け取れないアプリケーションソフトもあります。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態ではオフになっています。

先頭へ戻る▲

「スキャン終了後ScanGear CSを自動的に閉じる」

☐スキャン終了後 ScanGear CS を自動的に閉じる

この項目にチェックマークを付けた場合（オンの状態）、スキャン終了後ScanGear CS のメインウィンドウは自動で閉じられます。

- アプリケーションソフトによっては、この項目の設定内容に関わらず、スキャン終了後ScanGear CSのメインウィンドウを自動的に閉じます。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態ではオフになっています。

先頭へ戻る▲

色の設定シートでの設定項目

「推奨・Canon ColorGear (ColorSync)・色補正なし」

Windows

推奨
Canon ColorGear
入力プロファイル：
出力プロファイル：
モニタ補正表示
色補正なし

Macintosh

色の調整方法について、［推奨］、［Canon ColorGear (Windows) / ColorSync (Macintosh)］、［色補正なし］から選択します。

［推奨］	原稿の色合いを、モニタ画面上で鮮やかに再現します。通常は、この設定を選択することをおすすめします。
［Canon ColorGear］ Windows ［ColorSync］ Macintosh	カラーマネージメントシステムである、Canon ColorGear/ColorSyncを使用して色調整を行います。原稿、モニタ表示、カラープリントの間の色調が近似するように調整します。
［色補正なし］	ScanGear CSが内部的に行っている色補正を行いません。

- ［Canon ColorGear (Windows)/ColorSync (Macintosh)］を選ぶと、色調が自動調整されるため、画像の色調整機能は使用できなくなります（色調整のためのボタンは表示されなくなります）。
- ［色補正なし］を選ぶと、「自動色調整」機能は使用できません。
- この設定は「カラーモード」が［白黒」または［テキスト（OCR)］（Windowsのみ）のとき、無効です。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、［推奨］になっています。

Canon ColorGear (Windows)/ColorSync (Macintosh)について

［Canon ColorGear (Windows)/ColorSync (Macintosh)］を選ぶと、入力プロファイル・出力プロファイル・モニタ補正表示を設定できます。

「入力プロファイル」	スキャナプロファイルを指定します。
「出力プロファイル」	sRGB、Adobe RGB、モニタプロファイル、プリンタプロファイル等のRGBカラースペースのプロファイルを指定します。
「モニタ補正表示」	・チェックを入れると、プレビュー画像はモニタのRGBカラースペースに変換して表示されます。最終取り込み画像は、出力プロファイルで設定されたカラースペースに変換されます。 ・チェックを入れないと、プレビュー画像、最終取り込み画像ともに、出力プロファイルで設定されたカラースペースに変換されます。 ・カラーマネージメント対応アプリケーションソフトを使用している場合は、チェックを入れて使用してください。

カラーマネージメントは、ScanGear CS、OS（モニタの設定）、アプリケーションソフト(*)、プリンタドライバの設定が正しく設定されている場合に、正しく機能します。
OS（モニタ）の設定、アプリケーションソフトの設定については「カラーマネージメントについて」を参照してください。

*カラーマネージメント対応のアプリケーションソフトが必要です。Adobe Photoshop (5.0以降)、Adobe Photoshop Elements、Adobe Illustrator(9.0以降)などがカラーマネージメント対応のアプリケーションソフトです。本スキャナに同梱されているArcSoft PhotoStudioは、カラーマネージメントに対応していません。カラーマネージメントによる正確な色調整を行うには、対応アプリケーションソフトをご用意ください。

先頭へ戻る▲

「常に自動色調整を行う」

☑ 常に自動色調整を行う

この項目にチェックマークを付けると、プレビュー画像のクロップ範囲に対して、常に「自動色調整」を行います。

- ScanGear CSをインストールした直後の状態ではオンになっています。

先頭へ戻る▲

スキャナシートでの設定項目

「省電力モード」

省電力モード
ランプ消灯時間： 12 分

通常、スキャナの電源を入れるとランプが点灯しています。このランプを、一定時間スキャンが行われなかったときに消灯して、消費電力を小さくすることができます。
省電力モードになるまでの時間の設定は、ボックス右側の▲▼ボタンをクリックして数値を選択するか、または数値を入力します。4分から56分の範囲で4分単位で設定できます。

- ScanGear CSをインストールした直後の状態では、「ランプ消灯時間」は12分に設定されています。

先頭へ戻る▲

「サイレントモード」

☐サイレントモード

この項目にチェックマークを付けた場合（オンの状態）、プレビューやスキャン時に原稿読み取りユニットの速度を落とし、騒音を低減します。

- この機能をオンにすると、通常よりスキャン時間がかかります。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態ではオフになっています。

先頭へ戻る▲

「テンポラリファイルの保存先フォルダ」

画像を一時的に保存しておくフォルダを指定します。［参照］ボタンをクリックして、保存先のフォルダを指定します。
起動ディスクに空き容量が少ない場合には、他のハードディスクに保存先フォルダを設定してください。

先頭へ戻る▲

「サウンド設定」

スキャン中、またはスキャン終了時に音楽を流すことができます。

サウンド設定
☐スキャン中に音楽を流す
E:¥WINDOWS¥Media¥CSSAMP1.MID 参照...
☐スキャン終了を音で通知する
参照...

「スキャン中に音楽を流す」「スキャン終了を音で通知する」にチェックマークを付け、それぞれ［参照］ボタンをクリックして、サウンドファイルを指定します。

- Macintosh 「スキャン中に音楽を流す」は使用できません。
- ボリュームの設定は、コンピュータ側で設定してください。ScanGear CSでは設定できません。
- 「スキャン終了を音で通知する」をオンにすると、スキャン画像がアプリケーションソフトに表示されるまで通常より時間がかかります。終了音の長さによっては、通常より最大10秒ほど時間がかかる場合があります。

- 指定できるファイルは次のとおりです。
  MIDIファイル（*.mid、*.rmi、*.midi）
  オーディオファイル（*.wav、*.aif、*.aiff）
  MP3ファイル（*.mp3）
- Macintoshでは、*.rmiは使用できません。
- ScanGear CSをインストールした直後の状態ではオフになっています。

先頭へ戻る▲

スキャナテスト...

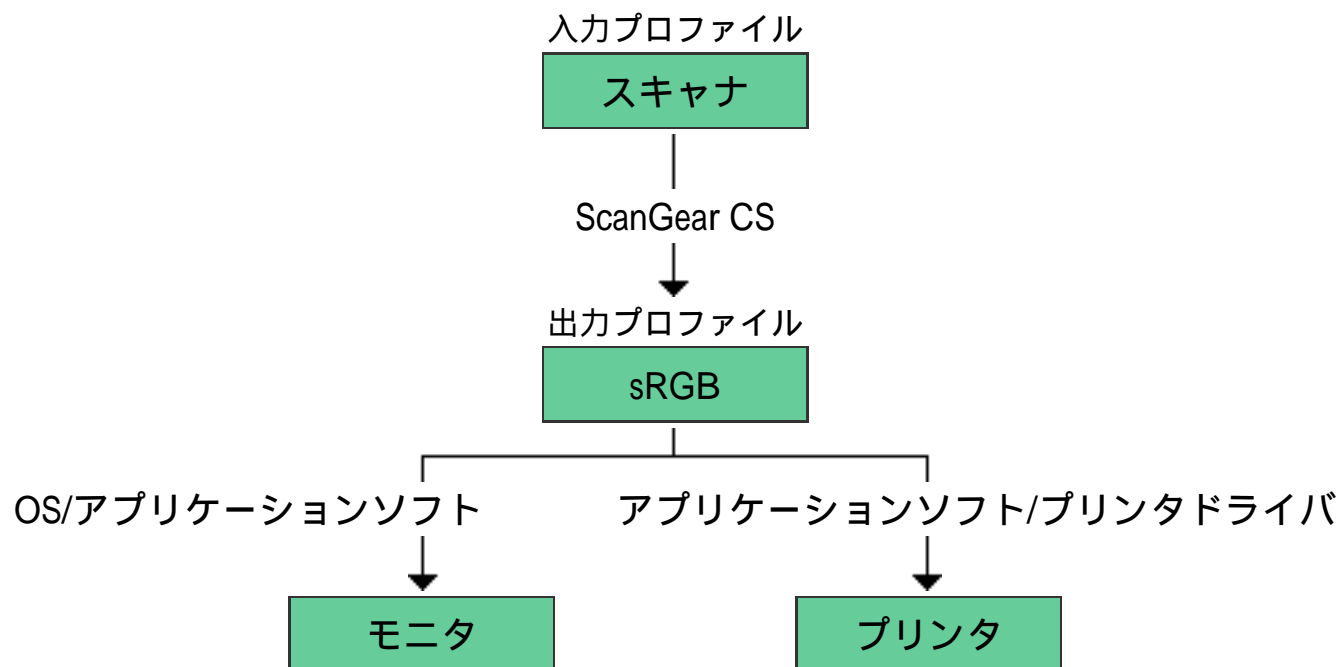
［スキャナテスト］ボタン

スキャナを使用中に故障かなと思われる症状が起こったときはスキャナのテストを行ってください。
［スキャナテスト］ボタンをクリックすると、スキャナ自己診断画面が表示されます。この画面の［スタート］ボタンをクリックすると、スキャナの自己診断がはじまります。

先頭へ戻る▲

カラーマネージメントについて

カラーマネージメントは、以下の例のような流れで、原稿、モニタ表示、カラープリント間の色調が近似するように調整します。

例）出力プロファイルとして、sRGBを選択した場合（初期値）

ScanGear CSは、スキャナのカラースペースからsRGBのカラースペースへ変換します。
モニタに表示するときは、OSでのモニタの設定と、アプリケーションソフトでの作業スペースの設定を行うことで、sRGBのカラースペースからモニタのカラースペースへ変換して表示します。
プリンタに出力するときは、アプリケーションソフトでのプリント設定と、プリンタドライバの設定を行うことで、sRGBのカラースペースからプリンタのカラースペースへ変換してプリントします。

OSでのモニタ設定の方法
アプリケーションソフトでの作業スペース、プリントの設定（Photoshop 7.0）
アプリケーションソフトでの作業スペース、プリントの設定（Photoshop Elements 2.0）

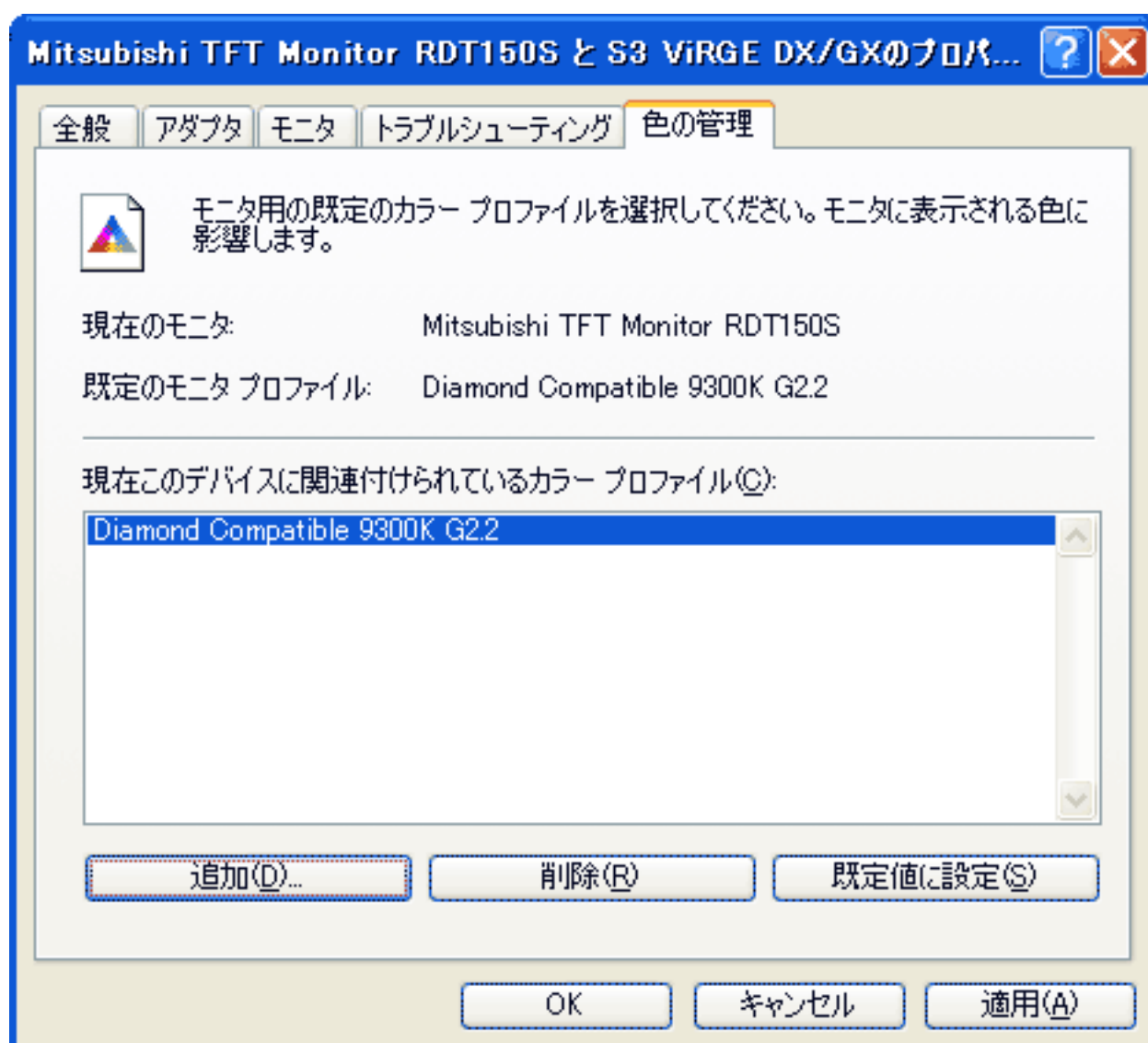
先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

OSでのモニタ設定の方法

Windows

1 ［コントロールパネル］－［画面］－［設定］タブ－［詳細］ボタンの順に選択し、［色の管理］タブをクリックします。

2 ［追加］ボタンをクリックします。

3 ご使用のモニタに合ったプロファイルを選択します。
複数のプロファイルが選択されている場合は、ご使用のモニタ以外のプロファイルを削除します。

プロファイルは、通常はモニタメーカーから提供されています。また、Adobeガンマユーティリティ等のプロファイル作成ツールを用いて作成することもできます。

4 ［OK］をクリックします。クローズボックスをクリックし、画面を閉じます。

Macintosh

1 ［システム環境設定］の［ディスプレイ］で［カラー］タブをクリックします。

2 ご使用のモニタに合ったプロファイルを選択します。

3 クローズボックスをクリックし、画面を閉じます。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る▶

アプリケーションソフトでの作業スペース、プリントの設定 (Photoshop 7.0)

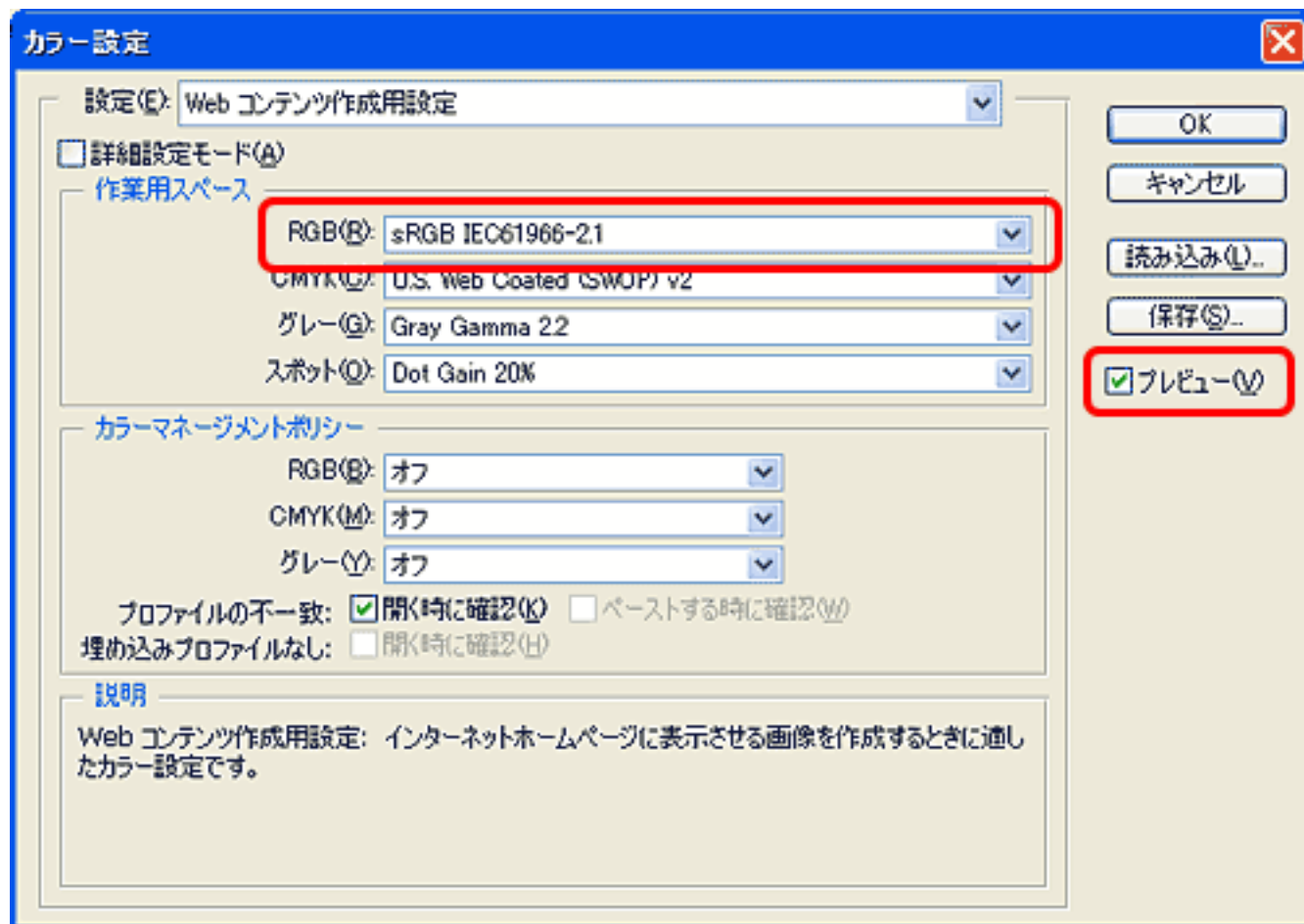
ここではPhotoshop 7.0での設定を説明します。詳細はアプリケーションソフトのマニュアル等を参照してください。

作業スペースの設定

画像編集用の画面の作業スペースの設定を行います。

1. ［カラー設定］を開きます。
   Windows ［編集］-［カラー設定］
   Macintosh ［Photoshop］-［カラー設定］

2. ［作業用スペース］－［RGB］メニューにプロファイルを設定します。プルダウン項目からScanGear CSの「出力プロファイル」の設定と同じプロファイルを選択します。
   同じプロファイルがリストに表示されないときは、「詳細設定モード」チェックボックスにチェックを入れ、再度リストを開きます。

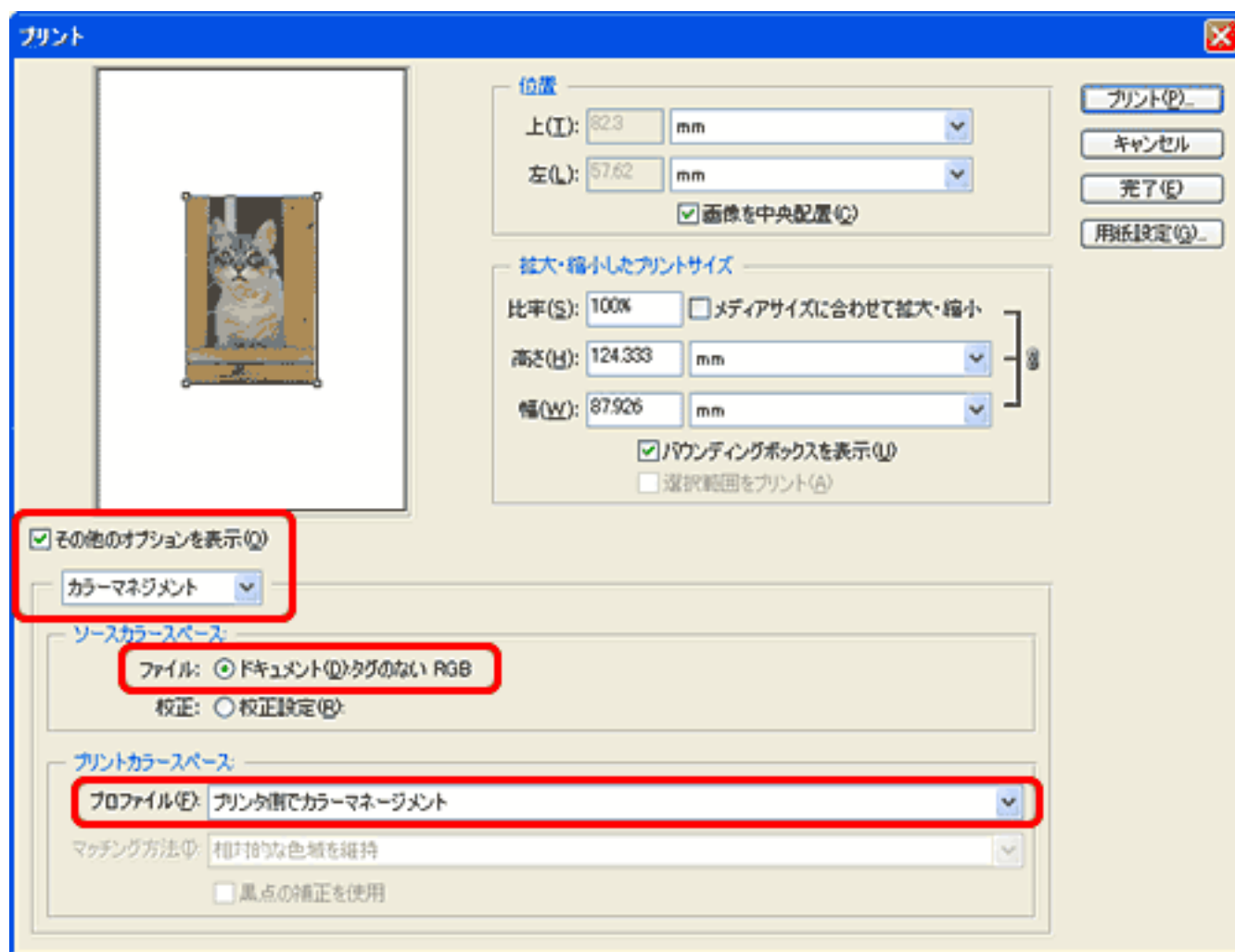
3. 「プレビュー」チェックボックスにチェックを入れます。

4 ［OK］をクリックして、「カラー設定」のダイアログを閉じます。

プリントの設定

プリンタ出力用のカラースペースの設定を行います。

1 画像が開いている状態で、［ファイル］－［プリントプレビュー］を選択します。

2 「その他のオプションを表示」チェックボックスにチェックを入れます。

3 「その他のオプションを表示」チェックボックスの下のコンボボックスから［カラーマネジメント］を選択します。

4 ［ソースカラースペース］－［ファイル］に表示されているプロファイルに対応して、［プリントカラースペース］の［プロファイル］メニューの中から［カラースペースを変換しない］、［プリンタ側でカラーマネージメント］のいずれかを選択します。

下記の表を参照してください。

アプリケーションソフトの設定		プリンタドライバの設定
［ソースカラースペース］－［ファイル］の表示	［プリントカラースペース］－［プロファイル］の設定	色調整の設定
［タグのないRGB］	［プリンタ側でカラーマネージメント］	［ICM］
［出力プリンタのプロファイル］	［カラースペースを変換しない］	［色補正なし］
［その他のプロファイル］	［プリンタ側でカラーマネージメント］	［ICM］

※プリンタドライバでの［色調整の設定］などの項目も、上記に応じて設定してください。

- ［プリンタ側でカラーマネージメント］を選択したとき、［ソースカラースペース］の［ファイル］の表示で表示されているカラースペースの情報が、画像と一緒にプリンタドライバに渡されます。［タグのないRGB］が表示されているときは、作業スペースで設定されているカラースペースが画像と一緒にプリンタドライバに渡されます。

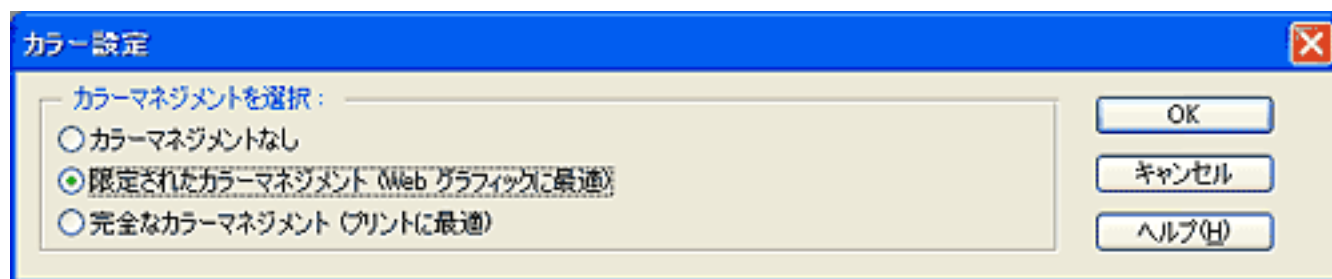
先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

アプリケーションソフトでの作業スペース、プリントの設定 (Photoshop Elements 2.0)

ここではPhotoshop Elements 2.0での設定を説明します。詳細はアプリケーションソフトのマニュアル等を参照してください。

作業スペースの設定

画像編集用の画面の作業スペースの設定を行います。

1 「カラー設定」を開きます。
Windows ［編集］-「カラー設定」
Macintosh ［Photoshop］-「カラー設定」

2 カラーマネージメントを選択します。

- ScanGear CSの「出力プロファイル」の設定で［sRGB］を選択した場合は［限定されたカラーマネジメント（Webグラフィックに最適）］を選びます。
- ScanGear CSの「出力プロファイル」の設定で［AdobeRGB］を選択した場合は［完全なカラーマネジメント（プリントに最適）］を選びます。
- それ以外の場合は［カラーマネジメントなし］を選びます。

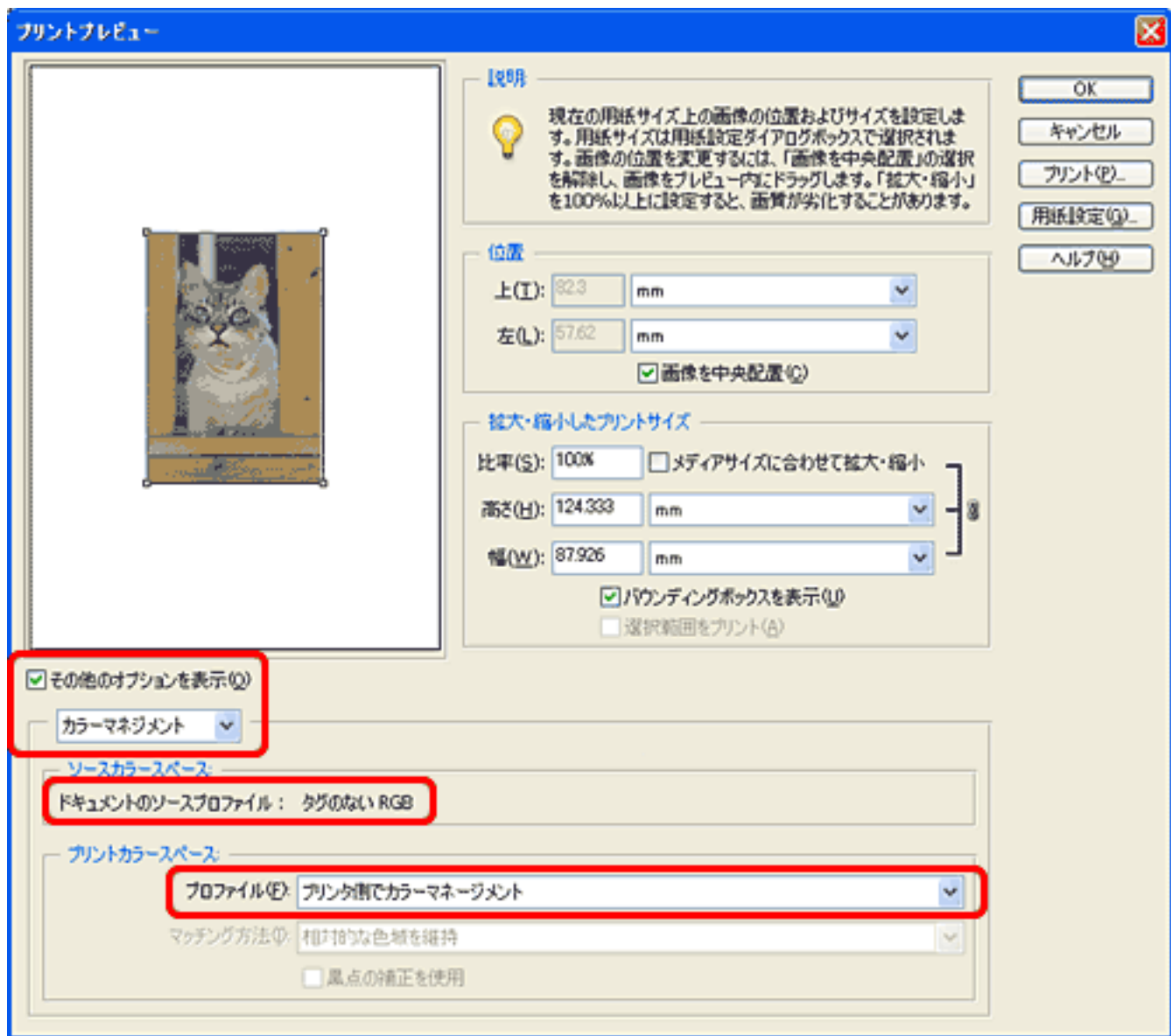
3 ［OK］をクリックして、「カラー設定」画面を閉じます。

プリントの設定

プリンタ出力用のカラースペースの設定を行います。

1 画像が開いている状態で、［ファイル］—［プリントプレビュー］を選択します。

2 「その他のオプションを表示」チェックボックスにチェックを入れます。

3 「その他のオプションを表示」チェックボックスの下のコンボボックスから［カラーマネジメント］を選択します。

4 ［ソースカラースペース］－［ドキュメントのソースプロファイル］に表示されているプロファイルに対応して、［プリントカラースペース］の［プロファイル］メニューの中から［カラースペースを変換しない］、［プリンタ側でカラーマネージメント］のいずれかを選択します。

下記の表を参照してください。

アプリケーションソフトの設定		プリンタドライバの設定
［ソースカラースペース］－［ドキュメントのソースプロファイル］の表示	［プリントカラースペース］－［プロファイル］の設定	色調整の設定
［タグのないRGB］	［プリンタ側でカラーマネージメント］	［ICM］
［出力プリンタのプロファイル］	［カラースペースを変換しない］	［色補正なし］
［その他のプロファイル］	［プリンタ側でカラーマネージメント］	［ICM］

※プリンタドライバでの［色調整の設定］などの項目も、上記に応じて設定してください。

- ［プリンタ側でカラーマネージメント］を選択したとき、［ソースカラースペース］の［ファイル］の表示で表示されているカラースペースの情報が、画像と一緒にプリンタドライバに渡されます。［タグのないRGB］が表示されているときは、作業スペースで設定されているカラースペースが画像と一緒にプリンタドライバに渡されます。

先頭へ戻る▲
前頁へ戻る

CanoScan Toolboxの使いかた

CanoScan Toolboxは、スキャナをより便利に活用するためのソフトウェアです。

具体的な操作方法については、下の各項目をクリックしてください。

※「CanoScan Toolbox」のことを略して「Toolbox」と表記します。

先頭へ戻る▲

CanoScan Toolboxの起動

- Toolbox を起動するときは、ScanGear CSがインストールされ、スキャナが正しく接続されていることを確認してください。

Windows

［スタート］をクリックし、［（すべての）プログラム］の［Canon］-［CanoScan Toolbox 4.9］から［CanoScan Toolbox 4.9］を選択します。

Toolboxが起動し、次のような画面（Toolboxのメイン画面）が表示されます。

- 上記のように表示され、各機能を使用するには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMからすべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。また、プリンタドライバやメールソフトがインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- Toolboxを終了するときは、メイン画面で［閉じる］ボタンをクリックします。

Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.9］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

Toolboxが起動し、次のような画面（Toolboxのメイン画面）が表示されます。

- 上記のように表示され、各機能を使用するには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMからすべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。また、プリンタドライバやメールソフトがインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- Toolboxを終了するときは、メイン画面で［クローズボックス］ボタンをクリックします。

先頭へ戻る▲

CanoScan Toolboxの使いかた

- CanoScan Toolboxの起動
- スキャンの手順
- ボタンの機能

スキャンの手順

Toolboxを使ったスキャンの基本的な手順を簡単に説明します。

1 Toolboxのメイン画面で目的のボタンをクリックします。

・スキャンした原稿を印刷したいとき→「［コピー］ボタン」
・スキャンした原稿を確認しながらレイアウトして印刷したいとき→「［プリント］ボタン」
・スキャンした原稿をメールで送信したいとき→「［メール］ボタン」
・スキャンした原稿をテキストデータにしたいとき→「［OCR］ボタン」
・スキャンした原稿を指定した先へ保存したいとき→「［保存］ボタン」
・スキャンした原稿をPDF形式の文書にしたいとき→「［PDF］ボタン」
・スキャンした原稿を画像ファイルとして管理したり、編集したいとき→「［スキャン-1］［スキャン-2］ボタン」

2 原稿の種類やスキャンの方法、「出力解像度」などを選択します。
（設定する項目は目的の機能により異なります。）

3 必要に応じて、スキャンした画像の保存先やプリンタの設定を行います。

4 ［スキャン］ボタンをクリックします。（コピーでは［コピー］ボタンをクリックします。）

5 （［プリント］ボタンのみ）
「印刷レイアウト」画面で設定をして、［印刷］をクリックします。

・ Toolboxを使ったスキャンの詳しい操作手順については、「スキャンのしかた」の「CanoScan Toolboxでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

ボタンの機能

Toolboxのメイン画面には、次のようなボタンが用意されています。

Windows

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

Macintosh

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

機能ボタン

ボタンをクリックすると各機能の設定に関する説明文にジャンプします。

	［コピー］ボタン	スキャンした画像を、プリンタで印刷します。35mm フィルムもスキャンできます。
	［プリント］ボタン	原稿をスキャンし、「印刷レイアウト」画面で用紙や印刷方法、大きさや位置などを決めて印刷します。紙焼き写真や35mmフィルムからの焼き増しや引き伸ばし印刷に便利です。
	［メール］ボタン	スキャンした画像を、メールソフトの新規メールに添付します。「ファイルの種類」や「保存先」などの設定ができます。
	［OCR］ボタン	スキャンした文字原稿を、付属の活字カラーOCR ソフト読取革命Liteでテキストデータとして読み取ります。テキストデータはワープロソフトなどで編集できます。「出力解像度」や「原稿サイズ」、「ファイルの種類」や「保存先」などが設定できます。
	［保存］ボタン	スキャンした画像を、指定された保存先へ保存します。「出力解像度」や「原稿サイズ」、「ファイルの種類」や「保存先」などが設定できます。35mm フィルムもスキャンできます。

前のメニューに戻る

［PDF］ボタン

スキャンした画像を、Adobe Acrobat ReaderのPDF文書として保存します。
「出力解像度」や「原稿サイズ」、「保存先」などが設定できます。
付属の画像/文書ファイリングソフト ファイル管理革命Lite (Windows) / PDFファイル表示ソフト Adobe Acrobat Reader (Macintosh)で管理します。

［スキャン-1］
［スキャン-2］
ボタン

スキャンした画像を、付属のアプリケーションソフトへ渡します。
初期設定では、［スキャン-1］ボタンにArcSoft PhotoStudio が登録されています。［スキャン-2］ボタンは未登録です。35mm フィルムもスキャンできます。

［設定］ボタン

スキャナ本体のEZボタンを、Toolboxの別の機能に対応させることができます。

- これらの機能を使うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMからすべてのアプリケーションソフトがインストールされていることが必要です。すべてのアプリケーションソフトをインストールすると、［OCR］ボタンには読取革命Liteが、［PDF］ボタンにはファイル管理革命Lite (Windows)/Adobe Acrobat Reader (Macintosh)が、［スキャン-1］ボタンにはArcSoft PhotoStudioが自動的に登録されます。
- ［コピー］ボタン、［プリント］ボタンを使うには、プリンタドライバがインストールされプリンタが使用できる状態になっていることが必要です。また、スキャナとプリンタがパソコンに接続され、同時に使用できる状態になっている必要があります。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

  Windows Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
  （メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

  Macintosh Mail、EUDORA、MS Entourage
- EZボタン、CanoScan Toolboxのボタンを使ってスキャンできるフィルムは、35mmフィルム（スリーブ、マウントポジフィルム）だけです。マウントネガフィルム、モノクロフィルムはスキャンできません。
- マウントネガフィルム、モノクロフィルムをスキャンする場合は、アプリケーションソフトからScanGear CSを起動させて、「拡張モード」でスキャンしてください。→「ScanGear CSの「拡張モード」でスキャンする」
- ネガフィルムとポジフィルムをひとつのフィルムガイドにセットしないでください。

- OCRソフトとは、本や新聞などの活字をテキストデータに変換するソフトウェアです。変換後のテキストデータは、ワープロソフトなどで編集できます。
- ［OCR］ボタン、［PDF］ボタン、［スキャン-1］および［スキャン-2］のボタンには、別のアプリケーションソフトをリンク（登録）することができます。他のアプリケーションソフトをリンクする方法については、各ボタンの「アプリケーションの設定」（メールでは「メールソフトの設定」）をご覧ください。
- ［スキャン-1］ボタンおよび［スキャン-2］ボタンのボタン名を変更することができます。ボタンの下にある「スキャン-1」または「スキャン-2」の部分をクリックすると、文字入力ができる状態になります。キーボードを使ってリンクしたアプリケーションソフトの名前などを入力してください。
  アプリケーションソフトの名前は、半角8文字（全角4文字）までの文字で入力します。文字の入力が終わったら、［Enter］または［return］キーを押します。

先頭へ戻る▲

EZボタンアイコン

EZボタンが、Toolboxのどの機能に割り当てられているかを示します。割り当てられている機能ボタンの上にEZボタンのアイコンが表示されます。

- EZボタンについては「EZボタンでスキャンする」をご覧ください。
- EZボタンをToolboxの他の機能に変更することができます。割り当てる機能を変更するには、メイン画面のEZボタンアイコンを別の機能ボタンの上にドラッグします。操作の詳細については、［設定］ボタンの「ボタンの設定」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

その他のボタン

Windows

［最小化］ウィンドウを最小化します。
［閉じる］Toolboxを終了します。
本スキャナでは使用できません。

Macintosh

［シェードボックス］タイトルバーだけの表示にします。（もう一度クリックすると元に戻ります。）
［クローズボックス］Toolboxを終了します。
本スキャナでは使用できません。

先頭へ戻る▲

［コピー］ボタン（コピー画面）

原稿をスキャンして、そのままプリンタで印刷します。

- スキャンした画像を印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- コピーでの印刷機能は、スキャナとプリンタが同じコンピュータに接続されている場合に対応しています。ネットワーク上のプリンタでは、正常に印刷できないことがあります。

- Windows
  Canon PIXUSシリーズのプリンタをお使いの場合には、スキャナでの画像の読み込みと並行してプリンタで印刷を行い、処理時間を短縮する並行処理コピーができます。→「並行処理コピー（Windows）」

Toolboxのメイン画面で（［コピー］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

Windows

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

コピー

[コピー]
原稿をコピーします。

スキャンの設定

原稿の種類：自動判別
スキャンモード：カラー
出力解像度：標準(300dpi)
原稿サイズ：A4
拡大/縮小：100%（等倍）
明るさ：

スキャナドライバを表示する

プリンタの設定

用紙サイズ：A4
コピー枚数：1
プリンタ：Canon PIXUS 990i　プロパティ...
用紙の種類：普通紙
フチなし全面印刷

初期設定に戻す　適用　キャンセル　コピー

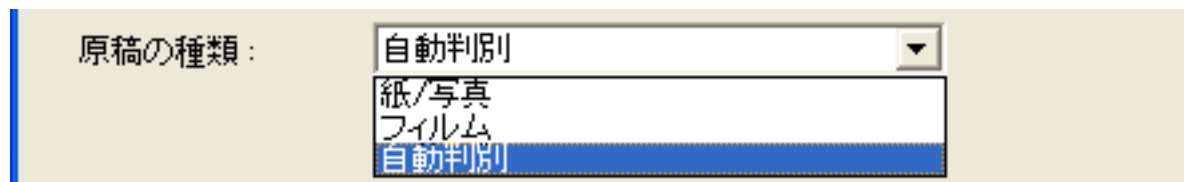
- Windows お使いのプリンタによって表示内容が一部異なります。

Macintosh

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

先頭へ戻る▲

「原稿の種類」

原稿の種類：
自動判別
紙/写真
フィルム
自動判別

スキャンする原稿の種類を選択します。
次の3つの種類から選択します。

［紙／写真］	紙の原稿や写真をスキャンします。
［フィルム］	35mmフィルムをスキャンします。
［自動判別］	紙／写真の原稿か、フィルムかを自動的に判別してスキャンします。

- ［自動判別］を選択した場合、「スキャンモード」、「出力解像度」、「原稿サイズ」、「拡大/縮小」、「明るさ」は設定できなくなり、以下の設定でスキャンします。

	「スキャンモード」	「出力解像度」	「原稿サイズ」
［紙／写真］の場合	［カラー］	［標準（300dpi）］	［A4］サイズ
［フィルム］の場合	［全コマスキャン］	［標準（300dpi）］	［35mmフィルム］

先頭へ戻る▲

「スキャンモード」

スキャンの方法を選択します。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

スキャンモード：カラー
白黒
グレースケール
カラー
カラー(雑誌、カタログ)
カラー(マルチスキャン)
カラー(オートクロップ)

次の6つのモードから選択できます。

［白黒］	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
［グレースケール］	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
［カラー］	「モアレ低減」機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。プリント写真などをスキャンするのに適しています。
［カラー（雑誌、カタログ）］	「モアレ低減」機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
［カラー（マルチスキャン）］	カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に切り出し、傾きを補正して、複数の画像ファイルを作成します。
［カラー（オートクロップ）］	カラーで原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減」機能は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。「モアレ低減」機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンした場合、複数の原稿を印刷します。
- 原稿の置きかたについては、「目的別にスキャンする」の「複数の原稿を一度にスキャンする（マルチスキャン）」をご覧ください。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

スキャンモード：サムネイル画面表示
全コマスキャン
サムネイル画面表示

次の2つのモードから選択できます。

［全コマスキャン］	原稿台に置かれたすべてのコマをスキャンします。
［サムネイル画面表示］	サムネイル画面をいったん表示し、選択したコマをスキャンします。

- サムネイル画面でスキャンするコマを選択する方法については、「スキャンの手順／フィルムをスキャンする」の「CanoScan Toolboxでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「出力解像度」

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
解像度が高い（数値が大きい）ほど、より精細な画像を出力できます。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

出力解像度：標準(300dpi)
速度優先(150dpi)
標準(300dpi)
画質優先(600dpi)

次の3つの解像度を選択できます。

［速度優先（150dpi）］	「出力解像度」が150dpiになるようにスキャンします。
［標準（300dpi）］	「出力解像度」が300dpiになるようにスキャンします。
［画質優先（600dpi）］	「出力解像度」が600dpiになるようにスキャンします。

- 「拡大／縮小」で［用紙に合わせる］が選択された場合には、状況に応じて自動的に解像度が変更されます。
- Macintoshの場合、原稿の横幅が4096ピクセル以上の画像は印刷できないため、「原稿サイズ」によっては、［画質優先（600dpi)］が選択できません。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」および「解像度とデータ容量」をご覧ください。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

出力解像度：　標準(300dpi)

速度優先(150dpi)
標準(300dpi)
画質優先(600dpi)

次の3つの解像度を選択できます。

［速度優先（150dpi）］	「出力解像度」が150dpiになるようにスキャンします。 L判サイズ（8.9 x 12.7cm）で印刷する場合などに選択します。
［標準（300dpi）］	「出力解像度」が300dpiになるようにスキャンします。 L判サイズ（8.9 x 12.7cm）で高画質印刷する場合に選択します。
［画質優先（600dpi）］	「出力解像度」が600dpiになるようにスキャンします。 A4サイズ程度まで拡大して印刷したり、高性能カラープリンタで印刷する場合に選択します。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」および「解像度とデータ容量」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「原稿サイズ」

スキャンする原稿のサイズを選択します。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

次のサイズを選択できます。

［A4］、［B5］、［名刺］、［L判縦］、［L判横］、［2L判縦］、［2L判横］、［はがき縦］、［はがき横］、［画像の貼り合わせ（B5+B5）］、［画像の貼り合わせ（A4+A4）］、［画像の貼り合わせ（原稿台全面×2）］、［ユーザー設定］。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、2L判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

［画像の貼り合わせ（B5+B5）］、［画像の貼り合わせ（A4+A4）］、［画像の貼り合わせ（原稿台全面×2）］を選択した場合、原稿を左半分と右半分に分けてスキャンし、それらを貼り合わせます。 →「画像の貼り合わせの詳しい手順」

［ユーザー設定］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「原稿サイズ」は選択できません。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

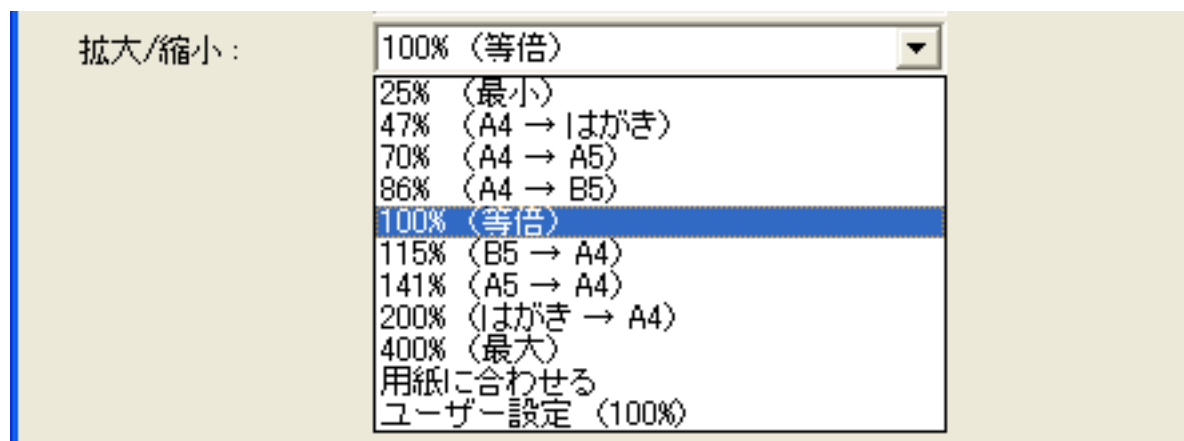
原稿サイズ： 35mmフィルム

「原稿サイズ」は［35mmフィルム］になります。

先頭へ戻る▲

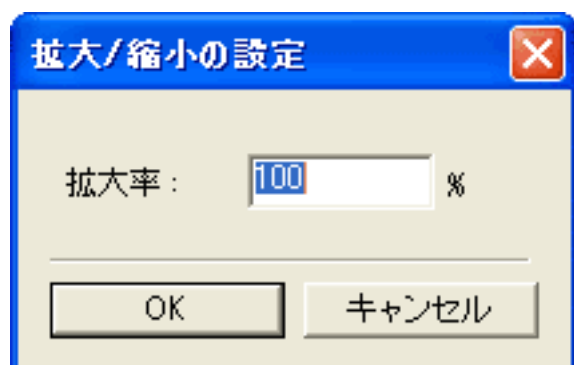
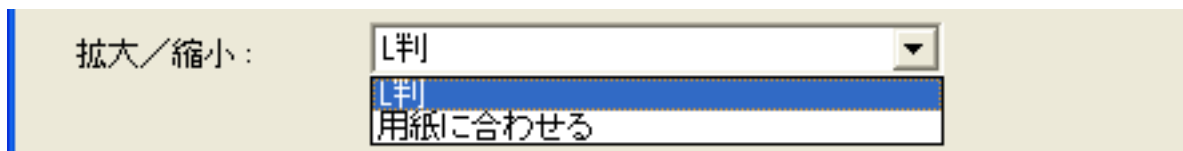
「拡大／縮小」

印刷する用紙や使用目的に合わせ、自由に拡大や縮小が選択できます。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

原稿のサイズと印刷する用紙に合わせ、次のような9種類の拡大率（%）や自動設定、手動による拡大率指定が選択できます。

［25%（最小）］、［47%（A4→はがき）］、［70%（A4→A5）］、［86%（A4→B5）］、［100%（等倍）］、［115%（B5→A4）］、［141%（A5→A4）］、［200%（はがき→A4）］、［400%（最大）］、［用紙に合わせる］、［ユーザー設定］

［用紙に合わせる］を選択した場合は、スキャンした画像全体が、印刷する用紙に収まるように自動的に画像の大きさを調整します。ただし、画像の縦横の比率は変更しないので、原稿と用紙サイズの組み合わせによっては、上下または左右に余白ができます。

［ユーザー設定］を選択した場合は、「パーセンテージ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。25～400%の範囲が入力できます。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

［L判］	L判（8.9 x 12.7cm）の大きさになるように、用紙の左上隅に画像を合わせて印刷します。
［用紙に合わせる］	スキャンした画像全体が、印刷する用紙に収まるように自動的に画像の大きさを調整します。ただし、画像の縦横の比率は変更しないので、原稿と用紙サイズの組み合わせによっては、上下または左右に余白ができます。

- スキャンした画像は、ご使用になるプリンタで印刷可能な領域に印刷されます。ご使用になるプリンタによって、印刷可能領域は異なります。詳しくはプリンタの取扱説明書をお読みください。

先頭へ戻る▲

「明るさ」

明るさ：

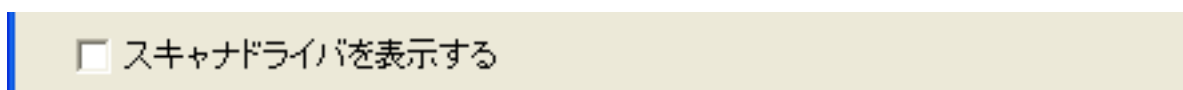
スキャンの明るさを設定します。
ツマミを左に動かすほど暗い画像に、右に動かすほど明るい画像になります。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「明るさ」は設定できません。
- 「原稿の種類」が［フィルム］、［自動判別］の場合、「明るさ」は設定できません。

- 「スキャンモード」が［白黒］の場合は、この項目で「白と黒の境界となる明るさ」を設定することになります。

先頭へ戻る▲

「スキャナドライバを表示する」

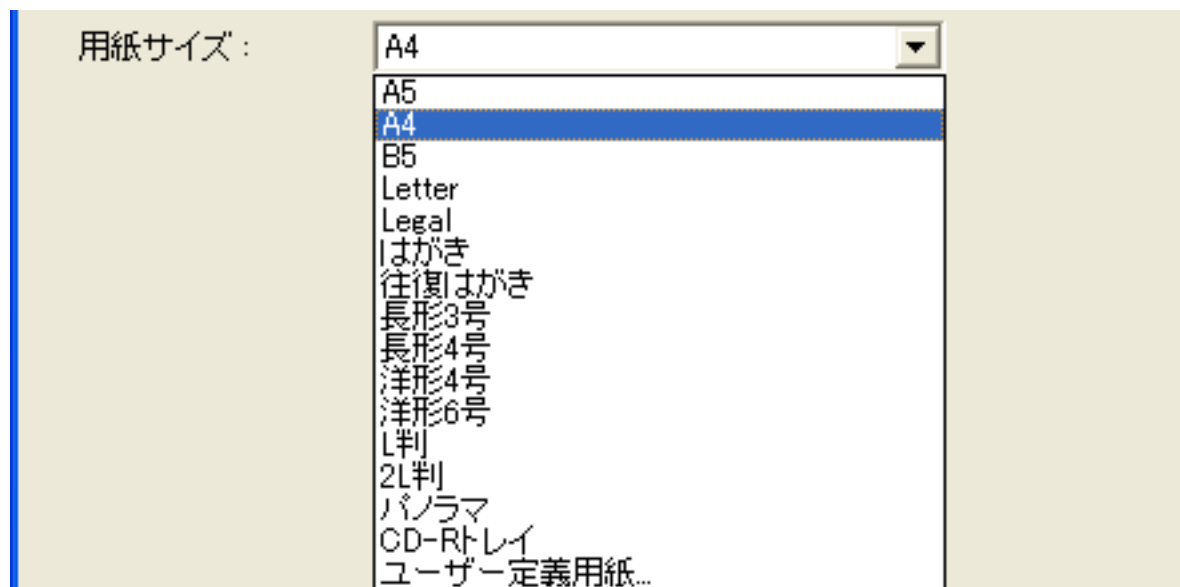
スキャナドライバを表示する

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［コピー］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。
「原稿の種類」「スキャンモード」「出力解像度」「原稿サイズ」などのスキャナの設定項目はすべてグレーアウトになって設定できなくなり、ScanGear CSの画面で設定することになります。

- ScanGear CSでカラー／A4／1200dpiを超える画像サイズをスキャンしようとすると、警告メッセージが表示され、スキャンできません。解像度を低くしてスキャンしてください。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルが印刷されます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CSの使いかた」の「「基本モード」の機能」または「「拡張モード」の機能」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

プリンタの設定 Windows

「用紙サイズ」

印刷する用紙のサイズを選択します。

- 選択されているプリンタによって、選択できる用紙サイズが異なります。

先頭へ戻る▲

「コピー枚数」

コピー枚数： 1

印刷する枚数を設定します。
表示部右側の［▲］ボタン、［▼］ボタンをクリックするか、直接数値を入力して設定します。
最大99枚まで設定できます。

先頭へ戻る▲

「プリンタ」

プリンタ： Canon PIXUS 990i プロパティ...

複数のプリンタを接続している場合に、使用するプリンタを選択します。
［プロパティ］ボタンをクリックすると、プリンタに関する細かい設定を行う画面が表示されます。

先頭へ戻る▲

「用紙の種類」

使用する用紙の種類を選択します。

- 選択されているプリンタによっては、この項目が表示されない場合があります。
- 選択されているプリンタによって、選択できる用紙の種類が異なります。

先頭へ戻る▲

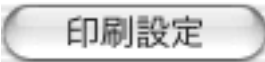
「フチなし全面印刷」

☐ フチなし全面印刷

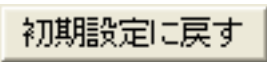
この項目にチェックマークを付けると、画像をフチなしで印刷します。

- キヤノン製インクジェットプリンタで「フチなし全面印刷」に対応しているモデルのみ選択できます。
- フチなし全面印刷は、原稿を用紙サイズよりも拡大して印刷するため、用紙からはみ出した部分は印刷されません。

先頭へ戻る▲

プリンタの設定 Macintosh

用紙設定 ［用紙設定］ボタン

印刷する用紙の設定を行います。
用紙のサイズや印刷方向、拡大/縮小などを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

- ［対象プリンタ］のプルダウンメニューで使用するプリンタを選択します。

- お使いのプリンタによって表示される画面や設定できる項目は異なります。

先頭へ戻る▲

印刷設定 ［印刷設定］ボタン

印刷する部数やページ、印刷の品質や方法などを設定します。

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適 用 ［適用］ボタン

設定した内容を保存し、有効にします。
［適用］ボタンを押さずに［キャンセル］ボタンを押すと、設定内容は無効になります。

- COPYボタン、SCANボタン、PDFボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンのしかた」の「EZボタンでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル ［キャンセル］ボタン

現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。
設定を変更した場合、［適用］ボタンが押されていないと、設定した内容は無効になります。

先頭へ戻る▲

コピー ［コピー］ボタン

設定した内容で原稿をスキャンして、印刷します。
「スキャナドライバを表示する」にチェックマークを付けた場合は、ScanGear CSの画面が表示されます。

- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択し、複数の原稿をスキャンした場合は、複数の原稿を印刷します。
- プリンタで印刷する方法については、「目的別にスキャンする」の「原稿をコピーする」、「写真を印刷する（焼き増し、引き伸ばし）」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

並行処理コピー

Canon PIXUSシリーズのプリンタを下記の動作環境でお使いの場合には、スキャナでの画像の読み込みと並行してプリンタで印刷を行い、処理時間を短縮する並行処理コピーができます。

システム構成

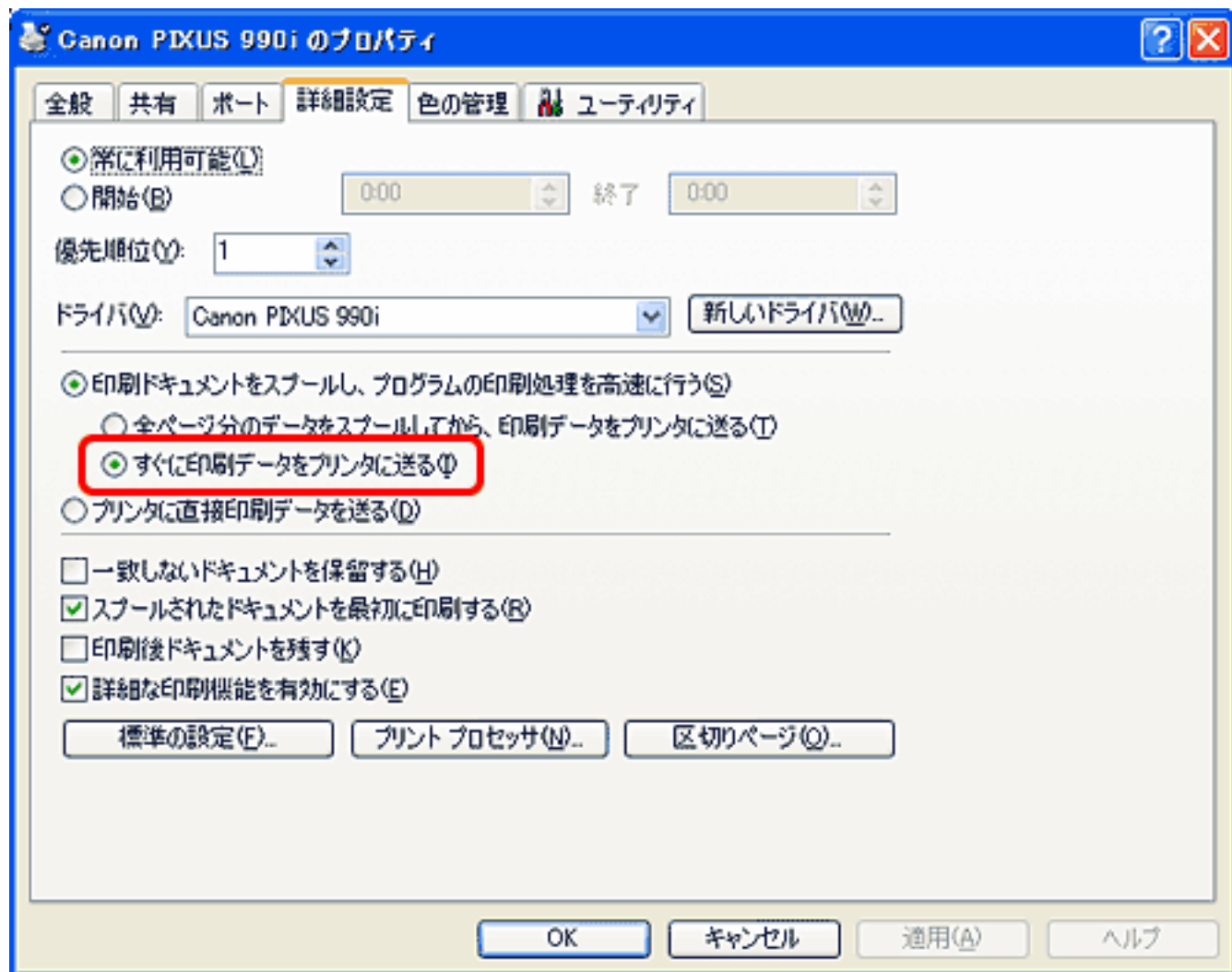
対応プリンタ	PIXUS 990i / PIXUS 960i / PIXUS 950i / PIXUS 860i / PIXUS 850i / PIXUS 560i / PIXUS 550i / PIXUS 9900i / PIXUS 9100i / PIXUS 6500i / PIXUS 6100i / PIXUS iP8600 / PIXUS iP8100 / PIXUS iP7100 / PIXUS iP6100D / PIXUS iP4100 / PIXUS iP4100R / PIXUS iP3100 / PIXUS 900PD / F930 / F900 / 895PD / F890PD / F890 / S700 / S530 / 535PD / S500 プリンタドライバのバージョンアップが必要です。（ドライバ Ver.1.6以上）*
インタフェース	スキャナ側：USB2.0 プリンタ側：USB1.1/2.0 （IEEE1394、パラレルは対応していません）
対応OS	Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional

* 対応機種について詳しくは、キヤノスキャンホームページの「サポートメニュー」から「並行処理コピー」をご覧ください。

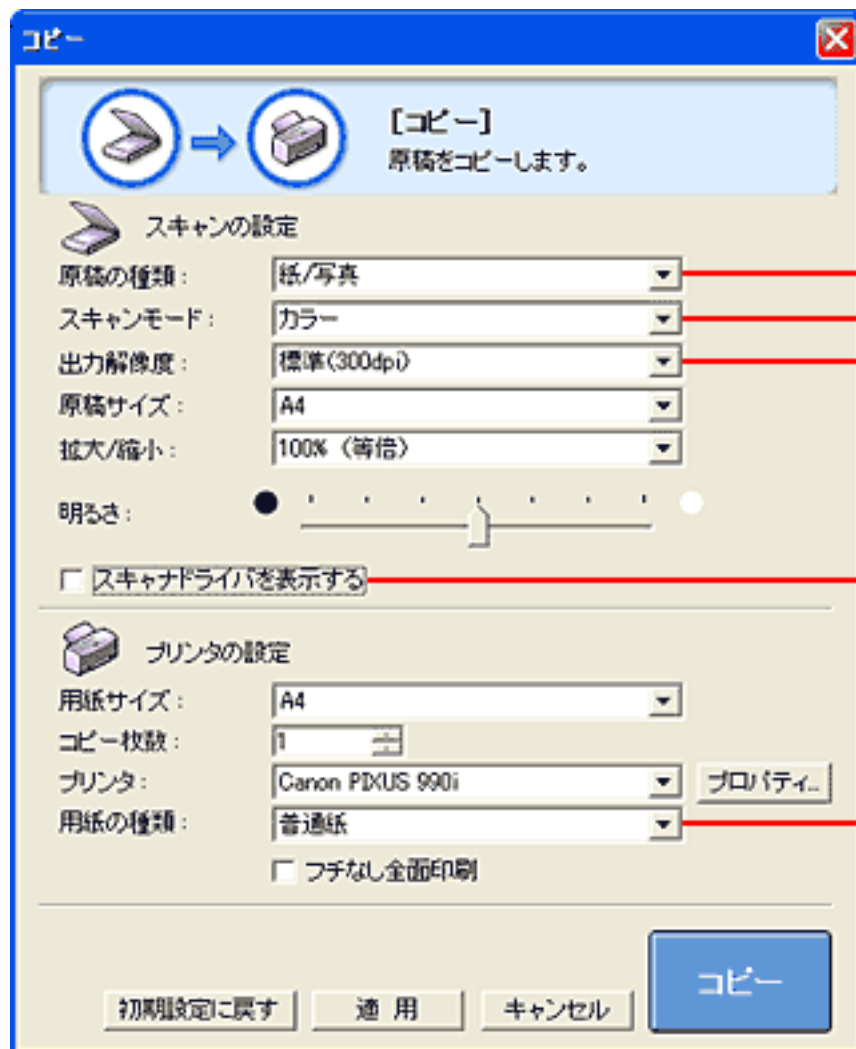
先頭へ戻る▲

プリンタドライバの設定

かならず「すぐに印刷データをプリンタに送る」を選択します。

- プリンタドライバを表示するには
  ［スタート］メニューの［プリンタとFAX］（Windows XP）または［設定］-［プリンタ］（Windows 98/Me/2000）を開いて、使用しているプリンタを右クリックして、「プロパティ」を選びます。プロパティのダイアログで「詳細設定」タブをクリックします。

先頭へ戻る▲

CanoScan Toolboxの設定

並行処理コピーを行うには、次のような設定条件があります。

コピー
[コピー]
原稿をコピーします。
スキャンの設定
原稿の種類：
紙/写真
スキャンモード：
カラー
出力解像度：
標準(300dpi)
原稿サイズ：
A4
拡大/縮小：
100% (等倍)
明るさ：
スキャナドライバを表示する
プリンタの設定
用紙サイズ：
A4
コピー枚数：
1
プリンタ：
Canon PIXUS 990i
プロパティ...
用紙の種類：
普通紙
フチなし全面印刷
初期設定に戻す
適 用
キャンセル
コピー
原稿の種類：
紙 / 写真
スキャンモード：
白黒
グレースケール
カラー
カラー（雑誌、カタログ）
出力解像度：
速度優先（150dpi）
標準（300dpi）
スキャナドライバを表示する：
チェックしない
用紙の種類：
普通紙

先頭へ戻る▲

画像の貼り合わせの詳しい手順

CanoScan Toolboxでは、スキャナの原稿台よりも大きいサイズの原稿をスキャンできます。原稿を左右に分けてスキャンし、それらの画像を貼り合わせて1枚のスキャン画像にする「画像の貼り合わせ」機能です。

［コピー］、［プリント］、［保存］、［PDF］、［スキャン（-1/-2）］で使用できます。

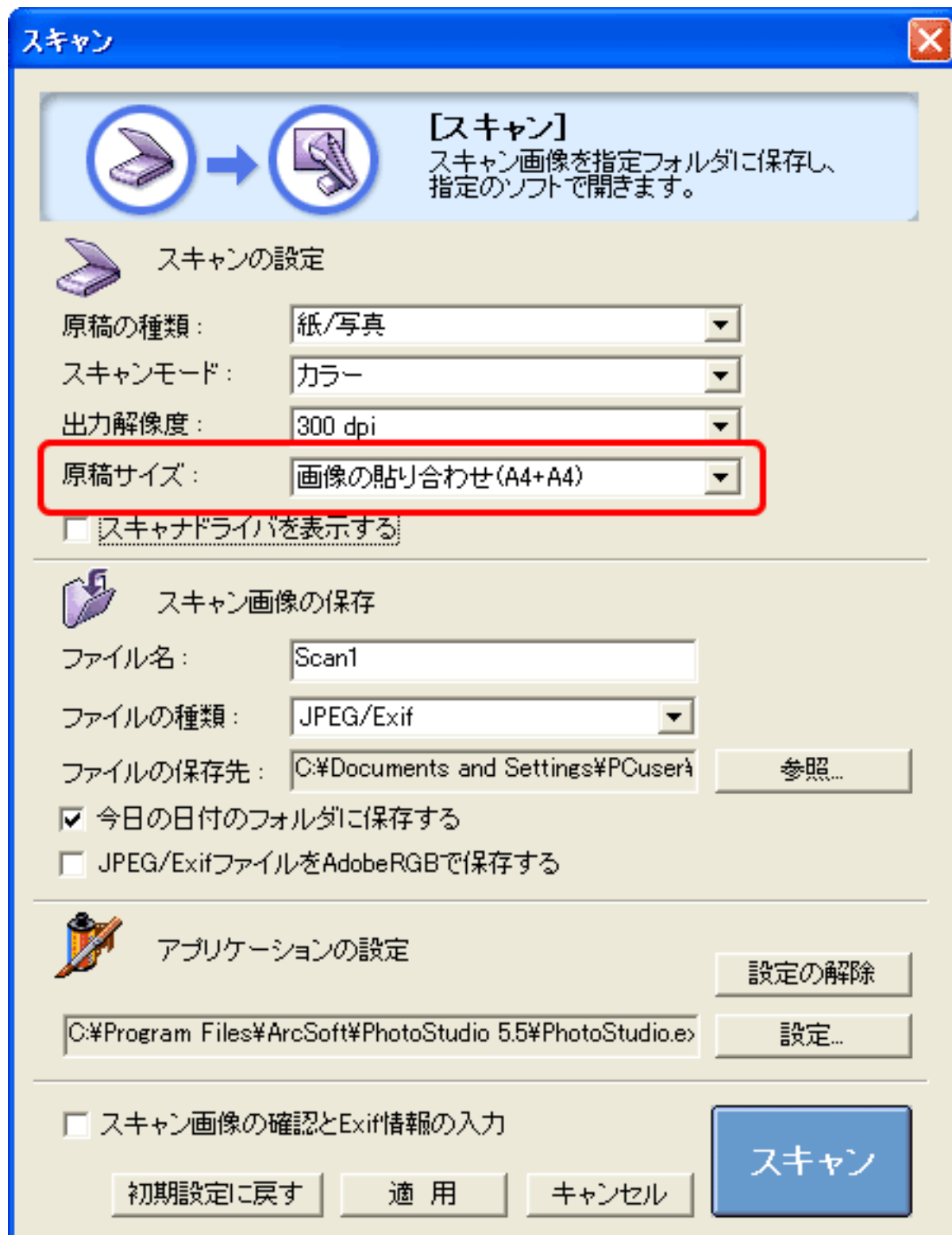
「原稿サイズ」で、［画像の貼り合わせ（B5+B5）］、［画像の貼り合わせ（A4+A4）］、［画像の貼り合わせ（原稿台全面×2）］を選択すると、画像の貼り合わせを行います。

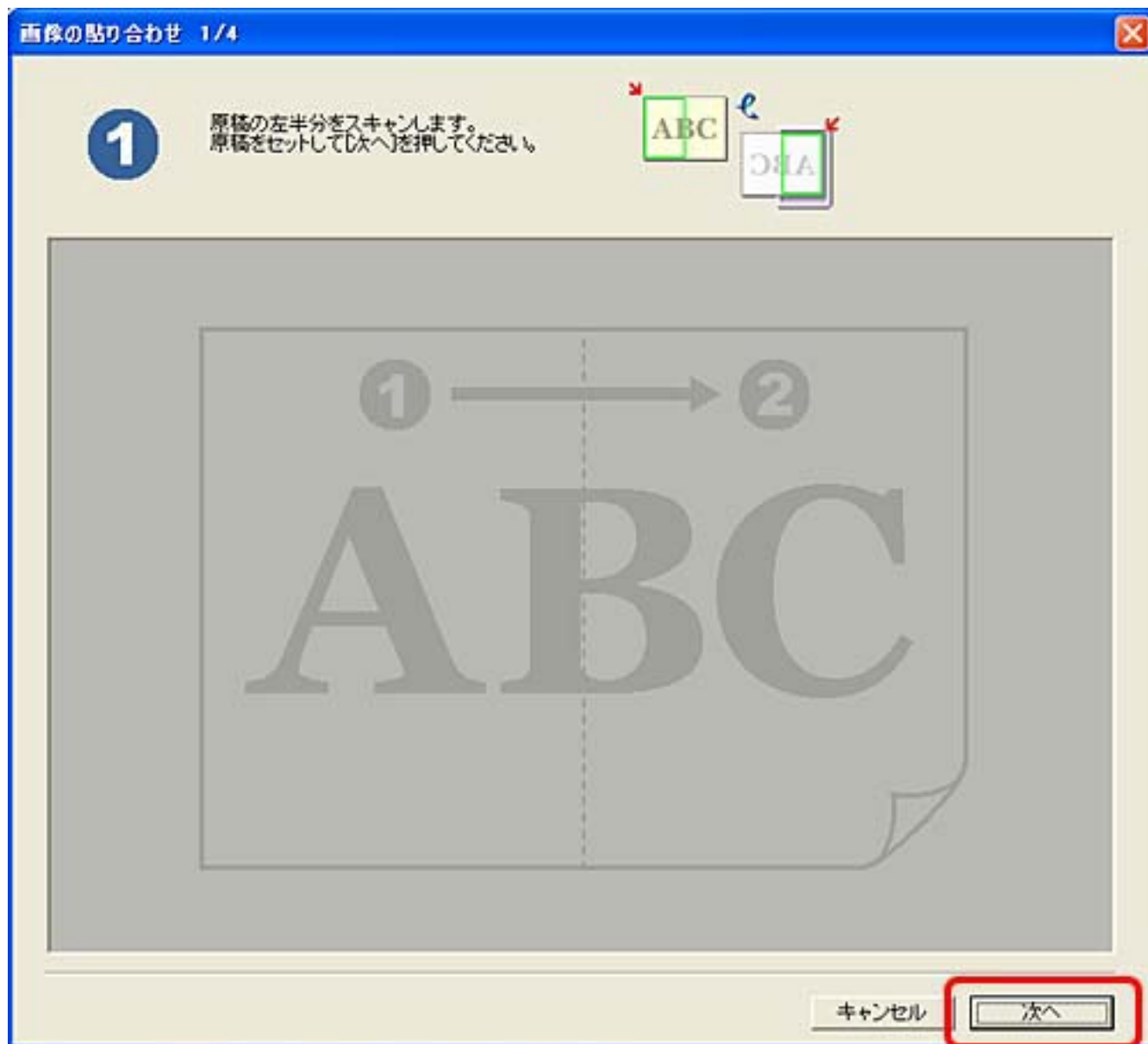
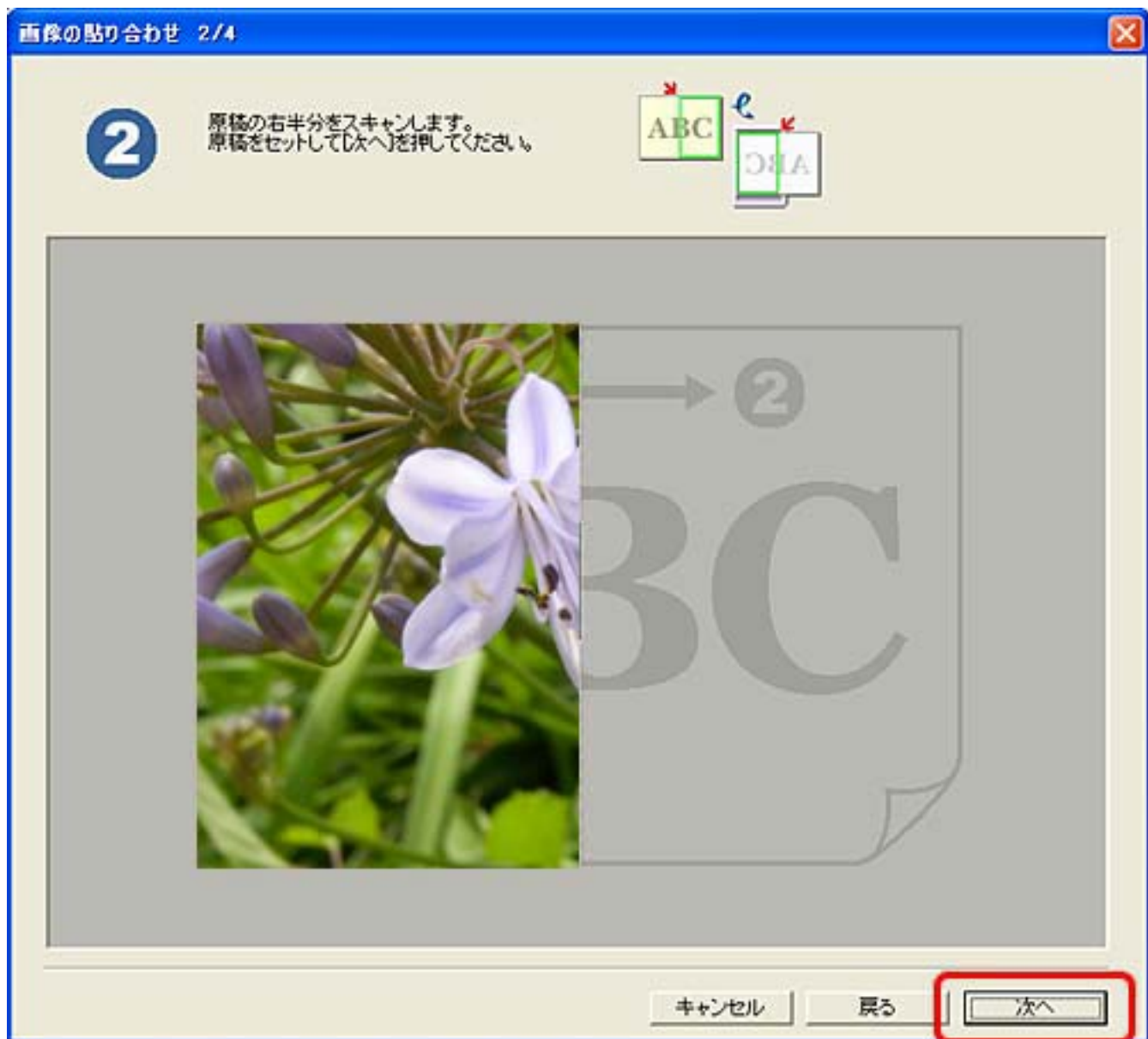
※ここでは、［スキャン-1］ボタンを例に説明しています。

1 スキャナに原稿をセットします。最初は原稿の左半分をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」の「原稿台より大きな原稿の場合」をご覧ください。

2 必要があれば、「スキャンモード」や「出力解像度」を設定します。

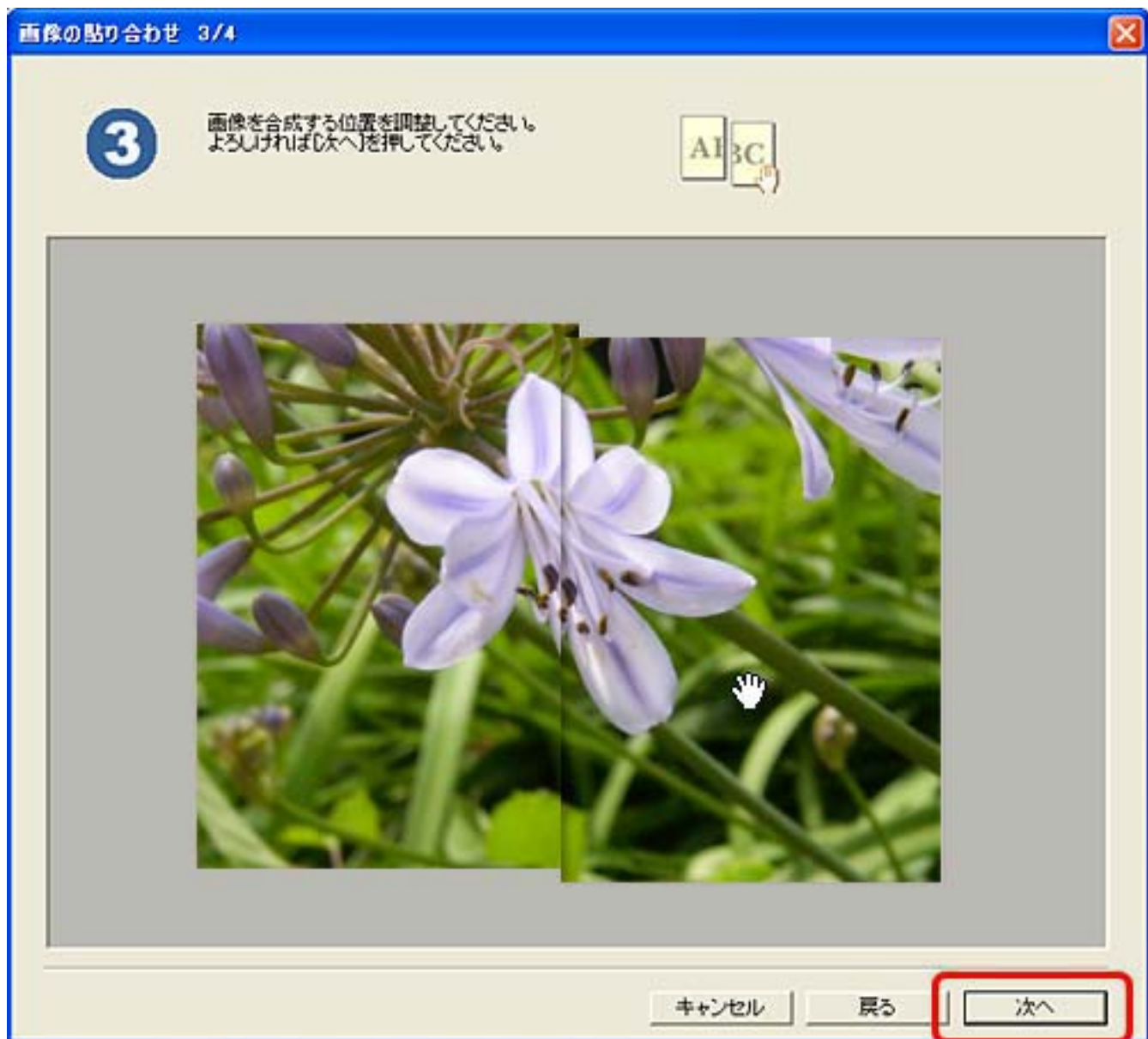
3 「原稿サイズ」を指定して、［スキャン］ボタン（コピーでは、［コピー］ボタン）をクリックします。

4 ①の画面が表示されます。［次へ］ボタンをクリックします。

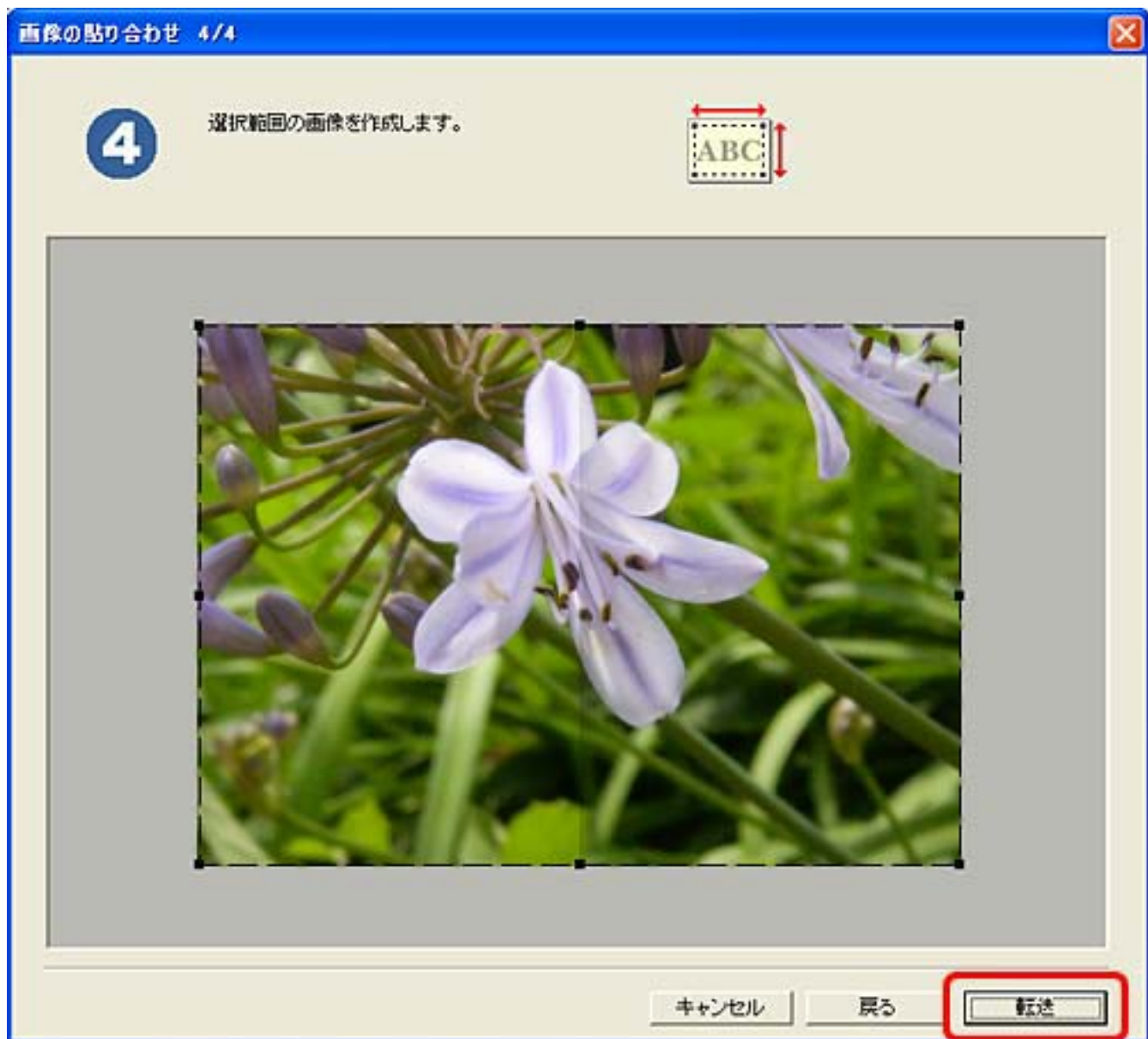
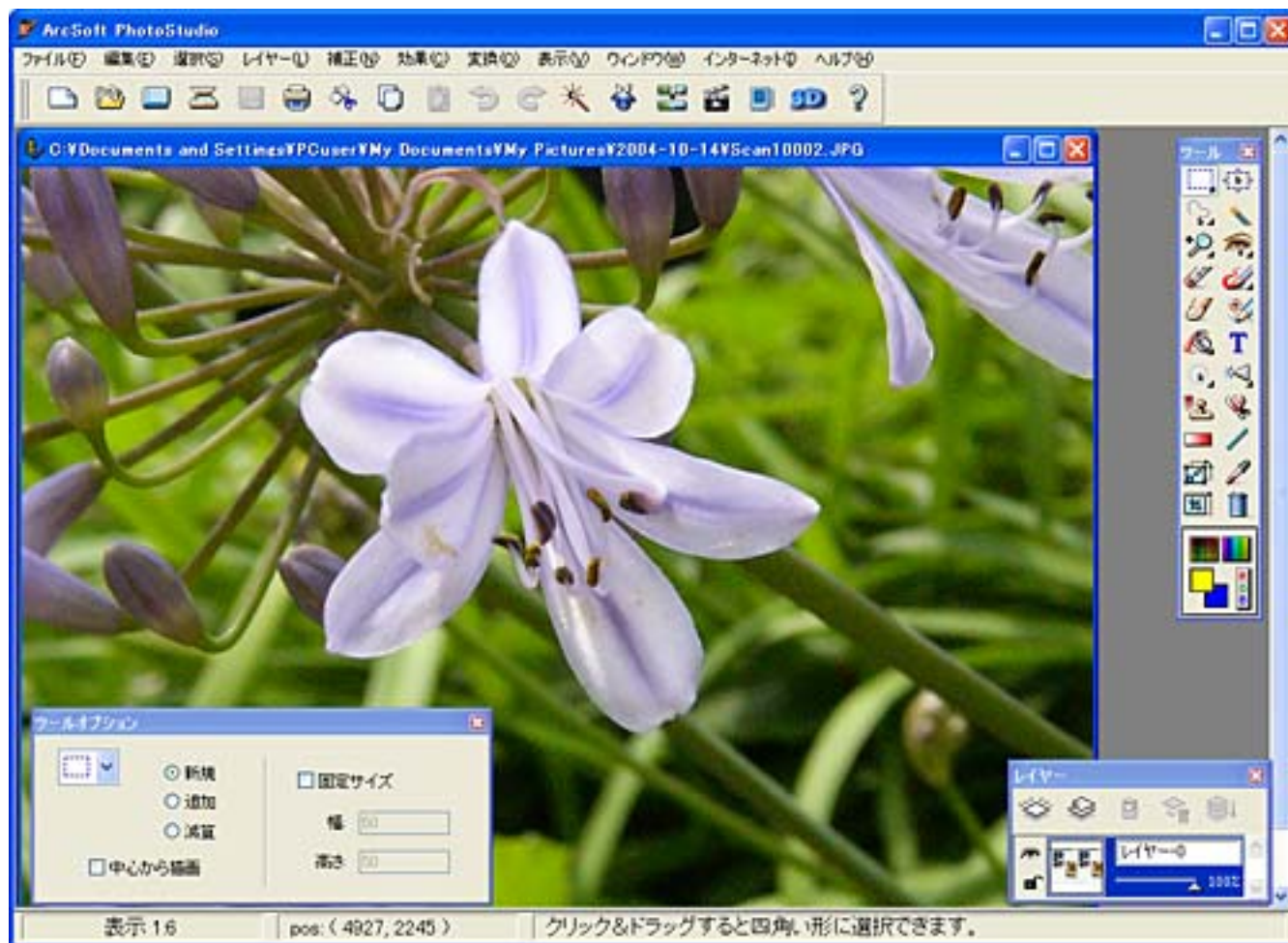
［次へ］ボタンをクリックすると、原稿の左半分がスキャンされます。

5 ② の画面が表示されます。スキャナに原稿の右半分をセットし、［次へ］ボタンをクリックします。

［次へ］ボタンをクリックすると、原稿の右半分がスキャンされます。

6 ③の画面が表示されます。右側の画像をドラッグして、位置を調整し、［次へ］ボタンをクリックします。

画像の貼り合わせ 3/4

3 画像を合成する位置を調整してください。
よろしければ[次へ]を押してください。

キャンセル　戻る　次へ

- スキャンする原稿や原稿をセットした状態により、スキャンした画像の左右で色味が異なる場合があります。
- 左右の画像のうち、最後にクリックした画像が上になります。

7 4の画面が表示されます。作成する画像の範囲を調整し、［転送］（コピーでは［印刷］、保存では［保存］）ボタンをクリックします。貼り合わせる位置の調整をやり直すときは、［戻る］ボタンをクリックして、手順6に戻ります。

8 貼り合わされた画像が作成されます。

［プリント］ボタン（プリント画面）

原稿をスキャンし、「「印刷レイアウト」画面」で用紙や印刷方法、大きさや位置などを決めて印刷します。

- スキャンした画像を印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- プリントでの印刷機能は、スキャナとプリンタが同じコンピュータに接続されている場合に対応しています。ネットワーク上のプリンタでは、正常に印刷できないことがあります。

Toolboxのメイン画面で（［プリント］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

Windows

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

プリント

[プリント]
写真やフィルムをレイアウトしてプリントします。

スキャンの設定

原稿の種類：紙/写真
スキャンモード：カラー(マルチスキャン)
出力解像度：標準(300dpi)
原稿サイズ：A4
明るさ：
スキャナドライバを表示する

プリンタの設定

プリンタ：Canon PIXUS 990i
かんたんカラーマッチング
ファイルを開いてカラーマッチングを行う

初期設定に戻す　適　用　キャンセル　スキャン

・ Windows お使いのプリンタによって表示内容が一部異なります。

Macintosh

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

プリント画面では、［スキャン］ボタンのクリックで、スキャンが開始され、原稿読み取りが終わると、「印刷レイアウト」画面に、スキャン画像が表示されます。「印刷レイアウト」画面で設定や、編集を行い、［印刷］ボタンをクリックすると、プリンタへの出力が行われます。→「「印刷レイアウト」画面」

先頭へ戻る▲

「原稿の種類」

原稿の種類：
紙/写真
紙/写真
フィルム
自動判別

スキャンする原稿の種類を選択します。
次の3つの種類から選択します。

［紙／写真］	紙の原稿や写真をスキャンします。
［フィルム］	35mmフィルムをスキャンします。
［自動判別］	紙／写真の原稿か、フィルムかを自動的に判別してスキャンします。

- ［自動判別］を選択した場合、「スキャンモード」、「出力解像度」、「原稿サイズ」、「明るさ」は設定できなくなり、以下の設定でスキャンします。

	「スキャンモード」	「出力解像度」
［紙／写真］の場合	［カラー（マルチスキャン）］	［標準（300dpi）］
［フィルム］の場合	［全コマスキャン］	［標準（300dpi）］

先頭へ戻る▲

「スキャンモード」

スキャンの方法を選択します。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

次の6つのモードから選択できます。

［白黒］	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
［グレースケール］	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
［カラー］	「モアレ低減」機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。プリント写真などをスキャンするのに適しています。
［カラー（雑誌、カタログ）］	「モアレ低減」機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
［カラー（マルチスキャン）］	カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に切り出し、傾きを補正して、複数の画像ファイルを作成します。
［カラー（オートクロップ）］	カラーで原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。「モアレ低減」機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンした場合、複数の原稿を印刷します。
- 原稿の置きかたについては、「目的別にスキャンする」の「複数の原稿を一度にスキャンする（マルチスキャン）」をご覧ください。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

スキャンモード：サムネイル画面表示
全コマスキャン
サムネイル画面表示

次の2つのモードから選択できます。

［全コマスキャン］	原稿台に置かれたすべてのコマをスキャンします。
［サムネイル画面表示］	サムネイル画面をいったん表示し、選択したコマをスキャンします。

- サムネイル画面でスキャンするコマを選択する方法については、「スキャンの手順／フィルムをスキャンする」の「CanoScan Toolboxでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「出力解像度」

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
解像度が高い（数値が大きい）ほど、より精細な画像を出力できます。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

出力解像度：標準(300dpi)
速度優先(150dpi)
標準(300dpi)
画質優先(600dpi)

次の3つの解像度を選択できます。

［速度優先（150dpi）］	「出力解像度」が150dpiになるようにスキャンします。
［標準（300dpi）］	「出力解像度」が300dpiになるようにスキャンします。
［画質優先（600dpi）］	「出力解像度」が600dpiになるようにスキャンします。

- Macintoshの場合、原稿の横幅が4096ピクセル以上の画像は印刷できないため、「原稿サイズ」によっては、［画質優先（600dpi)］が選択できません。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」および「解像度とデータ容量」をご覧ください。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

出力解像度：標準(300dpi)
速度優先(150dpi)
標準(300dpi)
画質優先(600dpi)

次の3つの解像度を選択できます。

［速度優先（150dpi）］	「出力解像度」が150dpiになるようにスキャンします。 L判サイズ（8.9 x 12.7cm）で印刷する場合などに選択します。
［標準（300dpi）］	「出力解像度」が300dpiになるようにスキャンします。 L判サイズ（8.9 x 12.7cm）で高画質印刷する場合に選択します。
［画質優先（600dpi）］	「出力解像度」が600dpiになるようにスキャンします。 A4サイズ程度まで拡大して印刷したり、高性能カラープリンタで印刷する場合に選択します。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」および「解像度とデータ容量」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「原稿サイズ」

スキャンする原稿のサイズを選択します。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

次のサイズを選択できます。

［A4］、［B5］、［名刺］、［L判縦］、［L判横］、［2L判縦］、［2L判横］、［はがき縦］、［はがき横］、［画像の貼り合わせ（B5+B5）］、［画像の貼り合わせ（A4+A4）］、［画像の貼り合わせ（原稿台全面×2）］、［ユーザー設定］。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、2L判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

［画像の貼り合わせ（B5+B5）］、［画像の貼り合わせ（A4+A4）］、［画像の貼り合わせ（原稿台全面×2）］を選択した場合、原稿を左半分と右半分に分けてスキャンし、それらを貼り合わせます。 →「画像の貼り合わせの詳しい手順」

［ユーザー設定］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「原稿サイズ」は選択できません。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

原稿サイズ :　35mmフィルム

「原稿サイズ」は［35mmフィルム］になります。

先頭へ戻る▲

「明るさ」

スキャンの明るさを設定します。
ツマミを左に動かすほど暗い画像に、右に動かすほど明るい画像になります。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「明るさ」は設定できません。
- 「原稿の種類」が［フィルム］、［自動判別］の場合、「明るさ」は設定できません。

- 「スキャンモード」が［白黒］の場合は、この項目で「白と黒の境界となる明るさ」を設定することになります。

先頭へ戻る▲

「スキャナドライバを表示する」

☐ スキャナドライバを表示する

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。
「原稿の種類」「スキャンモード」「出力解像度」「原稿サイズ」などのスキャナの設定項目はすべてグレーアウトになって設定できなくなり、ScanGear CSの画面で設定することになります。

- ScanGear CSで［カラー］／［A4］／［1200dpi］を超える画像サイズをスキャンしようとすると、警告メッセージが表示され、スキャンできません。解像度を低くしてスキャンしてください。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルが「印刷レイアウト」画面に転送されます。
- この項目にチェックマークを付けると「かんたんカラーマッチング」は選択できません。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CSの使いかた」の「「基本モード」の機能」または「「拡張モード」の機能」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

プリンタの設定 Windows

「プリンタ」

プリンタ： Canon PIXUS 990i

複数のプリンタを接続している場合に、使用するプリンタを選択します。

先頭へ戻る▲

「かんたんカラーマッチング」 Windows

☑ かんたんカラーマッチング

スキャナとプリンタのカラーマッチングを行うかどうかを設定します。

- 「かんたんカラーマッチング」に対応しているCanon PIXUSシリーズのプリンタを使用している場合のみ、この項目を選択できます。

対応プリンタ	PIXUS 9900i / PIXUS 990i / PIXUS 960i / PIXUS 860i / PIXUS 560i / PIXUS 455i / PIXUS 900PD / PIXUS 475PD / PIXUS 865R / PIXUS iP8600 / PIXUS iP8100 / PIXUS iP7100 / PIXUS iP6100D / PIXUS iP4100 / PIXUS iP4100R / PIXUS iP3100 / PIXUS iP2000

  * 対応機種について詳しくは、キヤノスキャンホームページの「サポートメニュー」から「かんたんカラーマッチングプリント」をご覧ください。
- 「スキャンモード」が［白黒］または［グレースケール］の場合、この項目は選択できません。
- この項目にチェックマークを付けると、「スキャナドライバを表示する」は選択できません。また、「印刷レイアウト」画面で「VIVIDフォト」は選択できません。
- 「印刷レイアウト」画面で画像を保存した場合は、AdobeRGBに対応した色空間になります。
- 「かんたんカラーマッチング」を使用するときは、プロフォトペーパーまたはスーパーフォトペーパーを使うことをおすすめします。

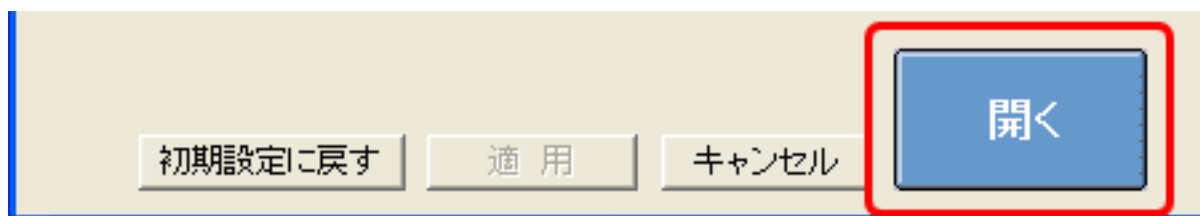
先頭へ戻る▲

「ファイルを開いてカラーマッチングを行う」 Windows

☐ ファイルを開いてカラーマッチングを行う

「かんたんカラーマッチング」にチェックマークが付いているときに使用できます。

AdobeRGBの色空間で保存されたJPEG画像ファイルを開いて、「かんたんカラーマッチング」の処理をし、画像を「印刷レイアウト」画面に引き渡します。

この項目にチェックマークが付いていると、［スキャン］ボタンは［開く］ボタンになります。

［開く］ボタンをクリックし、AdobeRGBの色空間で保存されたJPEG画像ファイルを指定します。

- この機能では、スキャンを行いません。

- AdobeRGBの色空間で保存されたJPEG画像ファイルは、［保存］、［スキャン-1/-2］で作成できます。
- 一度に指定できる画像ファイルは1つだけです。

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適 用 ［適用］ボタン

設定した内容を保存し、有効にします。
［適用］ボタンを押さずに［キャンセル］ボタンを押すと、設定内容は無効になります。

- COPYボタン、SCANボタン、PDFボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンのしかた」の「EZボタンでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル ［キャンセル］ボタン

現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。
設定を変更した場合、［適用］ボタンが押されていないと、設定した内容は無効になります。

先頭へ戻る▲

［スキャン］ボタン

設定した内容で原稿をスキャンして、「印刷レイアウト」画面を表示します。→「「印刷レイアウト」画面」

「スキャナドライバを表示する」にチェックマークを付けた場合は、先にScanGear CSの画面が表示され、［スキャン］ボタンを押した後に「印刷レイアウト」画面が表示されます。

- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択し、複数の原稿をスキャンした場合は、複数の原稿をレイアウトして印刷します。
- プリンタで印刷する方法については、「目的別にスキャンする」の「原稿をコピーする」、「写真を印刷する（焼き増し、引き伸ばし）」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「印刷レイアウト」画面

印刷時のレイアウトについての設定を行います。
プリント画面で［スキャン］ボタンをクリックすると、スキャン終了後に次のような画面が表示されます。

- 「ファイルを開いてカラーマッチングを行う」にチェックマークが付いている場合は、ファイルを指定して、［開く］ボタンをクリックすると、「印刷レイアウト」画面が表示されます。

Windows

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

印刷レイアウト 1/3

用紙サイズ： A4
印刷枚数： 1
プリンタ： Canon PIXUS 990i　プロパティ...
用紙の種類： 普通紙
VIVIDフォト
フチなし全面印刷
印刷の向き： 縦　横
センタリング： 適用
用紙に合わせる： 適用
用紙全面に拡大： 適用
テキストボックス： 追加　書式設定...
出力サイズ： 幅： 8.85 センチ
高さ： 12.64 センチ
出力解像度： 300 dpi
1　2　3
戻る　保存...　印刷　終了

Macintosh

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

印刷レイアウト

用紙設定...
印刷設定...
センタリング: 適用
用紙に合わせる: 適用
用紙全体に拡大: 適用
テキストボックス: 追加 書式設定...
出力サイズ: 幅: 8.6センチ
高さ: 12.4センチ
出力解像度: 300 dpi
1 2 3
戻る 保存... 印刷 終了

先頭へ戻る▲

表示エリア

印刷の出力イメージを表示します。
外側の太枠は、用紙のサイズを示しています。内側の赤色の枠は印刷可能領域を、青色の枠は、画像の大きさを示しています。
表示エリアでは、印刷時の画像の大きさと位置を調整することができます。

画像の大きさを調整する

画像の四隅または4辺上にポインタを移動し、ポインタが ⤡、↔または、↕ になったら、ドラッグして拡大または縮小します。縦横の比率を固定したまま拡大、縮小できます。
画像をダブルクリックすると、原稿の等倍の大きさになり、センタリングして表示されます。

画像の位置を調整する

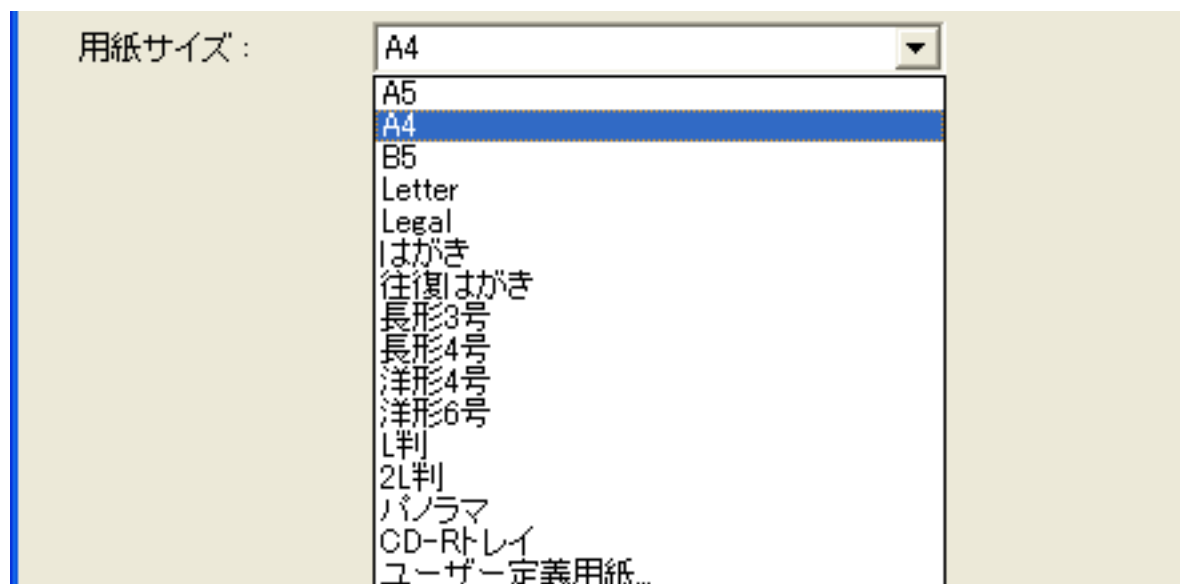
画像の上にポインタを移動し、ポインタが✥になったら、ドラッグして任意の位置に移動します。

先頭へ戻る▲

サムネイル表示エリア

複数の画像をスキャンしたときに、すべての画像のサムネイル（縮小した画像）を表示します。サムネイルをクリックすると、表示エリアにクリックした画像が表示されます。

先頭へ戻る▲

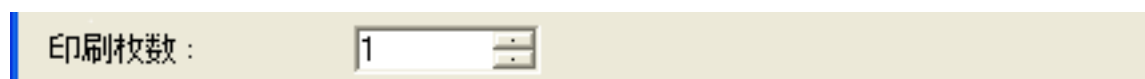
プリンタの設定 Windows

「用紙サイズ」

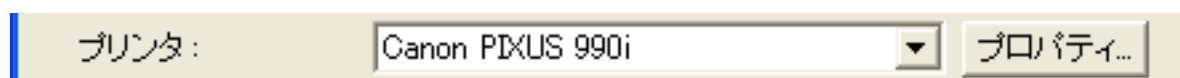
印刷する用紙のサイズを選択します。

・ 選択されているプリンタによって、選択できる用紙サイズが異なります。

先頭へ戻る▲

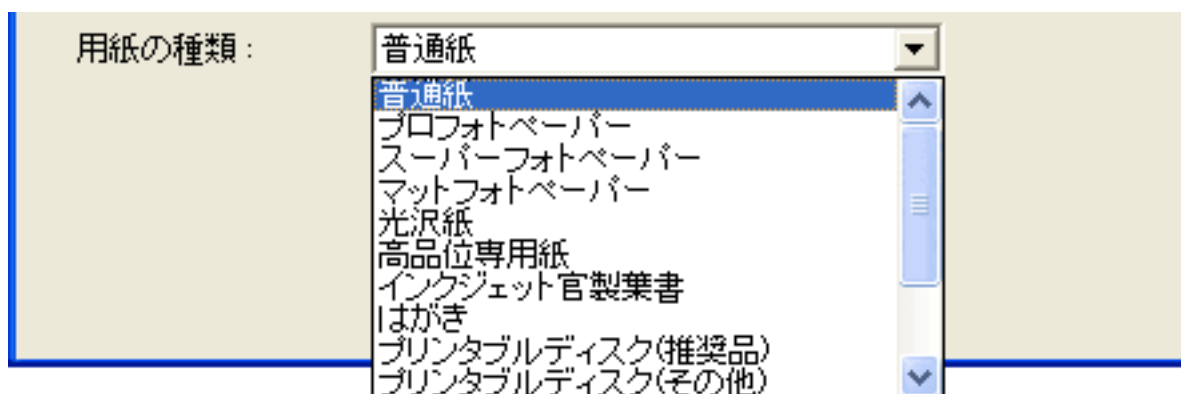
「印刷枚数」

印刷枚数：1

印刷する枚数を設定します。
表示部右側の［▲］ボタン、［▼］ボタンをクリックするか、直接数値を入力して設定します。
最大99枚まで設定できます。

先頭へ戻る▲

「プリンタ」

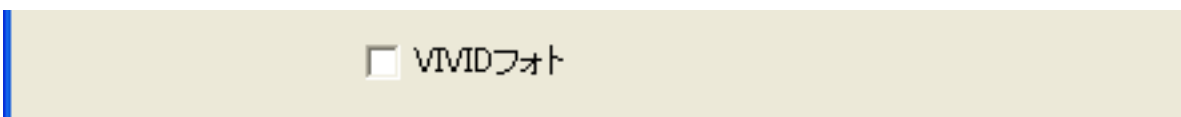
複数のプリンタを接続している場合に、使用するプリンタを選択します。
［プロパティ］ボタンをクリックすると、プリンタに関する細かい設定を行う画面が表示されます。

・ プリント画面で「かんたんカラーマッチング」にチェックマークを付けていると、この項目は選択できなくなります。

先頭へ戻る▲

「用紙の種類」

使用する用紙の種類を選択します。
かならずプリンタにセットした用紙の種類を選んでください。

- 選択されているプリンタによっては、この項目が表示されない場合があります。
- 選択されているプリンタによって、選択できる用紙の種類が異なります。
- 希望する色にならないことがあります。

先頭へ戻る▲

「VIVIDフォト」

VIVIDフォト

この項目にチェックマークを付けると、原稿を鮮やかな色味で印刷します。
草木や空、海を背景にした人物写真などに効果があります。

- キヤノン製インクジェットプリンタで「VIVIDフォト」に対応しているモデルのみ選択できます。
- プリント画面で「かんたんカラーマッチング」にチェックマークを付けていると、この項目は選択できません。

先頭へ戻る▲

「フチなし全面印刷」

フチなし全面印刷

この項目にチェックマークを付けると、フチなしで用紙の全面に画像を印刷します。

- キヤノン製インクジェットプリンタで「フチなし全面印刷」に対応しているモデルのみ選択できます。
- フチなし全面印刷は、原稿を用紙サイズよりも拡大して印刷するため、用紙からはみ出した部分は印刷されません。

先頭へ戻る▲

「印刷の向き」

印刷の向き： 縦 横

印刷の向きを選択します。［縦］または［横］を選択します。

先頭へ戻る▲

プリンタの設定 Macintosh

用紙設定 ［用紙設定］ボタン

印刷する用紙の設定を行います。
用紙のサイズや印刷方向、拡大/縮小などを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

- ［対象プリンタ］のプルダウンメニューで使用するプリンタを選択します。

・お使いのプリンタによって表示される画面や設定できる項目は異なります。

先頭へ戻る▲

印刷設定 ［印刷設定］ボタン

印刷する部数やページ、印刷の品質や方法などを設定します。

プリント

プリンタ： 990i

プリセット： 標準

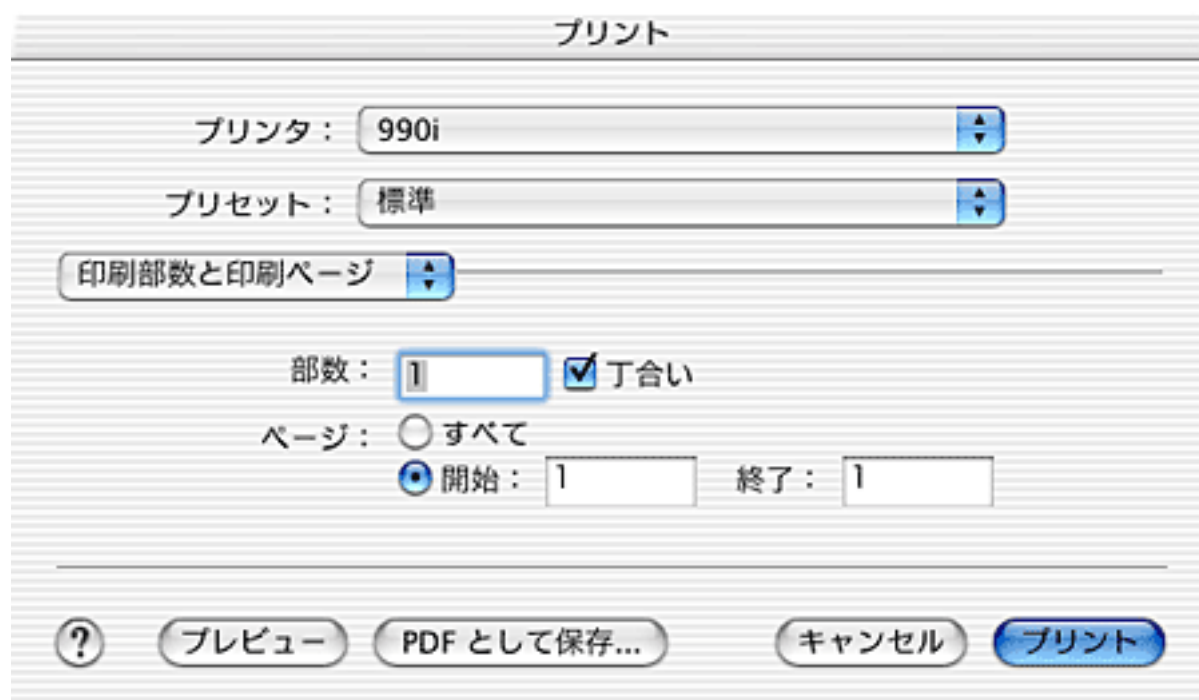
印刷部数と印刷ページ

部数： 1 丁合い

ページ： すべて

開始： 1 終了： 1

? プレビュー PDF として保存... キャンセル プリント

先頭へ戻る▲

「センタリング」

センタリング：　適用

［適用］ボタンをクリックすると、用紙の中央に画像を配置します。

- 表示エリアで画像の配置を確認できます。

先頭へ戻る▲

「用紙に合わせる」

用紙に合わせる：　適用

［適用］ボタンをクリックすると、スキャンした画像全体が、印刷する用紙に収まるように自動的に画像の大きさを調整します。
ただし、画像の縦横の比率は変更しないので、原稿と用紙サイズの組み合わせによっては、上下または左右に余白ができます。

- スキャンした画像は、ご使用になるプリンタで印刷可能な領域に印刷されます。ご使用になるプリンタによって、印刷可能領域は異なります。詳しくはプリンタの取扱説明書をお読みください。
- フチなし全面印刷で印刷する場合、原稿を用紙サイズよりも拡大して印刷するため、用紙からはみ出した部分は印刷されません。

- 表示エリアで画像の大きさを確認できます。

先頭へ戻る▲

「用紙全面に拡大」

用紙全面に拡大：　適用

［適用］ボタンをクリックすると、スキャンした画像が、印刷する用紙全体に自動的に拡大されます。
ただし、画像の縦横の比率は変更しないので、原稿と用紙サイズの組み合わせによっては、画像の上下または左右が用紙からはみ出る場合があります。

- スキャンした画像は、ご使用になるプリンタで印刷可能な領域に印刷されます。ご使用になるプリンタによって、印刷可能領域は異なります。詳しくはプリンタの取扱説明書をお読みください。
- フチなし全面印刷で印刷する場合、原稿を用紙サイズよりも拡大して印刷するため、用紙からはみ出した部分は印刷されません。

- 表示エリアで画像の大きさを確認できます。

先頭へ戻る▲

「テキストボックス」

テキストボックス： 追加 書式設定

印刷時に出力する文字を入力します。
画像のタイトルや日付、コメントなどを印刷できます。

［追加］ボタン

このボタンをクリックすると、テキストボックスが表示され、文字を入力できます。

- テキストボックスは10個まで追加できます。
- テキストボックスに入力した文字を編集するには、テキストボックスの中をダブルクリックしてI型のカーソルを表示し、文字の修正、削除を行います。
- テキストボックスを削除するには、テキストボックスの枠上をクリックして選択し、キーボードの［Delete］キーを押します。または、テキストボックスを選択し、マウスを右クリックして「削除」を選びます（Windowsのみ）。
- テキストボックスを移動するには、テキストボックスの枠上にポインタを移動し、ポインタがになったら、ドラッグします。
- テキストボックスの大きさを変更するには、テキストボックスの枠上をクリックして選択し、テキストボックスの四隅および各辺中央の赤い四角の部分をドラッグして拡大/縮小します。

［書式設定］ボタン

このボタンをクリックすると、テキストボックスに入力した文字の書式を設定する画面が表示されます。

「フォント名」「スタイル」「サイズ」「文字飾り」「色」「文字セット」（Macintoshの場合は、「フォント」「サイズ」「色」「スタイル」）を設定し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- このボタンは、テキストボックスが選択されているときにのみ有効です。

先頭へ戻る▲

「出力サイズ」

出力サイズ： 幅： 8.85 センチ
高さ： 12.64 センチ
出力解像度： 300 dpi

スキャンした画像の出力サイズと「出力解像度」を表示します。
「幅」「高さ」の右側の▼をクリックすると、表示する単位を［インチ］、［センチ］または［ピクセル］から選択できます。

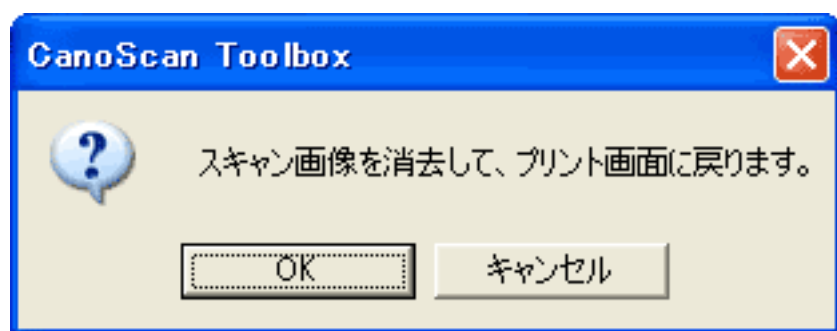
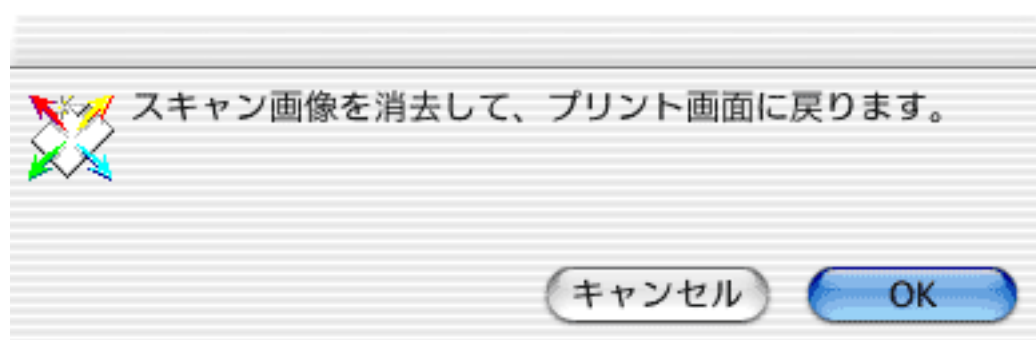
・「幅」と「高さ」を異なる単位で表示することはできません。

 ・表示エリア上で画像を拡大、縮小すると、「幅」「高さ」の表示も変更され、それに応じて「出力解像度」の値も変更されます。

先頭へ戻る▲

戻る ［戻る］ボタン

作業を中断し、プリント画面に戻ります。
スキャンした画像はすべて消去されます。
このボタンをクリックすると、終了を確認する画面が表示されます。

Windows

Macintosh

［OK］ボタンをクリックし、「印刷レイアウト」画面を終了してプリント画面に戻ります。

 ・ Windows 画面右上のクローズボックス☒をクリックしても、プリント画面に戻れます。

先頭へ戻る▲

保存 ［保存］ボタン

表示エリアに表示されている画像を保存します。
「スキャン画像」のウインドウで、ファイルの保存先やファイル形式を指定します。
→「スキャン画像の確認とExif情報の入力」

- 「かんたんカラーマッチング」にチェックマークを付けて保存すると、AdobeRGBで保存されるため、ファイル名の先頭にアンダーバーが付けられます。
（例：_Print0001.JPG）。

先頭へ戻る▲

印刷 ［印刷］ボタン

設定した内容で印刷をはじめます。

- プリンタで印刷する方法については、「目的別にスキャンする」の「原稿をコピーする」、「写真を印刷する（焼き増し、引き伸ばし）」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

終了 ［終了］ボタン

「印刷レイアウト」画面を終了します。

先頭へ戻る▲

スキャン画像の確認とExif情報の入力

スキャン後、サムネイル（縮小画像）を確認し、「ファイルの種類」や保存先を指定することができます。

- ［PDF］ボタンではExif情報の入力はできません。
- ［プリント］ボタンでは、「印刷レイアウト」画面の［保存］ボタンをクリックすると、この画面になります。

Windows

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

スキャン画像 1/3
1
2
3
Scan10001
Scan10002
Scan10003
スキャン画像の保存
ファイルの種類：
JPEG/Exif
Exif設定...
ファイルの保存先：
C:¥Documents and Settings¥PCuser¥My
参照...
今日の日付のフォルダに保存する
転送
キャンセル

Macintosh

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

サムネイル表示

スキャン画像のサムネイル表示です。チェックマークの付いている画像がアプリケーションソフトに送られます。
画像をダブルクリックすると、拡大して表示されます。

サムネイル表示のとき、画像をドラッグして順序を入れ替えることができます。複数ページのPDFを作成するときに、ここでの順序がページの順序になります。

先頭へ戻る▲

「ファイルの種類」

保存するファイル形式を指定します。ボタンの種類に応じて、次のものが選択できます。

Windows	［プリント］ボタン	［BMP］、［JPEG/Exif］、［TIFF］
	［メール］ボタン	［JPEG/Exif］、［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］
	［保存］ボタン	［BMP］、［JPEG/Exif］、［TIFF］、［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］
	［PDF］ボタン	［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］
	［スキャン］ボタン	［BMP］、［JPEG/Exif］、［TIFF］
Macintosh	［プリント］ボタン	［PICT］、［JPEG/Exif］、［TIFF］
	［メール］ボタン	［JPEG/Exif］、［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］
	［保存］ボタン	［PICT］、［JPEG/Exif］、［TIFF］、［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］
	［PDF］ボタン	［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］
	［スキャン］ボタン	［PICT］、［JPEG/Exif］、［TIFF］

- ［PDF(複数ページ)］を選択すると、サムネイル表示されているすべての画像を、その順番で並べた１つのPDFファイルとして保存します。
- ［PDF(ページ追加)］を選択すると、既存のPDFファイルにページを追加して、1つのPDFファイルにします。
  ［参照］ボタンをクリックして、「ファイルの追加先」を指定します。
  このとき、画像の保存先は「ファイルの追加先」で指定されたフォルダになります。既存のファイルは、そのまま保存され、別ファイルを作成して、そこにページを追加します。
  既存のPDFファイルとして指定できるのは、Toolbox 4.7以降で作成されたPDFファイルだけです。他のアプリケーションソフトで作成されたPDFファイルを指定しても、ページの追加はできません。
- Toolbox 4.7以降で作成されたPDFファイルでも、他のアプリケーションソフトで編集を行った場合はページの追加はできません。

先頭へ戻る▲

Exif設定... / PDF設定... ［Exif設定］/［PDF設定］ボタン

「ファイルの種類」で［JPEG/Exif］を選択したときは、［Exif設定］ボタンでタイトルや撮影データなど、Exif情報を添付することができます。→「「Exif設定」画面」

「ファイルの種類」で［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］を選択したときは、［PDF設定］ボタンでテキスト検索や圧縮タイプなど、PDFの設定をすることができます。→「「PDF設定」画面」

先頭へ戻る▲

「ファイルの保存先」

初期設定では、スキャンした画像の保存先に、次のフォルダが指定されています。変更するときは［参照］ボタンをクリックし、保存先のフォルダを選択してください。

Windows ［My Documents］ — ［My Pictures］フォルダ
お使いの環境によっては保存先の表示が［My Documents］-［My Pictures］ではなく［マイドキュメント］-［マイピクチャ］と表示されることがあります。

Macintosh Macintosh HDの［ユーザ*］ — ［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］ — ［ピクチャ*］ — ［My Pictures］フォルダ
* Mac OS Xの仕様のため、［ユーザ］、［ピクチャ］フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では［Users］、［Pictures］と表示されることがあります。

先頭へ戻る▲

「今日の日付のフォルダに保存する」

スキャンした画像を保存先のフォルダ内に、さらにスキャンした日付のフォルダを作って保存するときは、ここをクリックしてチェックマークを付けます。

・「ファイルの種類」が［PDF（ページ追加）］のときは、この設定は選択できません。

先頭へ戻る▲

転送 （ 保存 ） ［転送（保存）］ボタン

スキャンした画像を、指定した保存先へ転送（保存）し、作業を終了します。

先頭へ戻る▲

キャンセル （ 終了 ） ［キャンセル（終了）］ボタン

作業を中断（キャンセル）し、前の画面に戻ります。
スキャンした画像はすべて消去されます。

・ Windows 画面右上のクローズボックス をクリックしてもキャンセルできます。

先頭へ戻る▲

「Exif設定」画面

スキャン画像の確認画面の「ファイルの種類」で［JPEG/Exif］を選択すると、［Exif設定］ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、「Exif設定」画面が表示され、画像にタイトルや撮影データなど、Exif情報を添付することができます。

- Exifとは、デジタルカメラの画像（JPEG）にいろいろな撮影データを添付するための規格です。スキャナでスキャンした画像にこのデータを添付することで、デジタルカメラの画像といっしょに管理したり、プリントしたりすることができるようになります。

Windows

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

Exif 設定

Scan10001.JPG

基本情報

項目名	値
Exif Version	221
メーカー名	Canon
モデル名	CanoScan 5400F/5200...
使用ソフトウェア名	CanoScan Toolbox 4.9.3
色空間情報	sRGB
実効画像幅	1015(pixels)
実効画像高	1471(pixels)
画像の幅の解像度	300
画像の高さの解像度	300
解像度の単位	dot/inch
スキャン日時	2005/03/23 15:02:44
ファイルソース	反射型スキャナ

拡張情報

項目名	値
画像タイトル	
作者名	
撮影日	
撮影シーンタイプ	
露出モード	
シャッタースピード	
絞り値	
フラッシュ	
フィルム感度	
ユーザコメント	

画像タイトル(半角英数)：

作者名(半角英数)：

撮影日： 2005/03/23

撮影シーンタイプ： 標準

露出モード： 自動露出

シャッタースピード： 1/60(Sec)

絞り値： F2.8

フラッシュ： なし

フィルム感度： ISO 400

ユーザコメント：

前回設定した入力内容を引き継ぐ

適用　OK　キャンセル

Macintosh

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

Exif設定

Scan10007

基本情報

Exif Version	: 2.21
メーカー名	: Canon
モデル名	: CanoScan 5400F/5200F
使用ソフトウェア名	: CanoScan Toolbox 4.9
色空間情報	: sRGB
実効画像幅	: 1018(Pixels)
実効画像高	: 1470(Pixels)
画像の幅の解像度	: 300
画像の高さの解像度	: 300
解像度の単位	: dot/inch
スキャン日時	: 2005/06/09 17:25:33
ファイルソース	: 反射型スキャナ

拡張情報

画像タイトル(半角英数)	:
作者名(半角英数)	:
撮影日	:
撮影シーンタイプ	:
露出モード	:
シャッタースピード	:
絞り値	:
フラッシュ	:
フィルム感度	:
ユーザコメント	:

画像タイトル(半角英数):

作者名(半角英数):

撮影日: 2005 年 6 月 9 日

撮影シーンタイプ: 標準

露出モード: 自動露出

シャッタースピード: 1/60(Sec)

絞り値: F2.8

フラッシュ: なし

フィルム感度: 400

ユーザコメント:

前回設定した入力内容を引き継ぐ

適用 キャンセル OK

Exif情報表示部

現在設定されているExif情報を表示します。「基本情報」はスキャナやソフトウェアから自動的に得られた情報です。「拡張情報」は、画面右側の各項目に情報がある場合に表示されます。

先頭へ戻る▲

Exif拡張情報入力部

タイトルや撮影データなど、Exif情報を入力するエリアです。入力したい項目のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、その項目が入力または選択可能になります。

- 必要な情報の入力が終わったら［適用］ボタンをクリックして情報を画像に添付します。
- 「前回設定した入力内容を引き継ぐ」をクリックしてチェックマークを付けると、直前に入力して画像に添付した情報が自動的に表示されます。

先頭へ戻る▲

適用 ［適用］ボタン

Exif拡張情報入力部で入力した情報を画像に添付してExif情報表示部に表示します。

先頭へ戻る▲

OK ［OK］ボタン

Exif拡張情報入力部で入力した情報を画像に添付して画面を閉じます。

・［OK］ボタンをクリックしないと、入力した情報は保存されません。

先頭へ戻る▲

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定を中断（キャンセル）して画面を閉じます。

先頭へ戻る▲

［メール］ボタン（メール画面）

原稿をスキャンした後、メールソフトを起動し、スキャンした画像ファイルを添付した新規メールを作成します。画像ファイルは、添付に適したファイルサイズに圧縮できます。

- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

  Windows Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
  （メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

  Macintosh Mail、EUDORA、MS Entourage

Toolboxのメイン画面で（［メール］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

・ 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

「スキャンモード」

スキャンの方法を選択します。

スキャンモード：　カラー(マルチスキャン)

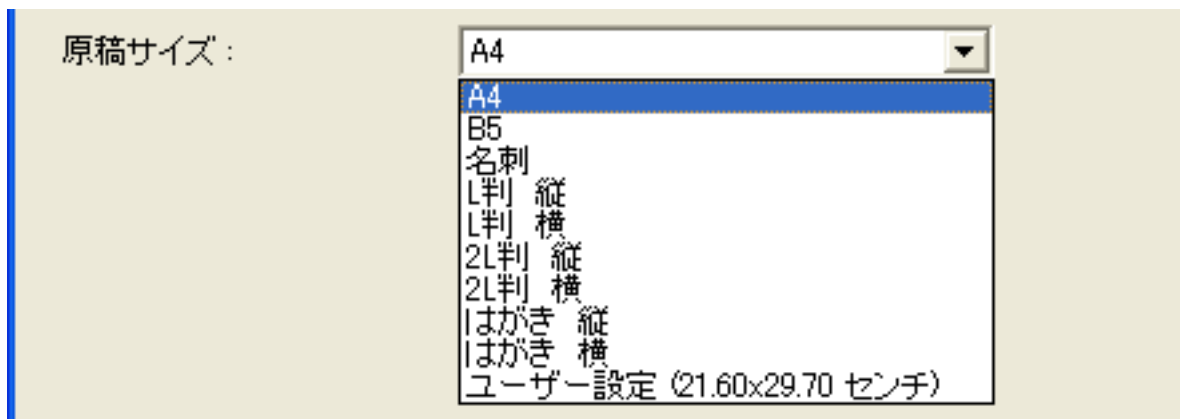
白黒
グレースケール
カラー
カラー(雑誌、カタログ)
カラー(マルチスキャン)
カラー(オートクロップ)

次の6つのモードから選択できます。

［白黒］	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
［グレースケール］	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
［カラー］	「モアレ低減」機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。プリント写真などをスキャンするのに適しています。
［カラー（雑誌、カタログ）］	「モアレ低減」機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
［カラー（マルチスキャン）］	カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に切り出し、傾きを補正して、複数の画像ファイルを作成します。
［カラー（オートクロップ）］	カラーで原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

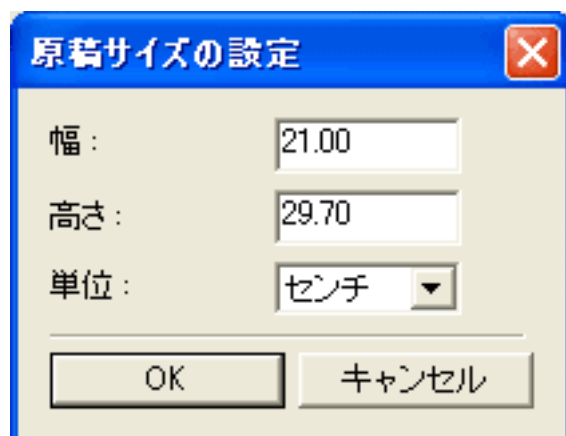
- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。「モアレ低減」機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンした場合、複数の画像が添付されたメール作成画面、または画像の添付された複数のメール作成画面が表示されます。
- 原稿の置きかたについては、「目的別にスキャンする」の「複数の原稿を一度にスキャンする（マルチスキャン）」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「原稿サイズ」

スキャンする原稿のサイズを選択します。

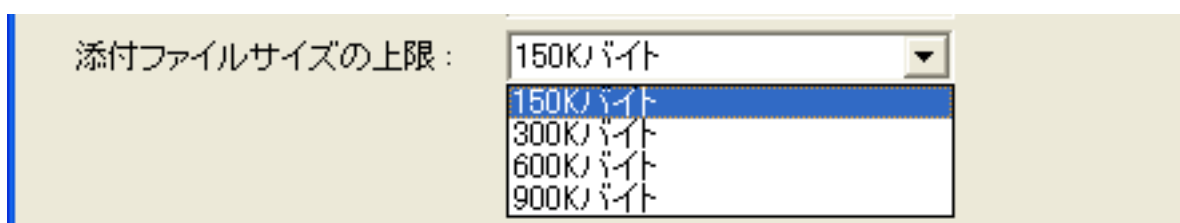
次のサイズを選択できます。

［A4］、［B5］、［名刺］、［L判縦］、［L判横］、［2L判縦］、［2L判横］、［はがき縦］、［はがき横］、［ユーザー設定］。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、2L判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

［ユーザー設定］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「原稿サイズ」は選択できません。

先頭へ戻る▲

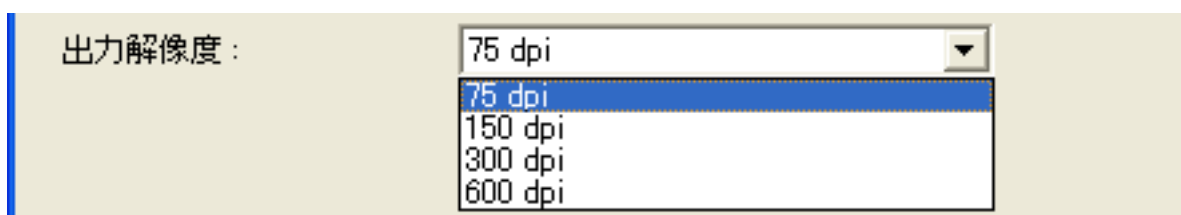
「添付ファイルサイズの上限」

添付ファイルサイズの上限：
150Kバイト
150Kバイト
300Kバイト
600Kバイト
900Kバイト

送信する画像のファイルサイズ（圧縮後のファイルサイズ）の上限を選択します。［150Kバイト］、［300Kバイト］、［600Kバイト］、［900Kバイト］の中から選択できます。
一般的なメールで利用する場合には、［150Kバイト］にしておくことをおすすめします。

- 「添付ファイルサイズの上限」の設定に応じて、「出力解像度」の選択ができます。
- 「スキャンモード」が［白黒］の場合は、「添付ファイルサイズの上限」は選択できません。
- 「ファイルの種類」が［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］の場合は、「添付ファイルサイズの上限」は選択できません。
- 「添付ファイルサイズの上限」の設定値は、目安です。画像によっては圧縮後のファイルサイズが、設定値を超える場合もあります。
- 「スキャンモード」を［カラー（マルチスキャン）］または［カラー（オートクロップ）］でスキャンした場合、設定した「添付ファイルサイズの上限」のサイズを超える「出力解像度」を設定したときには、「添付ファイルサイズの上限」に合わせて「出力解像度」が自動で変更されます。

先頭へ戻る▲

「出力解像度」

出力解像度：　75 dpi
75 dpi
150 dpi
300 dpi
600 dpi

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
解像度が高いほど精細な画像が得られますが、ファイルサイズが大きくなります。
選択肢は、「スキャンモード」、「原稿サイズ」および「添付ファイルサイズの上限」の設定に応じて変化します。ただし、「スキャンモード」が［カラー（オートクロップ）］、［カラー（マルチスキャン）］の場合、「出力解像度」は［75dpi］、［150dpi］、［300dpi］、［600dpi］から選択します。

- 「ファイルの種類」が［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］の場合、「出力解像度」は最大［400dpi］になります。ただし、「スキャンモード」が［カラー（オートクロップ）］、［カラー（マルチスキャン）］のときは、最大［300dpi］になります。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」および「解像度とデータ容量」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「スキャナドライバを表示する」

☐ スキャナドライバを表示する

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。
「スキャンモード」「原稿サイズ」などのスキャナの設定はグレーアウトし、ScanGear CSの画面で設定することになります。

- ScanGear CSで［カラー］／［A4］／［1200dpi］を超える画像サイズをスキャンしようとすると、警告メッセージが表示され、スキャンできません。解像度を低くしてスキャンしてください。
- Windowsの場合、「ファイルの種類」が［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］のとき、ScanGear CSで［カラー］／［原稿台全面］／［400dpi］を超える画像サイズでスキャンすると、警告メッセージが表示されスキャンできません。「原稿サイズ」や解像度を低くしてスキャンしてください。
- Macintoshの場合、「ファイルの種類」が［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］のとき、この設定は選択できません。
- ScanGear CSの画面で［白黒］でスキャンしても、保存する「ファイルの種類」が［JPEG/Exif］の場合、カラーのJPEGで保存されます。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルがメールソフトにわたされます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CSの使いかた」の「「基本モード」の機能」または「「拡張モード」の機能」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「ファイル名」

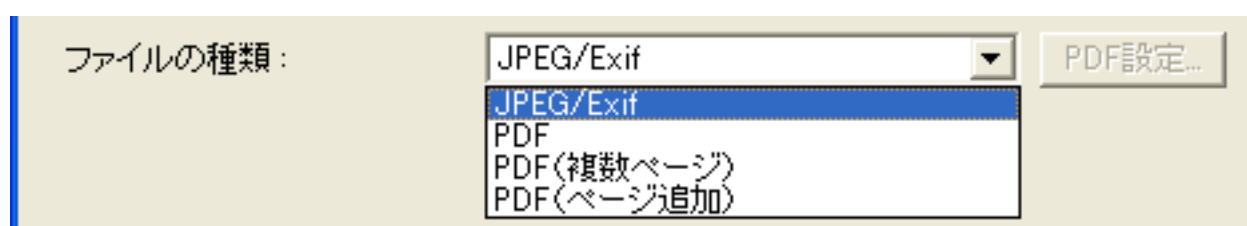
ファイル名： Mail

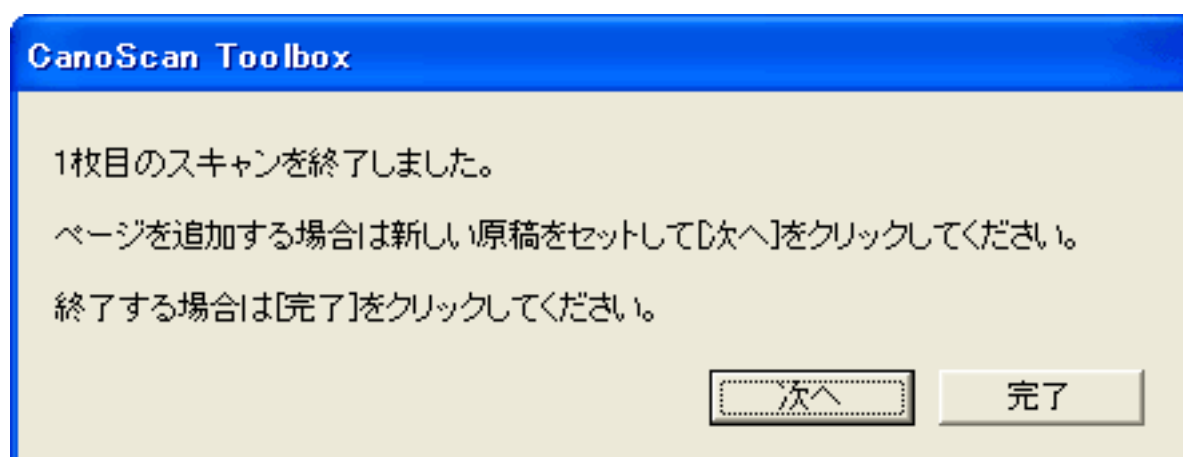
スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

- 複数の画像をスキャンして、1つのフォルダへ保存するときに（「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を使用する場合など）、デフォルトのファイル名を使用すると、最初の画像から、"0001" などの4桁の通し番号がファイル名の後ろに付けられて使用されます。
 （例：Mail0001→Mail0002→Mail0003...)。
 デフォルト以外のファイル名を使用すると、最初の画像についてはそのファイル名がそのまま使用され、2番目以降のものについて、"0001" などの4桁の通し番号がファイル名の後ろに付けられて使用されます。
 (例：ABC→ABC0001→ABC0002...)。
- 拡張子は自動的に付けられます。

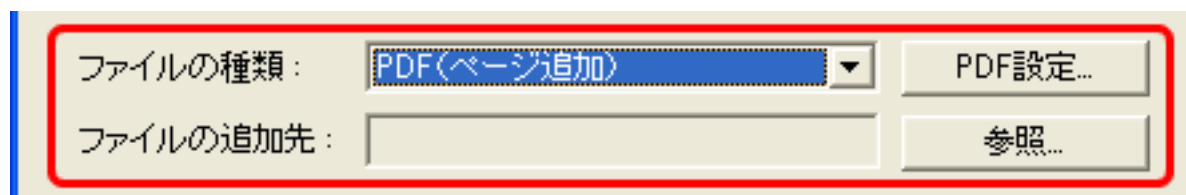
先頭へ戻る▲

「ファイルの種類」

ファイルの種類：　JPEG/Exif　PDF設定...
JPEG/Exif
PDF
PDF(複数ページ)
PDF(ページ追加)

（上記の画面例はグレースケールおよびカラー画像の場合の例です。）

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
［JPEG/Exif］、［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］が選択できます。
［PDF（複数ページ）］を選択すると、複数ページの原稿を1つのPDFファイルにします。原稿台の原稿をスキャンするごとに次のような画面が表示されます。

スキャンを続けるときは、次の原稿をセットしてから［次へ］をクリックしてください。スキャンを終了するときは、［完了］をクリックします。

［PDF（ページ追加）］を選択すると、既存のPDFファイルにページを追加して、1つのPDFファイルにします。
［参照］ボタンをクリックして、「ファイルの追加先」を指定します。
このとき、画像の保存先は「ファイルの追加先」で指定されたフォルダになります。

既存のファイルは、そのまま保存され、別ファイルを作成して、そこにページを追加します。

「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］のときは、原稿台の複数の原稿を1つのPDFファイルにします。

- ［JPEG/Exif］は、グレースケールおよびカラー画像の場合のみ選択できます。
- 既存のPDFファイルとして指定できるのは、Toolbox 4.7以降で作成されたPDFファイルだけです。他のアプリケーションソフトで作成されたPDFファイルを指定しても、ページの追加はできません。
- Toolbox 4.7以降で作成されたPDFファイルでも、他のアプリケーションソフトで編集を行った場合はページの追加はできません。

- ［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］で、複数ページの文字原稿や白黒原稿をスキャンするときは、「スキャンモード」を［白黒］または「［グレースケール］」にすることをおすすめします。
- ［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］で複数ページのカラー原稿（「出力解像度」が［300dpi］、A4相当）でPDFファイルを作成する場合、1つのPDFファイルを20ページ以下にすることをおすすめします。

先頭へ戻る▲

［PDF設定］ボタン

ファイルの種類：　PDF　PDF設定...

保存する「ファイルの種類」で［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］を選択したときに、［PDF設定］ボタンをクリックすると、「PDF設定」画面が表示されます。→「「PDF設定」画面」

先頭へ戻る▲

「ファイルの保存先」

ファイルの保存先：　C:¥Documents and Settings¥PC　参照...

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックします。

・初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows ［My Documents］－［My Pictures］フォルダ
お使いの環境によっては保存先の表示が［My Documents］-［My Pictures］ではなく［マイドキュメント］-［マイピクチャ］と表示されることがあります。

Macintosh Macintosh HDの［ユーザ*］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［ピクチャ*］－［My Pictures］フォルダ
* Mac OS Xの仕様のため、［ユーザ］、［ピクチャ］フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では［Users］、［Pictures］と表示されることがあります。

先頭へ戻る▲

「今日の日付のフォルダに保存する」

☑ 今日の日付のフォルダに保存する

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。

Windows

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば［2005-01-15］など）を自動的に作成し、画像を保存した順番にファイル名を付けて保存します。
たとえば、［2005-01-15］フォルダに「Mail0001.JPG」というファイル名の画像が保存されている場合、［2005-01-16］フォルダには、「Mail0002.JPG」から連番でファイル名が付けられます。

Macintosh

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば［2005-01-15］など）を自動的に作成し、フォルダごとにファイル名を付けて画像を保存します。
たとえば、［2005-01-15］フォルダに「Mail0001.JPG」というファイル名の画像が保存されていても、［2005-01-16］フォルダには、「Mail0001.JPG」から連番でファイル名が付けられます。

・「ファイルの種類」が［PDF（ページ追加）］のときは、この設定は選択できません。

先頭へ戻る▲

「メールソフトの設定」

メールの送信に使うメールソフトを設定します。枠内には現在設定されているメールソフト名が表示されています。
枠内にメールソフト名が表示されていない場合、あるいは他のメールソフトを使いたい場合は、［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、使いたいメールソフトを選んで、［OK］ボタンをクリックします。
使いたいメールソフトがリストに表示されない場合は、「なし（手動で添付）」を選択します。ただし、この場合には、メールソフトは起動しませんので、送信メールを開き、画像ファイルを添付する操作を行ってください。

Windows

Macintosh

先頭へ戻る▲

「スキャン画像の確認とExif情報の入力」

☐ スキャン画像の確認とExif情報の入力

ここにチェックマークを付けると、スキャン後サムネイル（縮小画像）を確認し、「ファイルの種類」や「保存先」を指定できます。→「スキャン画像の確認とExif情報の入力」

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適 用 ［適用］ボタン

設定した内容を保存し、有効にします。
［適用］ボタンを押さずに［キャンセル］ボタンを押すと、設定内容は無効になります。

- COPYボタン、SCANボタン、PDFボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンのしかた」の「EZボタンでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

スキャン ［スキャン］ボタン

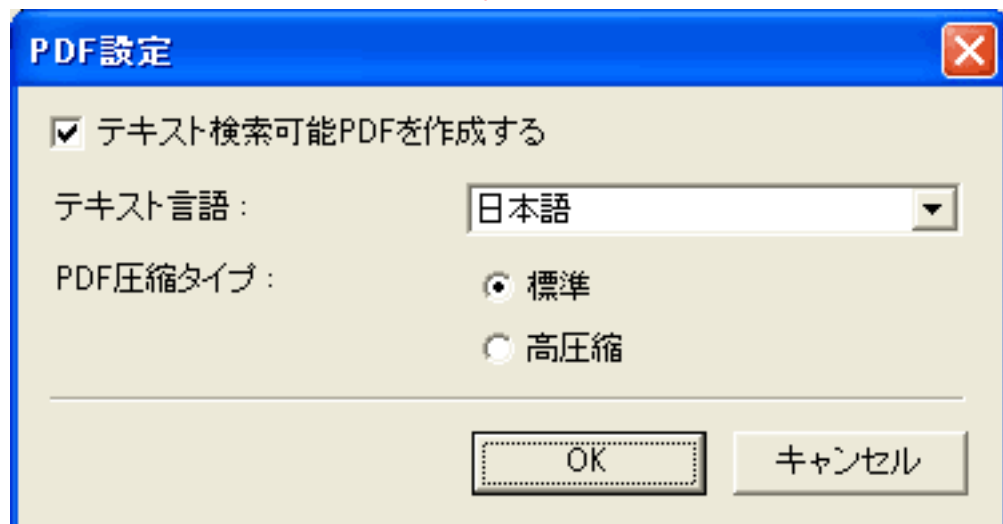
設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると自動的にメールソフトが起動して、画像の添付されたメールの送信画面が表示されます。

- 「スキャンモード」の［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンした場合は、複数の画像が添付されたメール送信画面、または、画像の添付された複数のメール送信画面が表示されます。
- 「スキャンモード」の［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンしたときに、複数のメール送信画面が表示される場合には、「ファイルの種類」で［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］を選択すると、表示されるメール送信画面を1つにすることができます。

先頭へ戻る▲

「PDF設定」画面

保存する「ファイルの種類」で［PDF］、［PDF（複数ページ）］を選択したときに、［PDF設定］ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。
各項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

「テキスト検索可能PDFを作成する」

「テキスト検索可能PDFを作成する」にチェックマークを付けると、原稿中の文字を認識することが可能です。保存したPDFファイルは、簡単なキーワード検索などに利用できます。
この項目にチェックマークを付けたときは、テキスト検索可能なPDFファイルを作成するときの言語を「テキスト言語」から「日本語」または「英語」を選択します。

キーワード検索の手順

作成されたPDFファイルをダブルクリックし、Adobe Acrobat Readerを起動させ、PDFファイルを表示します。

1 ［編集］-［検索］メニューを選択

2 「検索する文字列」に、検索したい文字を入力

3 ［検索］ボタンをクリック

4 該当するキーワードが選択されます

- 検索可能なPDFファイルを作成するには、「出力解像度」の設定を［300dpi］～［400dpi］の範囲内にしてください。
- 原稿の状態や書体によっては文字を認識できない場合があります。このようなときは、キーワード検索はできません。

- 原稿中の文字をテキストデータに変換し、編集作業などを行いたい場合は、［OCR］ボタンで原稿をスキャンしてください。

先頭へ戻る▲

「PDF圧縮タイプ」

PDFファイルを作成するときの圧縮率を選択します。
画像（写真、イラストなど）が圧縮され、ファイルサイズが小さくなります。
［標準］または［高圧縮］を選択します。

	選択の目安
［標準］	画質を優先して保存
［高圧縮］	ファイルサイズを小さくして保存

先頭へ戻る▲

［OCR］ボタン（OCR画面）

原稿をスキャンした後、OCR ソフト（画像データを文字データに変換するソフト）を起動し、スキャンした画像ファイルを開きます。初期設定では、読取革命Liteが起動します。

Toolboxのメイン画面で（［OCR］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

OCR

[OCR]
スキャン画像を指定フォルダに保存し、OCRソフトで開きます。

スキャンの設定

スキャンモード：カラー
出力解像度：300 dpi
原稿サイズ：A4

スキャン画像の保存

ファイル名：OCR
ファイルの種類：JPEG/Exif
ファイルの保存先：C:¥Documents and Settings¥PCuser¥
参照...
今日の日付のフォルダに保存する

アプリケーションの設定

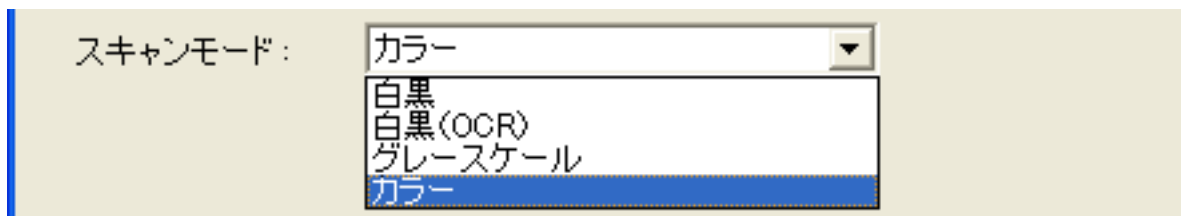
設定の解除
C:¥Program Files¥Panasonic¥YomikakuLite¥Yomikaku.exe
設定...

初期設定に戻す　適用　キャンセル　スキャン

・ 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

「スキャンモード」

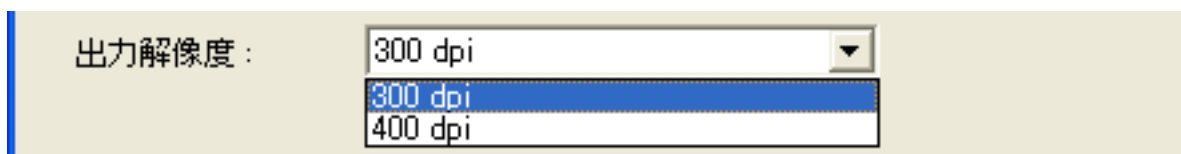
スキャンモード：カラー
白黒
白黒(OCR)
グレースケール
カラー

スキャンの方法を選択します。

［白黒］	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
［白黒（OCR）］	白黒2値の画像をより鮮明にスキャンします。Macintosh では選択できません。
［グレースケール］	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
［カラー］	カラー画像になるように原稿をスキャンします。

・ OCRソフトによっては、グレースケール、カラーの画像を受け取れない場合があります。この場合には、［白黒］または「白黒（OCR）」を選択してください。

先頭へ戻る▲

「出力解像度」

出力解像度：300 dpi
300 dpi
400 dpi

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
［300dpi］、［400dpi］の中から選択できます。

・ 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」および「解像度とデータ容量」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「原稿サイズ」

スキャンする原稿のサイズを選択します。

次のサイズを選択できます。

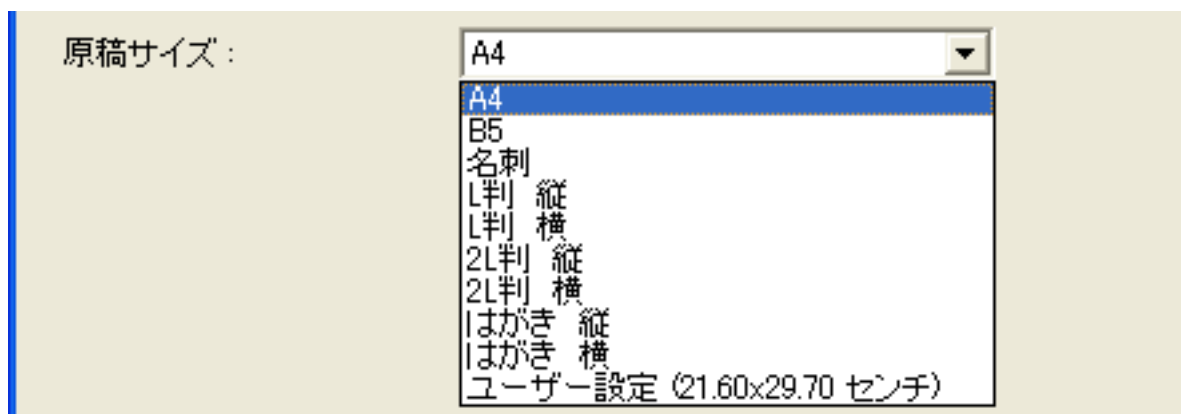
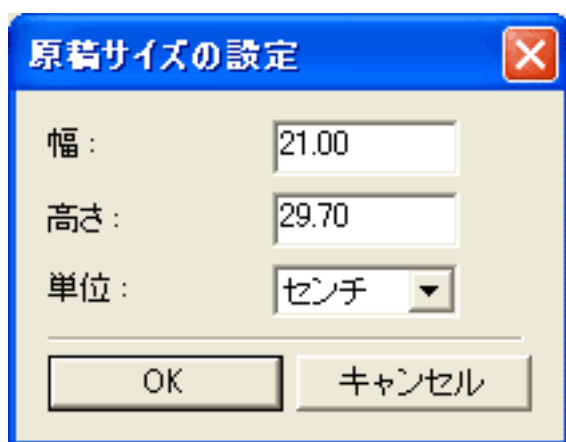
［A4］、［B5］、［名刺］、［L判縦］、［L判横］、［2L判縦］、［2L判横］、［はがき縦］、［はがき横］、［ユーザー設定］。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、2L判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

［ユーザー設定］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

原稿サイズの設定
幅： 21.00
高さ： 29.70
単位： センチ
OK キャンセル

先頭へ戻る▲

「ファイル名」

ファイル名： OCR

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

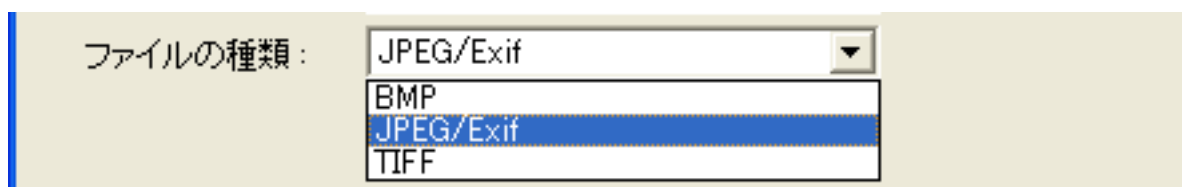
- 複数の画像をスキャンして、1つのフォルダへ保存するときに、デフォルトのファイル名を使用すると、最初の画像から、"0001" などの4桁の通し番号がファイル名の後ろに付けられて使用されます。
  （例：OCR0001→OCR0002→OCR0003...)。
  デフォルト以外のファイル名を使用すると、最初の画像についてはそのファイル名がそのまま使用され、2番目以降のものについて、"0001" などの4桁の通し番号がファイル名の後ろに付けられて使用されます。
  (例：ABC→ABC0001→ABC0002...)。
- 拡張子は自動的に付けられます。

先頭へ戻る▲

「ファイルの種類」

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。

Windows

ファイルの種類：JPEG/Exif
BMP
JPEG/Exif
TIFF

［BMP］、［JPEG/Exif］、［TIFF］から選択できます。

Macintosh

［PICT］、［JPEG/Exif］から選択できます。

- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」の「スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「ファイルの保存先」

ファイルの保存先：C:¥Documents and Settings¥PC 参照...

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックします。

・初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows ［My Documents］－［My Pictures］フォルダ
お使いの環境によっては保存先の表示が［My Documents］-［My Pictures］ではなく［マイドキュメント］-［マイピクチャ］と表示されることがあります。

Macintosh Macintosh HDの［ユーザ*］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［ピクチャ*］－［My Pictures］フォルダ
* Mac OS Xの仕様のため、［ユーザ］、［ピクチャ］フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では［Users］、［Pictures］と表示されることがあります。

先頭へ戻る▲

「今日の日付のフォルダに保存する」

☑ 今日の日付のフォルダに保存する

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。

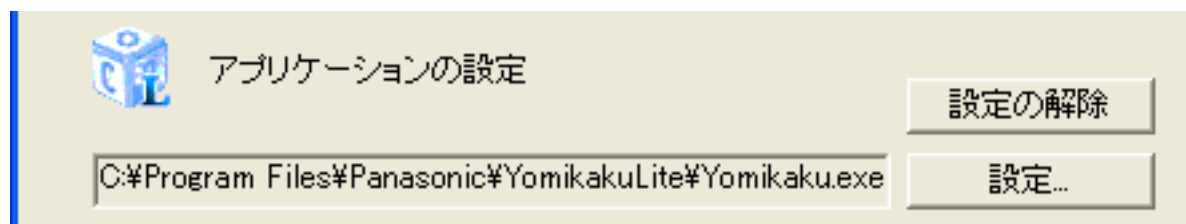
Windows

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば［2005-01-15］など）を自動的に作成し、画像を保存した順番にファイル名を付けて保存します。
たとえば、［2005-01-15］フォルダに「OCR0001.JPG」というファイル名の画像が保存されている場合、［2005-01-16］フォルダには、「OCR0002.JPG」から連番でファイル名が付けられます。

Macintosh

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば［2005-01-15］など）を自動的に作成し、フォルダごとにファイル名を付けて画像を保存します。
たとえば、［2005-01-15］フォルダに「OCR0001.JPG」というファイル名の画像が保存されていても、［2005-01-16］フォルダには、「OCR0001.JPG」から連番でファイル名が付けられます。

先頭へ戻る▲

「アプリケーションの設定」

スキャンした画像の渡し先のアプリケーションソフトを設定します。枠内には現在リンク（登録）されているアプリケーションソフト名が表示されています。 キヤノスキャンセットアップCD-ROMからインストールした直後には、 読取革命Liteが設定されています。

他のアプリケーションソフトを使用したい場合

■方法１
［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］）をクリックし、目的のアプリケーションソフトを選んで、［開く］ボタンをクリックします 。

目的のアプリケーションソフトは、かならず実行可能なファイルを設定してください。

Windows

アプリケーションソフトは多くの場合、［Program　Files］フォルダの下に、会社名やアプリケーションソフト名のフォルダが作成され、その中に格納されています。
［.exe］の拡張子が付けられています*。そのファイルをダブルクリックして、実際に起動することをあらかじめ確かめておきます。
* 拡張子が表示されないときは、ファイルエクスプローラーの［ツール］-［フォルダオプション］-［表示］で、［登録されているファイルの拡張子は表示しない］から、チェックマークをはずします。

Macintosh

アプリケーションソフトは多くの場合、［アプリケーション］フォルダの下に、会社名やアプリケーションソフト名のフォルダが作成され、その中に格納されています。Macintoshでは、拡張子は付けられませんので、アイコンなどを頼りに実行可能ファイルを探します。そのファイルをクリック/ダブルクリックして、実際に起動することをあらかじめ確かめておきます。
* フォルダもアイコン化されていることがあります。注意してください。

■方法２
デスクトップやスタートメニュー（Windowsのみ）、フォルダにある、実行可能ファイルか、そのショートカット（エイリアス）アイコンを、「アプリケーションの設定」にドラッグ・アンド・ドロップすることで、登録できます。

- 設定したアプリケーションソフトによっては動作しないことがあります。
- アプリケーションソフトによっては、ショートカット/エイリアスを設定すると動作しないことがあります。

設定されているアプリケーションソフトの設定を解除したい場合

［設定の解除］ボタンをクリックします。設定の解除を確認する画面が表示されたら、［はい］ボタン（Macintoshの場合は［OK］ボタン）をクリックします。

Windows

Macintosh

- 「アプリケーションの設定」に設定されているアプリケーションソフトがないと、アプリケーションソフトの設定を要求するメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックし、アプリケーションの選択画面でアプリケーションソフトを選択してください。

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適 用 ［適用］ボタン

設定した内容を保存し、有効にします。
［適用］ボタンを押さずに［キャンセル］ボタンを押すと、設定内容は無効になります。

・ COPYボタン、 SCANボタン、 PDFボタン、 E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンのしかた」の「EZボタンでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

スキャン ［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると自動的にOCRソフトが起動し、スキャンした画像が開かれます。

・ 初期設定では、読取革命Liteが起動します。

先頭へ戻る▲

［保存］ボタン（保存画面）

原稿をスキャンして、画像ファイルまたはPDFファイルとして保存します。

Toolboxのメイン画面で（［保存］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

保存

［保存］
スキャン画像を指定されたフォルダに保存します。

スキャンの設定

原稿の種類：紙/写真

スキャンモード：カラー

出力解像度：300 dpi

原稿サイズ：A4

☐ スキャナドライバを表示する

スキャン画像の保存

ファイル名：Image

ファイルの種類：JPEG/Exif　PDF設定...

ファイルの保存先：C:¥Documents and Settings¥PCuser¥　参照...

☑ 今日の日付のフォルダに保存する

☐ JPEG/ExifファイルをAdobeRGBで保存する

☐ スキャン画像の確認とExif情報の入力

初期設定に戻す　適 用　キャンセル　スキャン

- 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

「原稿の種類」

原稿の種類：紙/写真

紙/写真
フィルム
自動判別

スキャンする原稿の種類を選択します。
次の3つの種類から選択します。

［紙／写真］	紙の原稿や写真をスキャンします。
［フィルム］	35mmフィルムをスキャンします。
［自動判別］	紙／写真の原稿か、フィルムかを自動的に判別してスキャンします。

- ［自動判別］を選択した場合、「スキャンモード」、「出力解像度」、「原稿サイズ」は設定できなくなり、以下の設定でスキャンします。

	「スキャンモード」	「出力解像度」
［紙／写真］の場合	［カラー（マルチスキャン）］	［300dpi］
［フィルム］の場合	［全コマスキャン］	［標準（300dpi）］

先頭へ戻る▲

「スキャンモード」

スキャンの方法を選択します。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

スキャンモード：カラー

白黒
グレースケール
カラー
カラー（雑誌、カタログ）
カラー（マルチスキャン）
カラー（オートクロップ）

次の6つのモードから選択できます。

［白黒］	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
［グレースケール］	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
［カラー］	「モアレ低減」機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。プリント写真などをスキャンするのに適しています。
［カラー（雑誌、カタログ）］	「モアレ低減」機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
［カラー（マルチスキャン）］	カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に切り出し、傾きを補正して複数の画像ファイルを作成します。
［カラー（オートクロップ）］	カラーで原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択した場合は、複数のファイルが開かれます。ただし、「ファイルの種類」が［PDF（複数ページ）］のときは、複数の原稿をスキャンしても、1つのPDFファイルとして、開かれます。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。「モアレ低減」機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- 原稿の置きかたについては、「目的別にスキャンする」の「複数の原稿を一度にスキャンする（マルチスキャン）」をご覧ください。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

スキャンモード：［サムネイル画面表示▼］
全コマスキャン
サムネイル画面表示

次の2つのモードから選択できます。

［全コマスキャン］	原稿台に置かれたすべてのコマをスキャンします。
［サムネイル画面表示］	サムネイル画面をいったん表示し、選択したコマをスキャンします。

- サムネイル画面でスキャンするコマを選択する方法については、「スキャンの手順／フィルムをスキャンする」の「CanoScan Toolboxでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「出力解像度」

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
解像度が高い（数値が大きい）ほど、より精細な画像が得られます。

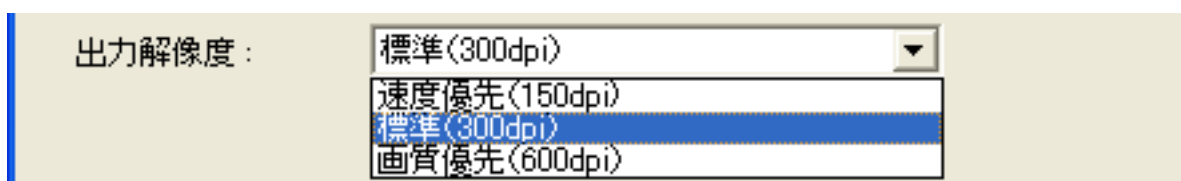
「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

［75 dpi］、［100 dpi］、［150 dpi］、［200 dpi］、［300 dpi］、［400 dpi］、［600 dpi］、［800 dpi］、［1200 dpi］の中から選択できます。

- 「スキャンモード」が［カラー（オートクロップ）］、［カラー（マルチスキャン）］の場合、「出力解像度」は［75dpi］、［150dpi］、［300dpi］、［600dpi］から選択します。
- 「スキャンモード」が「カラー（雑誌・カタログ）」の場合、「出力解像度」は最大600dpiになります。
- 「ファイルの種類」が［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］の場合、「出力解像度」は最大400dpiになります。ただし、「スキャンモード」が［カラー（オートクロップ）］、［カラー（マルチスキャン）］のときは、最大300dpiになります。
- Macintoshでは、「ファイルの種類」が［PICT］の場合、横幅4096 pixelまでというPICTファイルの仕様があるため、選択している「原稿サイズ」に応じて、表示される「出力解像度」が変わります。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」および「解像度とデータ容量」をご覧ください。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

出力解像度：
標準(300dpi)
速度優先(150dpi)
標準(300dpi)
画質優先(600dpi)

次の3つの解像度を選択できます。

［速度優先（150dpi）］	「出力解像度」が150dpiになるようにスキャンします。 L判サイズ（8.9 x 12.7cm）で印刷する場合などに選択します。
［標準（300dpi）］	「出力解像度」が300dpiになるようにスキャンします。 L判サイズ（8.9 x 12.7cm）で高画質印刷する場合に選択します。
［画質優先（600dpi）］	「出力解像度」が600dpiになるようにスキャンします。 A4サイズ程度まで拡大して印刷したり、高性能カラープリンタで印刷する場合に選択します。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」および「解像度とデータ容量」をご覧ください。

- 「ファイルの種類」が［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］のときは、［画質優先（600dpi）］は選択できません。

先頭へ戻る▲

「原稿サイズ」

スキャンする原稿のサイズを選択します。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

次のサイズを選択できます。

［A4］、［B5］、［名刺］、［L判縦］、［L判横］、［2L判縦］、［2L判横］、［はがき縦］、［はがき横］、［画像の貼り合わせ（B5+B5）］、［画像の貼り合わせ（A4+A4）］、［画像の貼り合わせ（原稿台全面×2）］、［ユーザー設定］。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、2L判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

［画像の貼り合わせ（B5+B5）］、［画像の貼り合わせ（A4+A4）］、［画像の貼り合わせ（原稿台全面×2）］を選択した場合、原稿を左半分と右半分に分けてスキャンし、それらを貼り合わせます。→「画像の貼り合わせの詳しい手順」

［ユーザー設定］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

・「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）」の場合、「原稿サイズ」は選択できません。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

「原稿サイズ」は［35mmフィルム］になります。

先頭へ戻る▲

「スキャナドライバを表示する」

スキャナドライバを表示する

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。「原稿の種類」「スキャンモード」「原稿サイズ」などのスキャナの設定はグレーアウトし、ScanGear CSの画面で設定することになります。

- ScanGear CSで［カラー］／［A4］／［1200dpi］を超える画像サイズをスキャンしようとすると、警告メッセージが表示され、スキャンできません。解像度を低くしてスキャンしてください。
- Windowsの場合、「ファイルの種類」が［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］のとき、ScanGear CSで［カラー］／［原稿台全面］／［400dpi］を超える画像サイズでスキャンすると、警告メッセージが表示されスキャンできません。「原稿サイズ」や解像度を低くしてスキャンしてください。
- ［JPEG/ExifファイルをAdobeRGBで保存する］にチェックマークを付けると、この項目は選択できません。
- Macintoshの場合、「ファイルの種類」が［PDF］、［PDF（複数ページ）］のとき、この設定は選択できません。
- ScanGear CSの画面で［白黒］でスキャンしても、保存する「ファイルの種類」が［JPEG/Exif］の場合、カラーのJPEGで保存されます。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルが保存されます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CSの使いかた」の「「基本モード」の機能」または「「拡張モード」の機能」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「ファイル名」

ファイル名：　Image

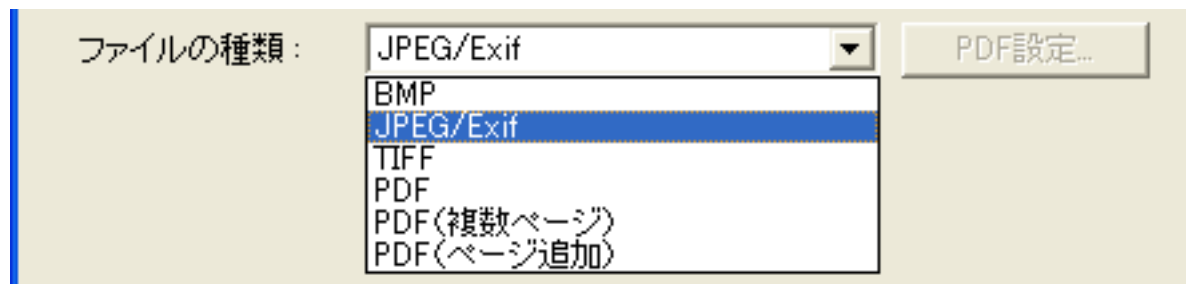
スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

- 複数の画像をスキャンして、1つのフォルダへ保存するときに（「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を使用する場合など）、デフォルトのファイル名を使用すると、最初の画像から、"0001" などの4桁の通し番号がファイル名の後ろに付けられて使用されます。
（例：Image0001→Image0002→Image0003...)。
デフォルト以外のファイル名を使用すると、最初の画像についてはそのファイル名がそのまま使用され、2番目以降のものについて、"0001" などの4桁の通し番号がファイル名の後ろに付けられて使用されます。
(例：ABC→ABC0001→ABC0002...)。
- 拡張子は自動的に付けられます。
- 「JPEG/ExifファイルをAdobeRGBで保存する」にチェックマークを付けて保存すると、ファイル名の先頭にアンダーバーが付けられます。
（例：_Image0001.JPG）。

先頭へ戻る▲

「ファイルの種類」

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。

Windows

（上記の画面例はグレースケールおよびカラー画像の場合の例です。）

［BMP］、［JPEG/Exif］、［TIFF］、［PDF］、「PDF〔複数ページ）」、［PDF（ページ追加）］から選択できます。

Macintosh

（上記の画面例はグレースケールおよびカラー画像の場合の例です。）

［PICT］、［JPEG/Exif］、［TIFF］、［PDF］、「PDF〔複数ページ）」、［PDF（ページ追加）］から選択できます。

［PDF（複数ページ）］を選択すると、複数ページの原稿を1つのPDFファイルにします。原稿台の原稿をスキャンするごとに次のような画面が表示されます。

スキャンを続けるときは、次の原稿をセットしてから［次へ］をクリックしてください。スキャンを終了するときは、［完了］をクリックします。

［PDF（ページ追加）］を選択すると、既存のPDFファイルにページを追加して、1つのPDFファイルにします。
［参照］ボタンをクリックして、「ファイルの追加先」を指定します。
このとき、画像の保存先は「ファイルの追加先」で指定されたフォルダになります。
既存のファイルは、そのまま保存され、別ファイルを作成して、そこにページを追加します。

「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］のときは、原稿台の複数の原稿を1つのPDFファイルにします。

- ［JPEG/Exif］は、グレースケールおよびカラー画像の場合のみ選択できます。
- 既存のPDFファイルとして指定できるのは、Toolbox 4.7以降で作成されたPDFファイルだけです。他のアプリケーションソフトで作成されたPDFファイルを指定しても、ページの追加はできません。
- Toolbox 4.7以降で作成されたPDFファイルでも、他のアプリケーションソフトで編集を行った場合はページの追加はできません。
- PDFファイルを作成するときの設定を変更する場合は、「［PDF設定］ボタン」をクリックします。

- ［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］で、複数ページの文字原稿や白黒原稿をスキャンするときは、「スキャンモード」を［白黒］または［グレースケール］にすることをおすすめします。
- ［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］で複数ページのカラー原稿（「出力解像度」が［300dpi］、A4相当）でPDFファイルを作成する場合、1つのPDFファイルは20ページ以下にすることをおすすめします。
- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」の「スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

［PDF設定］ボタン

保存する「ファイルの種類」で［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］を選択したときに、［PDF設定］ボタンをクリックすると、「PDF設定」画面が表示されます。→「「PDF設定」画面」

先頭へ戻る▲

「ファイルの保存先」

ファイルの保存先：　C:¥Documents and Settings¥PC　参照...

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタンを（Macintoshの場合は［選択］ボタン）クリックします。

・初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows　［My Documents］－［My Pictures］フォルダ
お使いの環境によっては保存先の表示が［My Documents］-［My Pictures］ではなく［マイドキュメント］-［マイピクチャ］と表示されることがあります。

Macintosh　Macintosh HDの［ユーザ*］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［ピクチャ*］－［My Pictures］フォルダ
* Mac OS Xの仕様のため、［ユーザ］、［ピクチャ］フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では［Users］、［Pictures］と表示されることがあります。

先頭へ戻る▲

「今日の日付のフォルダに保存する」

☑ 今日の日付のフォルダに保存する

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。

Windows

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば［2005-01-15］など）を自動的に作成し、画像を保存した順番にファイル名を付けて保存します。
たとえば、［2005-01-15］フォルダに「Image0001.JPG」というファイル名の画像が保存されている場合、［2005-01-16］フォルダには、「Image0002.JPG」から連番でファイル名が付けられます。

Macintosh

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば［2005-01-15］など）を自動的に作成し、フォルダごとにファイル名を付けて画像を保存します。
たとえば、［2005-01-15］フォルダに「Image0001.JPG」というファイル名の画像が保存されていても、［2005-01-16］フォルダには、「Image0001.JPG」から連番でファイル名が付けられます。

・「ファイルの種類」が［PDF（ページ追加）］のときは、この設定は選択できません。

先頭へ戻る▲

「JPEG/ExifファイルをAdobeRGBで保存する」 Windows

☐ JPEG/ExifファイルをAdobeRGBで保存する

ここにチェックマークを付けると、保存される画像はAdobeRGBに対応した色空間になります。

- 「スキャナドライバを表示する」にチェックマークを付けると、この項目は選択できません。
- 「JPEG/ExifファイルをAdobeRGBで保存する」にチェックマークを付けて保存すると、ファイル名の先頭にアンダーバーが付けられます。
（例：_Image0001.JPG）。

先頭へ戻る▲

「スキャン画像の確認とExif情報の入力」

☐ スキャン画像の確認とExif情報の入力

ここにチェックマークを付けると、スキャン後サムネイル（縮小画像）を確認し、「ファイルの種類」や「保存先」を指定できます。→「スキャン画像の確認とExif情報の入力」

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適 用　［適用］ボタン

設定した内容を保存し、有効にします。
［適用］ボタンを押さずに［キャンセル］ボタンを押すと、設定内容は無効になります。

・ COPYボタン、SCANボタン、PDFボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンのしかた」の「EZボタンでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル　［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

スキャン　［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると指定の保存先に画像ファイルが保存されます。

・「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択した場合は、複数のファイルが保存されます。

先頭へ戻る▲

［PDF］ボタン（PDF画面）

原稿をスキャンした後、ファイルをPDF形式で保存し、リンク（登録）されているアプリケーションソフトを起動してそのアプリケーションソフトに文書ファイルを渡します。
初期設定では、ファイル管理革命Lite (Windows)/Adobe Acrobat Reader (Macintosh)が起動し、スキャンした画像ファイルを開きます。

Toolboxのメイン画面でまたは（［PDF］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

PDF

[PDF]
スキャン画像をPDFファイルで保存し、
指定のソフトで開きます。

スキャンの設定

スキャンモード：　カラー
出力解像度：　300 dpi
原稿サイズ：　A4
☐ スキャナドライバを表示する

スキャン画像の保存

ファイル名：　File
ファイルの種類：　PDF(複数ページ)　［PDF設定...］
ファイルの保存先：　C:¥Documents and Settings¥PCuser¥　［参照...］
☑ 今日の日付のフォルダに保存する

アプリケーションの設定

［設定の解除］
C:¥Program Files¥Panasonic¥FileOCRLite¥FileOCR.exe　［設定...］

☐ スキャン画像を確認する

- 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

「スキャンモード」

スキャンの方法を選択します。

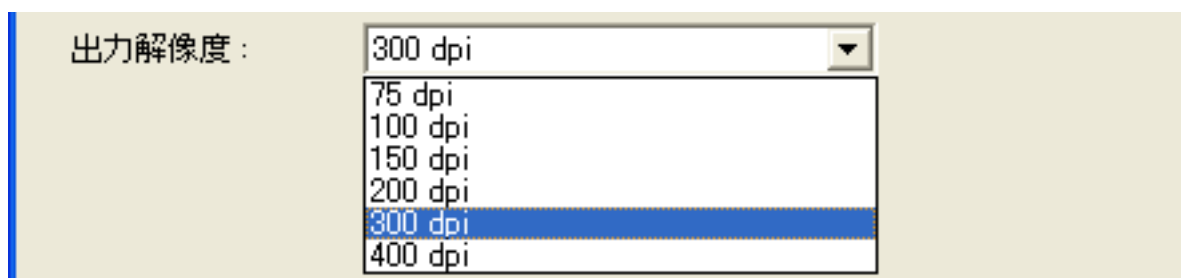
スキャンモード：
カラー
白黒
グレースケール
カラー
カラー（雑誌、カタログ）
カラー（マルチスキャン）
カラー（オートクロップ）

次の6つのモードから選択できます。

［白黒］	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
［グレースケール］	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
［カラー］	「モアレ低減」機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。プリント写真などをスキャンするのに適しています。
［カラー（雑誌、カタログ）］	「モアレ低減」機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
［カラー（マルチスキャン）］	カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に切り出し、傾きを補正して複数のPDFファイルを作成します。
［カラー（オートクロップ）］	カラーで原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択した場合は、複数のファイルが開かれます。ただし、「ファイルの種類」が［PDF（複数ページ）］のときは、複数の原稿をスキャンしても、1つのPDFファイルとして、開かれます。

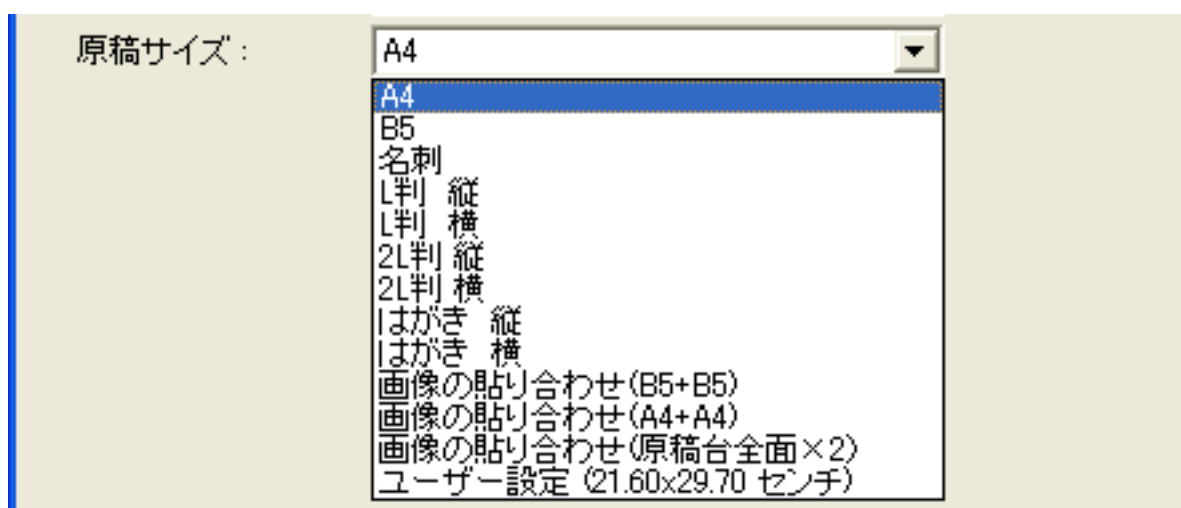
- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。「モアレ低減」機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- 原稿の置きかたについては、「目的別にスキャンする」の「複数の原稿を一度にスキャンする（マルチスキャン）」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「出力解像度」

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
解像度が高い（数値が大きい）ほど、より精細な画像が得られます。

［75dpi］、［100dpi］、［150dpi］、「200dpi」、［300dpi］、［400dpi］の中から選択できます。

- 「スキャンモード」が［カラー（オートクロップ）］、［カラー（マルチスキャン）］の場合、「出力解像度」は［75dpi］、［150dpi］、［300dpi］から選択します。

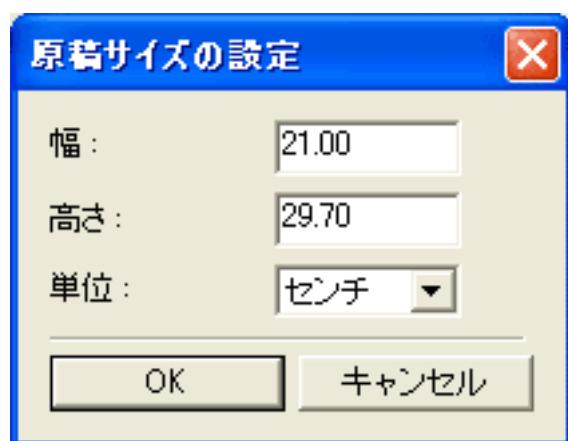
- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」および「解像度とデータ容量」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「原稿サイズ」

スキャンする原稿のサイズを選択します。
次のサイズを選択できます。

［A4］、［B5］、［名刺］、［L判縦］、［L判横］、［2L判縦］、［2L判横］、［はがき縦］、［はがき横］、［画像の貼り合わせ（B5+B5）］、［画像の貼り合わせ（A4+A4）］、［画像の貼り合わせ（原稿台全面×2）］、［ユーザー設定］。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、2L判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

［画像の貼り合わせ（B5+B5）］、［画像の貼り合わせ（A4+A4）］、［画像の貼り合わせ（原稿台全面×2）］を選択した場合、原稿を左半分と右半分に分けてスキャンし、それらを貼り合わせます。→「画像の貼り合わせの詳しい手順」

［ユーザー設定］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

- 「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「原稿サイズ」は選択できません。

先頭へ戻る▲

「スキャナドライバを表示する」

スキャナドライバを表示する

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。
「スキャンモード」「出力解像度」「原稿サイズ」などのスキャナの設定はグレーアウトし、ScanGear CSの画面で設定することになります。

- Windowsの場合、ScanGear CSで［カラー］／［原稿台全面］／［400dpi］または、［カラー］／［A4］／［1200dpi］を超える画像サイズでスキャンすると、警告メッセージが表示されスキャンできません。「原稿サイズ」や解像度を低くしてスキャンしてください。
- Macintoshの場合、この設定は選択できません。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルがアプリケーションソフトにわたされます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CSの使いかた」の「「基本モード」の機能」または「「拡張モード」の機能」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「ファイル名」

ファイル名：　File

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

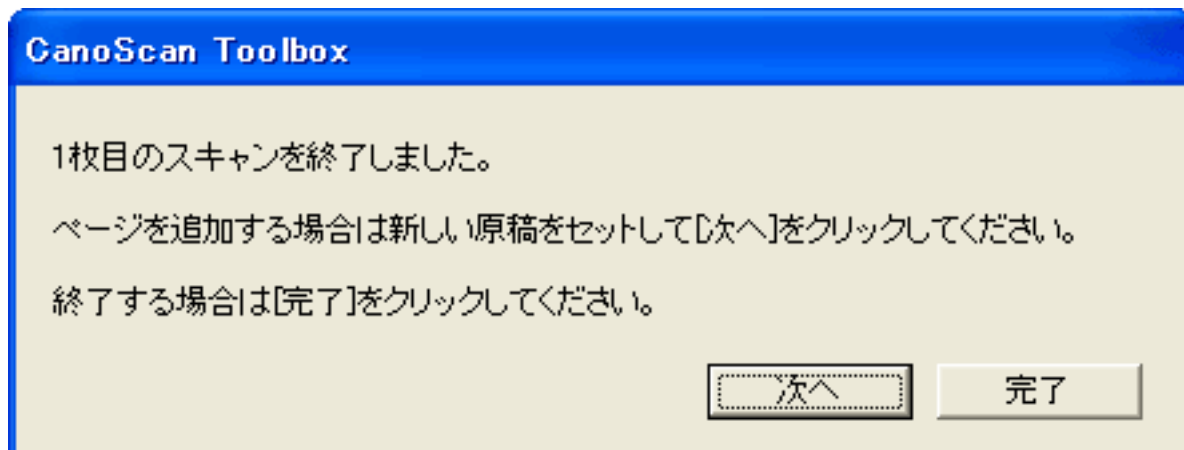
- 複数の画像をスキャンして、1つのフォルダへ保存するときに（「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を使用する場合など）、デフォルトのファイル名を使用すると、最初の画像から、"0001" などの4桁の通し番号がファイル名の後ろに付けられて使用されます。
（例：File0001→File0002→File0003...)。
デフォルト以外のファイル名を使用すると、最初の画像についてはそのファイル名がそのまま使用され、2番目以降のものについて、"0001" などの4桁の通し番号がファイル名の後ろに付けられて使用されます。
(例：ABC→ABC0001→ABC0002...)。
- 拡張子は自動的に付けられます。

先頭へ戻る▲

「ファイルの種類」

ファイルの種類：　PDF(複数ページ)　PDF設定...

PDF
PDF(複数ページ)
PDF(ページ追加)

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。
［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］から選択できます。
［PDF（複数ページ）］を選択すると、複数ページの原稿を1つのPDFファイルにします。原稿台の原稿をスキャンするごとに次のような画面が表示されます。

スキャンを続けるときは、次の原稿をセットしてから［次へ］をクリックしてください。スキャンを終了するときは、［完了］をクリックします。

［PDF（ページ追加）］を選択すると、既存のPDFファイルにページを追加して、1つのPDFファイルにします。
［参照］ボタンをクリックして、「ファイルの追加先」を指定します。
このとき、画像の保存先は「ファイルの追加先」で指定されたフォルダになります。既存のファイルは、そのまま保存され、別ファイルを作成して、そこにページを追加します。

「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］のときは、原稿台の複数の原稿を1つのPDFファイルにします。

- 既存のPDFファイルとして指定できるのは、Toolbox 4.7以降で作成されたPDFファイルだけです。他のアプリケーションソフトで作成されたPDFファイルを指定しても、ページの追加はできません。
- Toolbox 4.7以降で作成されたPDFファイルでも、他のアプリケーションソフトで編集を行った場合はページの追加はできません。
- PDFファイルを作成するときの設定を変更する場合は、「［PDF設定］ボタン」をクリックします。

- ［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］で、複数ページの文字原稿や白黒原稿をスキャンするときは、「スキャンモード」を［白黒］または［グレースケール］にすることをおすすめします。

- ［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］で複数ページのカラー原稿（「出力解像度」が［300dpi］、A4相当）でPDFファイルを作成する場合、1つのPDFファイルは20ページ以下にすることをおすすめします。
- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」の「スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

［PDF設定］ボタン

ファイルの種類： PDF　PDF設定...

保存する「ファイルの種類」で［PDF］、［PDF（複数ページ）］、［PDF（ページ追加）］を選択したときに、［PDF設定］ボタンをクリックすると、「PDF設定」画面が表示されます。→「「PDF設定」画面」

先頭へ戻る▲

「ファイルの保存先」

ファイルの保存先： C:¥Documents and Settings¥PC　参照...

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックします。

- 初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows　［My Documents］ー［My Pictures］フォルダ
お使いの環境によっては保存先の表示が［My Documents］-［My Pictures］ではなく［マイドキュメント］-［マイピクチャ］と表示されることがあります。

Macintosh　Macintosh HDの［ユーザ*］ー［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］ー［ピクチャ*］ー［My Pictures］フォルダ
* Mac OS Xの仕様のため、［ユーザ］、［ピクチャ］フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では［Users］、［Pictures］と表示されることがあります。

先頭へ戻る▲

「今日の日付のフォルダに保存する」

☑ 今日の日付のフォルダに保存する

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。

Windows

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば［2005-01-15］など）を自動的に作成し、画像を保存した順番にファイル名を付けて保存します。
たとえば、［2005-01-15］フォルダに「File0001.PDF」というファイル名の画像が保存されている場合、［2005-01-16］フォルダには、「File0002.PDF」から連番でファイル名が付けられます。

Macintosh

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば［2005-01-15］など）を自動的に作成し、フォルダごとにファイル名を付けて画像を保存します。
たとえば、［2005-01-15］フォルダに「File0001.PDF」というファイル名の画像が保存されていても、［2005-01-16］フォルダには、「File0001.PDF」から連番でファイル名が付けられます。

・「ファイルの種類」が［PDF（ページ追加）］のときは、この設定は選択できません。

先頭へ戻る▲

「アプリケーションの設定」

スキャンした画像の渡し先のアプリケーションソフトを設定します。枠内には現在リンク（登録）されているアプリケーションソフト名が表示されています。 キヤノスキャンセットアップCD-ROMからインストールした直後は、ファイル管理革命Lite (Windows)/Adobe Acrobat Reader (Macintosh)が設定されています。

他のアプリケーションソフトを使用したい場合

■方法１
［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］）をクリックし、目的のアプリケーションソフトを選んで、［開く］ボタンをクリックします 。

目的のアプリケーションソフトは、かならず実行可能なファイルを設定してください。

Windows

アプリケーションソフトは多くの場合、［Program　Files］フォルダの下に、会社名やアプリケーションソフト名のフォルダが作成され、その中に格納されています。
［.exe］の拡張子が付けられています*。そのファイルをダブルクリックして、実際に起動することをあらかじめ確かめておきます。
* 拡張子が表示されないときは、ファイルエクスプローラーの［ツール］-［フォルダオプション］-［表示］で、［登録されているファイルの拡張子は表示しない］から、チェックマークをはずします。

Macintosh

アプリケーションソフトは多くの場合、［アプリケーション］フォルダの下に、会社名やアプリケーションソフト名のフォルダが作成され、その中に格納されています。Macintoshでは、拡張子は付けられませんので、アイコンなどを頼りに実行可能ファイルを探します。そのファイルをクリック/ダブルクリックして、実際に起動することをあらかじめ確かめておきます。
* フォルダもアイコン化されていることがあります。注意してください。

■方法２
デスクトップやスタートメニュー（Windowsのみ）、フォルダにある、実行可能ファイルか、そのショートカット（エイリアス）アイコンを、「アプリケーションの設定」にドラッグ・アンド・ドロップすることで、登録できます。

- 設定したアプリケーションソフトによっては動作しないことがあります。
- アプリケーションソフトによっては、ショートカット/エイリアスを設定すると動作しないことがあります。

設定されているアプリケーションソフトの設定を解除したい場合

［設定の解除］ボタンをクリックします。設定の解除を確認する画面が表示されたら、［はい］ボタン（Macintoshの場合は［OK］ボタン）をクリックします。

Windows

Macintosh

- 「アプリケーションの設定」に、PDFファイルを開けないアプリケーションソフトを登録すると、画像を表示できないことがあります。また、設定を解除すると、「アプリケーションの設定」には「保存のみ」と表示され、スキャンした画像ファイルの保存だけが行われます。

先頭へ戻る▲

「スキャン画像を確認する」

☐ スキャン画像を確認する

ここにチェックマークを付けると、スキャン後サムネイル（縮小画像）を確認し、保存先を指定できます。→「スキャン画像の確認とExif情報の入力」

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適 用 ［適用］ボタン

設定した内容を保存し、有効にします。
［適用］ボタンを押さずに［キャンセル］ボタンを押すと、設定内容は無効になります。

- COPYボタン、SCANボタン、PDFボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンのしかた」の「EZボタンでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

スキャン ［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。
スキャンが完了すると自動的にPDFファイルを表示するアプリケーションソフトが起動し、スキャンした画像が開かれます。

- 「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を選択した場合は、複数のファイルが開かれます。ただし、「ファイルの種類」が［PDF（複数ページ）］のときは、複数の原稿をスキャンしても、1つのPDFファイルとして、開かれます。PDFの設定については、［PDF設定］ボタンをご覧ください。
- 初期設定では、ファイル管理革命Lite (Windows)/Adobe Acrobat Reader (Macintosh)が起動します。

先頭へ戻る▲

［スキャン-1］ ［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）

原稿をスキャンした後、リンク（登録）されているアプリケーションソフトを起動して、そのアプリケーションソフトに画像ファイルを渡します。
初期設定では、［スキャン-1］ボタンはPhotoStudioが起動します。
（［スキャン-2］ボタンには、アプリケーションソフトは割り当てられていません。）

Toolboxの（［スキャン-1］ボタン）または、（［スキャン-2］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。（下の画面は、［スキャン-1］ボタンをクリックしたときの画面例です。）

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

スキャン

[スキャン]
スキャン画像を指定フォルダに保存し、
指定のソフトで開きます。

スキャンの設定

原稿の種類： 自動判別
スキャンモード： カラー(マルチスキャン)
出力解像度： 300 dpi
原稿サイズ： A4
スキャナドライバを表示する

スキャン画像の保存

ファイル名： Scan1
ファイルの種類： JPEG/Exif
ファイルの保存先： C:¥Documents and Settings¥PCuser¥ 参照...
今日の日付のフォルダに保存する
JPEG/ExifファイルをAdobeRGBで保存する

アプリケーションの設定

設定の解除

- 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

「原稿の種類」

原稿の種類：
自動判別
紙/写真
フィルム
自動判別

スキャンする原稿の種類を選択します。
次の3つの種類から選択します。

［紙／写真］	紙の原稿や写真をスキャンします。
［フィルム］	35mmフィルムをスキャンします。
［自動判別］	紙／写真の原稿か、フィルムかを自動的に判別してスキャンします。

- ［自動判別］を選択した場合、「スキャンモード」、「出力解像度」、「原稿サイズ」は設定できなくなり、以下の設定でスキャンします。

	「スキャンモード」	「出力解像度」
［紙／写真］の場合	［カラー（マルチスキャン）］	［300dpi］
［フィルム］の場合	［全コマスキャン］	［標準（300dpi)］

先頭へ戻る▲

「スキャンモード」

スキャンの方法を選択します。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

次の6つのモードから選択できます。

［白黒］	白と黒の画像になるように原稿をスキャンします。
［グレースケール］	グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
［カラー］	「モアレ低減」機能をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。プリント写真などをスキャンするのに適しています。
［カラー（雑誌、カタログ）］	「モアレ低減」機能をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。
［カラー（マルチスキャン）］	カラーで原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に切り出し、傾きを補正して複数の画像ファイルを作成します。
［カラー（オートクロップ）］	カラーで原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

- 印刷物をスキャンすると、縞（しま）のような模様（モアレ）が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。「モアレ低減」機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。
- ［カラー（マルチスキャン）］で複数の原稿をスキャンした場合、複数の原稿をリンクされているアプリケーションソフトに別々のファイルとしてわたします。ただし、アプリケーションソフトによっては、複数の画像を受け取れないものもあります。
- 原稿の置きかたについては、「目的別にスキャンする」の「複数の原稿を一度にスキャンする（マルチスキャン）」をご覧ください。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

次の2つのモードから選択できます。

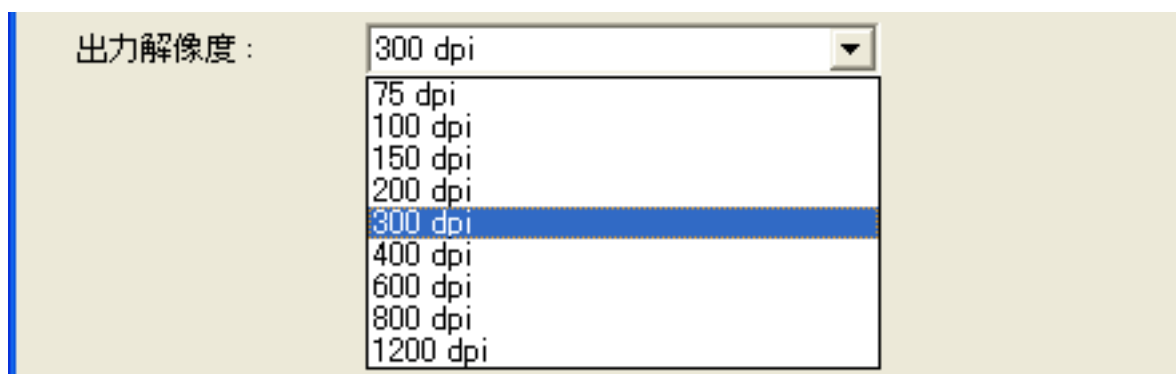
［全コマスキャン］	原稿台に置かれたすべてのコマをスキャンします。
［サムネイル画面表示］	サムネイル画面をいったん表示し、選択したコマをスキャンします。

- サムネイル画面でスキャンするコマを選択する方法については、「スキャンの手順／フィルムをスキャンする」の「CanoScan Toolboxでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「出力解像度」

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
解像度が高い（数値が大きい）ほど、より精細な画像が得られます。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

［75 dpi］、［100 dpi］、［150 dpi］、［200 dpi］、［300 dpi］、［400 dpi］、［600 dpi］、［800 dpi］、［1200 dpi］の中から選択できます。

- 「スキャンモード」が［カラー（オートクロップ）］、［カラー（マルチスキャン）］の場合、「出力解像度」は［75dpi］、［150dpi］、［300dpi］、［600dpi］から選択します。
- 「スキャンモード」が「カラー（雑誌・カタログ）」の場合、「出力解像度」は最大600dpiになります。
- Macintosh
  「ファイルの種類」が［PICT］の場合、横幅4096 pixelまでというPICTファイルの仕様があるため、選択している「原稿サイズ」に応じて、表示される「出力解像度」が変わります。

- 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」および「解像度とデータ容量」をご覧ください。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

次の3つの解像度を選択できます。

［速度優先（150dpi）］	「出力解像度」が150dpiになるようにスキャンします。 L判サイズ（8.9 x 12.7cm）で印刷する場合などに選択します。
［標準（300dpi）］	「出力解像度」が300dpiになるようにスキャンします。 L判サイズ（8.9 x 12.7cm）で高画質印刷する場合に選択します。
［画質優先（600dpi）］	「出力解像度」が600dpiになるようにスキャンします。 A４サイズ程度まで拡大して印刷したり、高性能カラープリンタで印刷する場合に選択します。

・ 解像度については、「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」および「解像度とデータ容量」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「原稿サイズ」

スキャンする原稿のサイズを選択します。

「原稿の種類」が［紙／写真］の場合

次のサイズを選択できます。

［A4］、［B5］、［名刺］、［L判縦］、［L判横］、［2L判縦］、［2L判横］、［はがき縦］、［はがき横］、［画像の貼り合わせ（B5+B5）］、［画像の貼り合わせ（A4+A4）］、［画像の貼り合わせ（原稿台全面×2）］、［ユーザー設定］。（L判サイズ＝8.9 x 12.7cm、2L判サイズ＝12.7 x 17.8cm）

［画像の貼り合わせ（B5+B5）］、［画像の貼り合わせ（A4+A4）］、［画像の貼り合わせ（原稿台全面×2）］を選択した場合、原稿を左半分と右半分に分けてスキャンし、それらを貼り合わせます。→「画像の貼り合わせの詳しい手順」

［ユーザー設定］を選択した場合は、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

・「スキャンモード」が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］の場合、「原稿サイズ」は選択できません。

「原稿の種類」が［フィルム］の場合

「原稿サイズ」は［35mmフィルム］になります。

先頭へ戻る▲

「スキャナドライバを表示する」

スキャナドライバを表示する

スキャンの設定をスキャナドライバ「ScanGear CS」で設定するか、しないかを選択します。

この項目にチェックマークを付けた場合は、画面右下の［スキャン］ボタンをクリックすると、ScanGear CSの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定できます。
「原稿の種類」「スキャンモード」「原稿サイズ」などのスキャナの設定はグレーアウトし、ScanGear CSの画面で設定することになります。

- ScanGear CSの画面で［白黒］でスキャンしても、保存する「ファイルの種類」が［JPEG/Exif］の場合、カラーのJPEGで保存されます。
- 「JPEG/ExifファイルをAdobeRGBで保存する」にチェックマークを付けると、この項目は選択できません。
- ScanGear CSで［カラー］／［A4］／［1200dpi］を超える画像サイズをスキャンしようとすると、警告メッセージが表示され、スキャンできません。解像度を低くしてスキャンしてください。

- ScanGear CSの画面で「マルチスキャン」を行った場合、原稿台に置いた枚数分の画像ファイルがアプリケーションソフトにわたされます。
- ScanGear CSでの設定については、「ScanGear CSの使いかた」の「「基本モード」の機能」または「「拡張モード」の機能」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

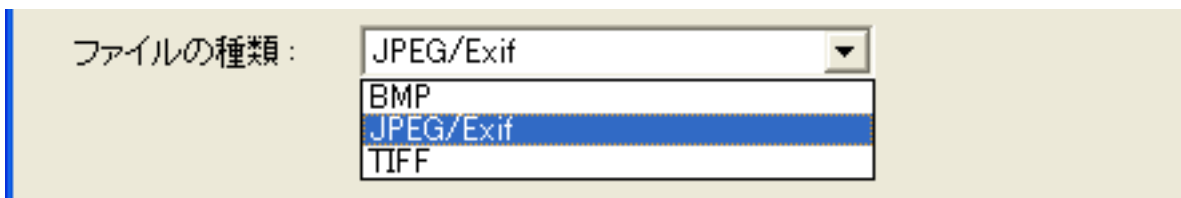
「ファイル名」

ファイル名： Scan1

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

- 複数の画像をスキャンして、1つのフォルダへ保存するときに（「スキャンモード」で［カラー（マルチスキャン）］を使用する場合など）、デフォルトのファイル名を使用すると、最初の画像から、"0001" などの4桁の通し番号がファイル名の後ろに付けられて使用されます。
（例：Scan10001→Scan10002→Scan10003...)。
デフォルト以外のファイル名を使用すると、最初の画像についてはそのファイル名がそのまま使用され、2番目以降のものについて、"0001" などの4桁の通し番号がファイル名の後ろに付けられて使用されます。
(例：ABC→ABC0001→ABC0002...)。
- 拡張子は自動的に付けられます。
- 「JPEG/ExifファイルをAdobeRGBで保存する」にチェックマークを付けて保存すると、ファイル名の先頭にアンダーバーが付けられます。
（例：_Scan0001.JPG）。

先頭へ戻る▲

「ファイルの種類」

スキャンした画像を保存するときのファイルの種類を選択します。

（上記の画面例はグレースケールおよびカラー画像の場合の例です。）

［BMP］、［JPEG/Exif］、［TIFF］から選択できます。

Macintosh

（上記の画面例はグレースケールおよびカラー画像の場合の例です。）

［PICT］、［JPEG/Exif］、［TIFF］から選択できます。

- ［JPEG］は、グレースケールおよびカラー画像の場合のみ選択できます。

- 画像ファイルのファイル形式については、「もっと上手にスキャンする」の「スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

「ファイルの保存先」

スキャンした画像の保存先を表示します。
保存するフォルダを変更する場合は、［参照］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックし、保存先のフォルダを選んで、［OK］ボタン（Macintoshの場合は［選択］ボタン）をクリックします。

- 初期設定では、スキャンした画像の保存先に次のフォルダが指定されています。

Windows ［My Documents］ー［My Pictures］フォルダ
お使いの環境によっては保存先の表示が［My Documents］-［My Pictures］ではなく［マイドキュメント］-［マイピクチャ］と表示されることがあります。

Macintosh Macintosh HDの［ユーザ*］ー［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］ー［ピクチャ*］ー［My Pictures］フォルダ
* Mac OS Xの仕様のため、［ユーザ］、［ピクチャ］フォルダは、アプリケーションソフトから参照された場合、アプリケーションソフト内では［Users］、［Pictures］と表示されることがあります。

先頭へ戻る▲

「今日の日付のフォルダに保存する」

☑ 今日の日付のフォルダに保存する

保存先で設定したフォルダの中に今日の日付のサブフォルダを作成して、ファイルを保存するか、しないかを設定します。

Windows

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば［2005-01-15］など）を自動的に作成し、画像を保存した順番にファイル名を付けて保存します。
たとえば、［2005-01-15］フォルダに「Scan10001.JPG」というファイル名の画像が保存されている場合、［2005-01-16］フォルダには、「Scan10002.JPG」から連番でファイル名が付けられます。

Macintosh

チェックマークを付けると、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば［2005-01-15］など）を自動的に作成し、フォルダごとにファイル名を付けて画像を保存します。
たとえば、［2005-01-15］フォルダに「Scan10001.JPG」というファイル名の画像が保存されていても、［2005-01-16］フォルダには、「Scan10001.JPG」から連番でファイル名が付けられます。

先頭へ戻る▲

「JPEG/ExifファイルをAdobeRGBで保存する」 Windows

☐ JPEG/ExifファイルをAdobeRGBで保存する

ここにチェックマークを付けると、保存される画像はAdobeRGBに対応した色空間になります。

- 「スキャナドライバを表示する」にチェックマークを付けると、この項目は選択できません。
- 「JPEG/ExifファイルをAdobeRGBで保存する」にチェックマークを付けて保存すると、ファイル名の先頭にアンダーバーが付けられます。
（例：_Scan0001.JPG）。

先頭へ戻る▲

「アプリケーションの設定」

スキャンした画像の渡し先のアプリケーションソフトを設定します。枠内には現在リンク（登録）されているアプリケーションソフト名が表示されています。 キヤノスキャンセットアップCD-ROMからインストールした直後には、［スキャン-1］にはPhotoStudioが設定されています。（［スキャン-2］にはアプリケーションソフトは設定されていません。）

他のアプリケーションソフトを使用したい場合

■方法１
［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］）をクリックし、目的のアプリケーションソフトを選んで、［開く］ボタンをクリックします 。

目的のアプリケーションソフトは、かならず実行可能なファイルを設定してください。

Windows

アプリケーションソフトは多くの場合、［Program　Files］フォルダの下に、会社名やアプリケーションソフト名のフォルダが作成され、その中に格納されています。［.exe］の拡張子が付けられています*。そのファイルをダブルクリックして、実際に起動することをあらかじめ確かめておきます。
* 拡張子が表示されないときは、ファイルエクスプローラーの［ツール］-［フォルダオプション］-［表示］で、［登録されているファイルの拡張子は表示しない］から、チェックマークをはずします。

Macintosh

アプリケーションソフトは多くの場合、［アプリケーション］フォルダの下に、会社名やアプリケーションソフト名のフォルダが作成され、その中に格納されています。Macintoshでは、拡張子は付けられませんので、アイコンなどを頼りに実行可能ファイルを探します。そのファイルをクリック/ダブルクリックして、実際に起動することをあらかじめ確かめておきます。
* フォルダもアイコン化されていることがあります。注意してください。

■方法２
デスクトップやスタートメニュー（Windowsのみ）、フォルダにある、実行可能ファイルか、そのショートカット（エイリアス）アイコンを、「アプリケーションの設定」にドラッグ・アンド・ドロップすることで、登録できます。

- 設定したアプリケーションソフトによっては動作しないことがあります。
- アプリケーションソフトによっては、ショートカット/エイリアスを設定すると動作しないことがあります。

設定されているアプリケーションソフトの設定を解除したい場合

［設定の解除］ボタンをクリックします。設定の解除を確認する画面が表示されたら、［はい］ボタン（Macintoshの場合は［OK］ボタン）をクリックします。

Windows

Macintosh

- ［スキャン-1］ボタン、および［スキャン-2］ボタン（スキャン画面）にはToolboxから画像を受け取ることのできるアプリケーションソフトをリンクしてください。

- Toolbox からアプリケーションソフトに渡すことのできる画像は、カラー24ビット、グレースケール8ビット、白黒1ビットのいずれかとなります。これ以外のビット数で構成される画像をアプリケーションソフトに渡すことはできません。

先頭へ戻る▲

「スキャン画像の確認とExif情報の入力」

☐ スキャン画像の確認とExif情報の入力

ここにチェックマークを付けると、スキャン後サムネイル（縮小画像）を確認し、「ファイルの種類」や保存先を指定できます。→「スキャン画像の確認とExif情報の入力」

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す ［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

適 用 ［適用］ボタン

設定した内容を保存し、有効にします。
［適用］ボタンを押さずに［キャンセル］ボタンを押すと、設定内容は無効になります。

- COPYボタン、SCANボタン、PDFボタン、E-MAILボタンを使って各機能を実行するときは、次回、この設定内容で実行されます。EZボタンでスキャンする方法については、「スキャンのしかた」の「EZボタンでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

スキャン ［スキャン］ボタン

設定した内容でスキャンを開始します。

- 「スキャンモード」の［カラー（マルチスキャン）］を選択した場合は、複数の画像ファイルがアプリケーションソフトにわたされます。
- ［スキャン-1］ボタンは、初期設定ではPhotoStudioが起動します。
- ［スキャン-2］ボタンは、初期設定ではアプリケーションソフトは登録されていません。

先頭へ戻る▲

［設定］ボタン（設定画面）

EZボタンに割り当てる機能を設定します。また、複数台のスキャナを接続している場合に、使用するスキャナを選択します。

Toolboxの（［設定］ボタン）をクリックすると、次のような画面が表示されます。

下の画面で指マークになったところをクリックすると、各ボタン（各項目）の説明文にジャンプします。

設定

［設定］
各種設定を行います。

スキャナの選択
スキャナ：CanoScan 5400F/5200F

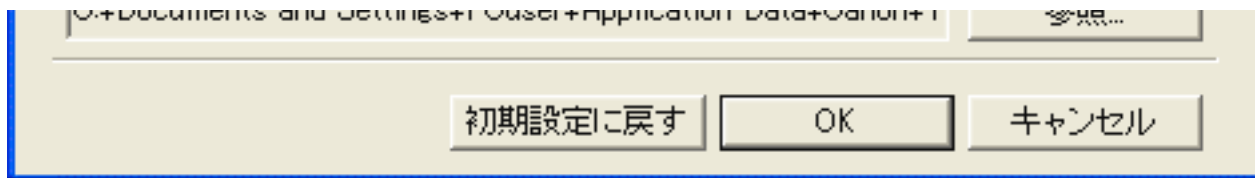
ボタンの設定
スキャナのボタンを押した時の動作を選択してください

SCANボタン：スキャン－1
PDFボタン：PDF

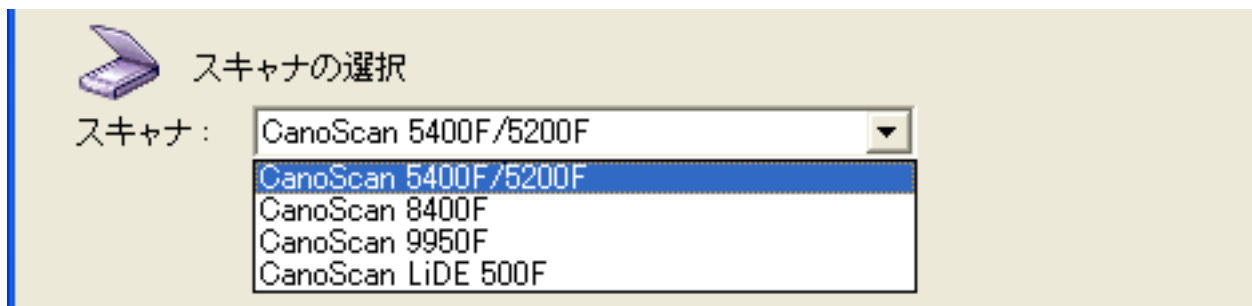
COPY　SCAN　PDF　E-MAIL

COPYボタン：コピー
E-MAILボタン：メール

EZボタンからのスキャン終了後Toolboxを自動的に閉じる

テンポラリファイルの保存先フォルダ：
C:¥Documents and Settings¥PCuser¥Application Data¥Canon¥T　参照...

・ 上の画面はWindowsの画面例です。Macintoshでは、表示内容が一部異なります。

先頭へ戻る▲

「スキャナの選択」

Toolboxに対応したスキャナを2台以上接続している場合に、使用するスキャナを選択します。

先頭へ戻る▲

「ボタンの設定」

COPYボタン、SCANボタン、PDFボタン、E-MAILボタンに割り当てるToolboxの機能を設定します。
各ボタンに［コピー］［プリント］［メール］［OCR］［保存］［PDF］［スキャン-1］［スキャン-2］［メイン画面表示］のボタンの機能を設定できます。

- 2つ以上のEZボタンに同じ機能を割り当てることはできません。（たとえば、SCANボタンに［コピー］ボタンの機能、COPYボタンにも［コピー］ボタンの機能を割り当てることはできません。）

- 初期設定では、COPYボタンに［コピー］ボタンの機能が、SCANボタンに［スキャン-1］ボタンの機能が、PDFボタンに［PDF］ボタンの機能が、E-MAILボタンに［メール］ボタンが割り当てられています。
- 「メイン画面表示」を選択した場合、割り当てたEZボタンを押すとToolboxのメイン画面が表示されます。
- EZボタンに割り当てる機能を変更するには、Toolboxのメイン画面で、EZボタンアイコンを割り当てたい機能ボタンの上にドラッグしても簡単に変更できます。

上の例では、［メール］ボタンの上のE-MAILボタンアイコンを［OCR］ボタンの上に移動することで、EZボタンのE-MAILボタンが［OCR］の機能（この場合は、読取革命Lite）となります。

先頭へ戻る▲

「EZボタンからのスキャン終了後Toolboxを自動的に閉じる」

☐ EZボタンからのスキャン終了後Toolboxを自動的に閉じる

ここにチェックを付けると、EZボタンでToolboxを起動してスキャンしたあと、Toolboxを自動的に閉じます。

先頭へ戻る▲

「テンポラリファイルの保存先フォルダ」

テンポラリファイルの保存先フォルダ：
C:¥Documents and Settings¥PCuser¥Application Data¥Canon¥T　参照...

CanoScan Toolboxが使用するテンポラリファイルの保存先を設定します。

Toolboxが画像や設定を一時的に保存しておくフォルダを指定します。［参照］ボタンをクリックして、保存先のフォルダを指定します。
起動ディスクに空き容量が少ない場合には、他のハードディスクに保存先フォルダを設定してください。

先頭へ戻る▲

初期設定に戻す　［初期設定に戻す］ボタン

このボタンをクリックすると、画面の各項目を初期設定（インストール直後の設定）に戻します。

先頭へ戻る▲

OK ［OK］ボタン

設定した内容を保存し、現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

キャンセル ［キャンセル］ボタン

設定した内容を破棄します。
現在開いている画面を閉じて、Toolboxのメイン画面に戻ります。

先頭へ戻る▲

アプリケーションソフトについて

スキャナに付属するアプリケーションソフトについて、簡単に紹介しています。

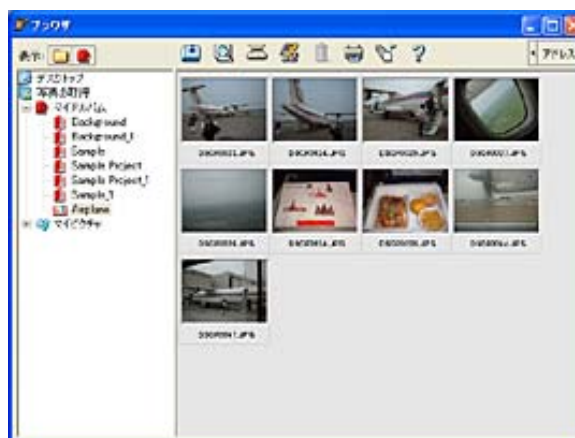
- ここでの操作を行うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

先頭へ戻る▲

PhotoStudio

画像加工と編集用ツールのほか、色調補正や特殊効果など、画像編集に必要な機能を備えています。
また、画像のアルバム管理、複数回の取り消し/やり直し、複数レイヤー、編集可能なテキスト、マクロ、バッチ処理などのハイエンドな機能も充実しています。

画像をスキャンする

画像を加工する

アルバムを作る

- この画面は、Windows版PhotoStudioの画面です。

先頭へ戻る▲

スキャンの方法

「スキャンのしかた」の「ScanGear CSでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

マニュアルを見る

・キヤノスキャンセットアップCD-ROMから見る
キヤノスキャンセットアップCD-ROMの「マニュアル表示」から、電子マニュアル「ArcSoft PhotoStudio マニュアル」を選択してください。→「電子マニュアル（PDF）の読みかた」

・コンピュータにインストールされたマニュアルを見る (Windowsのみ)
［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5 QSG］を選択してください。

・電子マニュアルの起動方法は、別冊の「まず使えるようにしよう　スキャナ基本ガイド」の「付属のアプリケーションソフト」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

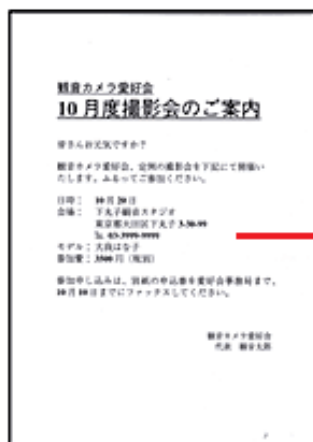
お問い合わせ先：　アークソフトジャパン
電話03-5795-1392
http://www.arcsoft.jp/　「テクニカルサポート」

先頭へ戻る▲

アプリケーションソフトについて

- PhotoStudio
- 読取革命Lite
- ファイル管理革命Lite (Windows)
- Acrobat Reader

読取革命Lite

読取革命Liteは、スキャンした本や新聞の活字（画像データ）をテキストデータに変換する「OCR（オーシーアール）」と呼ばれるソフトウェアです。変換後のテキストデータは、ワープロソフトなどで編集することができます。日本語と英語の文字認識ができます。

文字原稿を読み取る　　　　読取革命Lite

・　この画面は、Windows版読取革命Liteの画面です。

先頭へ戻る▲

スキャンの方法

詳しくは「読取革命Liteでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

マニュアルを見る

・キヤノスキャンセットアップCD-ROMから見る
キヤノスキャンセットアップCD-ROMの「マニュアル表示」から、電子マニュアル「読取革命Lite マニュアル」を選択してください。

・メインメニューから見る
読取革命Liteの［ヘルプ］メニューから［マニュアル］を選択してください。

・コンピュータにインストールされたマニュアルを見る

Windows　［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［読取革命Lite］→［マニュアル］を選択してください。

Macintosh　［アプリケーション］フォルダ内の［読取革命Lite］フォルダを開き、［マニュアル.html］をダブルクリックしてください。

・電子マニュアルの起動方法は、別冊の「まず使えるようにしよう　スキャナ基本ガイド」の「付属のアプリケーションソフト」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

お問い合わせ先：　パナソニック ソリューションテクノロジー（株）
パナソニック ソリューションテクノロジー ソフトサポートセンター
電話　0570-00-8700
http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/bundle/

先頭へ戻る▲

読取革命Liteでスキャンする

スキャナに付属の活字カラーOCRソフト読取革命Liteからスキャンするときは、次の手順で行います。

1 スキャナに文字原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

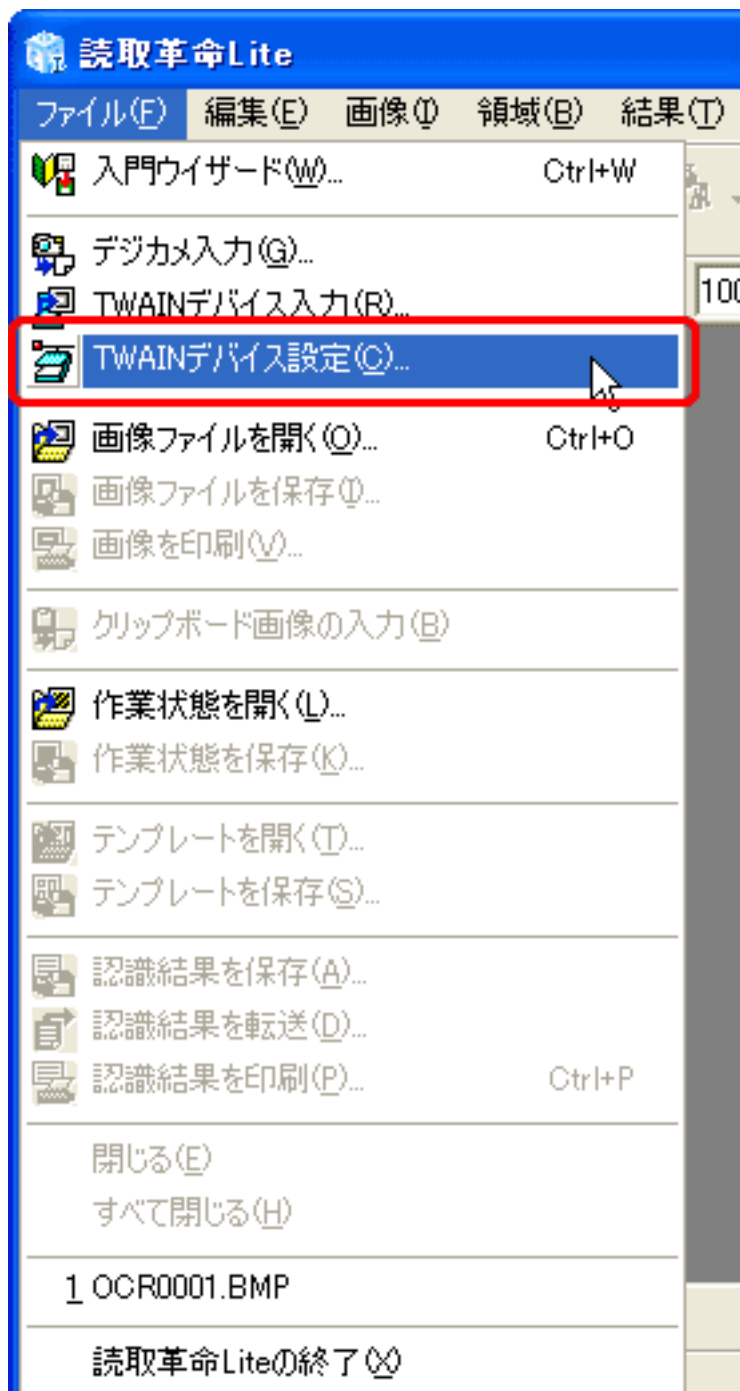
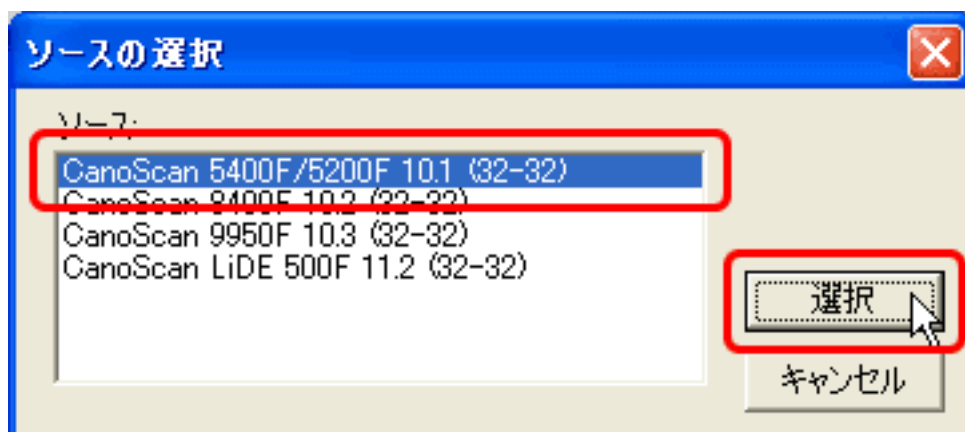
2 読取革命Liteを起動します。

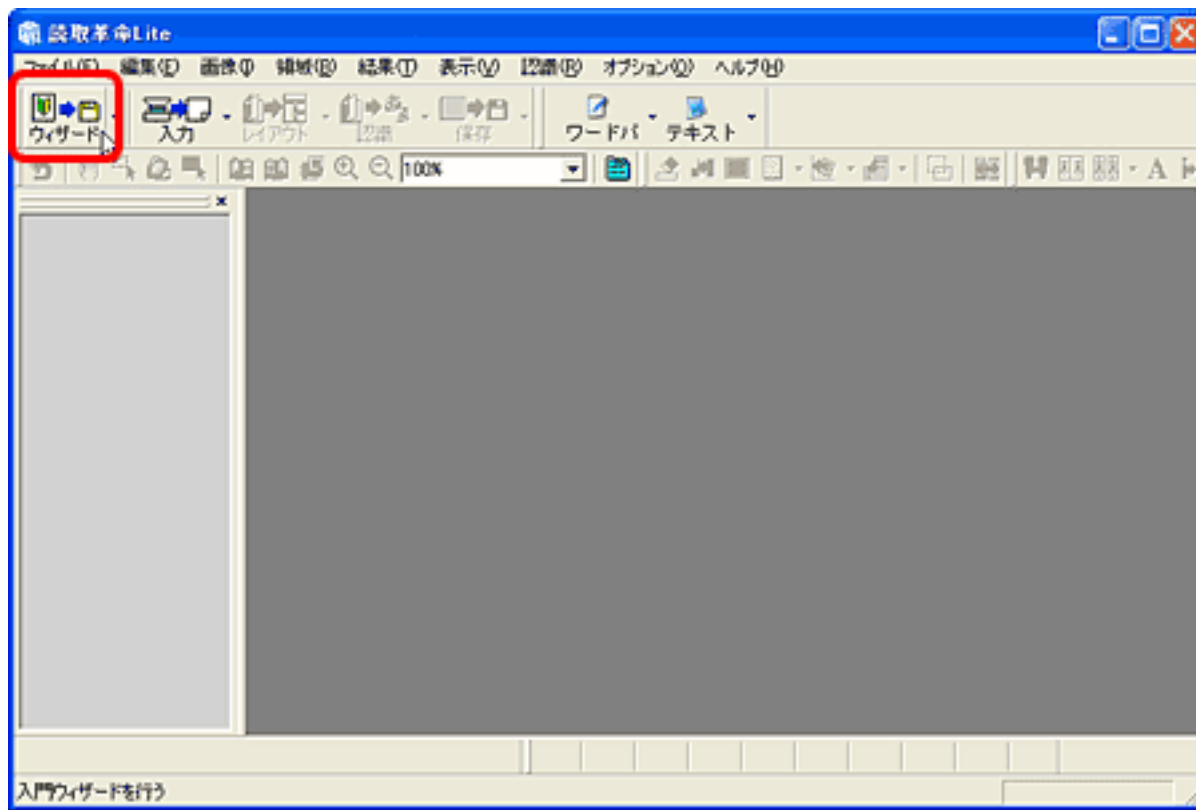
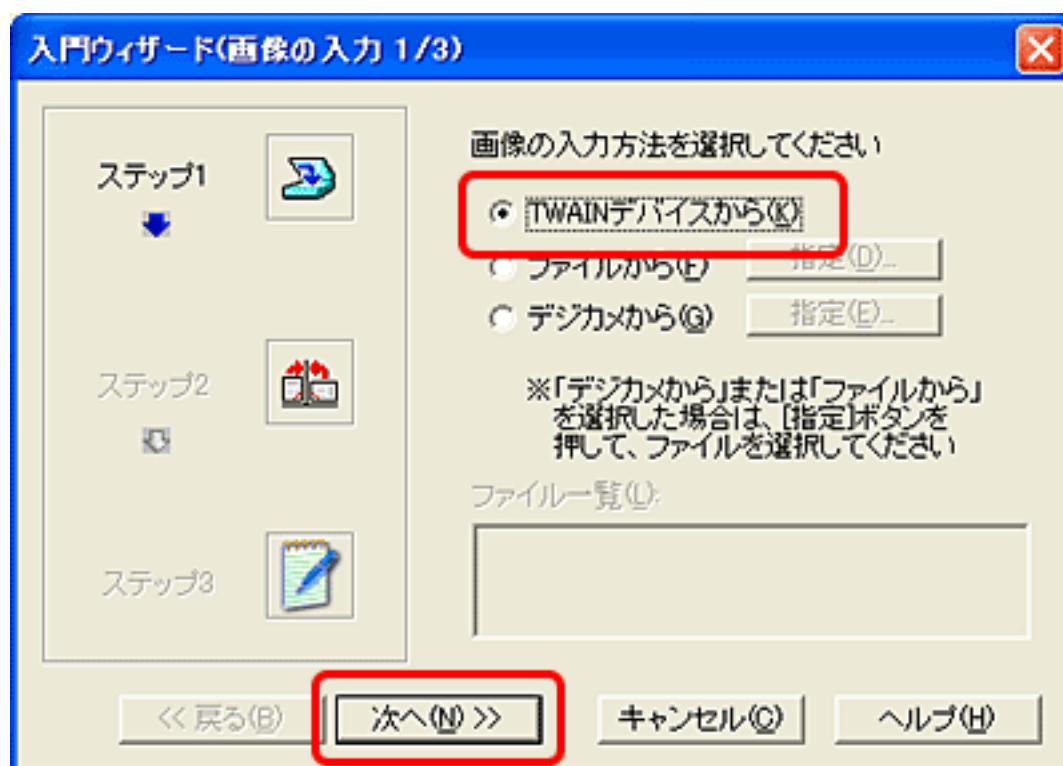
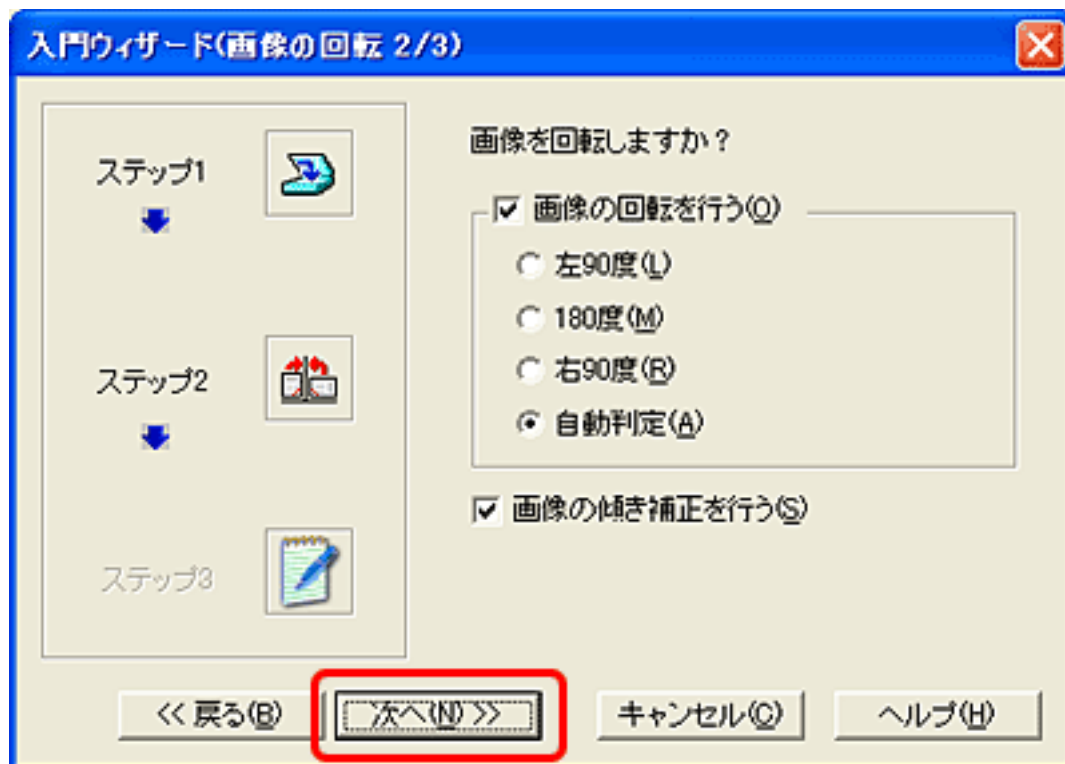
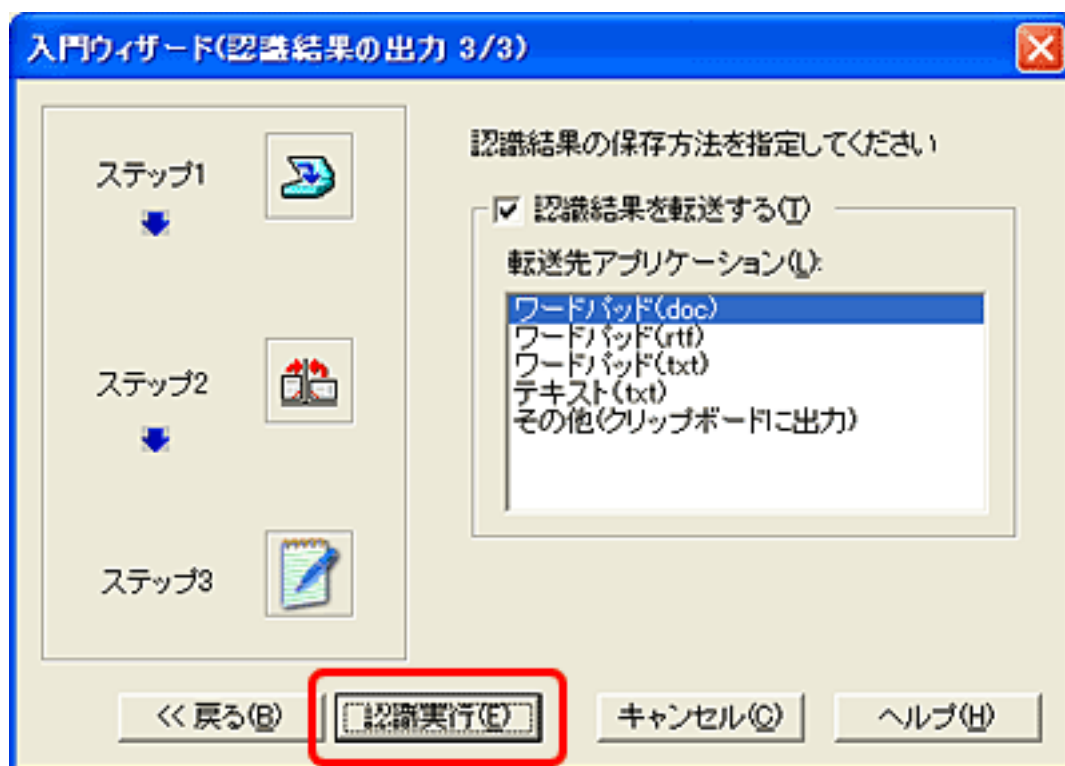
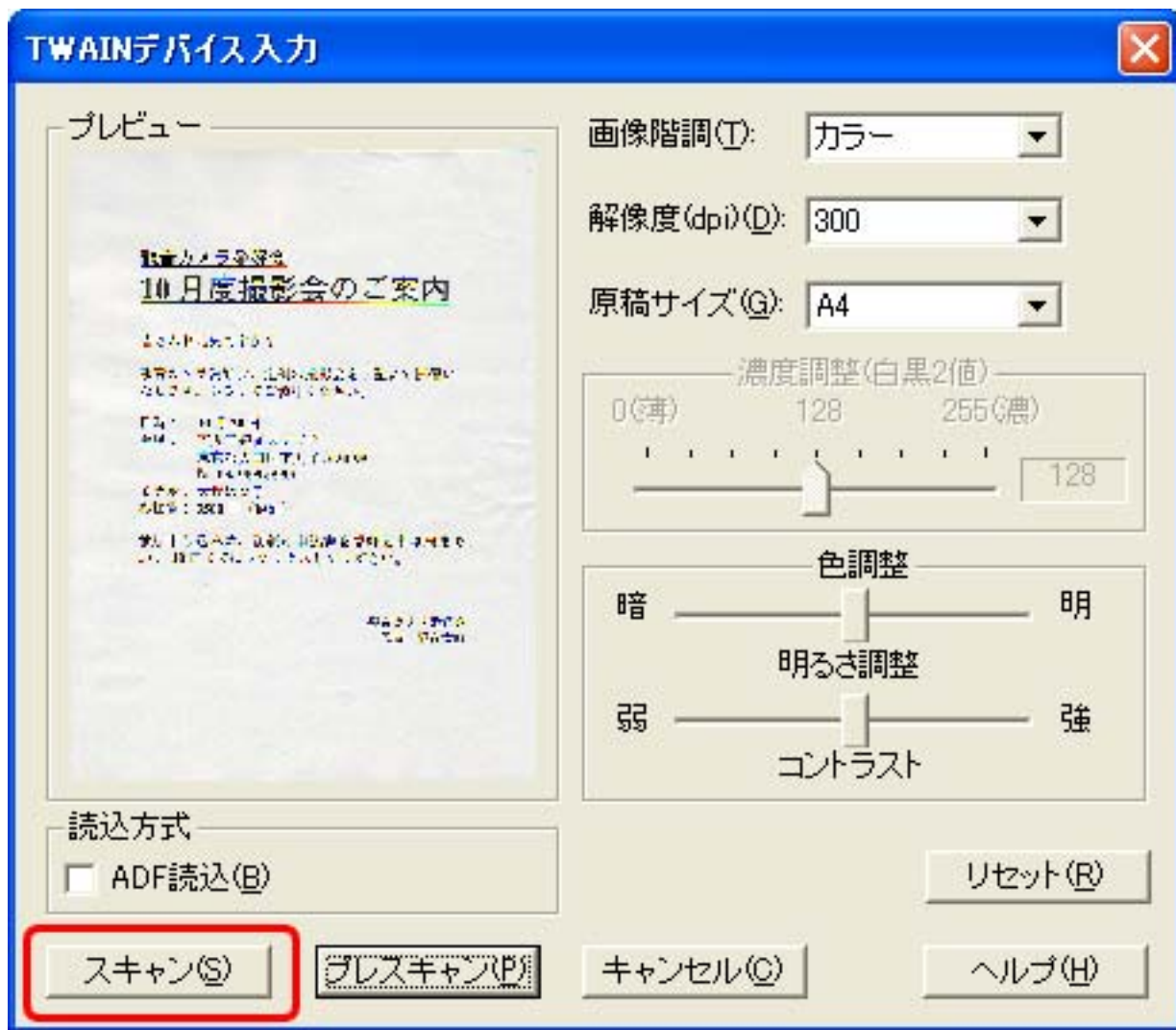
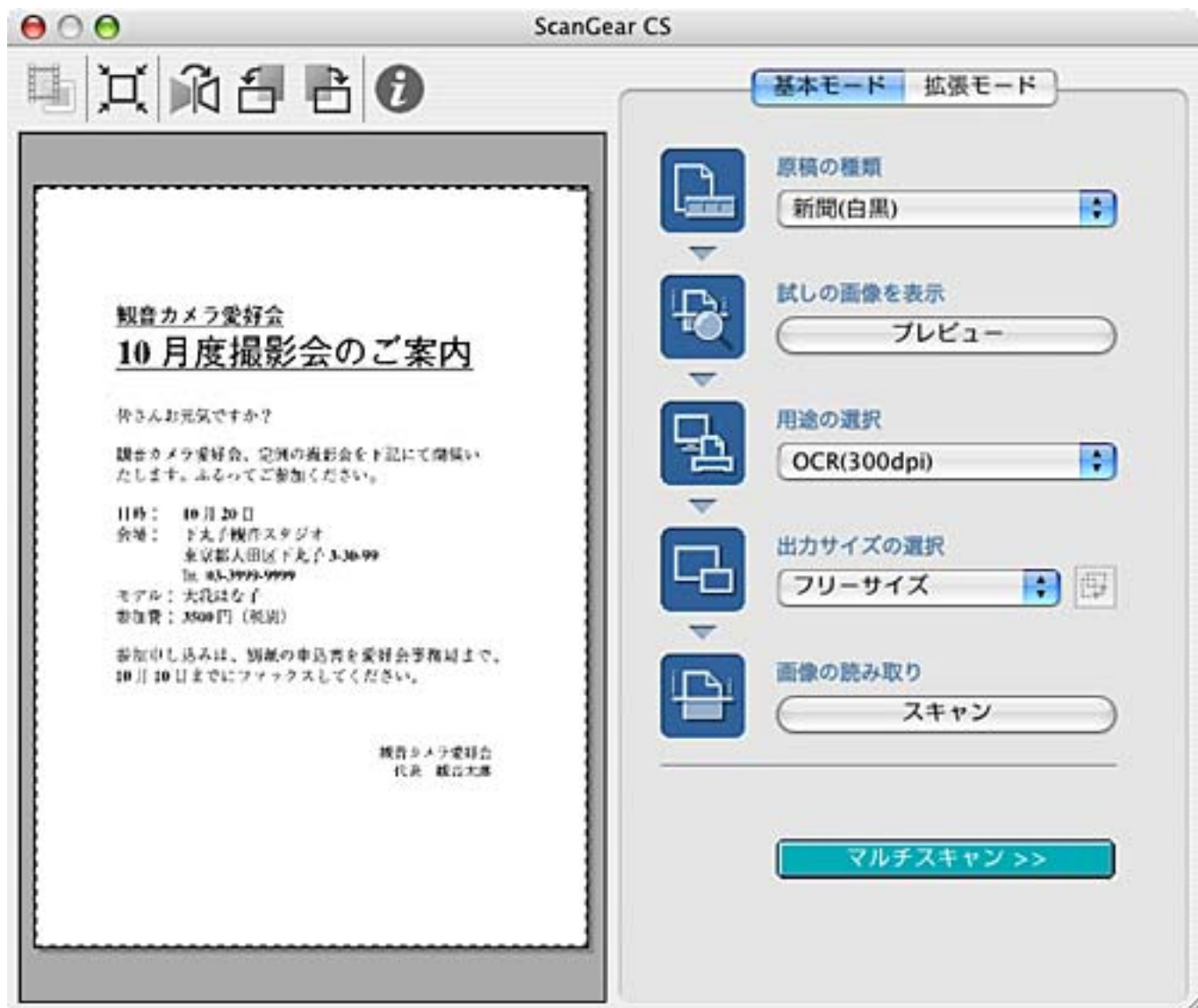
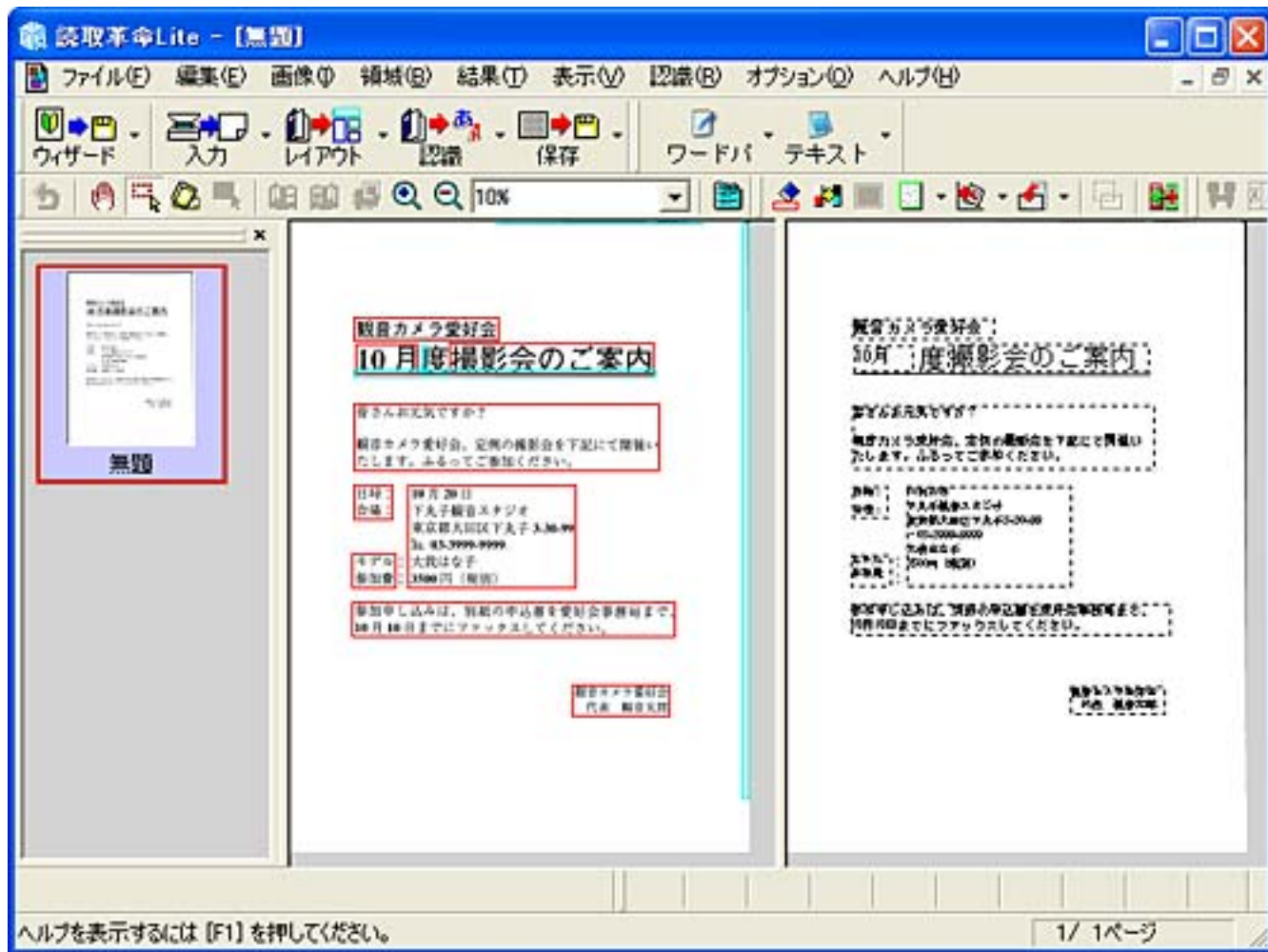
Windows

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［読取革命Lite］→［読取革命Lite］を選択します。

Macintosh

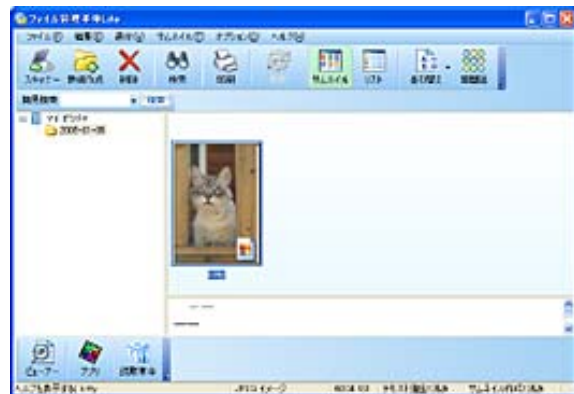
Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［読取革命Lite］フォルダを開き、［読取革命Lite］アイコンをダブルクリックします。

3 ［ファイル］の［TWAINデバイス設定］を選択します。

4 お使いのスキャナ名称を選択し、［選択］ボタン（Macintoshでは［OK］ボタン）をクリックします。

- 手順3と4は最初に設定しておけば、2回目以降必要ありません。
- 他のスキャナやデジタルカメラを選択したあとは、再設定が必要です。

5 ［ウィザード］をクリックします。

6 入門ウィザードが開始されます。ステップ1の［画像の入力方法を選択してください］で、「TWAINデバイスから」を選択し、［次へ］をクリックします。

7 ステップ2では、［次へ］をクリックします。

8 ステップ3で、認識結果の保存方法を指定し、［認識実行］をクリックします。

9 Windows 「TWAINデバイス入力」画面が表示されます。「TWAINデバイス入力」画面で［プレスキャン］ボタン、［スキャン］ボタンで、プレビュー、スキャンを実行します。

Macintosh ScanGear CSが起動します。ScanGear CSでプレビュー、スキャンを実行します。

10 読取革命Liteに原稿のスキャン画像が渡され、文字認識が実行されます。作成された文字テキストが、手順8で指定したアプリケーションに渡されます。

- 読取革命Liteの詳しい使いかたについては、キヤノスキャンセットアップCD-ROMの「マニュアル表示」から、電子マニュアル「読取革命Lite マニュアル」をお読みください。電子マニュアルの起動方法は、別冊の「まず使えるようにしよう　スキャナ基本ガイド」の「付属のアプリケーションソフト」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

ファイル管理革命Lite Windows

ファイル管理革命Liteは、スキャンした画像ファイルを管理するソフトウェアです。

原稿を読み取る　　ファイル管理革命Lite

先頭へ戻る▲

スキャンの方法

詳しくは「ファイル管理革命Liteでスキャンする」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

マニュアルを見る

- キヤノスキャンセットアップCD-ROMから見る
  キヤノスキャンセットアップCD-ROMの「マニュアル表示」から、電子マニュアル「ファイル管理革命Lite マニュアル」を選択してください。

- メインメニューから見る
  ファイル管理革命Liteの［ヘルプ］メニューから［マニュアル］を選択してください。

- コンピュータにインストールされたマニュアルを見る
  ［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ファイル管理革命Lite］→［マニュアル］を選択してください。

- 電子マニュアルの起動方法は、別冊の「まず使えるようにしよう　スキャナ基本ガイド」の「付属のアプリケーションソフト」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

お問い合わせ先：　パナソニック ソリューションテクノロジー（株）
パナソニック ソリューションテクノロジー ソフトサポートセンター
電話　0570-00-8700
http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/bundle/

先頭へ戻る▲

ファイル管理革命Liteでスキャンする Windows

スキャナに付属の画像/文書ファイリングソフト　ファイル管理革命Liteからスキャンするときは、次の手順で行います。

1 スキャナに原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう スキャナ基本ガイド」をご覧ください。
紙／写真、フィルム、いずれの原稿もスキャンできます。
また、文字の含まれた原稿であれば、テキストを抽出することもできます。

2 ファイル管理革命Liteを起動します。

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ファイル管理革命Lite］→［ファイル管理革命Lite］を選択します。

3 ［スキャナー］ボタンをクリックします。

4 「スキャナーからの読み込み - ステップ１」画面で、「画像のファイル名」を指定します。

「画像のファイル名」を指定し、［次へ］ボタンをクリックします。 指定したファイル名がすでにあれば「_001」から連番で実際のファイル名が決められます。

5 「スキャナーからの読み込み - ステップ２」画面で、「読み込み先フォルダー」を指定します。

「読み込み先フォルダー」を指定したら、[次へ]ボタンをクリックします。

スキャナーからの読み込み － ステップ2

読み込み先フォルダー

ステップ1

ステップ2

ステップ3

読み込み先フォルダー(F):

マイ ピクチャ

2005-01-15

マイ ピクチャ¥2005-01-15¥

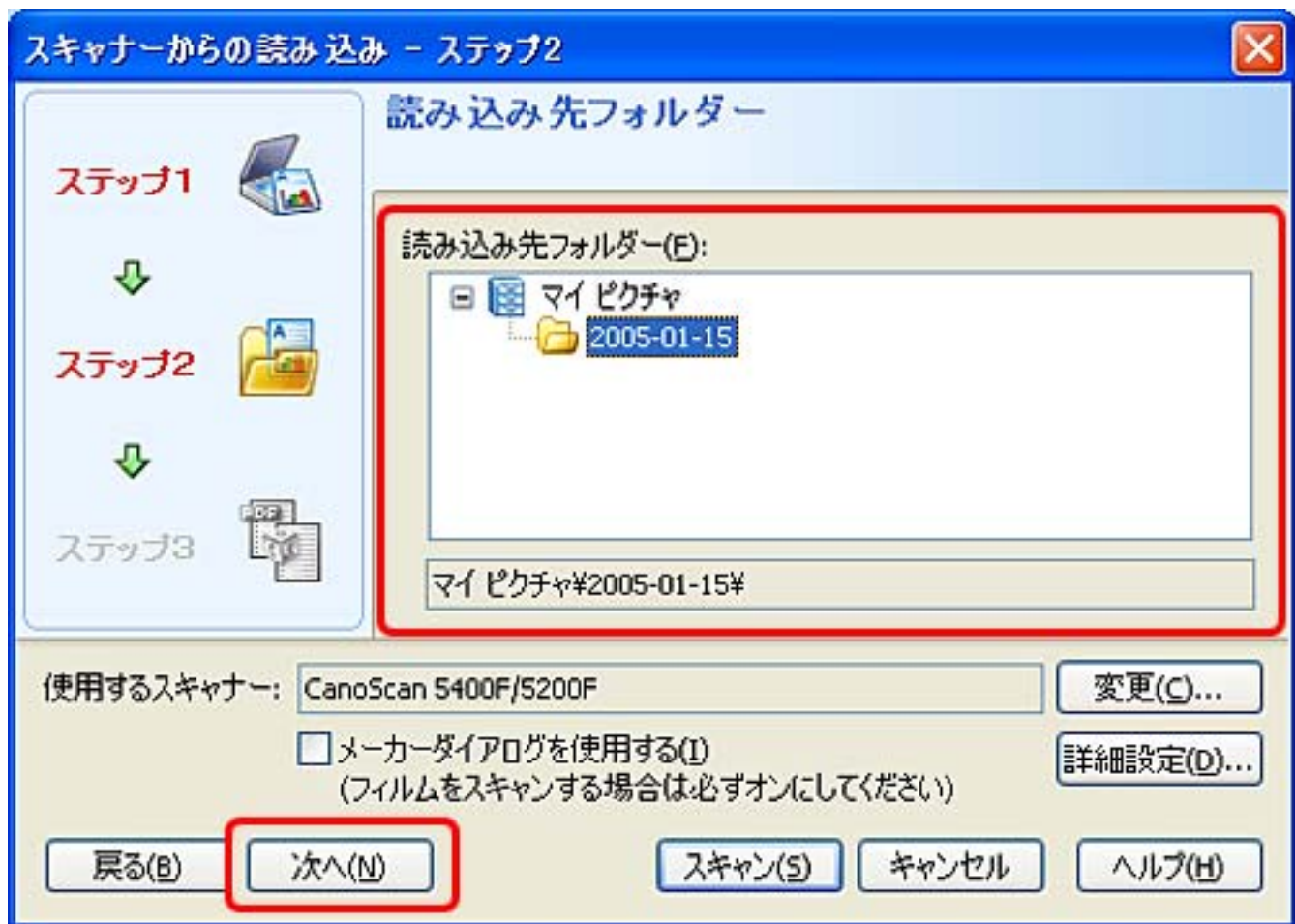
使用するスキャナー: CanoScan 5400F/5200F

変更(C)...

メーカーダイアログを使用する(I)

(フィルムをスキャンする場合は必ずオンにしてください)

詳細設定(D)...

戻る(B)　次へ(N)　スキャン(S)　キャンセル　ヘルプ(H)

6 「スキャナーからの読み込み - ステップ３」画面で、「スキャン後の処理」を指定します。

スキャナーからの読み込み － ステップ3

スキャン後の処理

ステップ1

ステップ2

ステップ3

テキストを抽出する(T)

PDFファイルに変換する(P)

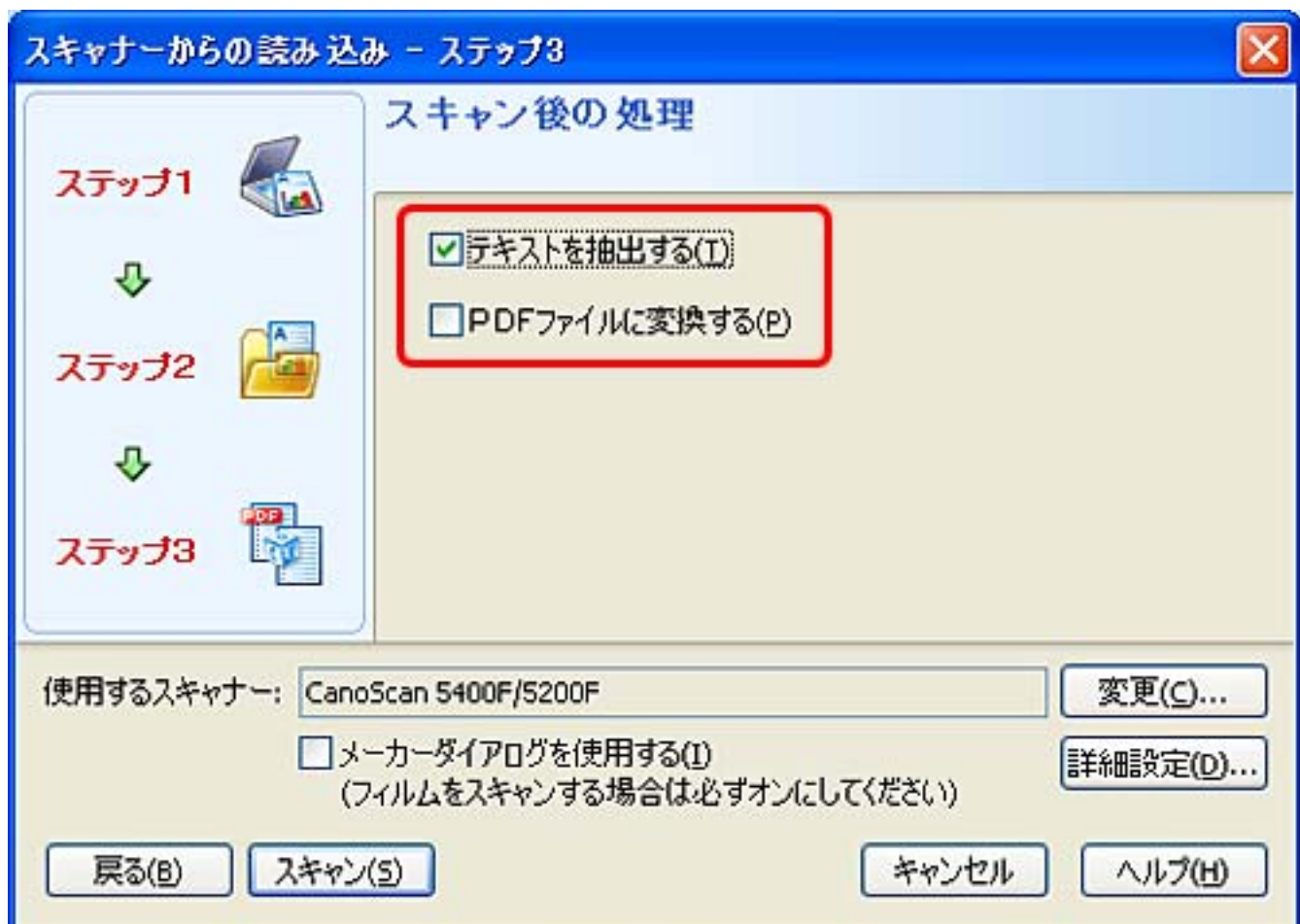
使用するスキャナー: CanoScan 5400F/5200F

変更(C)...

メーカーダイアログを使用する(I)

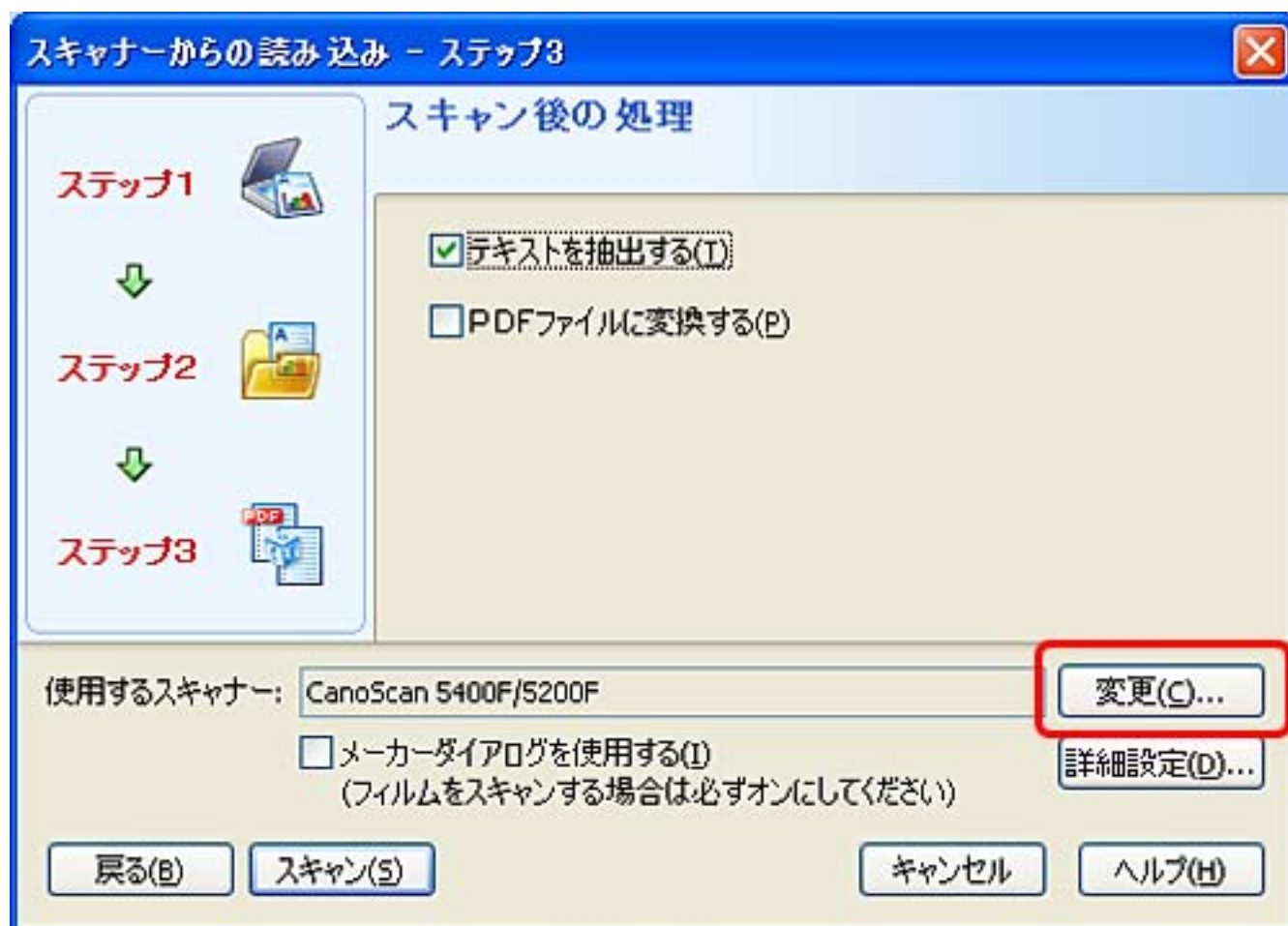
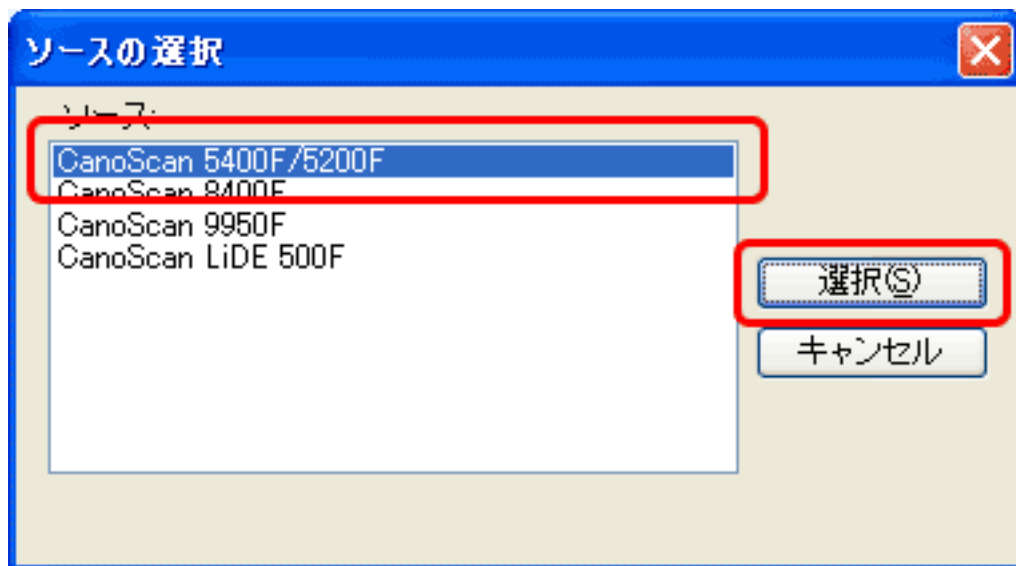
(フィルムをスキャンする場合は必ずオンにしてください)

詳細設定(D)...

戻る(B)　スキャン(S)　キャンセル　ヘルプ(H)

「テキストを抽出する」にチェックをいれると、原稿にテキストがあった場合、その文字情報を得ます。チェックをいれないと、原稿は画像として処理されます。
「PDFファイルに変換する」にチェックをいれると、スキャンした画像がPDFファイルとして保存されます。チェックをいれないと、スキャンした画像はJPEGファイル（カラー画像の初期設定。［詳細設定］で指定できます。）として保存されます。

- 「テキストを抽出する」にチェックを入れた場合、次のように処理されます。
  - ー画像を選択すると、テキストが画面下部に表示されます。
  - ーPDFファイルの場合、文字操作可能なPDFファイルが作成されます。
  - ーJPEGファイルの場合、OCRソフト読取革命Liteで画像を開いたときに、OCR変換なしにテキストが得られます。

7 「使用するスキャナー」を確認してください。

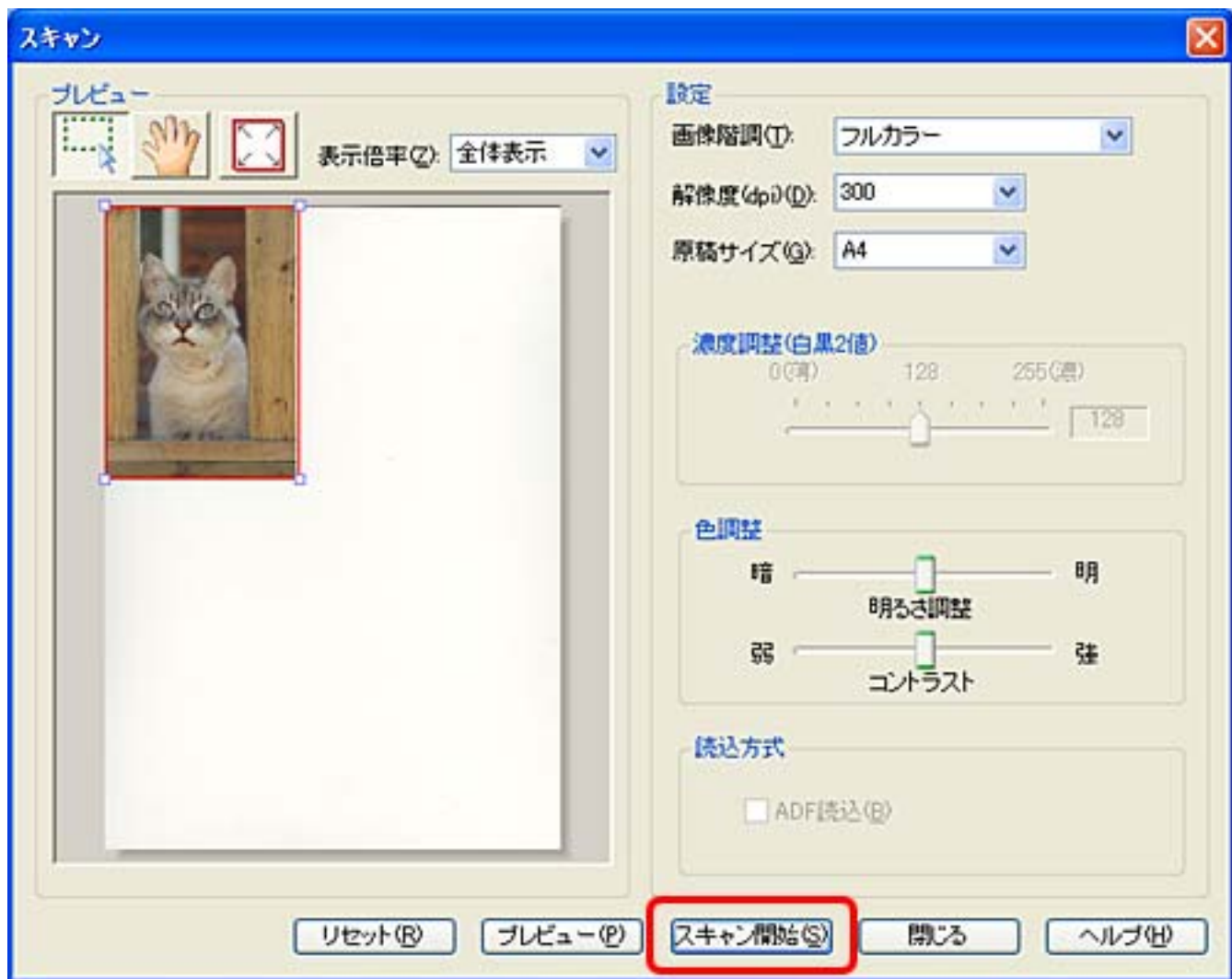
お使いのスキャナが表示されていないときは、［変更］をクリックし、「ソースの選択」画面で、お使いのスキャナを指定し、［選択］をクリックします。

8 「メーカーダイアログを使用する」を決定します。チェックをいれると、ScanGear CSでスキャンを行います。チェックをいれないと、ファイル管理革命Liteの「スキャン」画面でスキャンを行います。

スキャナーからの読み込み - ステップ3
スキャン後の処理
ステップ1
ステップ2
ステップ3
テキストを抽出する(T)
PDFファイルに変換する(P)
使用するスキャナー: CanoScan 5400F/5200F
変更(C)...
メーカーダイアログを使用する(I)
(フィルムをスキャンする場合は必ずオンにしてください)
詳細設定(D)...
戻る(B)
スキャン(S)
キャンセル
ヘルプ(H)

- フィルムをスキャンするときは、かならず、「メーカーダイアログを使用する」にチェックをいれ、ScanGear CSでスキャンしてください。
- 複数の紙／写真の原稿をいちどにスキャン（マルチスキャン）するときは、「メーカーダイアログを使用する」にチェックをいれ、ScanGear CSでスキャンしてください。

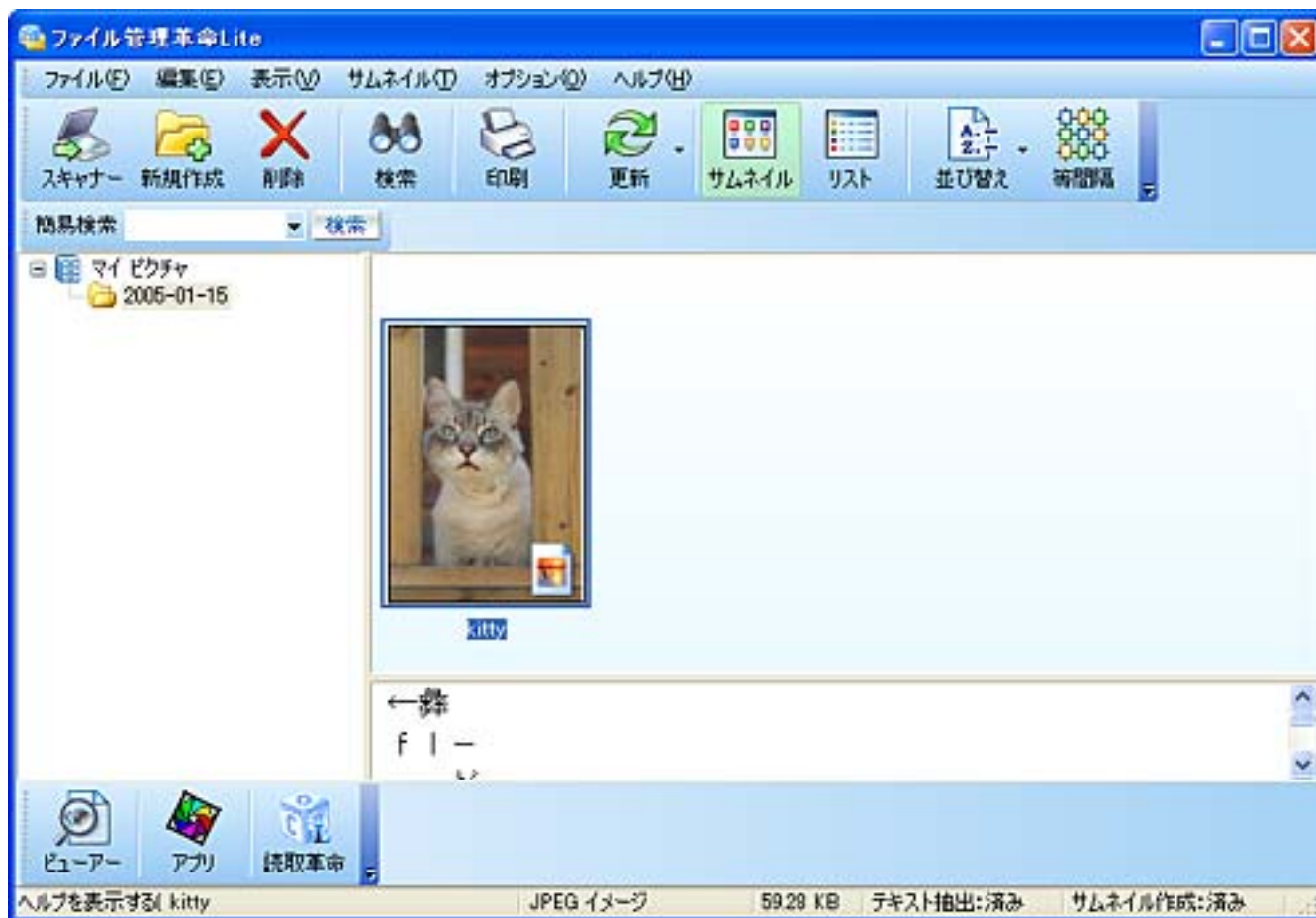
9 ［スキャン］をクリックします。

手順８での設定にしたがって、ScanGear CS、または、「スキャン」画面が表示されます。

「スキャン」画面でも［プレビュー］ボタン、［スキャン開始］ボタンで、プレビュー、スキャンを実行します。

- 手順4〜6のいずれでも、［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンを実行することができます。そのときの設定内容は、前回の設定が引き継がれます。

10 スキャンが終了したら、ScanGear CSウィンドウ、または「スキャン」画面を閉じます。

ScanGear CSウィンドウはクローズボックスをクリックします。「スキャン」画面は［閉じる］ボタンをクリックします。

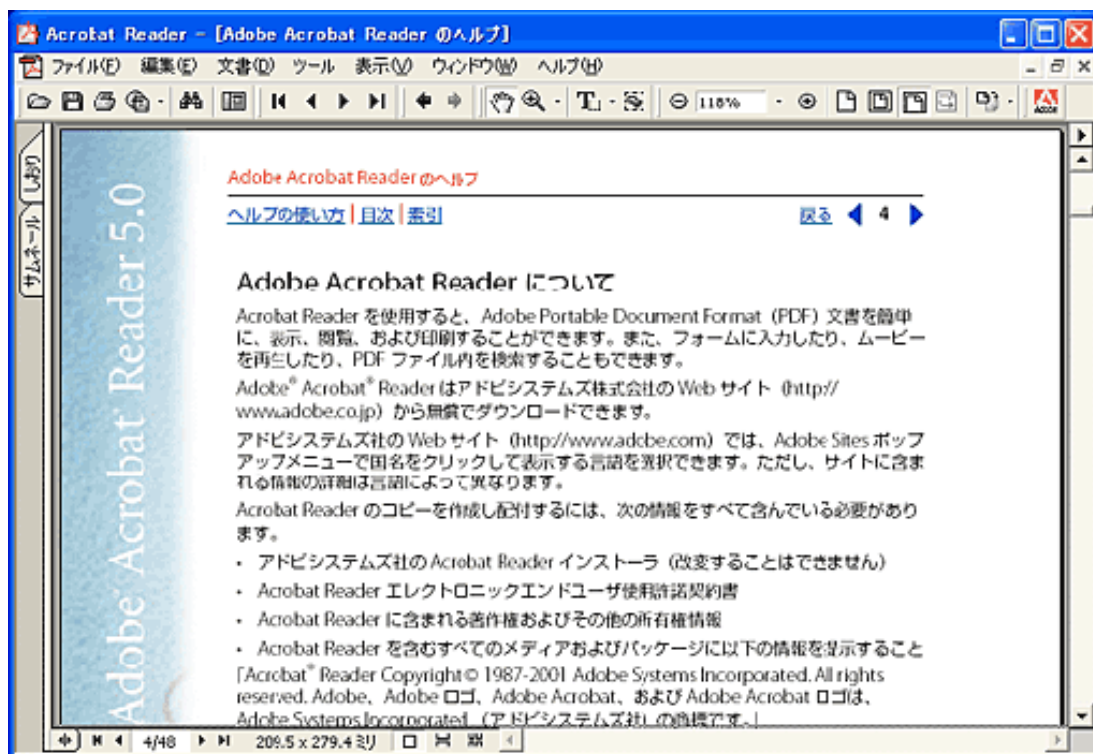
スキャンされた画像が、ファイル管理革命Liteのウインドウに表示されます。

- マルチスキャンや、フィルムのスキャンで複数のコマをスキャンしたときには、保存形式がPDFであれば、複数ページのPDFファイル１つとして保存されます。保存形式がJPEGであれば、原稿の数（コマの数）だけのJPEGファイルとして保存されます。
- サムネイル表示作成のためにAdobe Acrobat Reader/Adobe AcrobatやMicrosoft Officeなどのアプリケーションが起動することがあります。

画像をダブルクリックすると、ビューアーに拡大して表示されます。

- ファイル管理革命Liteの詳しい使いかたについては、キヤノスキャンセットアップCD-ROMの「マニュアル表示」から、電子マニュアル［ファイル管理革命Lite マニュアル］をお読みください。電子マニュアルの起動方法は、別冊の「まず使えるようにしよう　スキャナ基本ガイド」の「付属のアプリケーションソフト」をご覧ください。

先頭へ戻る▲

Acrobat Reader

Acrobat Readerは、PDF（Portable Document Format）を表示、印刷するためのソフトウェアです。アドビシステムズのサイトから、いつでも最新版を無償でダウンロードすることができます。

Acrobat Reader 5.0

 ・ この画面は、Windows版Acrobat Reader 5.0の画面です。

先頭へ戻る▲

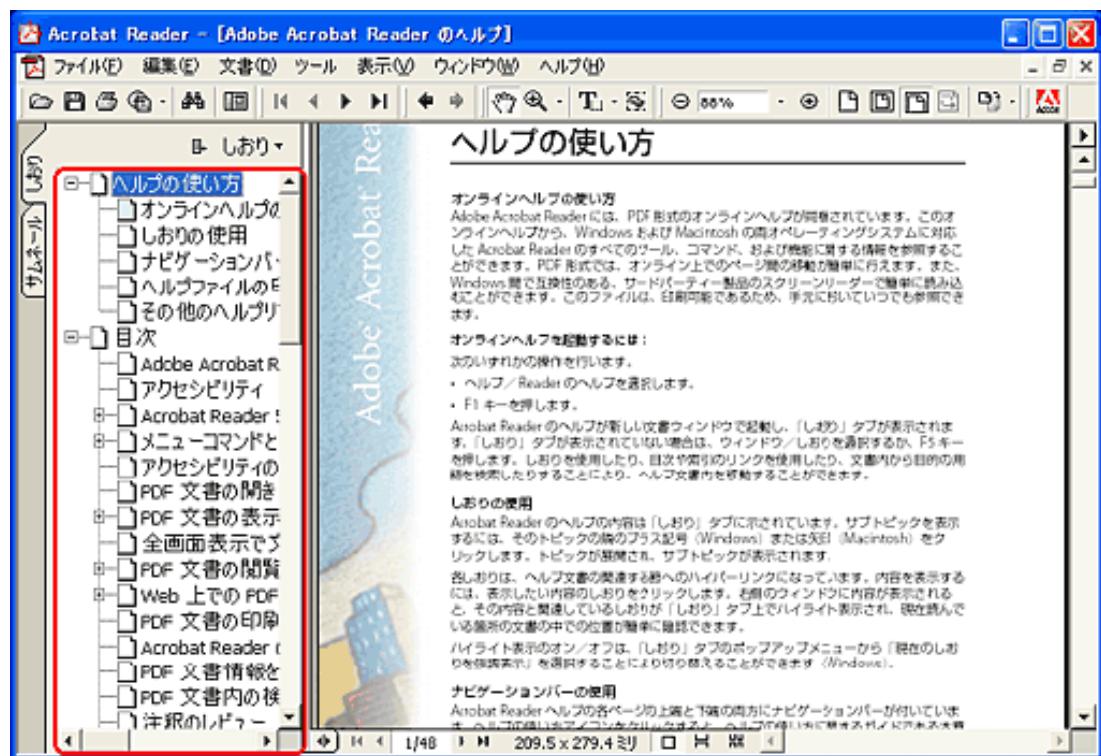
Acrobat Readerの起動

Windows PDFファイルをダブルクリックするか、またはWindowsの［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］→［Acrobat Reader 5.0］を選択します。
Acrobat Readerが起動します。

Macintosh Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［Acrobat Reader 5.0］アイコンをダブルクリックします。

先頭へ戻る▲

マニュアルを見る

Acrobat Readerの［ヘルプ］メニューから［Readerのヘルプ］を選択してください。
Acrobat Readerのヘルプ（PDF）が表示されます。

Acrobat Readerのヘルプには、必要なページを検索しやすいように「しおり」が付いています。画面の左側にWindowsのエクスプローラのように階層状に並んでいるのが「しおり」です。目的の項目をクリックすると、該当のページが直接表示されます。

お問い合わせ先：　アドビシステムズ（株）
http://www.adobe.co.jp/
「サポート」

先頭へ戻る▲

電子マニュアル（PDF）の読み方

電子マニュアルは、コンピュータの画面に表示して読むマニュアルです。付属のソフトウェアの電子マニュアル（PDF）を読むときはキヤノスキャンセットアップCD-ROMでインストールしたAdobe Acrobat Readerを使います。
電子マニュアルの起動方法は、別冊の「まず使えるようにしよう　スキャナ基本ガイド」の「付属のアプリケーションソフト」の「アプリケーションソフトの電子マニュアルの起動方法」をご覧ください。

Adobe Acrobat Readerの主な機能

表示された電子マニュアルを読むときに最低限必要となる基本操作をWindowsの例で説明します。操作は、Windowsの場合でもMacintoshの場合でも、一部を除いてほとんど同じです。

表示を拡大するときは、このボタンをクリックした後、ページ内をクリックします。表示を縮小するには、「Ctrl」キーを押しながらクリックします。Macintoshの場合は［option］キーを押しながらクリックします。

前ページに戻るときにクリックします。

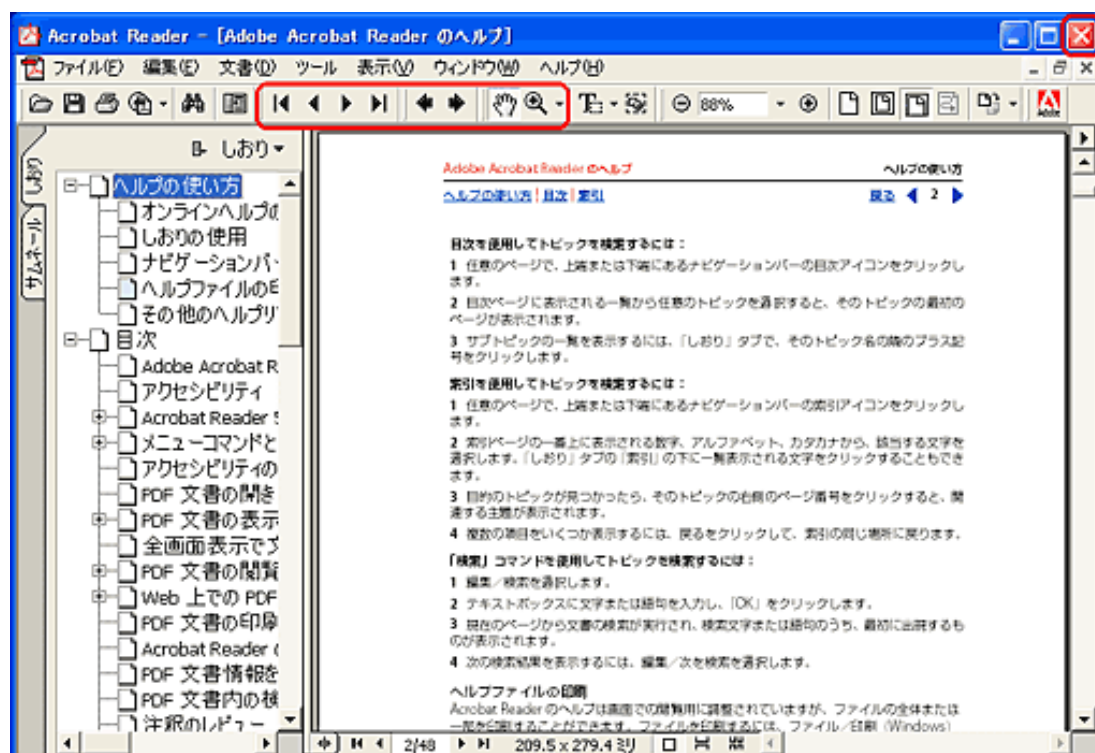
次のページを表示するときにクリックします。

先頭ページを表示するときにクリックします。

最終ページを表示するときにクリックします。

前の画面に戻るときにクリックします。

次の画面に進むときにクリックします。

画面を閉じます（Macintoshの場合は）。

先頭へ戻る▲

目的別にスキャンする

年賀状や写真をプリンタで印刷する、ホームページに貼り付ける、マルチスキャン、テキスト変換（OCR）など、用途に合わせたスキャンの方法を紹介します。

写真、書類、フィルムからスキャン

写真、書類からスキャン

※　フィルムをスキャンする手順はこちら

- ここでの操作を行うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- プリンタで印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- Eメール機能を使うには、Eメールソフトがコンピュータにインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

  Windows　Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
  （メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

  Macintosh　Mail、EUDORA、MS Entourage
- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

先頭へ戻る▲

スキャンして保存する

スキャンした画像をホームページやワープロ文書に貼り付けるには、画像をいったんファイルとして保存する必要があります。
画像をファイルとして保存することは、CanoScan Toolboxを使うと簡単にできます。

1 スキャナに原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

・ フィルムをスキャンするときは、→「フィルムをスキャンする」

2 CanoScan Toolboxを起動します。

Windows

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.9］→［CanoScan Toolbox 4.9］を選択します。

Macintosh

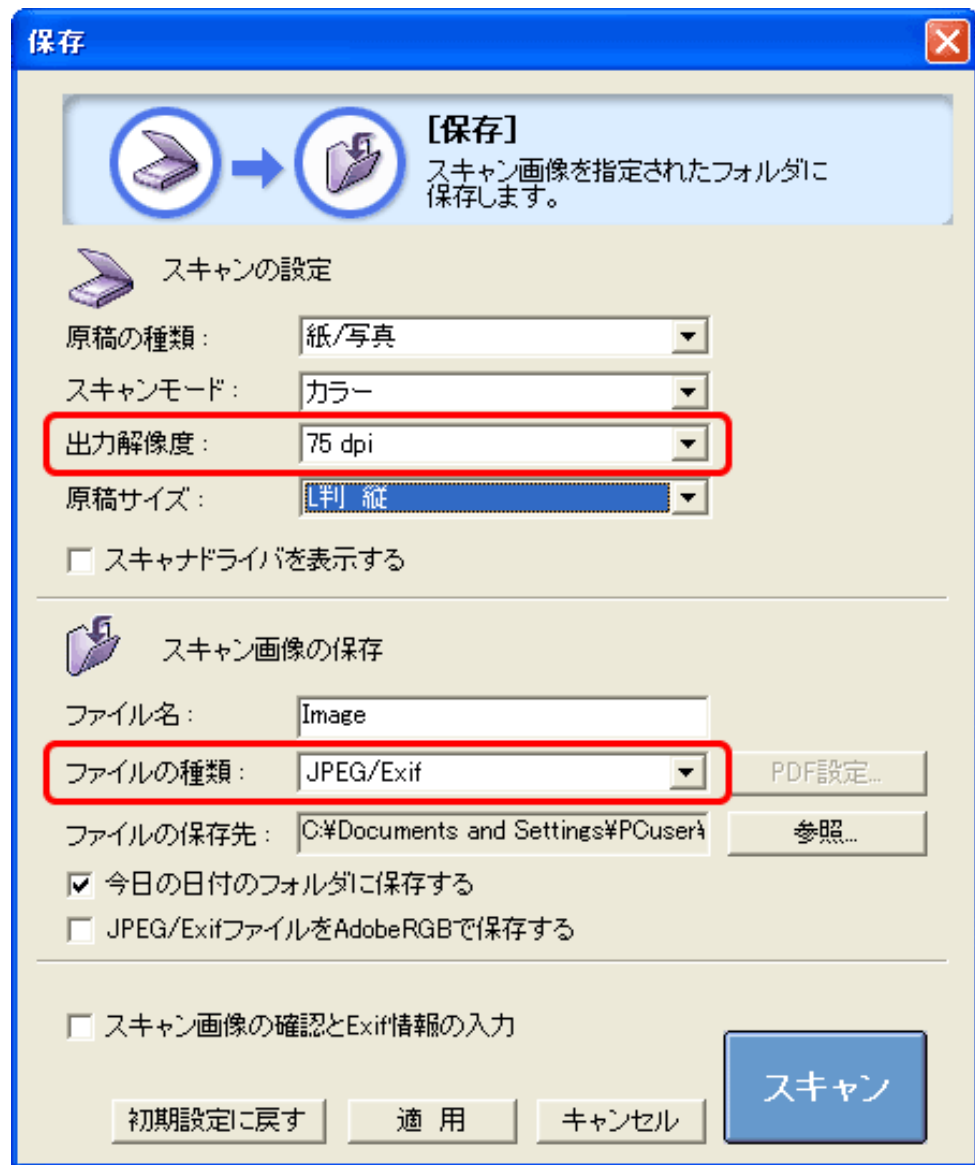
Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.9］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

3 ［保存］ボタンをクリックします。

4 「出力解像度」、「ファイルの種類」を、目的に応じて設定します。→ Toolboxの「［保存］ボタン」

目的別の「出力解像度」と「ファイルの種類」の目安

目的	「出力解像度」	「ファイルの種類」
ホームページに貼り付ける	［75dpi］	［JPEG/Exif］
ホームページで表示するPDFファイルを作成する	［300dpi］	［PDF］
ワープロ文書に貼り付ける	［300dpi］～［400dpi］	［TIFF］
Windowsで壁紙にする	［75dpi］	［BMP］

ホームページに貼り付けるときの例

・「出力解像度」を設定するときは「原稿の種類」を［紙/写真］か［フィルム］に設定します。

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終わると、スキャンした画像は指定の保存先に指定の形式で保存されます。

6 保存した画像を、ホームページ作成ソフトやワープロソフトなどで呼び出して使用します。

・アプリケーションソフトでの画像の貼り付け方法については、アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

先頭へ戻る▲

写真を印刷する（焼き増し、引き伸ばし）

A4の用紙に写真を拡大して印刷したり、写真やイラストをスキャンして絵はがきや年賀状、カードなどを作るときは、CanoScan Toolboxの［プリント］ボタンを使うと、印刷イメージを確認しながら簡単にできます。

- 写真は、印刷用紙「プロフォトペーパー」や「光沢紙」など写真の品質に近い印刷ができる用紙を使うと、きれいにプリントできます。

1. プリンタを準備します。
お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

2. スキャナに原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

- 複数の原稿を同時にセットして、一度のスキャンで個別の画像として取り込むことができます。→「複数の原稿を一度にスキャンする（マルチスキャン）」
- フィルムをスキャンするときは→「フィルムをスキャンする」

3. CanoScan Toolboxを起動します。

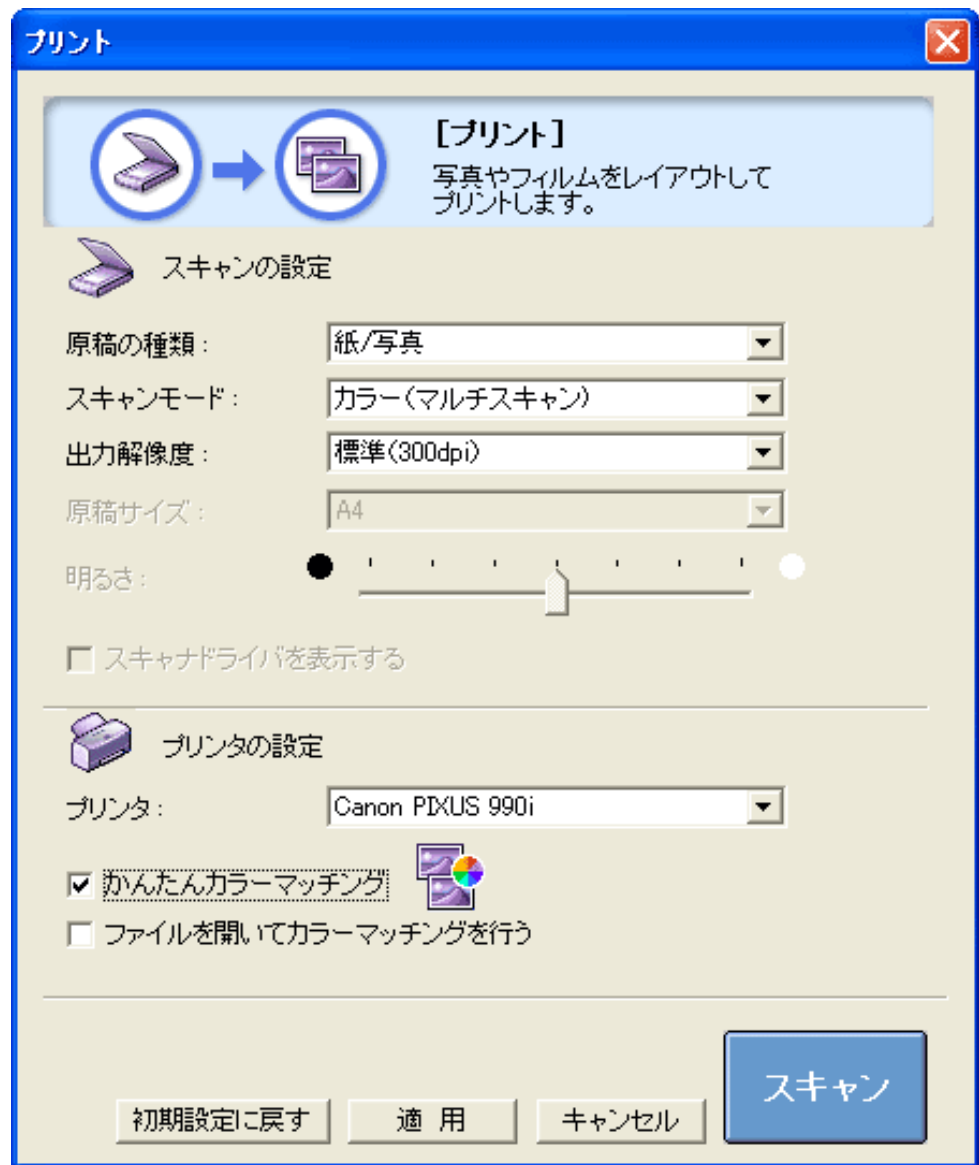
Windows

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.9］→［CanoScan Toolbox 4.9］を選択します。

Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.9］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

4. ［プリント］ボタンをクリックします。

5. 必要があれば、「スキャンモード」や「出力解像度」、原稿サイズなどを設定をします。
→ Toolboxの「［プリント］ボタン」

- ScanGear CSの画面を表示してスキャン条件を設定したいときは、「スキャナドライバを表示する」をクリックしてチェックマークを付けます。

6 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終了すると、「印刷レイアウト」画面が表示されます。

Windows

Macintosh

7 用紙サイズや用紙の種類などを設定し、レイアウトを調整します。

「用紙サイズ」	印刷する用紙サイズを設定します。
「印刷枚数」	印刷したい枚数を設定します。
「用紙の種類」	プリンタにセットした用紙の種類に合わせ、［インクジェット官製葉書］や［はがき］、［光沢紙］などを選択します。
「VIVIDフォト」	チェックマークを付けると、人物は自然な色合いを保ちながら、背景の草木や空、海をより鮮やかに印刷します。
「フチなし全面印刷」	チェックマークを付けると、用紙のフチまでいっぱいに印刷します。
「印刷の向き」	スキャナにセットした写真やイラストの向きに合わせます。
「センタリング」	［適用］ボタンをクリックすると、用紙の中央に画像を配置します。
「用紙に合わせる」	［適用］ボタンをクリックすると、画像全体が用紙に収まるように自動的に拡大されます。ただし、縦横比は変更されず、余白の出ることがあります。
「用紙全面に拡大」	［適用］ボタンをクリックすると、スキャンした画像が、印刷する用紙全体に自動的に拡大されます。 ただし、画像の縦横の比率は変更しないので、原稿と用紙サイズの組み合わせによっては、画像の上下または左右が用紙からはみ出る場合があります。
「テキストボックス」	［追加］ボタンをクリックすると、写真やイラストの上に文字を書き込むことができます。［書式設定］ボタンをクリックすると、文字の書体やスタイル、サイズ、色などを設定できます。

詳しくは→「「印刷レイアウト」画面」

- 「VIVIDフォト」「フチなし全面印刷」はキヤノン製インクジェットプリンタで、これらの機能に対応しているモデルのみ選択できます。
- Macintoshで印刷枚数を設定するときは、［印刷設定］ボタンをクリックしプリンタドライバ画面で必要な枚数を入力してください。

- レイアウト画面左側の画像をマウスでドラッグすると、拡大や縮小、位置の変更ができます。
  - 画像の上下、左右のフチにマウスカーソルを合わせるとマウスカーソルの形状が↕や↔に変わります。この状態でドラッグすると画像を上下、左右に拡大、縮小できます。
  - 画像の4隅の角にマウスカーソルを合わせるとマウスカーソルの形状が↘や↗に変わります。この状態でドラッグすると画像を対角方向に引っ張って拡大、縮小できます。
  - マウスカーソルを画像の上に合わせると、マウスカーソルの形状が✣に変わります。この状態でドラッグすると画像をマウスの方向に移動できます。

- Windows
  プリンタ独自の機能を設定したいときは［プリンタ］右側の［プロパティ］ボタンをクリックしてください。

8 ［印刷］ボタンをクリックします。

- プリントでの印刷機能は、スキャナとプリンタが同じコンピュータに接続されている場合に対応しています。ネットワーク上のプリンタでは、正常に印刷できないことがあります。

原稿をコピーする

原稿をコピーするときは、CanoScan Toolboxの［コピー］ボタンを使うと簡単にできます。

1 プリンタを準備します。
お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

2 スキャナに原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

- 複数の原稿を同時にセットして、一度のスキャンで個別の画像として取り込むことができます。→「複数の原稿を一度にスキャンする（マルチスキャン）」
- フィルムをスキャンするときは→「フィルムをスキャンする」

3 CanoScan Toolboxを起動します。

Windows

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.9］→［CanoScan Toolbox 4.9］を選択します。

Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.9］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

4 ［コピー］ボタンをクリックします。

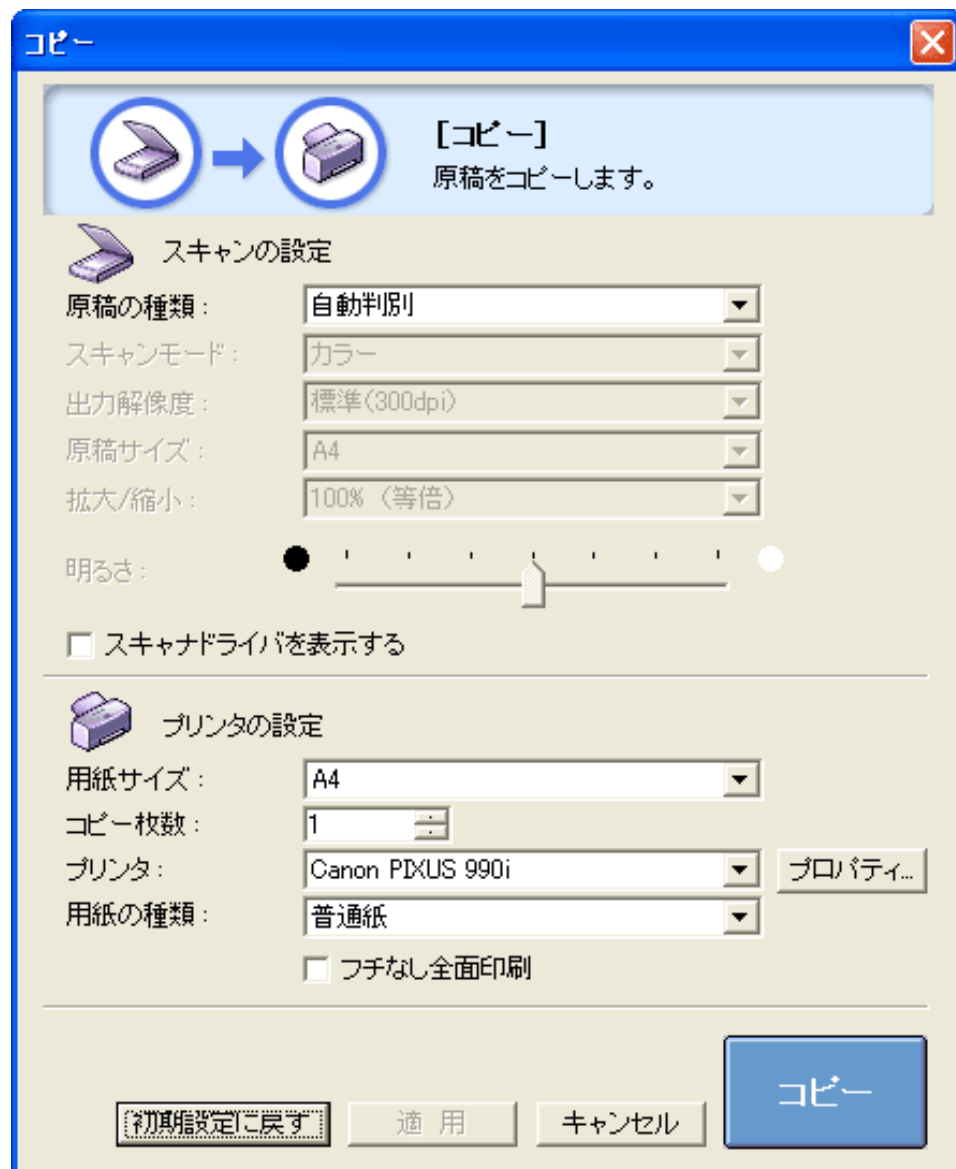
5 必要があればスキャナとプリンタの設定をします。
→ Toolboxの「［コピー］ボタン」

コピー

［コピー］
原稿をコピーします。

スキャンの設定
原稿の種類：自動判別
スキャンモード：カラー
出力解像度：標準(300dpi)
原稿サイズ：A4
拡大/縮小：100%（等倍）
明るさ：
スキャナドライバを表示する

プリンタの設定
用紙サイズ：A4
コピー枚数：1
プリンタ：Canon PIXUS 990i　プロパティ...
用紙の種類：普通紙
フチなし全面印刷

初期設定に戻す　適用　キャンセル　コピー

- 「プリンタの設定」の項目は、お使いのプリンタによって異なります。この画面は、キヤノン製インクジェットプリンタ「PIXUS 990i」の場合です。
- 「フチなし全面印刷」はキヤノン製インクジェットプリンタで、これらの機能に対応しているモデルのみ選択できます。

- ScanGear CSの画面を表示してスキャン条件を設定したいときは、「スキャナドライバを表示する」をクリックしてチェックマークを付けます。
- プリンタ独自の機能を設定したいときは「プリンタ」右側の［プロパティ］ボタンをクリックしてください。

6 ［コピー］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終了すると、設定通りに印刷が実行されます。

- コピーでの印刷機能は、スキャナとプリンタが同じコンピュータに接続されている場合に対応しています。ネットワーク上のプリンタでは、正常に印刷できないことがあります。

先頭へ戻る▲

デジタルアルバムを作る

旅行や日常のスナップ写真をスキャンしてデジタルアルバム（写真のスクラップ）を作るときは、ArcSoft PhotoStudioを使うと簡単にできます。

1 ArcSoft PhotoStudioを起動します。

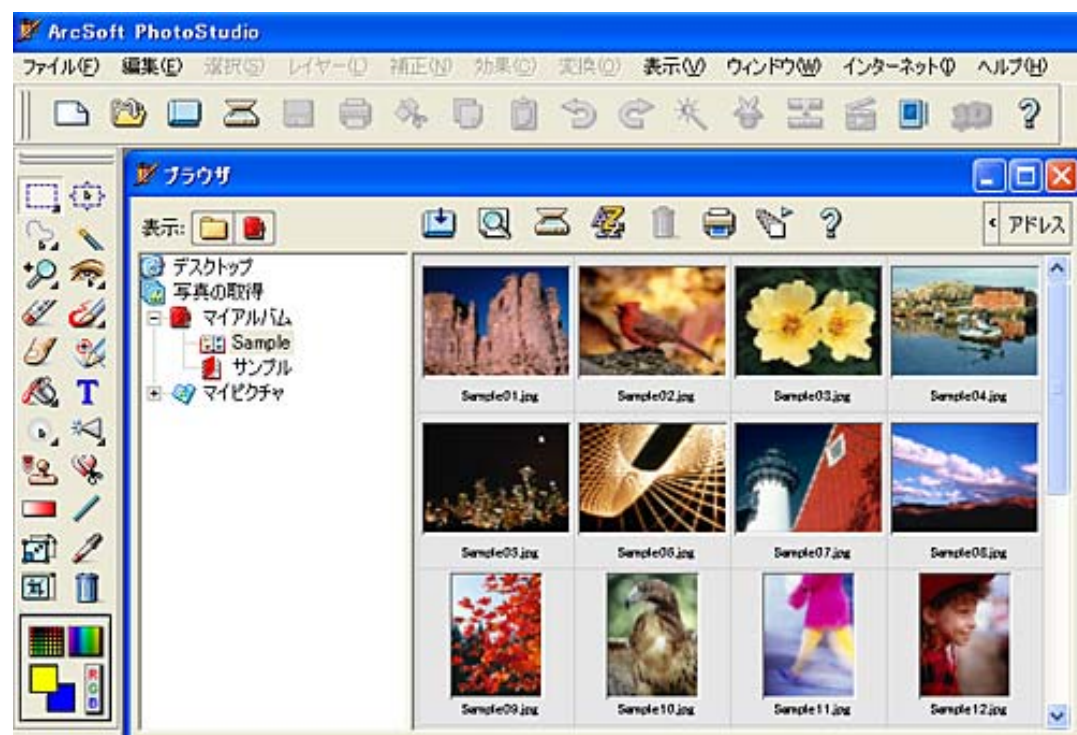
Windows

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5］を選択します。

Macintosh

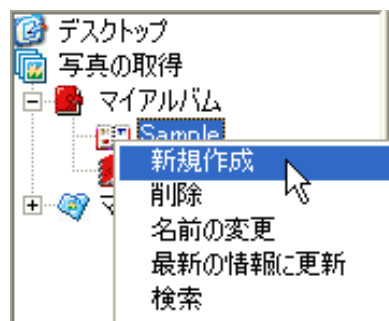
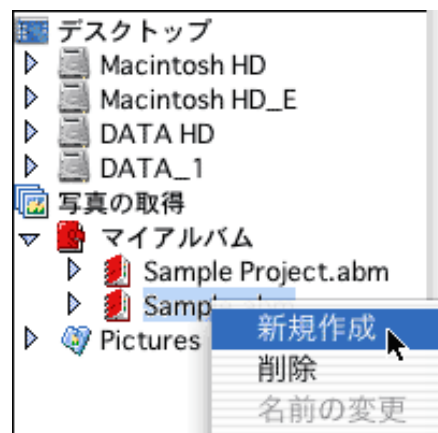
Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［PhotoStudio］フォルダを開き、［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

2 コマンドバーの［ブラウザ］アイコンをクリック、または［ファイル］のプルダウンメニューから［ブラウザを開く］を選択します。

「ブラウザ」ウィンドウが開きます。

「ブラウザ」ウインドウにアルバムが表示されていないときは、［アルバム］アイコンをクリックします。

3 新しくアルバムを作るときは、次のように操作します。

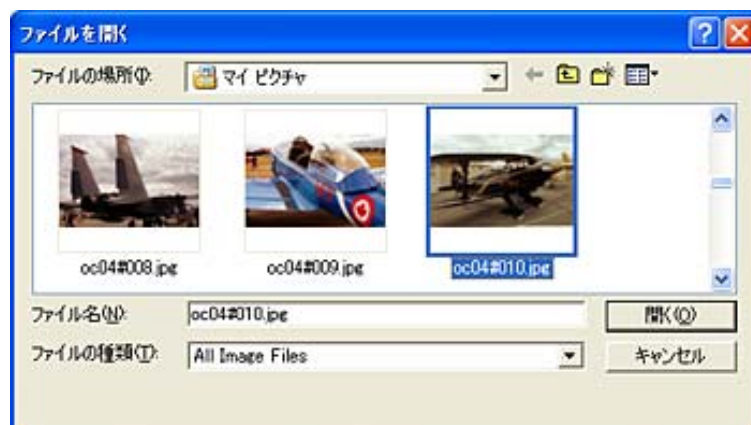
Windows ［アルバム］アイコンを右クリックし、メニューから［新規作成］を選択します。

Macintosh ［アルバム］アイコンを「コマンド」キーを押しながらクリックし、メニューから［新規作成］を選択します。

Windows

Macintosh

［マイアルバム］内に［新規アルバム］（Windows）または［無題.abm］（Macintosh）が作成されます。

・ Macintosh
［無題.abm］に画像を何も入れずに他のアルバム等をクリックすると、［無題.abm］は消えてしまいます。

4 次の操作で、アルバムへ画像を登録します。

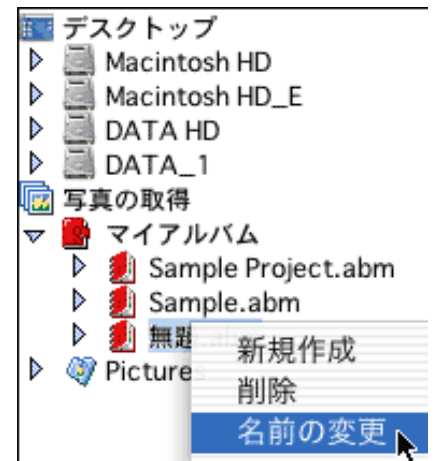
保存されている画像を登録するときは、［追加］アイコンをクリックし、「ファイルを開く」画面でアルバムへ追加する画像を指定し、［開く］ボタンをクリックします。

写真などをスキャンして登録するときは、［取り込み］アイコンをクリックし、ScanGear CSでスキャンします。→「アプリケーションソフトを使ってスキャンする」

5 手順4の操作を繰り返し、アルバムに入れたい画像すべてを登録します。
「ブラウザ」ウインドウに登録した画像のサムネイル（縮小画像）が表示されます。

6 次の操作で、［新規アルバム］を他の名称に変更します。

Windows ［新規アルバム］アイコンを右クリックし、メニューから［名前の変更］を選択し、他の名称に書き換えます。

Macintosh ［無題.abm］アイコンを「コマンド」キーを押しながらクリックし、メニューから［名前の変更］を選択し、他の名称に書き換えます。

Windows

Macintosh

- ArcSoft PhotoStudioの詳しい使いかたについては、キヤノスキャンセットアップCD-ROMの「マニュアル表示」から、電子マニュアル「ArcSoft PhotoStudioマニュアル」をご覧ください。→「電子マニュアル（PDF）の読みかた」

先頭へ戻る▲

目的別にスキャンする

写真、書類、フィルムからスキャン
- スキャンして保存する
- 写真を印刷する（焼き増し、引き伸ばし）
- 原稿をコピーする
- デジタルアルバムを作る
- WordやExcelに画像を貼り付ける
  - 保存してある画像を貼り付ける
  - スキャンして貼り付ける

写真、書類からスキャン
- 文字原稿をテキストデータに変換する（OCR）
- 複数のページをPDF化して一つのファイルに保存する
- 複数の原稿を一度にスキャンする（マルチスキャン）
- Eメールに画像を添付する
- 画像貼り合わせ（原稿台よりも大きな原稿をスキャンする）

WordやExcelに画像を貼り付ける

スキャンした画像を、Microsoft WordなどのワープロソフトやMicrosoft Excelなどの表計算ソフトに貼り付けるには、次のように操作します。

保存してある画像を貼り付ける

すでにスキャンして保存してある画像を貼り付ける手順です。

スキャンして貼り付ける

文書や表を作りながら、写真などをスキャンして貼り付ける方法です。

- Microsoft Word、Microsoft Excelへ貼り付けられるファイル形式の例。

	ファイル形式
Windows	JPEGファイル(.JPG、.JPEG)
	Windows Bitmapファイル(.BMP)
	Tagged Imageファイル(.TIF)
	Portable Network Graphicsファイル(.PNG)
	Targaファイル(.TGA)
	FlashPixファイル(.FPX)
Macintosh	Windows Bitmapファイル
	JPEGファイル
	Tagged Imageファイル
	PICTファイル

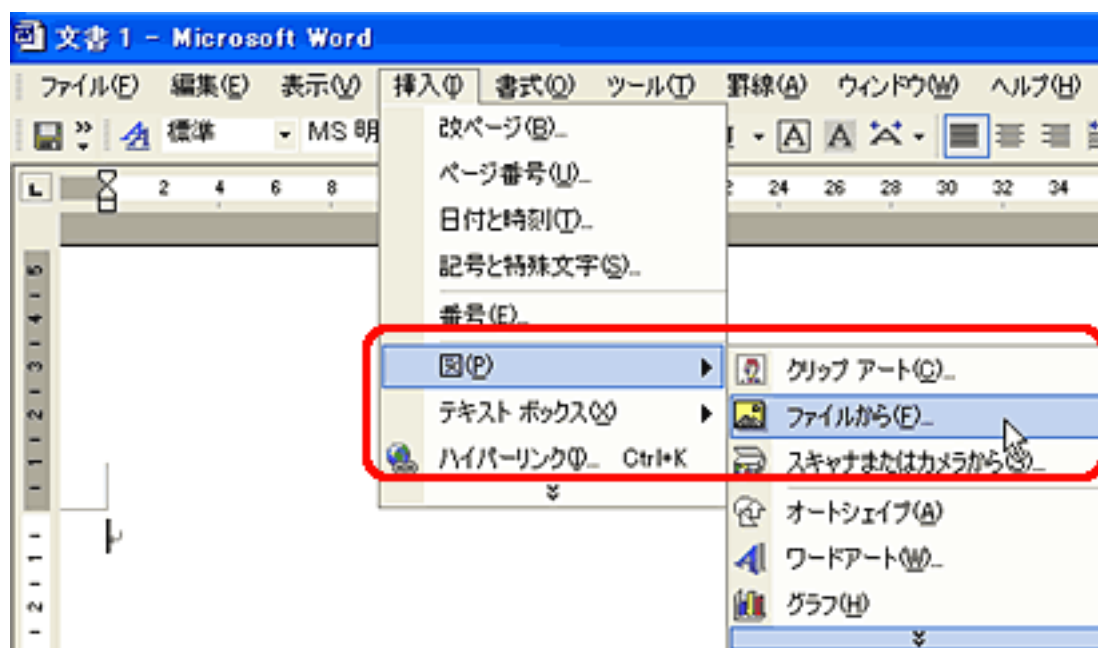
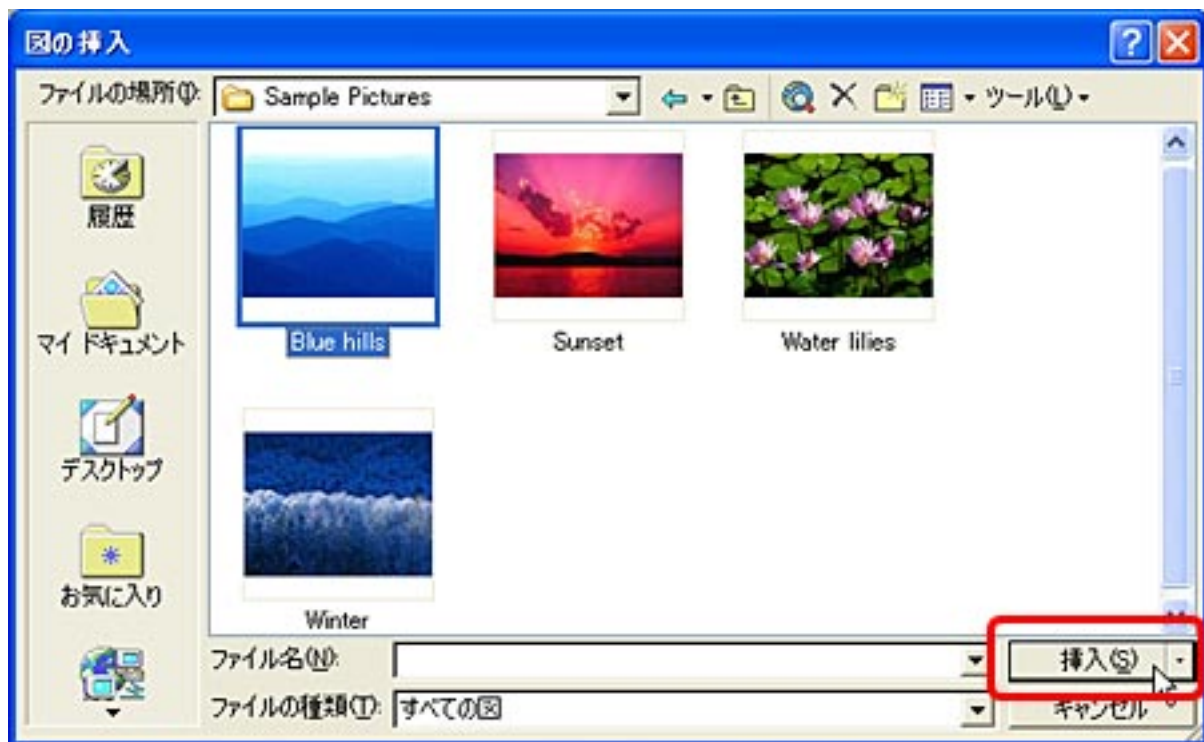
先頭へ戻る▲

保存してある画像を貼り付ける

1 WordやExcelで画像を貼り付ける（挿入する）文書や表を表示します。

2 貼り付け（挿入し）たい位置を指定します。

- Wordの場合、画像を貼り付ける（挿入する）位置へ文字入力カーソルを移動します。
- Excelの場合、画像を貼り付ける（挿入する）位置の左上のセルを選択します。

3 ［挿入］のプルダウンメニューで［図］→［ファイルから］を選択します。

4 図の挿入（選択）ダイアログで貼り付ける（挿入する）画像を選択し、［挿入］ボタンをクリックします。

- 貼り付け（挿入し）た画像は、フチや角をドラッグして拡大や縮小、トリミングなどができます。
- WordやExcelの使いかたについては、WordやExcelのマニュアルをご覧ください。

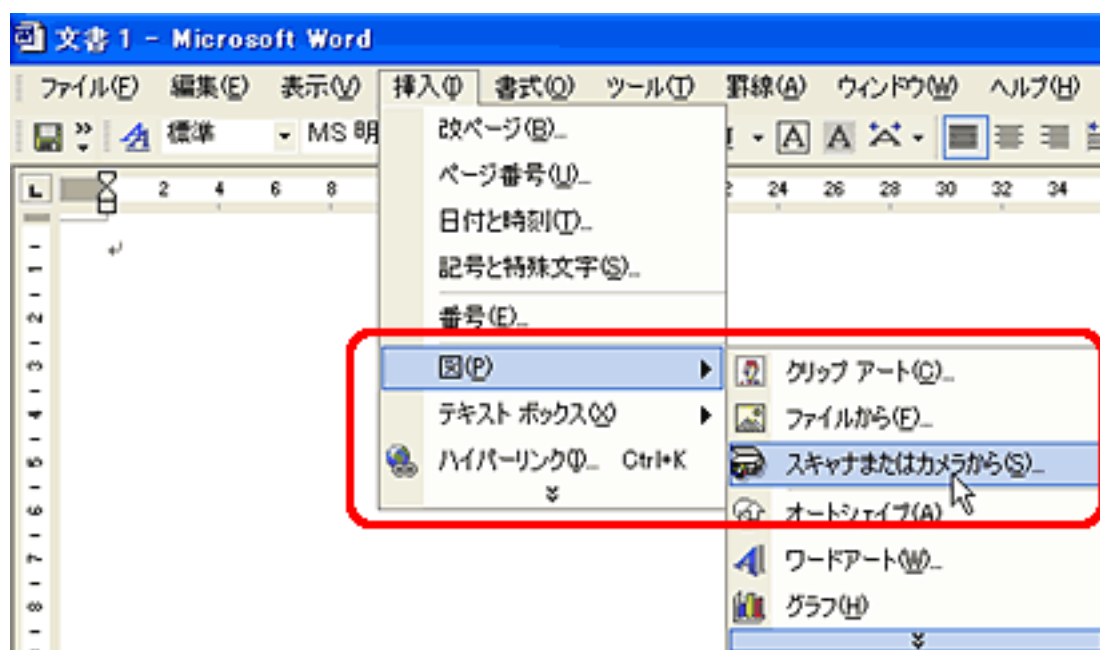
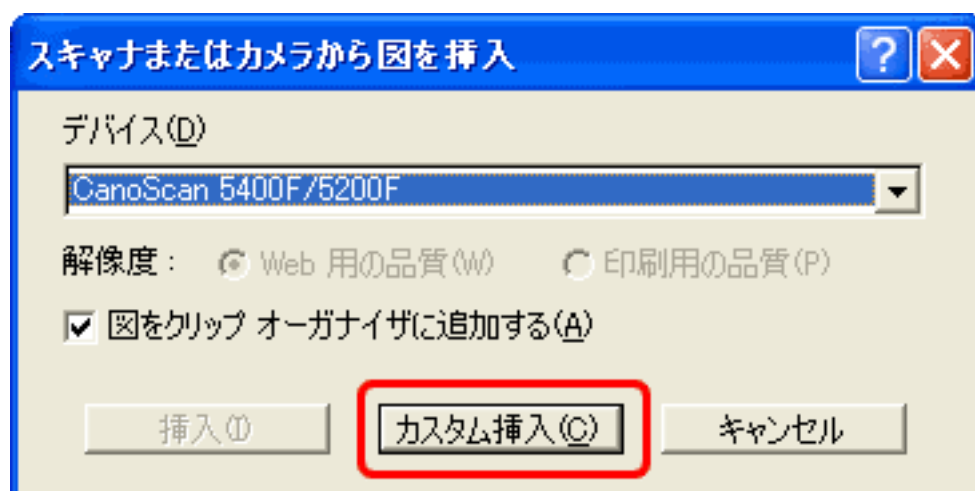
先頭へ戻る▲

スキャンして貼り付ける

1 WordやExcelで画像を貼り付ける（挿入する）文書や表を表示します。

2 貼り付け（挿入し）たい位置を指定します。

- Wordの場合、画像を貼り付ける（挿入する）位置へ文字入力カーソルを移動します。
- Excelの場合、画像を貼り付ける（挿入する）位置の左上のセルを選択します。

3 ［挿入］のプルダウンメニューで［図］→［スキャナまたはカメラから］を選択します。

4 デバイスにお使いのスキャナ名称を選択します。

5 ［カスタム挿入］ボタンをクリックします。

ScanGear CSのメイン画面が表示されます。

ScanGear CSで画像をスキャンします。→ ScanGear CSの「スキャンの手順」
スキャンする範囲や解像度を指定してスキャンを実行すると、画像が文書や表に貼り付けられ（挿入され）ます。

- 貼り付け（挿入し）た画像は、フチや角をドラッグして拡大や縮小、トリミングなどができます。
- WordやExcelの使いかたについては、WordやExcelのマニュアルをご覧ください。

- マルチスキャン、マルチクロップ機能を使って、一度のスキャンで複数の画像を貼り付ける（挿入する）ことは、お勧めできません。1枚ずつ原稿を読み込んでお使いください。
- フィルムをスキャンして貼り付けることもできますが、貼り付けるサイズに合わせて「出力解像度」やプリントサイズを設定してください。不必要に「出力解像度」や倍率を高くするとファイル容量が大きくなるばかりでなく、表示や印刷に時間がかかるようになってしまいます。→「解像度の決め方」

先頭へ戻る▲

文字原稿をテキストデータに変換する（OCR）

新聞や雑誌、本や書類などの文字原稿を読み取ってテキストデータに変換するときは、CanoScan Toolboxの［OCR］ボタンでスキャンし、付属のOCRソフト読取革命Liteでテキストデータに変換します。

1 スキャナに原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

2 CanoScan Toolboxを起動します。

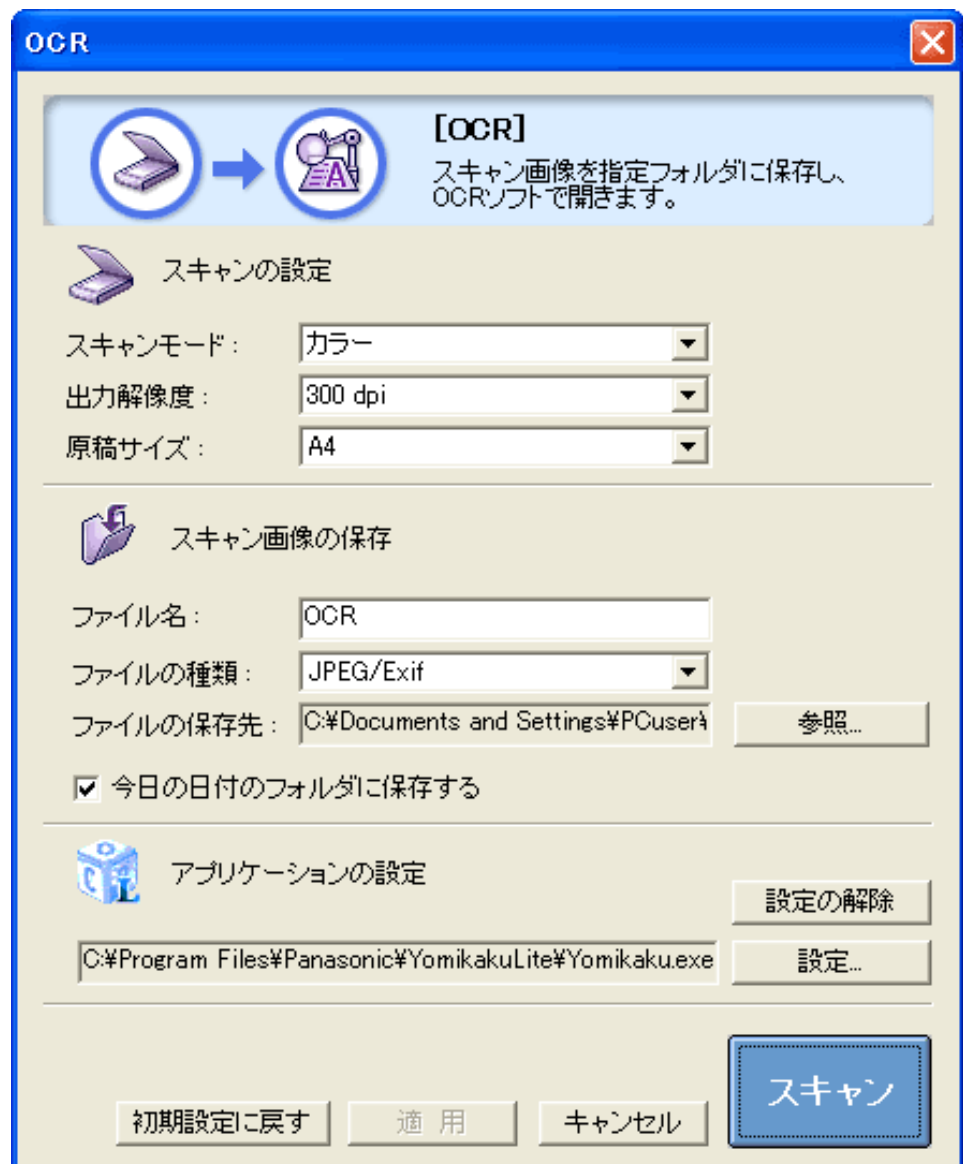
Windows

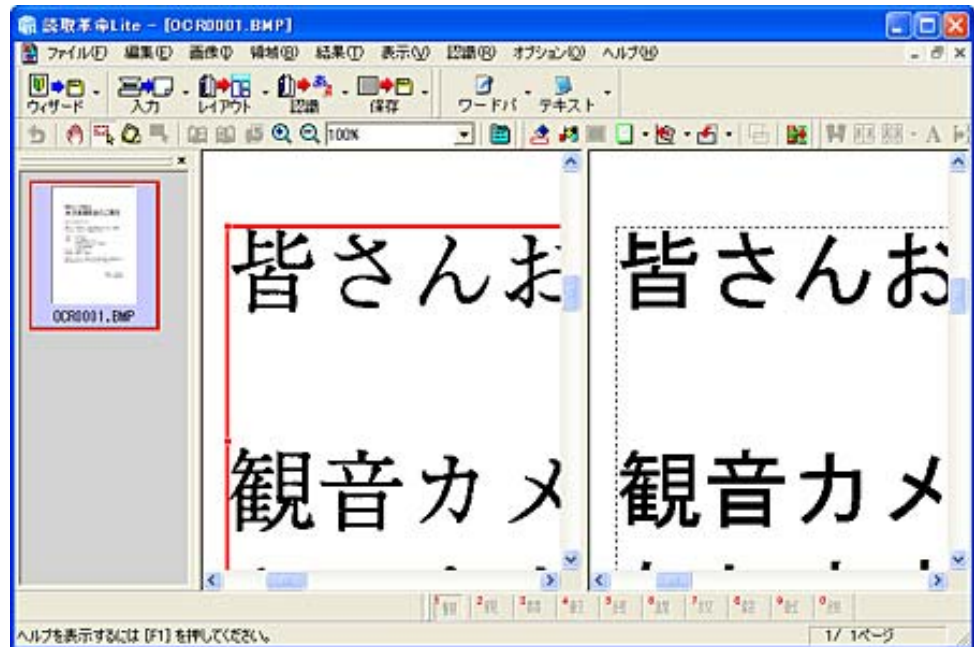
［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.9］→［CanoScan Toolbox 4.9］を選択します。

Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.9］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

3 ［OCR］ボタンをクリックします。

4 必要があれば、「出力解像度」や「ファイルの種類」などを設定します。→ Toolboxの「［OCR］ボタン」

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終わると、付属のOCRソフト、読取革命Liteに読み取った原稿が表示されます。

6 読取革命Liteでテキストに変換します。

- 読取革命Liteの詳しい使いかたについては、キヤノスキャン セットアップCD-ROMの「マニュアル表示」から、電子マニュアル「読取革命Liteマニュアル」をお読みください。

先頭へ戻る▲

複数のページをPDF化して一つのファイルに保存する

スキャンした画像を、PDFファイルとして保存します。「出力解像度」や原稿サイズ、保存先などが設定できる他、複数ページの原稿を1つのPDFファイルとして保存したり、文字の検索ができるPDFファイルを作ることもできます。

ここでは［PDF］ボタンを例として説明します。［メール］ボタン、［保存］ボタンでも同様の手順で操作できます。

1 スキャナに原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう　スキャナ基本ガイド」をご覧ください。

2 CanoScan Toolboxを起動します。

Windows

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.9］→［CanoScan Toolbox 4.9］を選択します。

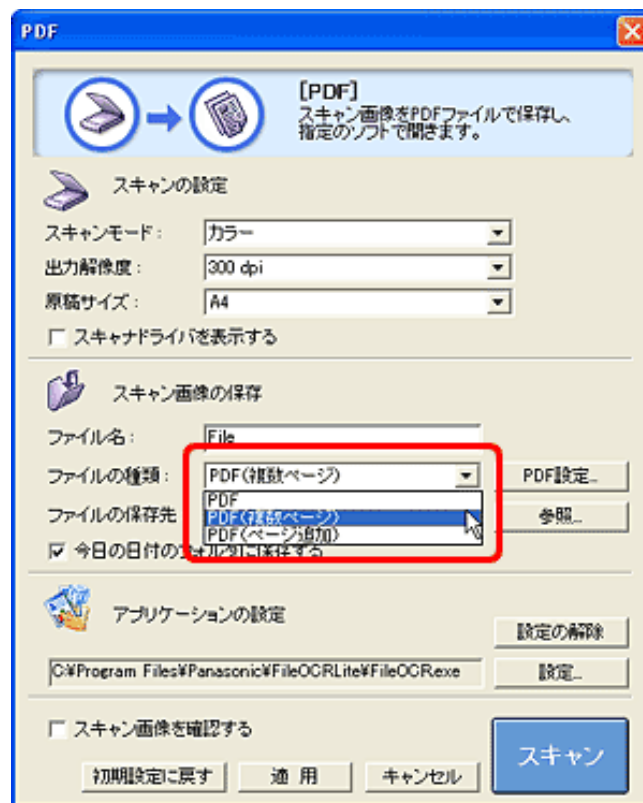
Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.9］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

3 ［PDF］ボタンをクリックします。

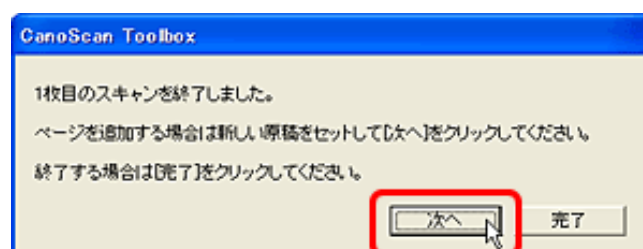
または

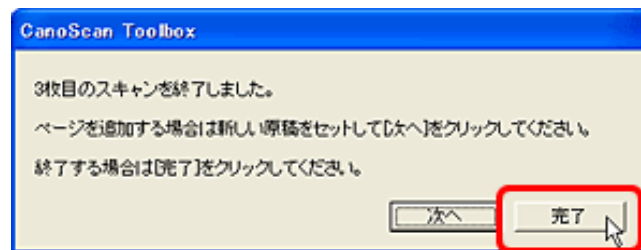
4 「ファイルの種類」を［PDF（複数ページ）］または、［PDF（ページ追加）］にします。

［PDF（複数ページ）］では新規にPDFファイルを作成します。［PDF（ページ追加）］では、CanoScan Toolboxで作成した既存のPDFファイルの最後にページを追加して別のファイルを作成します。

［PDF（ページ追加）］を選んだときは、「ファイルの追加先」で、元になる既存のPDFファイルを指定します。

- 既存のPDFファイルとして指定できるのは、Toolbox 4.7以降で作成されたPDFファイルだけです。他のアプリケーションソフトで作成されたPDFファイルを指定しても、ページの追加はできません。
- Toolbox 4.7以降で作成されたPDFファイルでも、他のアプリケーションソフトで編集を行った場合はページの追加はできません。

5 1枚目の原稿をセットして、PDF画面右下の［スキャン］ボタンをクリックします。

6 スキャンが終わったら、次の原稿をセットして［次へ］ボタンをクリックします。

7 すべての原稿のスキャンが終わるまで［次へ］ボタンをクリックしてスキャンを繰り返します。

8 すべての原稿をスキャンし終わったら［完了］ボタンをクリックします。

スキャンした画像は1つのPDFファイルとして設定されている保存先に保存され、ファイル管理革命Lite (Windows)/Adobe Acrobat Reader (Macintosh)に表示されます。

- 文字原稿や白黒原稿をスキャンするときは、「スキャンモード」を［白黒］または［グレースケール］にすることをおすすめします。
- カラー原稿（「出力解像度」が［300dpi］、A4相当）で1つのPDFファイルを作成する場合は20ページ以下にすることをおすすめします。

先頭へ戻る▲

複数の原稿を一度にスキャンする（マルチスキャン）

複数の原稿を原稿台に並べ、一度のスキャンでそれぞれ個別の画像としてアプリケーションソフトに取り込んだり、保存することができます。操作方法には、次の3つの方法があります。

CanoScan Toolboxでマルチスキャンする

CanoScan Toolboxを使って、手軽にマルチスキャンをする方法です。

ScanGear CSの「基本モード」でマルチスキャンする

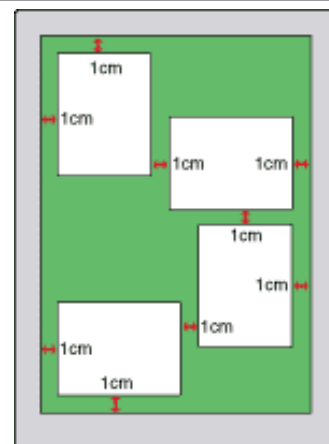
ScanGear CSの画面を呼び出し、「基本モード」でマルチスキャンをする方法です。

ScanGear CSの「拡張モード」でマルチスキャンする

ScanGear CSの画面を呼び出し、「拡張モード」でマルチスキャンをする方法です。

- 原稿の置きかた

  次の点に注意して、原稿を原稿台に置いてください。

  - 以下のそれぞれの間隔は1cm以上にしてください。
    - 原稿と原稿の間
    - 原稿台の左右の端と写真の間
    - 原稿台の奥の端と原稿の間
    - 原稿台の手前（EZボタン側）の端と原稿の間
  - 原稿の枚数の制限は10枚です。
  - 原稿がわずかに斜めになっていても斜度が10度以内ならば自動的に補正されます。

- 全体が白っぽい原稿、周囲が白っぽい原稿では、正しく機能しないことがあります。
- マルチスキャンでは写真などの四角い原稿のみをサポートしています。
  長方形以外の変型した原稿（いろいろな形に切りぬいた写真など）は正しく認識できません。

先頭へ戻る▲

CanoScan Toolboxでマルチスキャンする

1 スキャナに原稿をセットします。

2 CanoScan Toolboxを起動します。

Windows

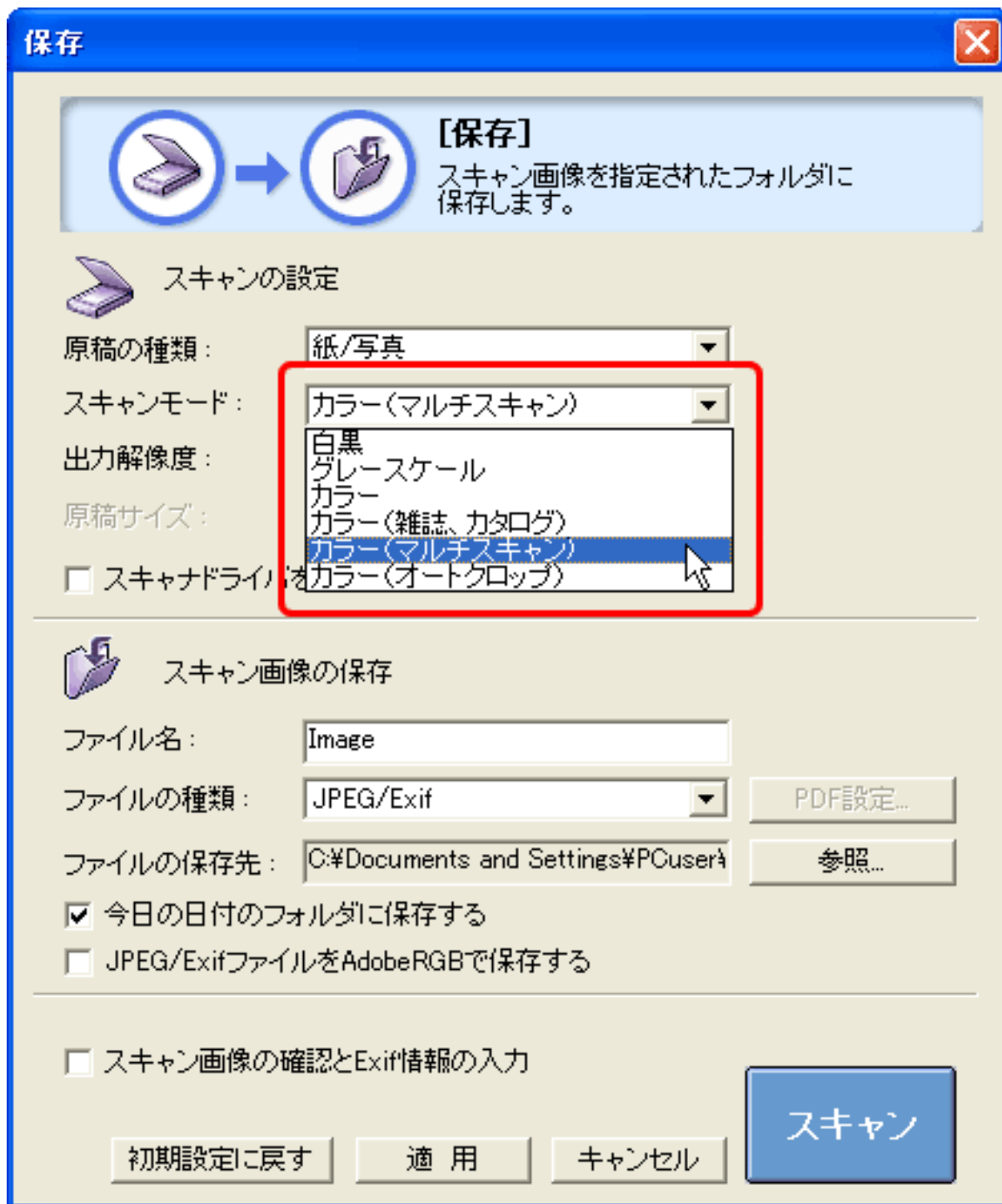
［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.9］→［CanoScan Toolbox 4.9］を選択します。

Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.9］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

3 CanoScan Toolboxの目的のボタンをクリックして設定画面を表示します。

・ OCRボタンではマルチスキャンできません。

4 「スキャンモード」を［カラー（マルチスキャン）］に設定します。

保存の設定画面の例

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。

スキャンが始まり、原稿台に並べた原稿が、それぞれ個別の画像として、CanoScan Toolboxの各機能で処理されます。

先頭へ戻る▲

ScanGear CSの「基本モード」でマルチスキャンする

1 スキャナに原稿をセットします。

2 アプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出します。

<例：PhotoStudioからScanGear CSを呼び出す方法>

Windows

1. ［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5］を選択します。

2. ［ファイル］の［取り込み］を選択します。

Macintosh

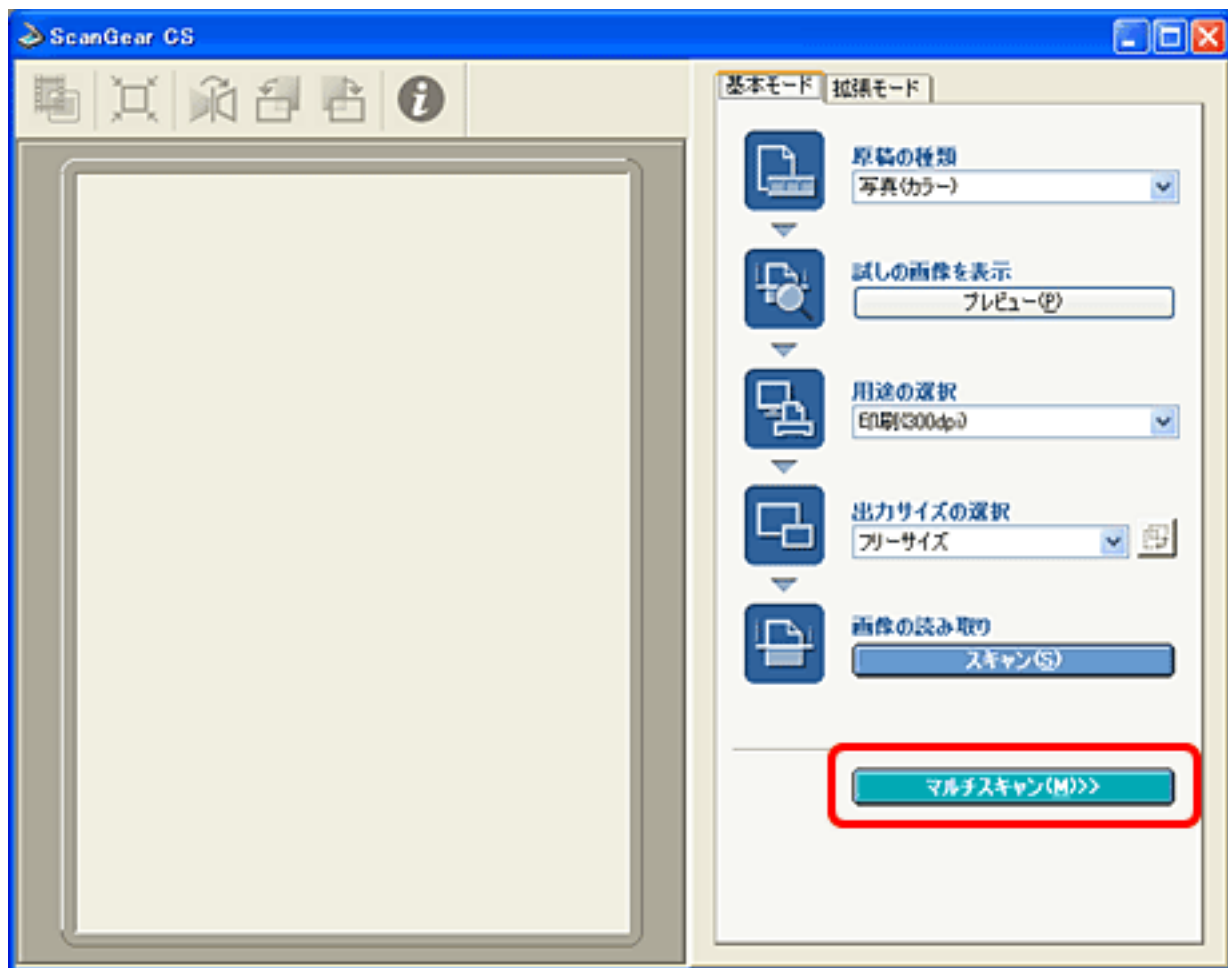
1. Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［PhotoStudio］フォルダを開き、［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

2. ［ファイル］の［取り込み］を選択します。

ScanGear CSの画面が表示されます。

3 ScanGear CSが「拡張モード」のときは、「基本モード」タブをクリックして「基本モード」画面にします。

4 ［マルチスキャン］ボタンをクリックします。

→「マルチスキャンボタン（紙／写真）」

5 必要があれば「カラーモード」や「解像度」などを設定し、［次へ］ボタンをクリックします。

スキャンが始まり、原稿台に並べた原稿が、それぞれ個別の画像としてアプリケーションソフトに取り込まれます。

- Macintosh
  Macintoshでは、「解像度」［600dpi］は選択できません。

ScanGear CSの「拡張モード」でマルチスキャンする

1 スキャナに原稿をセットします。

2 アプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出します。

<例：PhotoStudioからScanGear CSを呼び出す方法>

Windows

1. ［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5］を選択します。

2. ［ファイル］の［取り込み］を選択します。

Macintosh

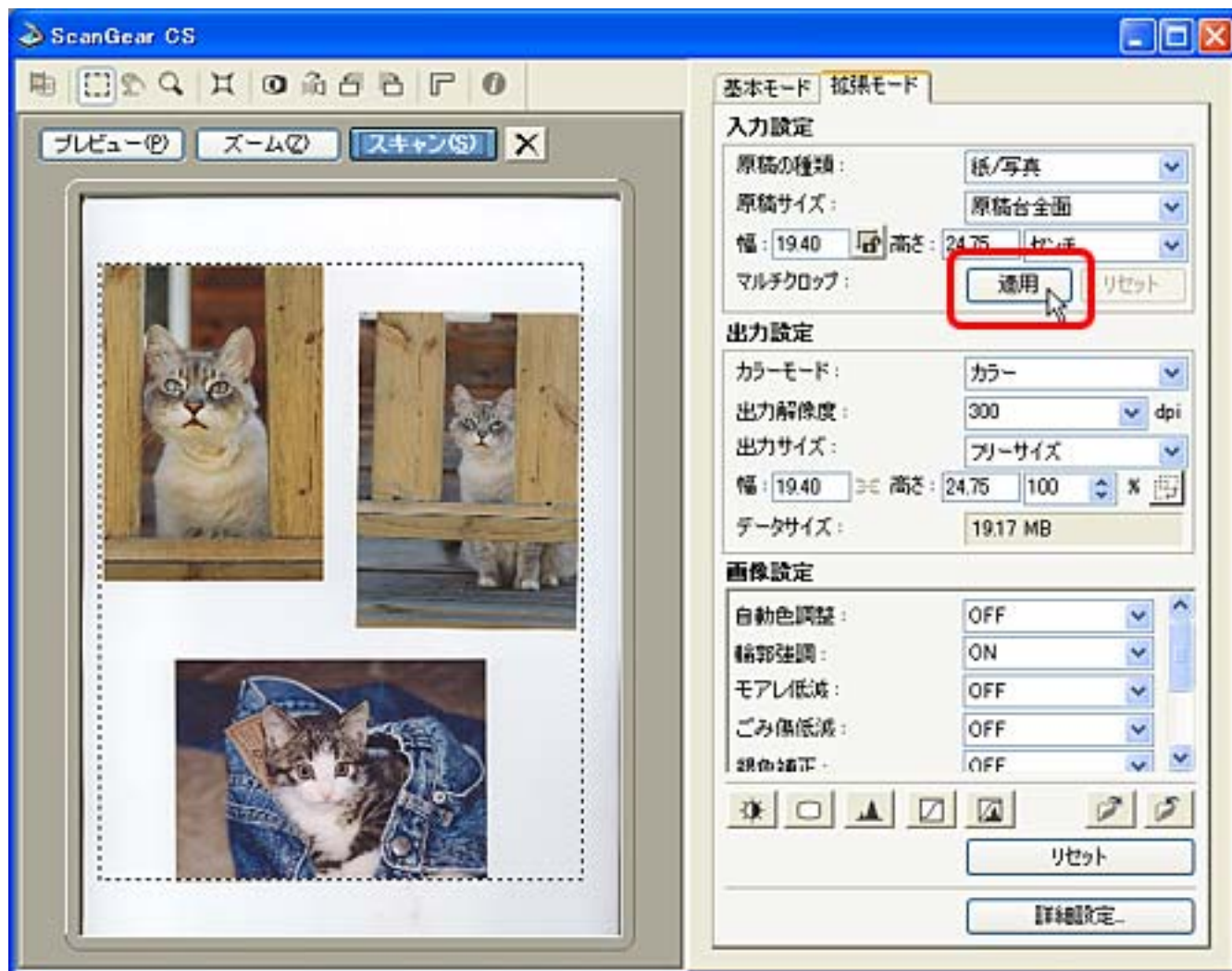
1. Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［PhotoStudio］フォルダを開き、［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

2. ［ファイル］の［取り込み］を選択します。

ScanGear CSの画面が表示されます。

3 ScanGear CSが「基本モード」のときは、「拡張モード」タブをクリックして「拡張モード」画面にします。

4 ［プレビュー］ボタンをクリックして試しの画像を表示します。

5 「マルチクロップ」の［適用］ボタンをクリックします。→「マルチクロップ」

1枚ずつ自動的にクロップされます。

6 必要があれば、その他の項目を設定をします。

7 ［スキャン］ボタンをクリックします。

スキャンが始まり、原稿台に並べた原稿が、それぞれ個別の画像としてアプリケーションソフトに取り込まれます。

先頭へ戻る▲

Eメールに画像を添付する

スキャンした画像をEメールに添付するときは、CanoScan Toolboxを使うと、最適なファイルサイズやファイル形式を選びながら、簡単に添付できます。

- Eメールに添付する画像は、JPEGやPDFなどのファイル形式にし、容量を小さく（一般的には150kバイト以下）することをおすすめします。

1 スキャナに原稿をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」をご覧ください。

2 CanoScan Toolboxを起動します。

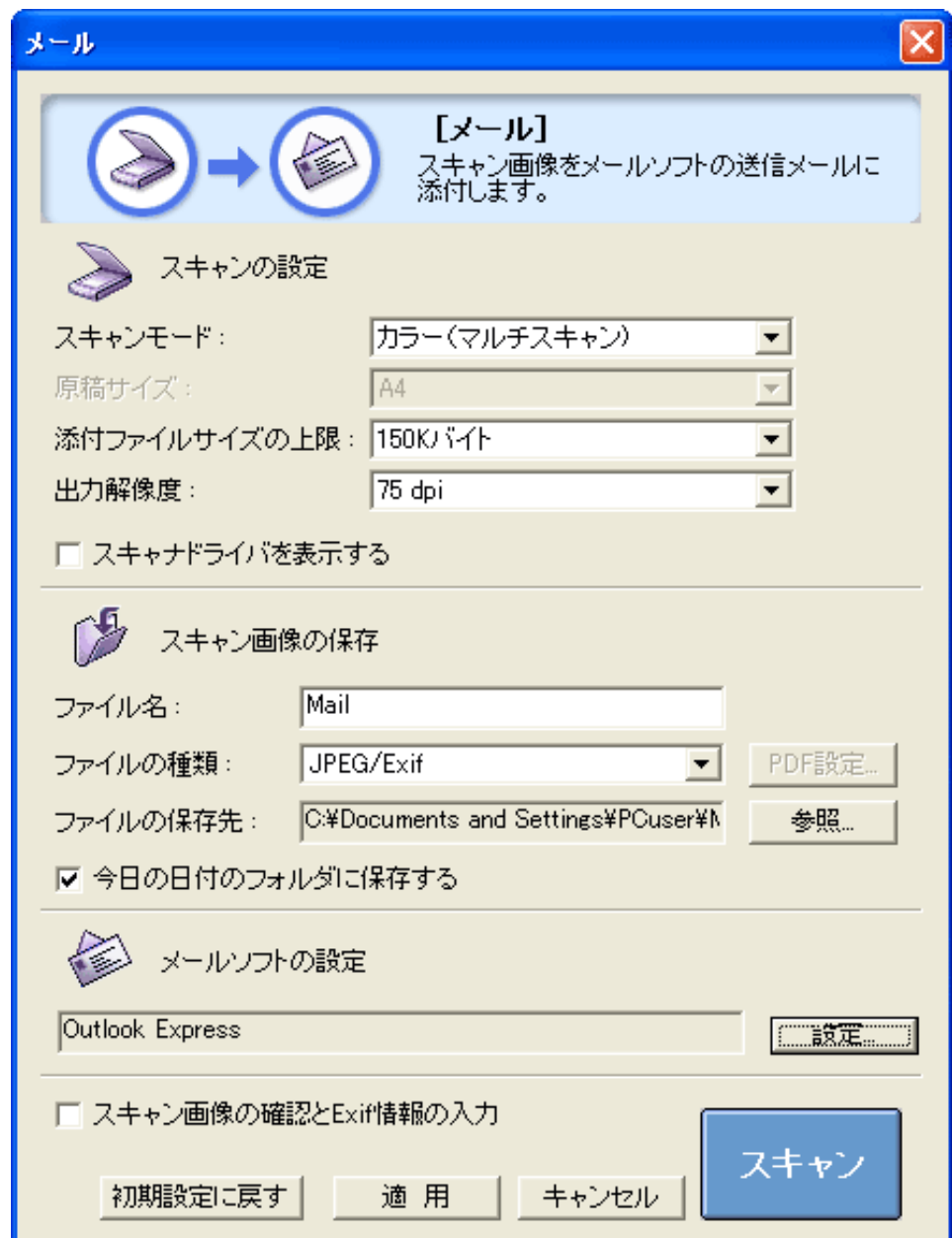
Windows

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.9］→［CanoScan Toolbox 4.9］を選択します。

Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.9］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

3 ［メール］ボタンをクリックします。

4 必要があれば、「スキャンモード」やスキャン画像の保存先、「ファイルの種類」などを設定します。→ Toolboxの「［メール］ボタン」

- 複数の写真を同時にセットし、「スキャンモード」を［カラー（マルチスキャン）］に設定しておけば、一度のスキャンで個別の画像として取り込み、添付することができます。→「複数の原稿を一度にスキャンする（マルチスキャン）」
- メールソフトによっては、マルチスキャンした場合、複数の画像を1つの送信画面に添付できない場合があります。（もしくは、画像の数だけ送信画面ができることがあります。）
- 「ファイルの種類」で［PDF（複数ページ）］を選ぶと、複数の原稿を1つのPDFファイルにまとめることができます。複数画像が扱えないメールソフトなどで便利です。

5 ［スキャン］ボタンをクリックします。
スキャンが始まります。
スキャンが終わると、スキャンした画像は保存され、自動的にEメールソフトの新規メール（メッセージ）に添付されます。

6 メールに宛先や文面を入力し、送信します。

先頭へ戻る▲

画像貼り合わせ（原稿台よりも大きな原稿をスキャンする）

ポスターなど、スキャナの原稿台よりも大きなサイズの原稿もスキャンできます（最大で原稿台の約2倍まで）。
原稿を左右に分けてスキャンし、それらの画像を貼り合わせて1枚の画像にします。

ここでは、［スキャン-1］ボタンを例に説明しています。［コピー］、［プリント］、［保存］、［PDF］、［スキャン（-1/-2）］で、この機能は使用できます。

1 スキャナに原稿をセットします。最初は原稿の左半分をセットします。

原稿のスキャナへのセットの方法は、「まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）」の「原稿台より大きな原稿の場合」をご覧ください。

2 CanoScan Toolboxを起動します。

Windows

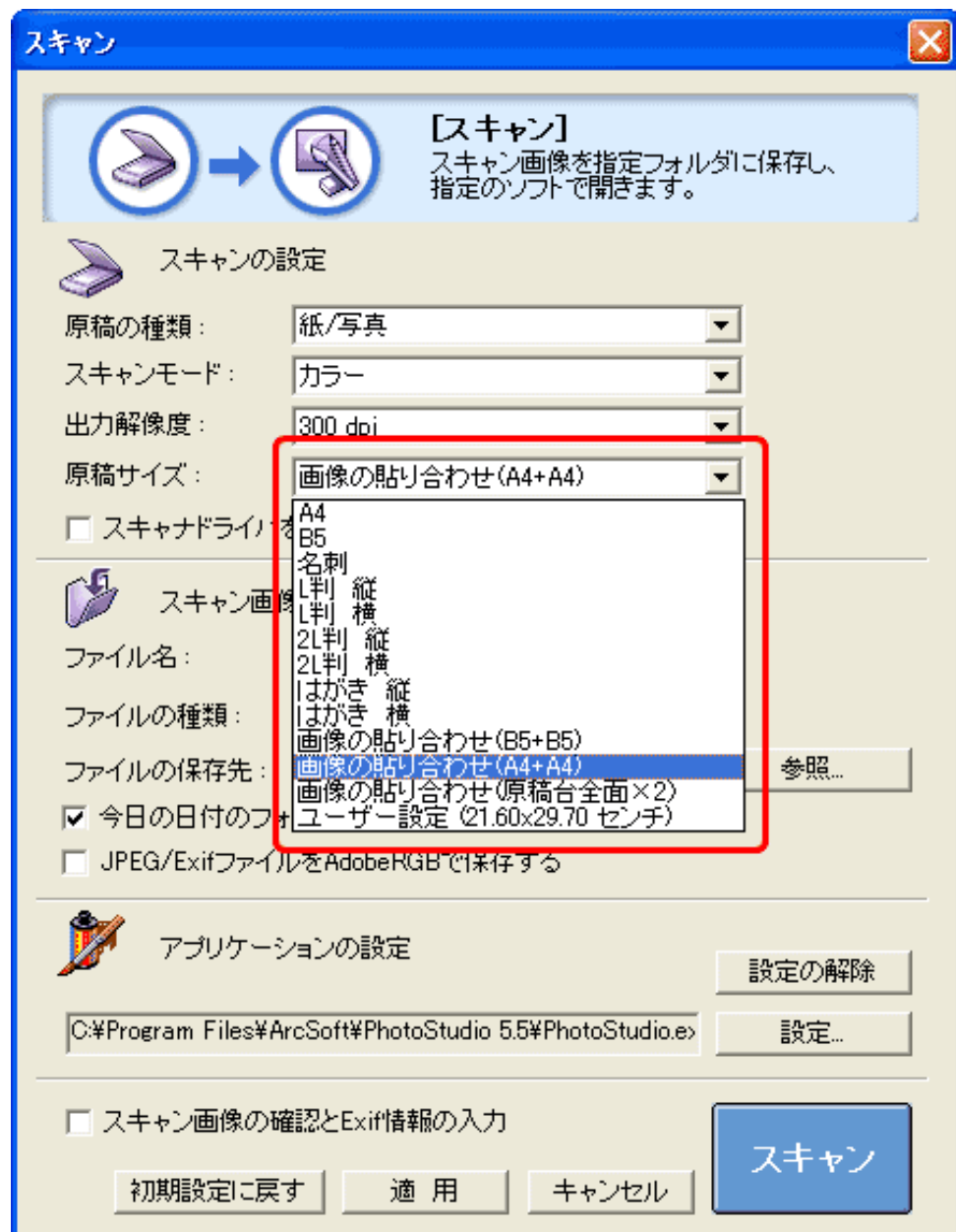
［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.9］→［CanoScan Toolbox 4.9］を選択します。

Macintosh

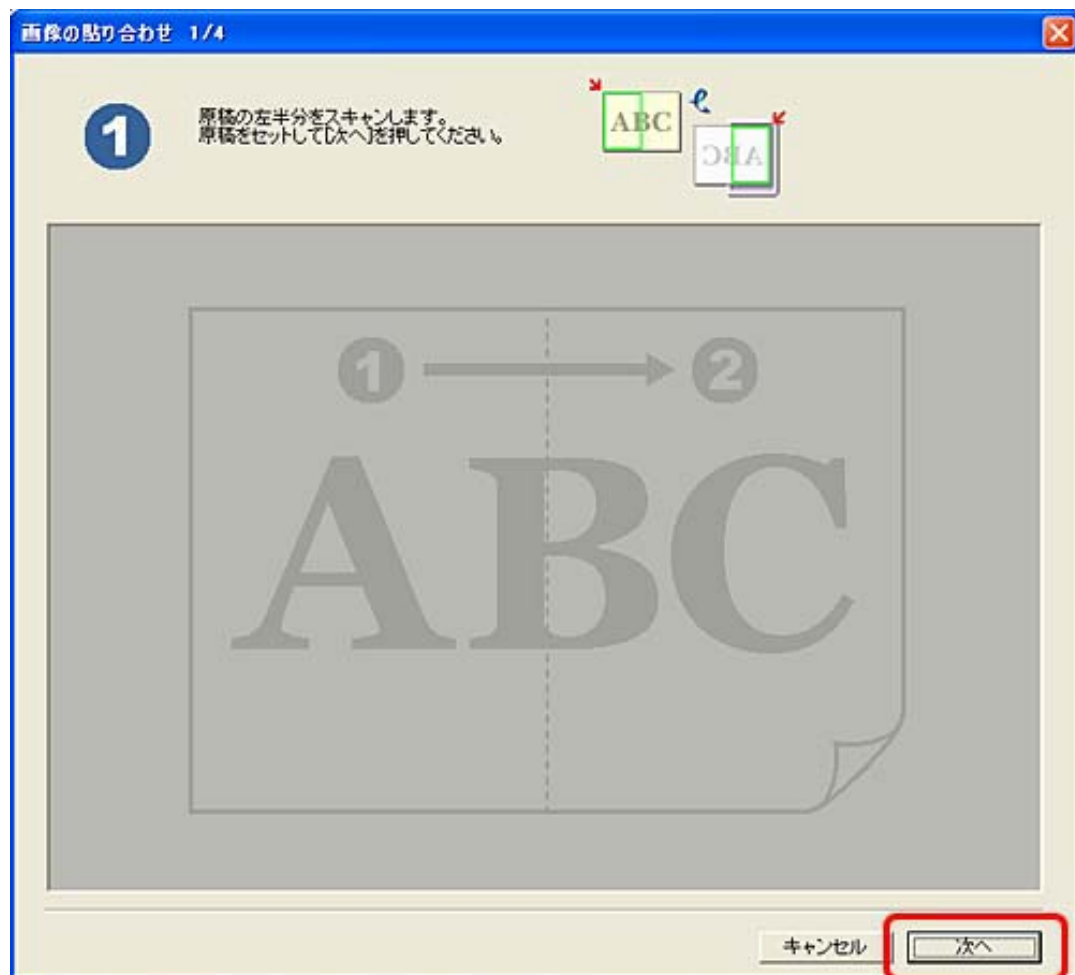
Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.9］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

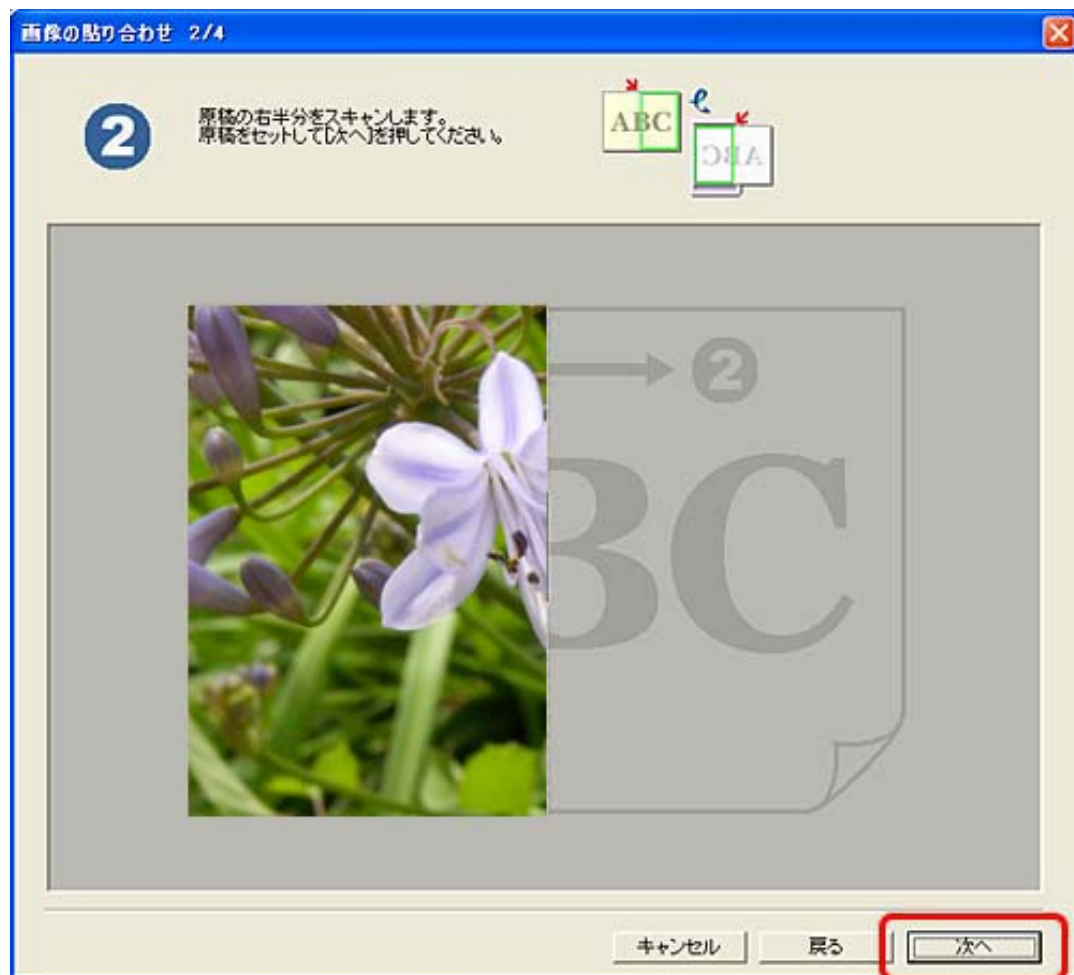
3 ［スキャン-1］ボタンをクリックします。

4 必要があれば、「スキャンモード」や「出力解像度」を設定します。

5 「原稿サイズ」で、［画像の貼り合わせ（B5+B5）］、［画像の貼り合わせ（A4+A4）］または［画像の貼り合わせ（原稿台全面×2）］を選択します。

6 ［スキャン］ボタン（コピーでは、［コピー］ボタン）をクリックします。

7 1の画面が表示されます。［次へ］ボタンをクリックします。

［次へ］ボタンをクリックすると、原稿の左半分がスキャンされます。

8 ②の画面が表示されます。スキャナに原稿の右半分をセットし、［次へ］ボタンをクリックします。

［次へ］ボタンをクリックすると、原稿の右半分がスキャンされます。

9 ③の画面が表示されます。右側の画像をドラッグして、位置を調整し、［次へ］ボタンをクリックします。

・スキャンする原稿や原稿をセットした状態により、スキャンした画像の左右で色味が異なる場合があります。
・左右の画像のうち、最後にクリックした画像が上になります。

10 4の画面が表示されます。作成する画像の範囲を調整し、［転送］（コピーでは［印刷］、保存では［保存］）ボタンをクリックします。貼り合わせる位置の調整をやり直すときは、［戻る］ボタンをクリックして、手順9に戻ります。

貼り合わせた画像が作成されます。

先頭へ戻る▲

CanoScan 5400F スキャナ操作ガイド

もっと上手にスキャンする

もっと美しくスキャンしたい、もっと思いどおりにスキャンしたいと考えている人のために、ScanGear CSを使ったスキャンのヒントや、ノウハウなどを集めました。

- ここでの操作を行うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMから、すべてのソフトウェアがインストールされていることが必要です。
- プリンタで印刷するには、コンピュータにプリンタドライバがインストールされ、プリンタが接続されて、コンピュータ、スキャナ、プリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。
- Eメール機能を使うには、Eメールソフトがコンピュータにインストールされ、使用できる状態になっていることが必要です。
- 本スキャナに対応しているEメールソフトは、下記の通りです。

  Windows Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
  （メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

  Macintosh Mail、EUDORA、MS Entourage
- ここでの説明にはWindows XPの画面を使用しています。他のWindowsやMacintoshでも、特に記載がない限り操作方法は同じです。

先頭へ戻る▲

スキャン画像を好みの色合いに調整するには

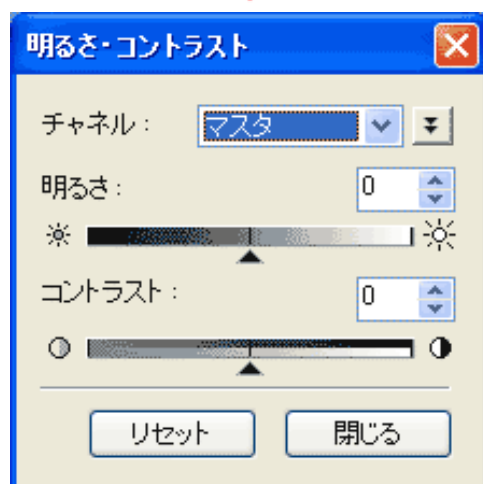
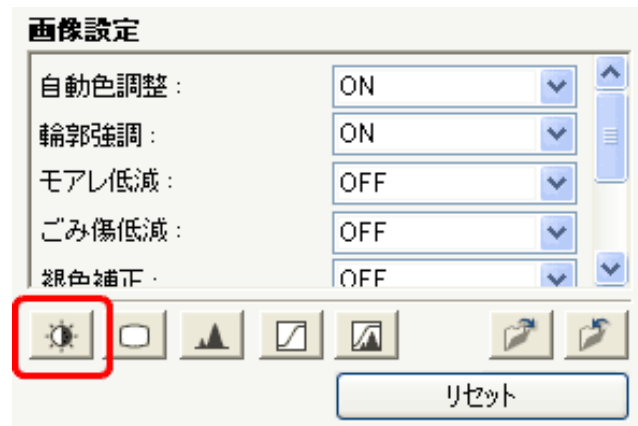
スキャンした画像の色合いが、どうも自分のイメージと違う、あるいは原稿より鮮やかな色合いでスキャンしたいときなど、色調整ボタンで色合いを調整し、スキャンします。

ScanGear CSの画面を表示し、「拡張モード」で「明るさ・コントラスト」、「ガンマ」、「ヒストグラム」、「トーンカーブ」などを調整してスキャンします。

先頭へ戻る▲

明るさとコントラストの調整方法

「明るさ・コントラスト」では、画像全体、または画像の各要素のRGBの明るさや、画像の明暗差（コントラスト）を調整します。スキャンする前の元の画像が、暗すぎたり、明るすぎたり、明暗差が少なくフラットな画質のときに有効です。

ScanGear CSの「拡張モード」で明るさ・コントラスト ボタンをクリックします。

明るさの調整

画像の明るさを調整します。
画像が全体的に暗かったり、明るすぎたりするときに調整すると効果的です（「チャネル」には［マスタ］を指定）。ただし、明るさの値を大きくしすぎるとハイライト部分が飛んでしまい、明るさの値を小さくしすぎるとシャドウ部分がつぶれてしまうことがあります。

明るさ=標準	明るさ>標準	明るさ<標準

先頭へ戻る▲

コントラストの調整

コントラストとは、画像の明暗の差のことです。
コントラストの値を大きくすると、画像の明暗の差が大きくなり、暗い部分と明るい部分の違いがはっきりします。コントラストの値を小さくすると、画像の明暗の差が小さくなり、暗い部分と明るい部分の違いがぼんやりします。

コントラスト=標準

コントラスト＞標準

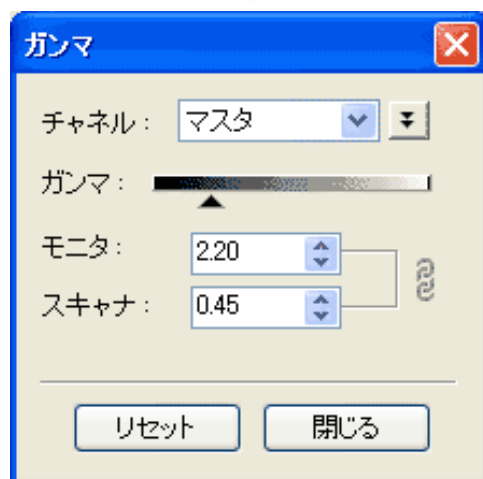
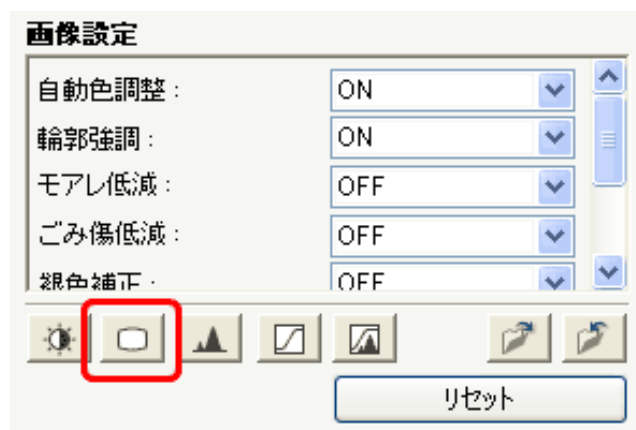
コントラスト＜標準

写真画像のピントがぼけているようなときにコントラストの値を大きくすると、画像にメリハリが出て効果的です。ただし、コントラストの値を大きくしすぎると、シャドウ部分がつぶれてしまったり、ハイライトの部分が飛んでしまったりします。

先頭へ戻る▲

ガンマ値の調整方法

「ガンマ」では、モニタ（ディスプレイ）のガンマ値を設定することで、そのモニタの特性に合った明るさに調整します。元の画像の色調と、モニタに表示された画像の色調が違う場合に有効です。

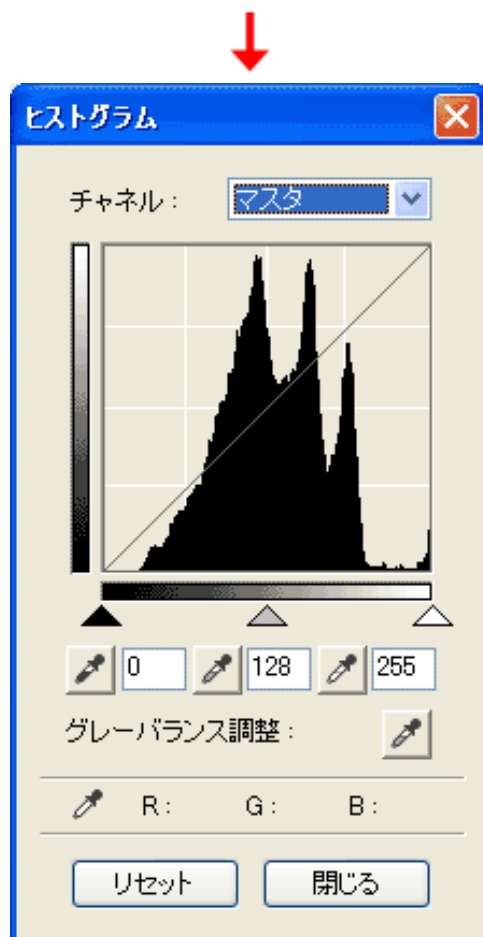
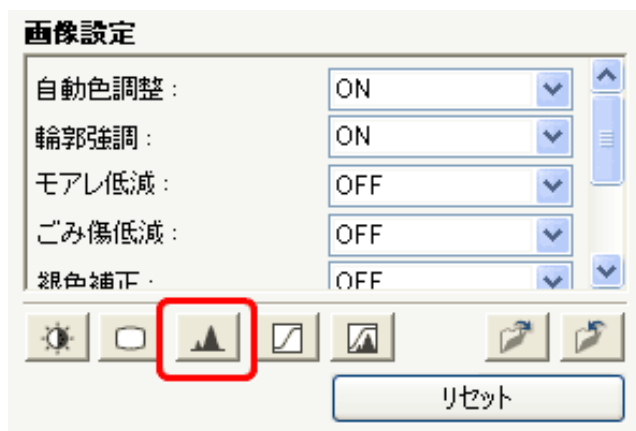
ScanGear CSの「拡張モード」でガンマ ボタンをクリックします。

ガンマ補正の目的は、「元となる原稿の明るさとコンピュータのディスプレイ（モニタ）で見る画像の明るさを一致させる」ことです。
ディスプレイは色を再現するときの特性をそれぞれ持っており、その特性は「ガンマ値」で示されます。一般的なディスプレイのガンマ値は1.4 から2.2で、もともとの画像を多少暗めに再現します。これを避けて元の原稿に忠実な画像をディスプレイに再現するには、ガンマ値を補正する必要があります。
ScanGear CSでは、あらかじめ一般的なディスプレイのガンマ値（Windows：2.2、Macintosh：1.8）に合わせて設定されていますが、ガンマ値がScanGear CSの初期設定値でないディスプレイを使用する場合は、そのディスプレイのガンマ値をここで設定します。
ディスプレイのガンマ値を設定すると、次の計算式（ディスプレイのガンマ値の逆数）でスキャナのガンマ値が自動的に表示されます。

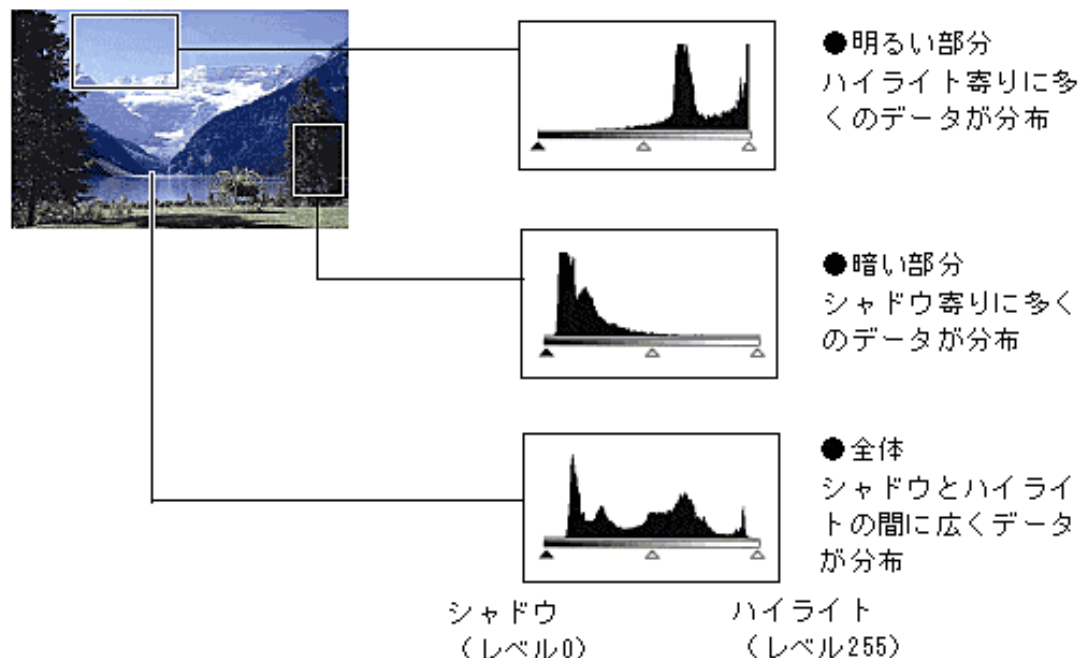
1/ディスプレイのガンマ値　=　スキャナのガンマ値
1/2.2 = 0.45
（ディスプレイのガンマ値が2.2の場合、スキャナのガンマ値は0.45）

- ご使用のディスプレイのガンマ値については、ディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。記載されていない場合は、製造メーカーの相談窓口などにお問い合わせください。

ヒストグラムの調整方法

ヒストグラムは、画像の明るさの分布を示すグラフです。グラフを調整して画像を調整できます。

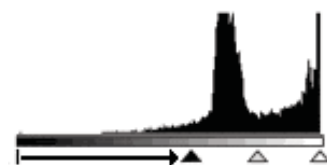
ScanGear CSの「拡張モード」でヒストグラム ボタンをクリックします。

ヒストグラムの見かた

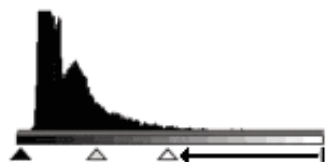
チャネルごとに、指定した範囲のヒストグラムを見ることができます。ヒストグラムの山が高いほど、そのレベルにデータがたくさん分布しています。

先頭へ戻る▲

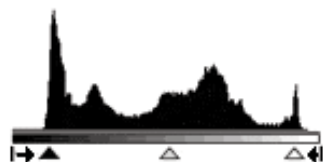
ヒストグラムの調整（スライダを使って）

「チャネル」を選択し、暗点スライダと明点スライダの位置を移動し、どのレベルをシャドウまたはハイライトにするかを調整します。暗点スライダより左にあるデータはすべてレベル0（黒）になり、明点スライダより右にあるデータはすべてレベル255（白）のデータになります。
初期設定では「自動色調整」がオンになっています。下図のような調整が自動的に行われます。

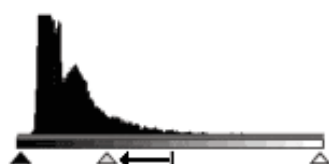
元の画像

【例1】ハイライト寄りにデータがかたよっている画像

暗点スライダの位置をハイライト寄りに移動

【例2】シャドウ寄りにデータがかたよっている画像

明点スライダの位置をシャドウ寄りに移動

【例3】広くデータが分布している画像

暗点スライダの位置をハイライト寄りに、明点スライダの位置をシャドウ寄りに移動

中間点スライダを移動させて、どのくらいの明るさを中間の明るさとするかを設定することもできます。
通常は、暗点スライダと明点スライダの中間が中間点スライダの位置になっています。

【例1】ハイライト寄りにデータがかたよっている画像

中間点スライダの位置をシャドウ寄りに移動

【例2】シャドウ寄りにデータがかたよっている画像

中間点スライダの位置をハイライト寄りに移動

先頭へ戻る▲

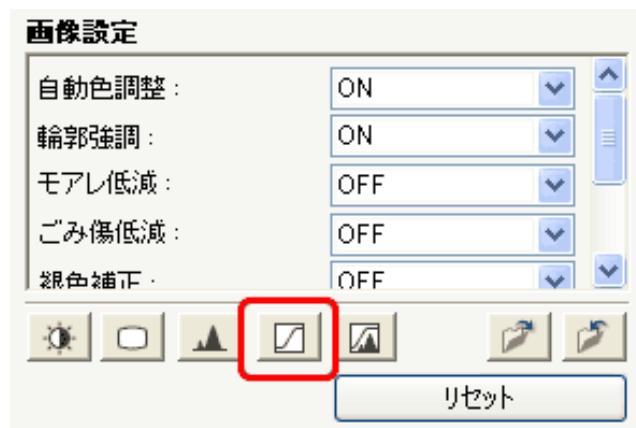
ヒストグラムの調整（ピッカーを使って）

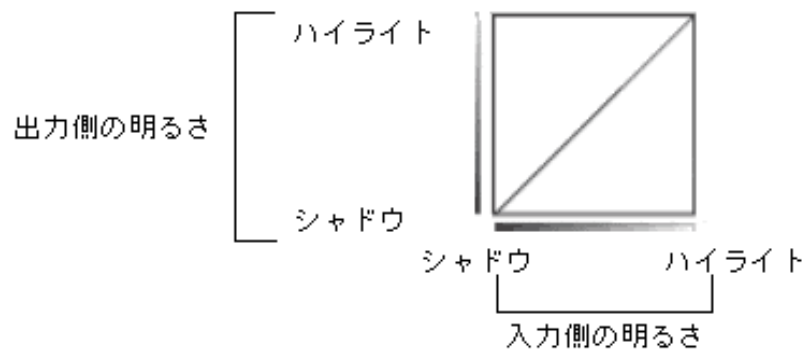
「チャネル」を選択し、暗点ピッカー（明点ピッカー）をクリックし、プレビュー画像上のマウスポインタの形状がスポイトに変わります。プレビュー画像上で、もっとも暗くしたい点（レベル０）（もっとも明るくしたい点（レベル２５５））をクリックします。
また、中間点ピッカーをクリックし、プレビュー画像上で中間の明るさに設定したい点をクリックすることで、中間の明るさの調整もできます。

先頭へ戻る▲

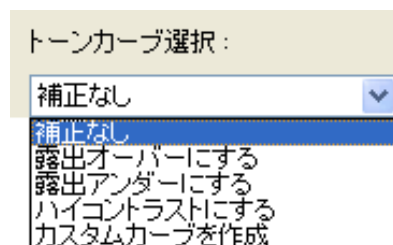
トーンカーブの調整方法

トーンカーブは、明暗のバランスを示したグラフです。これを編集して入力と出力のバランスを調整し、画像の明るさを調整します。トーンカーブによる設定では、特定の領域の明るさを、きめ細かく調整することができます。

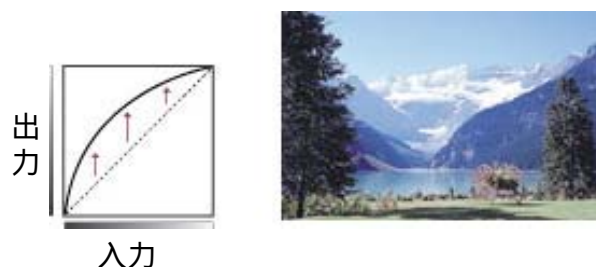
ScanGear CSの「拡張モード」でトーンカーブ ボタンをクリックします。

トーンカーブの見かた

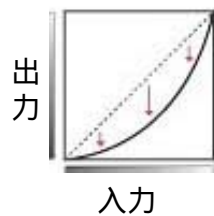
ScanGear CSでは、スキャナからの画像の読み取りが「入力」、ディスプレイへの表示が「出力」となります。この入力と出力の明暗のバランスを、「チャネル」ごとに示したものがトーンカーブです。

先頭へ戻る▲

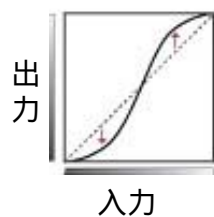
トーンカーブの調整

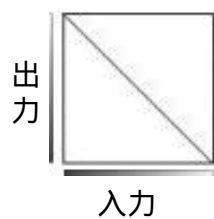
トーンカーブの形によって、画像の色調は「チャネル」ごとに、調整できます。
トーンカーブの任意の点をドラッグして、トーンカーブを編集する方法のほかに、「トーンカーブの選択」のプルダウンメニューから項目を選択しても、同様の効果が得られます。

未調整の場合（補正なし）

【例1】上膨らみの曲線の場合（［露出オーバーにする］を選択）

入力側の中間調のデータが出力側のハイライトよりの形になるので、ディスプレイの表示は明るい感じの色調に調整されます。

【例2】下膨らみの曲線の場合（［露出アンダーにする］を選択）

入力側の中間調のデータが出力側のシャドウよりの形になるので、ディスプレイの表示は暗い感じの色調に調整されます。

【例3】S 字形の曲線の場合（［ハイコントラストにする］を選択）

入力側のハイライトとシャドウが強調されるためコントラストが強調された画像になります。

【例4】右下がりの曲線の場合

入力側と出力側が反転するので、ネガポジの反転した画像になります。

先頭へ戻る▲

もっと上手にスキャンする

- スキャン画像を好みの色合いに調整するには
- 明るさとコントラストの調整方法
- ガンマ値の調整方法
- ヒストグラムの調整方法
- トーンカーブの調整方法
- もっとくっきりした画質でスキャンするには
- モアレ、ごみ傷、色褪せなどを目立たなくするには
- 解像度の決めかた
- 解像度とデータ容量
- スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

もっとくっきりした画質でスキャンするには

ぼやけ気味の写真などをくっきりした画質にしたいときは、ScanGear CSの「拡張モード」で、「輪郭強調」（アンシャープマスク）を［ON］にしてスキャンします。

「輪郭強調」

先頭へ戻る▲

モアレ、ごみ傷、色褪せなどを目立たなくするには

原稿（紙/写真、フィルム）をスキャンした時に、モアレ、ごみ傷、色褪せなどが目立つときには、ScanGear CSの「拡張モード」/画像設定での機能を使用してください。モアレ、ごみ傷、色褪せなどを目立たなくできます。
各機能の詳しい説明は、「ScanGear CSの使いかた」の「拡張モード」/画像設定をご覧ください。

・モアレ、ごみ傷、色褪せなどが発生していない原稿に対して、これらの機能を使用しないでください。色味がおかしくなることがあります。

「モアレ低減」（紙/写真）

本や雑誌に印刷されている写真や絵を、モアレを低減してスキャンします。
「モアレ」とは、本や雑誌の写真や絵（細かな点の集まりで表現されています）をスキャンしたときに、点と点が干渉したために現れることがある、濃淡のむらや縞模様のことです。「モアレ低減」は、このモアレを少なくする機能です。

先頭へ戻る▲

「ごみ傷除去（FARE）」（フィルム）

フィルムをスキャンするときに、フィルム上の小さなごみや傷を自動的に除去してスキャンします。

先頭へ戻る▲

「ごみ傷低減」（紙/写真）

写真原稿をスキャンしたときに、主にごみや傷が原因でできた白い点状のノイズが現れることがあります。ごみや傷をできるだけ少なくしてスキャンします。

先頭へ戻る▲

「褪色補正」

経年変化などで、褪色したフィルムや色カブリした写真およびフィルムを色補正してスキャンします。

先頭へ戻る▲

「粒状感低減」

高感度フィルムや増感撮影されたフィルム、それらのフィルムから作成された写真、または高解像度でフィルムをスキャンした場合に感じられる粒状感を低減してスキャンします。

先頭へ戻る▲

「逆光補正」

逆光で見えにくくなった画像を補正してスキャンします。

先頭へ戻る▲

解像度の決めかた

解像度とは

スキャナで読み取られた画像は、明るさや色の情報を持った点（ドット）の集まりから成り立っています。この点の密度を「解像度」といい、画像のきめ細かさや粗さは、この解像度によって決まります。
解像度の単位は、dpi（dots per inch）です。dots per inchは1インチ（約2.54cm）あたりにどれだけ点が集まっているかを示す単位です。
解像度を高くするときめ細かい画像に、解像度を低くすると粗い画像になります。
また、解像度を高くするとデータの容量が大きくなり、解像度を低くするとデータの容量は小さくなります。

解像度が高い

解像度が低い

先頭へ戻る▲

ScanGear CS 「基本モード」での設定

ScanGear CSの「基本モード」では、「原稿の種類」と「用途の選択」を選択すると、「出力解像度」と倍率が決定されます。

※以下は、「出力サイズの選択」が［フリーサイズ］の場合の例です。

ScanGear CSの「基本モード」での「出力解像度」と「拡大/縮小率」

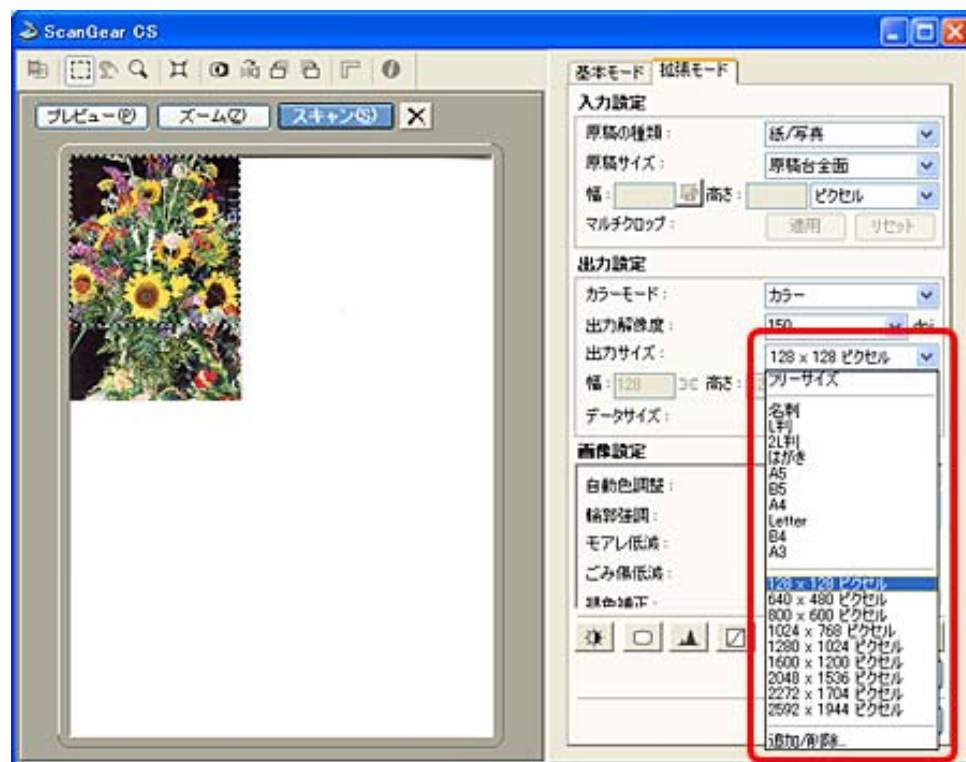
「原稿の種類」	「用途の選択」	「出力解像度」と倍率（自動設定）
［紙/写真］	［画面表示］	［150dpi］ / 100%
［紙/写真］	［印刷］	［300dpi］ / 100%
［紙/写真］	［OCR］	［300dpi］ / 100%
［フィルム］	［画面表示］	［150dpi］ / 約400%
［フィルム］	［印刷］	［300dpi］ / 約400%

先頭へ戻る▲

ScanGear CS 「拡張モード」での設定

ScanGear CSの「拡張モード」では、[出力サイズ]を選択し「出力解像度」を設定します。

規定のサイズでスキャンする

出力設定の「出力サイズ」で［フリーサイズ］以外を選択します。

「出力サイズ」には、印刷目的のサイズ（［名刺］、［L判横］・・・）と画面表示目的のサイズ（［128x128ピクセル］、［640x480ピクセル］・・・）が用意されています。「出力解像度」の初期設定は、印刷目的の場合［300dpi］、画面表示目的の場合は［150dpi］になります。
指定された「出力サイズ」の縦横比率を保ったままクロップ枠を調整することができます。

- 「出力解像度」を変更することはできますが、初期設定のままでお使いいただくことをお奨めします。
- 紙／写真の原稿をスキャンするときの倍率は100%に、フィルムをスキャンするときは約400%に固定されます。倍率は変更できません 。

先頭へ戻る▲

フリーサイズでスキャンする

出力設定の[出力サイズ]で［フリーサイズ］を選択します。
「出力解像度」や倍率を設定したり、クロップ枠を自由に変更できます。

［フリーサイズ］での「出力解像度」のめやすは以下のとおりです。「原稿の種類」は［紙/写真］、倍率は100%の場合です。

原稿の種類	使用目的	「カラーモード」	「出力解像度」
カラー写真	焼き増しをする（プリンタで印刷する）	［カラー］	［300dpi］
	絵はがきを作る	［カラー］	［300dpi］
	パソコンに保存する	［カラー］	［75dpi］ ～ ［300dpi］
	ホームページで使う/Eメールに添付する	［カラー］	［75dpi］ ～ ［150dpi］
モノクロ写真	パソコンに保存する	［グレースケール］	［75dpi］ ～ ［300dpi ］
	ホームページで使う/Eメールに添付する	［グレースケール］	［75dpi］ ～ ［150dpi］
文字原稿	コピーする	［カラー］/ ［グレースケール］/ ［白黒］	［300dpi］
	Eメールに添付する	［カラー］/ ［グレースケール］/ ［白黒］	［300dpi］
	OCR で文字を読み取る	［テキスト（OCR）］	［300dpi］ ～ ［400dpi］

先頭へ戻る▲

適切な出力解像度の例

［紙/写真］のとき

L判（8.9 x 12.7cm）のカラー写真を2倍に拡大して印刷するとき

2倍に拡大して印刷

実際にスキャンする解像度：600dpi

「出力解像度」：300dpi
倍率：200%

印刷時の解像度：300dpi

［フィルム］のとき

35mmカラーフィルム（2.4×3.6cm）をL判（8.9×12.7cm）サイズに拡大して印刷するとき

4倍に拡大して印刷

実際にスキャンする解像度：1200dpi

「出力解像度」：300dpi
倍率：400%

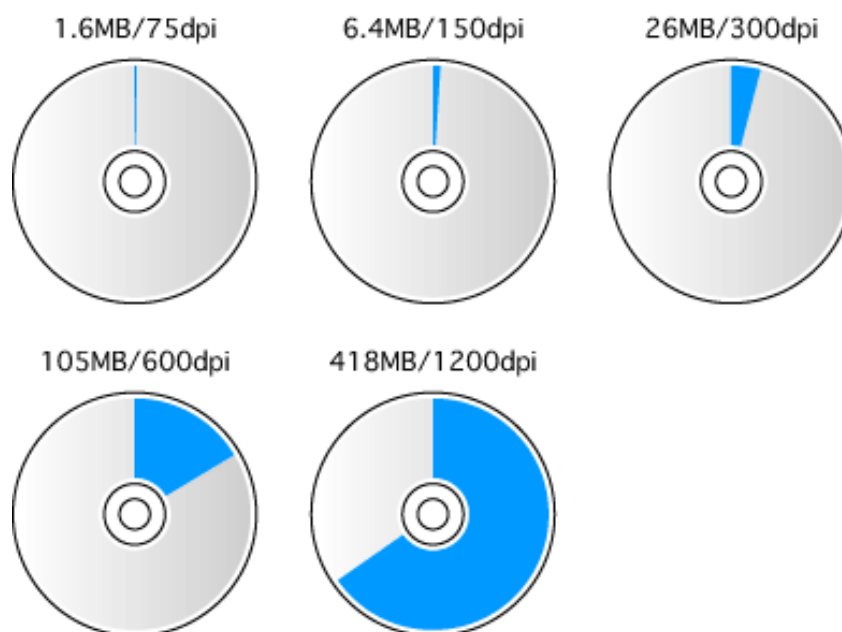
印刷時の解像度：300dpi

解像度とデータ容量

解像度は、スキャンした画像の使用目的に合わせ、必要最小限に設定します。解像度を2倍にすると、データ容量は4倍になります。データ容量があまり増えると、処理速度が極端に遅くなったり、メモリが不足するなどの不都合が生じます。必要以上に解像度を高く設定することは避けてください。

【例】

A4サイズ（21×29.7cm）の原稿を、「カラーモード」［カラー］に設定してスキャンした場合、BMP形式のデータ容量は解像度によって次のように変化します。

下の図は、データ容量をわかりやすくしたイメージ図です。
円は1枚のCD-ROM（640MB）を表現しています。

※ この値はあくまで目安であり、実際のデータ容量は画像によって異なります。

先頭へ戻る▲

スキャン画像を保存するときのファイル形式（ファイルの種類、フォーマット）

スキャンした画像を保存するとき、画像ファイルのファイル形式を選択することができます。スキャンした画像を何に使うのか、どのアプリケーションソフトで扱うのかによってなど、条件に適したファイル形式を指定する必要があります。
アプリケーションソフトや使用するコンピュータ（Windows、Macintosh）によっても、扱うことのできるファイル形式が異なります。
ここでは、各ファイル形式の特徴を紹介します。

BMPファイル

Windows の標準的なビットマップファイル形式です。
Windows のほとんどのアプリケーションソフトが、この形式に対応しています。Windows 上だけで画像ファイルを活用する場合に、よく用いる形式です。
一般に「.bmp 」という拡張子が使われます。
なお、Macintosh のCanoScan Toolbox の場合、このファイル形式は選択できません。

先頭へ戻る▲

PICTファイル

Macintoshの標準的なグラフィックファイル形式です。
Macintoshのほとんどのアプリケーションソフトが、この形式に対応しています。Macintosh上だけで画像ファイルを活用する場合に、よく用いる形式です。
なお、WindowsのCanoScan Toolboxの場合、このファイル形式は選択できません。

先頭へ戻る▲

JPEGファイル

ISOの団体「Joint Photographic Experts Group 」が提唱した画像フォーマットです。
WEB（ホームページ）上や、デジタルカメラの画像でよく使われるファイル形式です。
この形式は圧縮率が高いのが特徴です。もともとのデータサイズの1/10～1/50 の圧縮が可能です。ただし、この形式の圧縮は非可逆圧縮と呼ばれる圧縮のため、圧縮時に一部のデータを消失します。これは最初の状態には戻らない、つまり「画像が少しだけ劣化する」ということです。このため、何度も「ファイルを開いて加工して保存」という作業を繰り返すと、だんだん劣化が目立つようになってきます。
一般に「.jpg 」という拡張子が使われます。
画像タイプが白黒のときには選択できません。

先頭へ戻る▲

Exifファイル

JEIDA(日本電子工業振興協会)によって策定されたファイル形式で、Exchangeable image file format for Digital Still Cameraの頭文字から命名されています。
多くのデジタルカメラで標準的に使用されている形式です。
JPEGファイルに、撮影日や使用カメラの機種名、シャッタースピード、撮影シーンタイプ、コメントなどを付加したもので、JPEGファイルと互換性があります。拡張子も、通常は「.JPG」が使用されます。
ダイレクトプリント機能を持ったプリンタで使用するためには、Exif 2.2以降の形式である必要があります。CanoScan Toolboxでは、この形式のファイルを作成することができます。

先頭へ戻る▲

TIFFファイル

「Tagged Image File Format」の略称です。さまざまなコンピュータ上、アプリケーションソフト上で、比較的互換性の高いファイル形式です。ただし、ファイルの先頭にタグと呼ばれるデータを付加することでファイル形式を拡張できる特徴を持つため、場合によっては互換性のないデータも存在します。
一般に「.tif」という拡張子が使われます。

先頭へ戻る▲

PDFファイル

「Portable Document format」の略称です。PostScript（ページ記述言語）を元にアドビシステムズ社が開発したファイル形式で、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerという閲覧用のソフトウェアを使用して、表示、印刷することができます。
Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerは無償で配布され、さまざまなコンピュータやOSで使用することができるため、OSやフォントなどの使用環境の異なる人同士でも、違いを意識することなくPDF文書をやり取りできます。また、比較的データ容量も小さくなるため、ネットワーク環境での使用に適しています。

先頭へ戻る▲

- PhotoStudio File
  レタッチソフトPhotoStudio独自のファイル形式です。
  Windows版では、.PSFの拡張子が付きます。
  レイヤー*ごとに画像を保存できますが、そのため、JPEGなどの汎用的なファイル形式と互換性はありません。また、他のレタッチソフトでも扱えません。
  PhotoStudio以外のアプリケーションソフトで画像を扱うときは、レイヤーを結合してから、［名前を付けて保存］でJPEGなどの汎用的なファイル形式を指定して、画像をいったん保存します。

  * 別々の透明なシートに描かれた画像を重ね合わせる機能での、透明なシートにあたるものです。

先頭へ戻る▲

困ったときには

スキャナを使っていて動かない、エラーメッセージが表示されるなどのトラブルに対処する方法を紹介します。

先頭へ戻る▲

インストールのトラブル

症状 １：　キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットしてもメニュー画面が表示されない

原因　１：CD-ROMが正しくセットされていない。

対処　　：キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットし直してください。

原因　２：キヤノスキャンセットアップCD-ROMやCD-ROMドライブに、ごみやほこりがついている。または、CD-ROMが手あかなどでよごれている。

対処　１：CD-ROMのごみやほこりは、やわらかい布で軽くはたくか、かるくぬぐって取り除いてください。

対処　２：CD-ROMの手あかなどの汚れは、やわらかい布やめがねクリーナーなどで、CD-ROMに傷を付けないようにかるくぬぐって取り除いてください。

対処　３：CD-ROMドライブのごみやほこりは、カメラレンズ用のブロアブラシなどで吹き飛ばして取り除いてください。

- 絶対にCD-ROMドライブのセンサー部を直接布で拭いたりしないでください。CD-ROMを読み取れなくなることがあります。

原因　３：CD-ROMの自動起動の設定がオフになっているか、何らかの理由で自動起動しない。

対処　　：以下の手順で［キヤノスキャンセットアップ］を直接起動してください。

Windows

1. ［スタート］メニューの［マイコンピュータ］をクリック（Windows XPの場合）、または、デスクトップの［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリック（Windows XP以外の場合）
2. ［CANOSCAN］（CD-ROMドライブ）アイコンをダブルクリック
3. ［SetUp］アイコンをダブルクリック

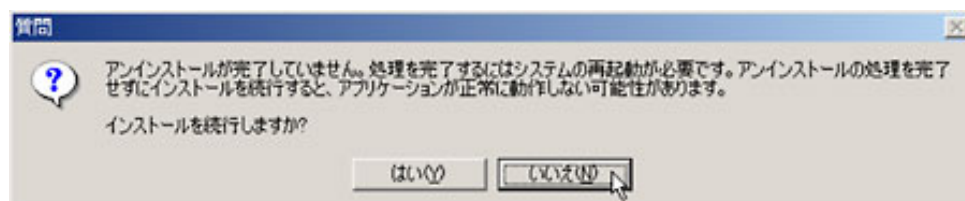
Macintosh

1. デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリック

2.　［SetUp］アイコンをダブルクリック

- ［CANOSCAN］（CD-ROMドライブ）アイコンやCD-ROMアイコン、［SetUp］アイコンが表示されない場合は、CD-ROMドライブが正常に動作していない可能性があります。コンピュータの製造元にお問い合わせください。
- ［CANOSCAN］（CD-ROMドライブ）アイコンをダブルクリックして開いても［SetUp］アイコンが見あたらない場合は、キヤノスキャンセットアップCD-ROMが壊れている可能性があります。お客様相談センターまでお問い合わせください。

先頭へ戻る▲

症状 2：　Windows Adobe Acrobat Readerのインストール時に、［アンインストールが完了していません。・・・］のメッセージが表示された

原因　：　古いバージョンのAdobe Acrobat Readerがハードディスク内に残っている。

対処　：　以下の手順で古いバージョンのAdobe Acrobat Readerを削除してから、インストールします。

1. ［いいえ］ボタンをクリックしてインストールを中止します。
2. メインメニュー画面に戻り、「アンインストール」の［アプリケーションソフトの削除］を選択して古いバージョンのAdobe Acrobat Readerを削除します。
3. メインメニュー画面に戻り、「インストール」を選び、メッセージにしたがってインストールします。

先頭へ戻る▲

症状 3：　インストールの途中で「ハードディスク容量不足」のメッセージが出てインストールできなくなった

原因　：　インストール先のハードディスクドライブが一杯になり、インストールできなくなった。

対処　：　次の操作で十分なハードディスクの空き容量を確保した後、インストールをし直してください。

Windows

- ハードディスクドライブ（C:）内の不要なファイルやアプリケーションソフトを削除します。かならず［ごみ箱］を右クリックして、［ごみ箱を空にする］を実行します。
- ［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］で［ディスククリーンアップ］を選択し、ハードディスクドライブ（C:）の不要なファイルを削除します。

- ハードディスクドライブ（C:）の［Windows］フォルダ（Windows 2000ではWinnt）内の［Temp］フォルダを開き、その中のファイルを削除します。
- Windows 2000/XPでは、ハードディスクドライブ（C:）の［Documents and Settings］→［ログインユーザ名］フォルダを表示させ、［ツール］メニューの［フォルダオプション］→［表示］で［すべてのファイルとフォルダを表示する］をチェックし、［OK］をクリックします。その後、［Local Settings］→［Temp］フォルダ内のファイルを削除します。

Macintosh

- 不要なファイルを選択し、［ファイル］メニューから［ゴミ箱に入れる］を選択し、［Finder］メニューから［ゴミ箱を空にする］を選択します。

先頭へ戻る▲

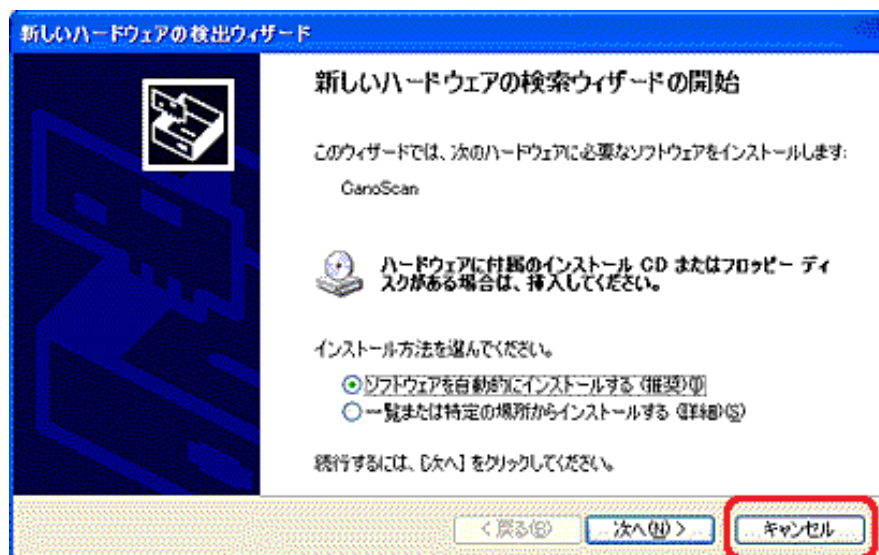
症状 4： 「メモリが足りません...」のメッセージが出てインストールできない

原因	：	作業中のアプリケーションソフトなどでメモリを使用していて、インストールに必要なメモリ容量が確保できない。
対処	：	開いているアプリケーションソフトをすべて閉じるか、コンピュータを再起動して、その直後にインストールし直してください。

先頭へ戻る▲

接続のトラブル

症状 ５： Windows Windowsでスキャナを接続すると、新しいハードウェアの検出ウィザードまたは新しいハードウェアの追加ウィザード画面が表示される

原因	：	キヤノスキャンセットアップCD-ROMでソフトウェアをインストールせずにスキャナを接続した。
対処	：	「新しいハードウェアの検出ウィザード」または「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面の［キャンセル］ボタンをクリックして終了し、キヤノスキャンセットアップCD-ROMでソフトウェアをインストールしてください。

先頭へ戻る▲

症状 ６： いろいろ試してもスキャナが動かない

原因	：	スキャナがコンピュータから認識されていない可能性がある。
対処　１	：	コンピュータを再起動してみてください。 これだけでスキャナが認識され、動作するようになることがあります。

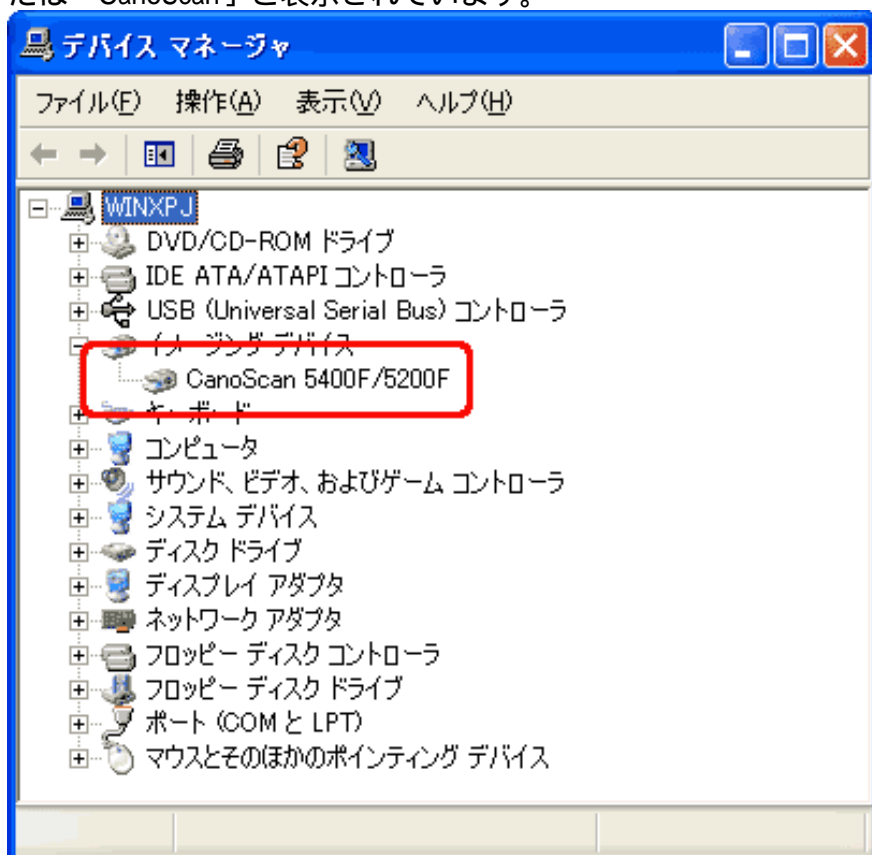
対処　２：スキャナが認識されているかどうかを確認して、対処します。以下の手順をおこなってください。

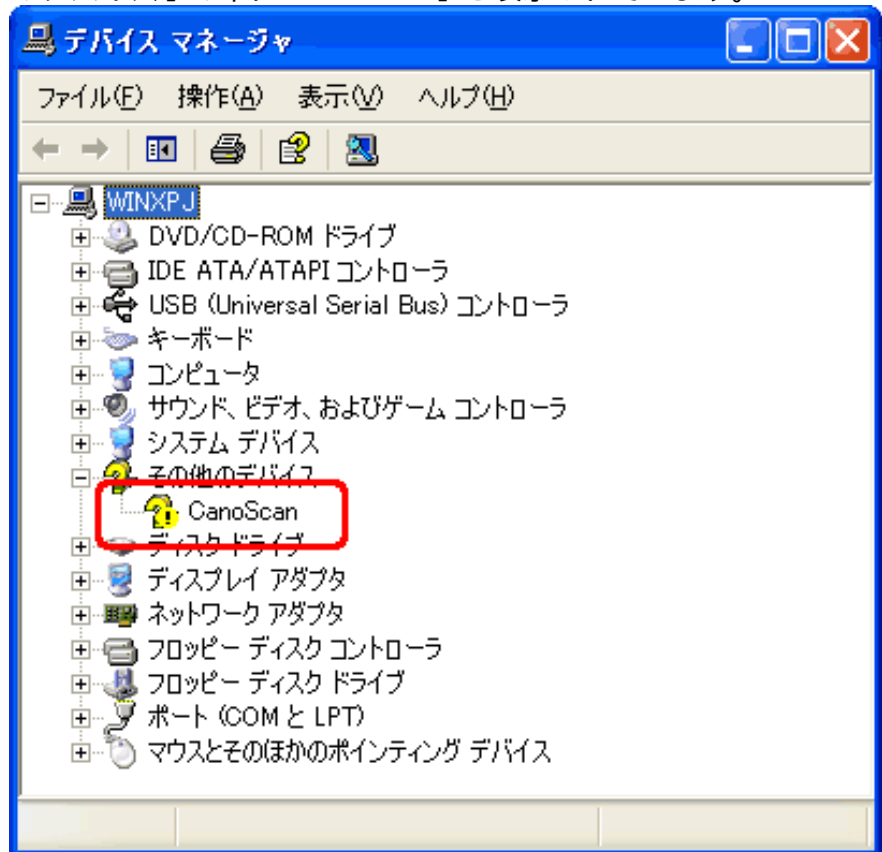
→ Windowsの場合
→ Macintoshの場合

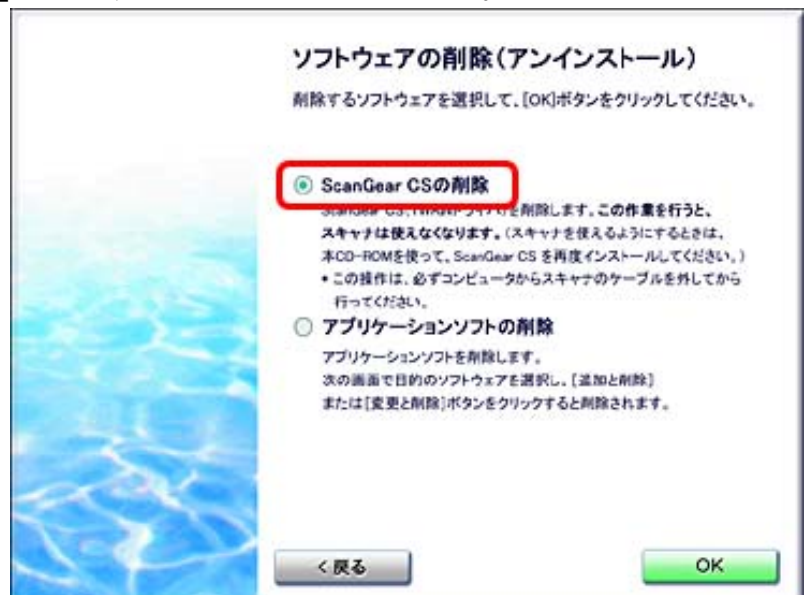
Windows
［手順A　確認］

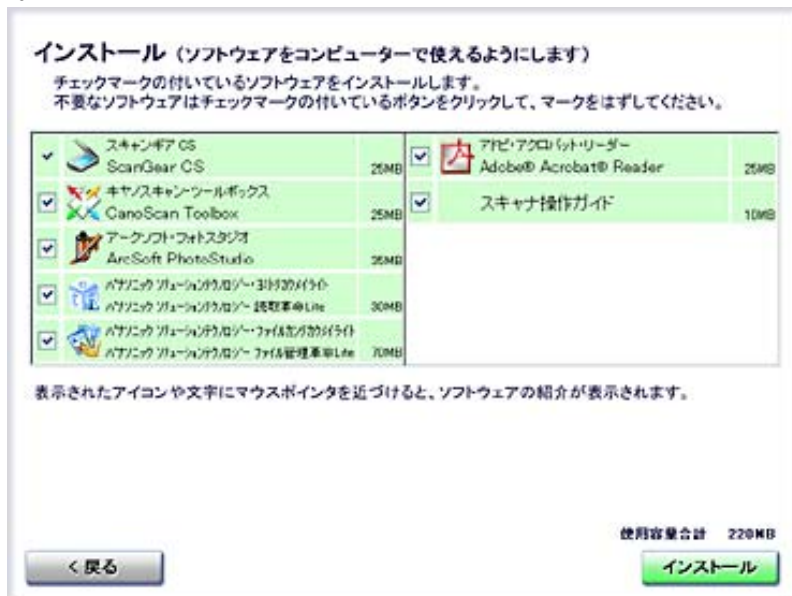
・Windows XPの場合
1.　［スタート］メニューで［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］を選択します。
2.　［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］ボタンを選択します。

・Windows 98/Me/2000の場合
1.　［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、プルダウンメニューから［プロパティ］を選択します。
2.　［デバイスマネージャ］タブ（Windows 98/Meの場合）/［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］ボタン（Windows 2000の場合）を選択します。

● スキャナが認識されているとき
「イメージングデバイス」の下に、お使いのスキャナの機種名または「CanoScan」と表示されています。

● スキャナが認識されていないとき

お使いのスキャナの機種名が表示されません。または、「その他のデバイス」の下に「CanoScan」と表示されています。

［手順B　ScanGear CSの削除］

USBケーブルをはずし、キヤノスキャンセットアップCD-ROMのメインメニュー画面で、「アンインストール」から［ScanGear CSの削除］を選び、ScanGear CSを削除します。

［手順C　ScanGear CSの再インストール］

ScanGear CSをもう一度インストールして、コンピュータを再起動します。

※インストール済みのアプリケーションソフトは、左側のチェックをはずしておきます。チェックをはずすと、インストールされません。

Macintosh

［手順A　確認］

［アプリケーション］フォルダ内の［ユーティリティ］フォルダの［Apple System Profiler］をダブルクリックしてApple システム・プロフィールを起動し、［装置とボリューム］タブで「CanoScan」が表示されていることを確認してください。

※OSにより表示が異なります。

［手順B　ScanGear CSの削除］

USBケーブルをはずし、キヤノスキャンセットアップCD-ROMのメインメニュー画面で、「アンインストール」から［ScanGear CSの削除］を選び、ScanGear CSを削除します。

［手順C　ScanGear CSの再インストール］

ScanGear CSを再インストールして、コンピュータを再起動します。

※インストール済みのアプリケーションソフトは、左側のチェックをはずしておきます。チェックをはずすと、インストールされません。

先頭へ戻る▲

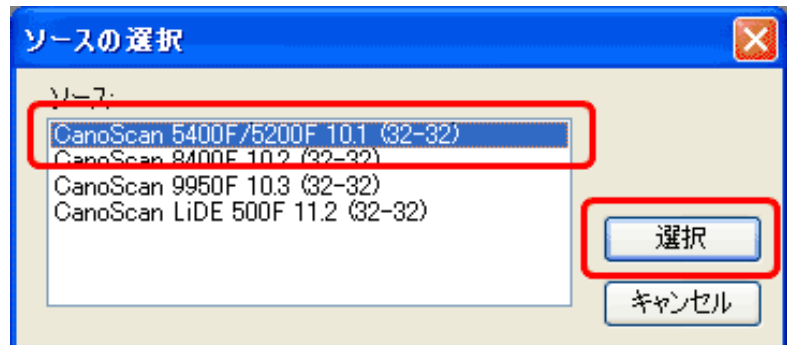
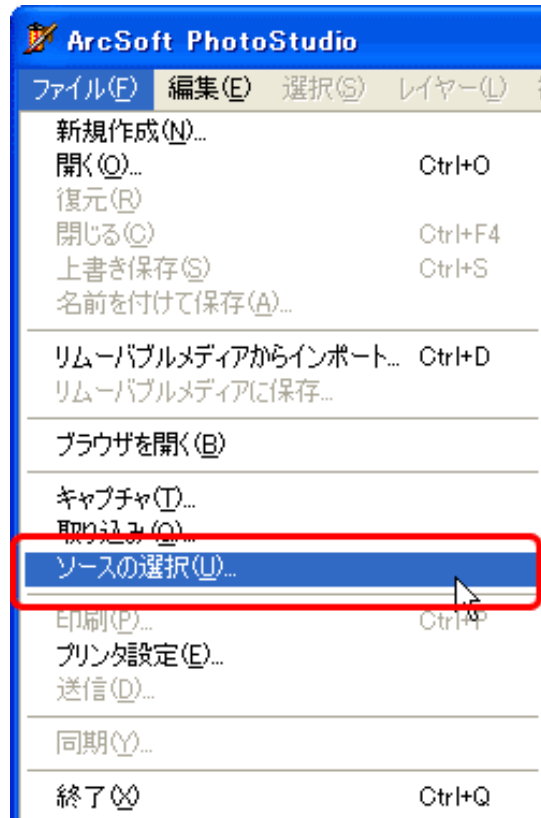
スキャンのトラブル

症状 ７：　ScanGear CSがアプリケーションソフトから呼び出せない

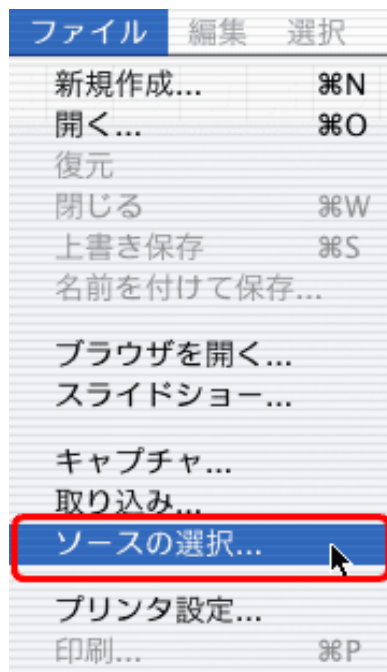
原因　１	：	スキャナドライバScanGear CSがインストールされていない。
対処	：	キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットし、ソフトウェアをインストールしてください。
原因　２	：	アプリケーションソフトでお使いのスキャナが選択されていない。
対処	：	アプリケーションソフトの［ファイル］メニューの［ソースの選択］や［読み込み］などで本スキャナを選択してください。

ScanGear CSメッセージ/
エラーメッセージ一覧

ArcSoft PhotoStudioの例

Windows

* OSにより若干表示が異なります。

 ・ 古いアプリケーションソフトを使用している場合、「ソースの選択」ではなく「TWAIN対応機器の選択」と表示される場合もあります。

Macintosh

原因　３：TWAINに対応していないアプリケーションソフトから呼び出そうとしている。

対処　　：TWAINに対応しているアプリケーションソフトから呼び出してください。

先頭へ戻る▲

症状 ８：　エラーメッセージが表示されてScanGear CSの画面が表示できない

対処　１：電源をオフにしてから、USBケーブルを接続し直してください。かならず、スキャナに同梱されているUSBケーブルをお使いください。

対処　２：USBケーブルをUSBハブなどを介して接続しているときは、コンピュータ本体のUSBポートに直接接続してください。

対処　３：コンピュータ本体に複数のUSB ポートがある場合、他のUSB ポートに差し替えてみてください。

対処　4：ACアダプタを接続し直してください。かならずスキャナに同梱されているACアダプタをお使いください。
あるいは、スキャナの電源スイッチがオンになっているか確認してください。

対処　5：キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットし、ソフトウェアをインストールしてください。

対処　6：アプリケーションソフトの「ソース選択」や「読み込み」の手順で、お使いのスキャナ名称を選択してください。

対処　7：アプリケーションソフトがTWAINに対応していることを確認してください。TWAINに対応していないアプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出すことはできません。

先頭へ戻る▲

症状９：　プレビューしようとしたら「ロックスイッチを解除し、・・・」というエラーメッセージが表示され、プレビューできない

原因　　：スキャナ本体のロックが解除されていない。

対処　　：一旦ソフトを終了させてから、ロックを解除してUSBケーブルを接続し直してください。ロック解除の方法は、マニュアル「まず使えるようにしよう スキャナ基本ガイド」を参照してください。

先頭へ戻る▲

症状１０：　スキャンの途中でコンピュータが動かなくなった

原因　1：「出力解像度」の設定が高すぎる。

対処　　：コンピュータを再起動し、「出力解像度」を下げてスキャンし直してください。

原因　2：ハードディスクの空き容量が少ない。

対処　1：コンピュータをリセットして再起動し、不要なファイルやアプリケーションソフトを削除してからスキャンし直してください。不要なファイルの削除方法は、「症状３」の対処をご参照ください。

対処　2：アプリケーションソフトからScanGear CSを開き、「拡張モード」の［詳細設定］ボタンをクリックして、［テンポラリファイルの保存先フォルダ］を空き容量が十分あるドライブに変更してください。

対処　3：Toolboxの「設定」画面を開き、「テンポラリファイルの保存先フォルダ」を十分な空き容量のあるドライブに変更してください。

原因　3：複数の機器をUSBポートに接続している。

対処　　：スキャナ以外の機器を外してお使いください。

先頭へ戻る▲

症状１１：　EZボタンが使えない

原因　　：必要なソフトウェアがインストールされていない。

対処　１：キヤノスキャンセットアップCD-ROMを使用して、すべてのソフトウェアを再インストールしてください。

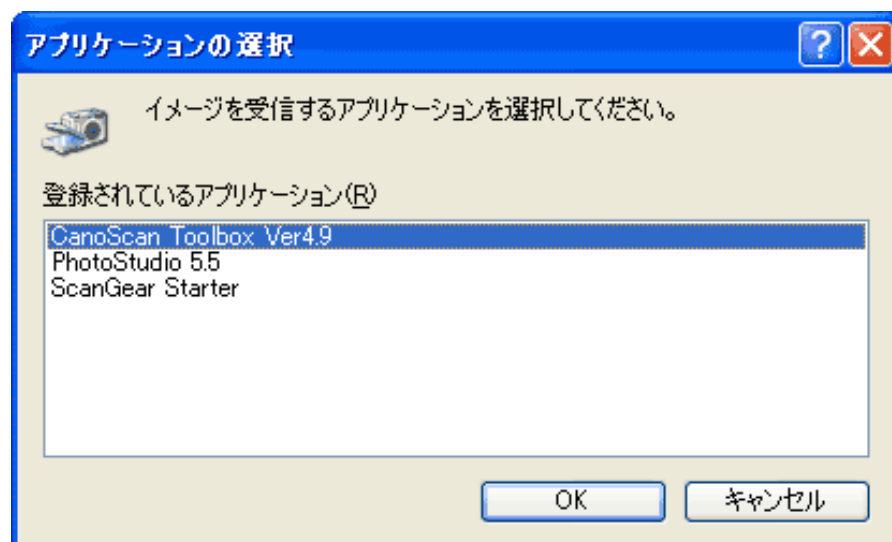
対処　２：COPY（コピー）ボタンを使用するには、ご使用のプリンタのプリンタドライバをインストールします。プリンタが正常に動作するかチェックしてください。

対処　３：E-MAIL（Eメール）ボタンを使用するには、下記のいずれかをインストールします。

Windows Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger
（メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）

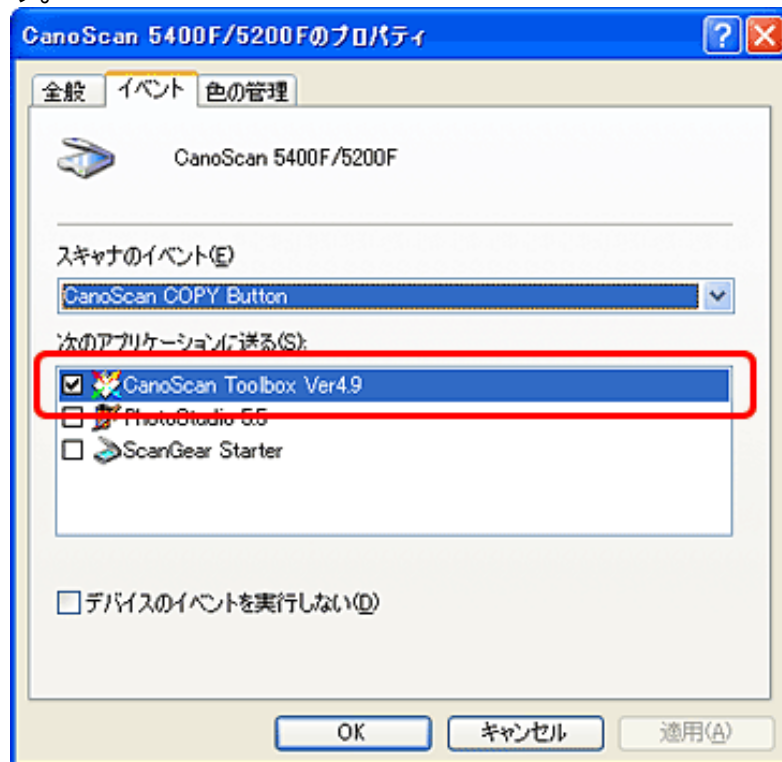
Macintosh Mail、EUDORA、MS Entourage

先頭へ戻る▲

症状１２：　EZボタンを押したら「アプリケーションの選択」画面が表示された

原因　　：「まず使えるようにしよう スキャナ基本ガイド」の手順通りにソフトウェアをインストールしなかった、あるいは何らかの理由で設定が変わってしまった。

対処　１：Windows

1. ［スタート］メニューの［コントロールパネル］を開き、［スキャナとカメラ］アイコンをダブルクリックします。
2. ［CanoScan 5400F/5200F］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

3. ［イベント］タブをクリックし、各EZボタン毎に起動するアプリケーションソフトだけにチェックマークを付けます。
   - 通常はCanoScan Toolboxだけにチェックマークを付けます。

4. ［適用］ボタンをクリックします。
5. ［OK］ボタンをクリックします。

対処　２：症状１３の、「アプリケーションの設定」の設定方法を行ってください。

先頭へ戻る▲

症状１３：　EZボタンを押したりCanoScan Toolboxのボタンでスキャンすると別のアプリケーションソフトに画像が渡される

原因　　：CanoScan Toolboxでの設定が変更されている。

対処　１：CanoScan Toolboxの設定を変更してください。
EZボタンに連動しているソフトウェアはCanoScan Toolboxで管理しています。キヤノスキャンセットアップCD-ROMからすべてのソフトウェアをインストールした直後は、COPYボタンにはプリンタで印刷、SCANボタンにはArcSoft PhotoStudio、PDFボタンにはファイル管理革命Lite (Windows)/Adobe Acrobat Reader (Macintosh)、E-MAILボタンにはメールの機能が割り当てられていますが、CanoScan Toolboxの設定を変えると、別のソフトウェアをリンク(登録)させることができます。

「アプリケーションの設定」の設定方法

CanoScan ToolboxのOCR、PDF、スキャン-1/-2では、スキャンした画像の渡し先のアプリケーションソフトを設定できます。「アプリケーションの設定」でアプリケーションソフトを登録してください。

アプリケーションソフトを設定する方法

■方法１
CanoScan ToolboxのOCR、PDF、スキャン-1/-2の、「アプリケーションの設定」で［設定］ボタン（Macintoshの場合は［選択］）をクリックし、目的のアプリケーションソフトを選んで、［開く］ボタンをクリックします 。
目的のアプリケーションソフトは、かならず実行可能なファイルを設定してください。

■方法２
デスクトップやスタートメニュー（Windowsのみ）、フォルダにある、実行可能ファイルか、そのショートカット（エイリアス）アイコンを、「アプリケーションの設定」にドラッグ・アンド・ドロップすることで、登録できます。

- 設定したアプリケーションソフトによっては動作しないことがあります。
- アプリケーションソフトによっては、ショートカット/エイリアスを設定すると、動作しないことがあります。

Windows
アプリケーションソフトは多くの場合、［Program Files］フォルダの下に、会社名やアプリケーションソフト名のフォルダが作成され、その中に格納されています。「.exe」の拡張子が付けられています*。そのファイルをダブルクリックして、実際に起動することをあらかじめ確かめておきます。
* 拡張子が表示されないときは、ファイルエクスプローラーの［ツール］－［フォルダオプション］－［表示］で、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」から、チェックマークをはずします。

Macintosh
アプリケーションソフトは多くの場合、［アプリケーション］フォルダの下に、会社名やアプリケーションソフト名のフォルダが作成され、その中に格納されています。Macintoshでは、拡張子は付けられませんので、アイコンなどを頼りに実行可能ファイルを探します。そのファイルをクリック/ダブルクリックして、実際に起動することをあらかじめ確かめておきます。
* フォルダもアイコン化されていることがあります。注意してください。

設定されているアプリケーションソフトの設定を解除したい場合

［設定の解除］ボタンをクリックします。設定の解除を確認する画面が表示されたら、［はい］ボタン（Macintoshの場合は［OK］ボタン）をクリックします。

先頭へ戻る▲

症状１４：　きれいにスキャンできない（ディスプレイに表示された画像がきたない）

原因　１：スキャン解像度が低い。

対処　　：画像が粗い場合は、スキャン解像度を上げてください。
くわしくは、「もっと上手にスキャンする」の解像度の決めかたを参照してください。

原因　２：アプリケーションソフトの仕様による。

対処　　：アプリケーションソフトによっては、画面表示が小さいと画像がきれいに表示されないものがあります。画面表示を等倍（100%）に設定してみてください。

原因　３：モアレ（縞模様など）が発生しているため。

対処　　：印刷物をスキャンしたとき縞模様が出る場合は、ScanGear CSの「拡張モード」で「モアレ低減」をオンにしてみてください。
設定方法は、「拡張モード」／画像設定の「モアレ低減」を参照してください。

- デジタルプリント写真をスキャンしたときも、モアレが発生する場合があります。

原因　４：ディスプレイの表示色数が低い。

対処　　：ディスプレイの表示色を16ビット以上に設定してください。

Windows
［コントロールパネル］→［画面］→［設定］で画面のプロパティを表示してディスプレイの表示色を［中（16ビット）］または［High Color（16 ビット）］以上に設定してください。

Macintosh
［システム環境設定］の画面で［ディスプレイ］アイコンをクリックし、［ディスプレイ］タブの［カラー］で［約32000色］以上に設定してください。

原因　５：原稿台ガラスや原稿台カバーが汚れている。

対処　　：「安全にお使いいただくためには」の「日常のお手入れ」の手順にしたがって、清掃してください。

原因　６：キャリブレーションデータの更新が必要になった。

対処　　：ScanGear CS の「拡張モード」で、画像設定の「キャリブレーション設定」にある「キャリブレーション」の［実行］ボタンをクリックします。

原因　７：原稿にごみがついていたり、褪色していたりで、原稿の状態が悪い。

対処　　：ScanGear CSの「拡張モード」の画像設定で「ごみ傷低減」、「褪色補正」、「粒状感低減」など、補正してスキャンしてください。

・ディスプレイに表示された画像に問題がないのに、プリンタで印刷したときに、画質が悪くなったり余白が出てしまう場合は、プリンタの設定を変更する必要があります。あるいは、プリンタにトラブルがあることが考えられます。
詳しくは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

先頭へ戻る▲

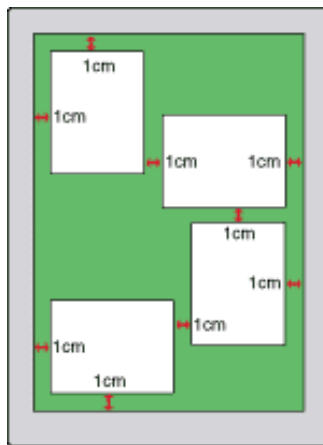
症状１５：　スキャンした画像の周囲に余白ができる

原因	：	原稿より広くスキャン範囲を指定した。
対処	１：	スキャンする範囲を指定してください。 ScanGear CSのオートクロップボタンをクリックすると、原稿サイズを自動的に範囲指定します。写真などで原稿の周囲に白い縁がある場合や範囲設定したい場合は、手動で範囲指定してください。手動の範囲指定の方法は、「プレビューエリア」をお読みください。
対処	２：	EZボタンからスキャンするときは、CanoScan Toolboxの「原稿サイズ」の設定を変えてください。 EZボタンを押し、スキャン進行ダイアログが表示されているときに［キャンセル］ボタンを押します。CanoScan Toolbox の設定ダイアログが表示されますので、「原稿サイズ」を選択し直します。規定サイズ以外の原稿の場合は、［ユーザー設定］を選択し縦横のサイズを指定します。その後、［スキャン］ボタンをクリックし、スキャンします。 詳細は、「原稿サイズ」をお読みください。

先頭へ戻る▲

症状１６：　「マルチスキャン」、「マルチクロップ」でうまくスキャンできない

原因	１：	写真を置く位置がサポート外の場所である。
対処	：	スキャナの原稿台に写真を置く位置を確認してください。 「マルチスキャン」、「マルチクロップ」を行うときは、次のことにご注意ください。

- 以下のそれぞれの間隔は1cm以上にしてください。
  - 原稿と原稿の間
  - 原稿台の左右の端と写真の間
  - 原稿台の奥の端と原稿の間
  - 原稿台の手前（EZボタン側）の端と原稿の間
- 原稿の枚数の制限は10枚です。
- 原稿がわずかに斜めになっていても斜度が10度以内ならば自動的に補正されます。

- マルチスキャンでは写真などの四角い原稿のみをサポートしています。
  長方形以外の変型した原稿（いろいろな形に切りぬいた写真など）は正しく認識できません。

マルチスキャンについての詳細は、こちらをお読みください。
「マルチクロップ」についての詳細は、こちらをお読みください。

原因　２：	アプリケーションソフトの仕様による。
対処　　：	アプリケーションソフトによっては、複数の画像を連続して受け取れないものがあります。この場合は、マルチスキャン、「マルチクロップ」機能を使わずに1枚ずつスキャンしてください。

原因　３：	原稿台ガラスや原稿台カバーが汚れている。
対処　　：	「安全にお使いいただくためには」の「日常のお手入れ」の手順にしたがって、清掃してください。

先頭へ戻る▲

症状１７：　スキャンに時間がかかる

原因　１：	必要以上に解像度を高くしてスキャンしている。
対処　　：	「出力解像度」は、画面で見る時は150dpi、プリンタで印刷するときは300dpi程度に設定します。

原因　２：	ScanGear CSで、「褪色補正」や「粒状感低減」などの設定をしている。
対処　　：	「褪色補正」や「粒状感低減」などの設定を［OFF］にしてください。

先頭へ戻る▲

症状１８：　Macintosh 「メモリが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない

原因　　：	使用中のアプリケーションソフトなどでメモリを使用しているため、スキャンに必要なメモリ容量が確保できない。
対処　　：	起動中のアプリケーションソフトを終了してから、もう一度実行してください。

先頭へ戻る▲

ソフトウェアのトラブル

症状１９： CanoScan Toolboxで使用しているメールソフトが、Eメールソフトの選択画面に表示されない

原因　：　そのメールソフトが、CanoScan Toolboxで標準的には使用できないソフトである。

対処　：　送信メールに画像ファイルを自動で添付する機能は、以下のメールソフトのみに対応しています。

Windows

- Outlook Express
- Microsoft Outlook
- EUDORA
- Netscape Messenger

メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。

Macintosh

- Mail
- EUDORA
- MS Entourage

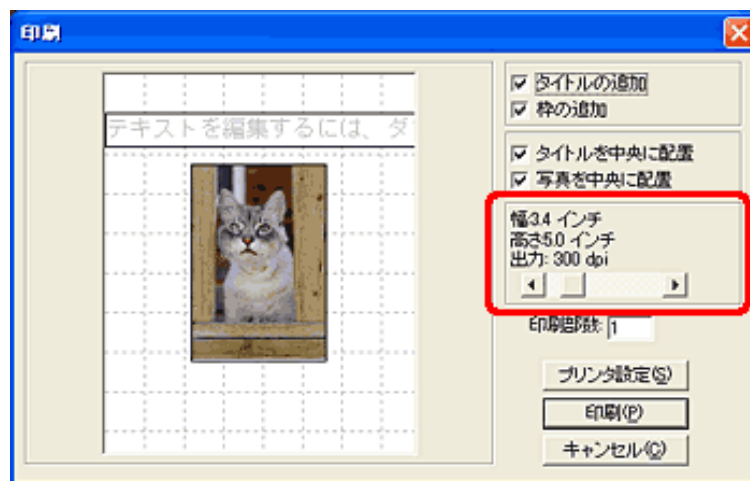
上記以外のメールソフトをお使いの場合、Eメールソフトの選択画面で「なし(手動で添付)」を選択し、画像ファイルを送信メールに手動で添付してください。

先頭へ戻る▲

症状２０： スキャンした画像が大きく（小さく）印刷される

対処　：アプリケーションソフトで印刷する大きさを設定してください。

■ArcSoft PhotoStudioの場合

1. 印刷したい画像を選択した状態で、［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
2. 「印刷」ダイアログで、印刷サイズのスライダを左右に動かして、印刷サイズを調整します。左側のプレビュー表示が連動して拡大／縮小します。

先頭へ戻る▲

症状２１： スキャンした画像が、コンピュータの画面で大きく（小さく）表示される

対処　１：アプリケーションソフトで、画像表示を拡大（縮小）編集してください。ただし、ペイント、Imagingで画像を開くと、大きく表示されるときがあり、縮小できません。この場合は、付属のアプリケーションソフトで開いてください。
詳しい操作方法については、各アプリケーションソフトの電子マニュアルをご参照ください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

対処　２：スキャナドライバで、解像度を変更してスキャンし直してください。解像度が高いと大きく表示され、低いと小さく表示されます。
詳しい設定方法については、このスキャナ操作ガイドの「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」をご覧ください。

対処　３：アプリケーションソフトによっては、画面表示が小さいと画像がきれいに表示されないものがあります。画面表示を等倍（100%）に設定してください。

先頭へ戻る▲

症状２２： スキャンした画像が開けない

対処　：　ファイル形式がアプリケーションソフトに対応していません。ArcSoft PhotoStudioなどのアプリケーションソフトで再スキャンし、JPEGなどの一般的なファイル形式で保存し直してください。
詳しい操作方法については、各アプリケーションソフトの電子マニュアルをご参照ください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

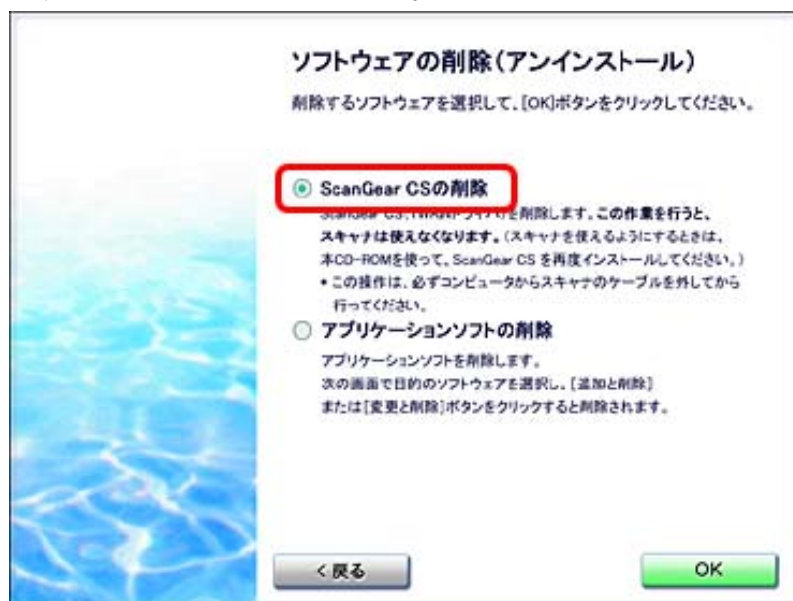
先頭へ戻る▲

症状２３： これまで使っていたWindowsをWindows XPにアップグレードしたらスキャナが動かなくなった

原因　：　スキャナのドライバがインストールしてある場所がこれまでのWindows 98/Me/2000とWindows XPとでは異なる。

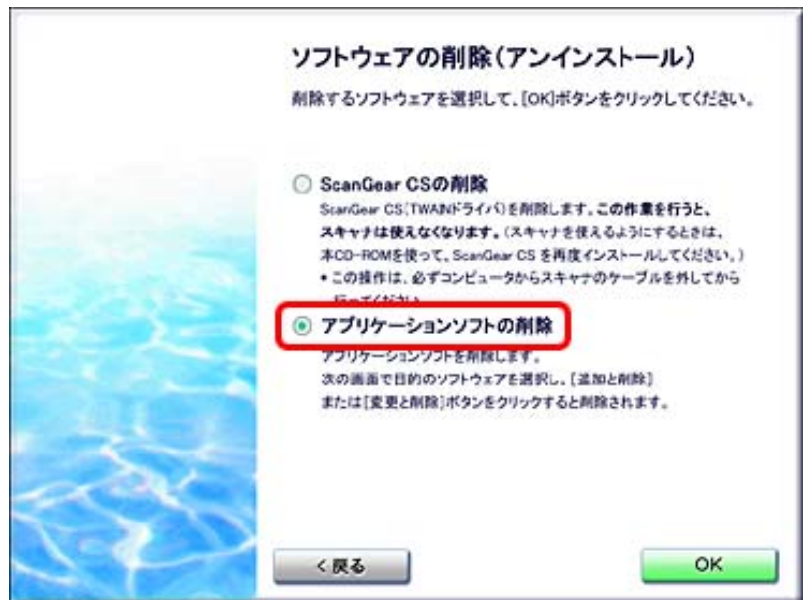
対処　：　接続しているケーブルをはずし、ScanGear CSとCanoScan Toolboxをいったんアンインストール（削除）してから、再インストールします。

［手順　ScanGear CSの削除］

キヤノスキャンセットアップCD-ROMのメインメニュー画面で、「アンインストール」から［ScanGear CSの削除］を選び、ScanGear CSを削除します。

［手順　CanoScan Toolboxの削除］

次のどちらかの方法で削除します。

・スタートボタンからの削除
［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.9］→［CanoScan Toolbox 4.9のアンインストール］を選びます。

・セットアップCD-ROMからの削除
キヤノスキャンセットアップCD-ROMのメインメニュー画面で、［アンインストール］から［アプリケーションソフトの削除］を選び、［Canon CanoScan Toolbox 4.9］を選択します。

［手順　ScanGear CS、CanoScan Toolboxの再インストール］

「まず使えるようにしよう スキャナ基本ガイド」のP.4〜5の手順でソフトウェアを再インストールしてください。

先頭へ戻る▲

フィルムスキャンのトラブル

症状２４：　フィルムのスキャンができない

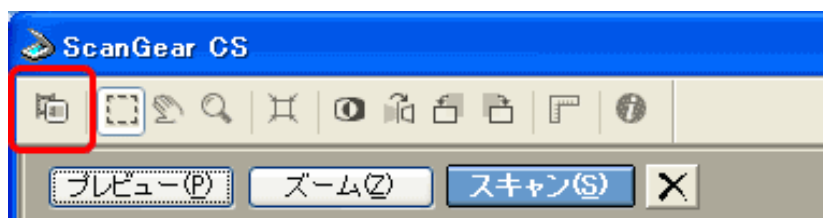
原因	１：	フィルム読み取り用のFAU ケーブルが外れている。
対処	：	原稿台カバーのFAUケーブルをスキャナ背面のFAUコネクタに接続し直してください。
原因	２：	保護シートを取り外していない。
対処	：	原稿台カバー内側の保護シートを上方向にスライドし、取り外してください。
原因	３：	フィルムガイドを置く位置がずれている。
対処	：	フィルムガイドを、スキャナの原稿台の正しい位置にセットしてください 。
原因	４：	原稿台カバーを閉じていない。
対処	：	原稿台カバーを正しく閉じてください。
原因	５：	キャリブレーション用窓がふさがっている。
対処	：	フィルムガイドのキャリブレーション用窓をフィルムやその他のものでふさがないようにしてください。
原因	６：	ScanGear CS（スキャナドライバ）やCanoScan Toolboxがフィルムスキャンの設定になっていない。
対処	１：	ScanGear CSの「原稿の種類」で［ネガフィルム（カラー）］または［ポジフィルム（カラー）］（「基本モード」）／「原稿の種類」で［カラーネガフィルム］、［カラーポジフィルム］、［モノクロネガフィルム］または［モノクロポジフィルム］（「拡張モード」）を選択してください。
対処	２：	CanoScan Toolbox の「原稿の種類」で［フィルム］または［自動判別］を選択してください。
原因	７：	内部の蛍光ランプが充分に暖まっていない。
対処	：	内部の蛍光ランプが点灯後、1～2分待ってからもう一度プレビューを行い、スキャンしてください。

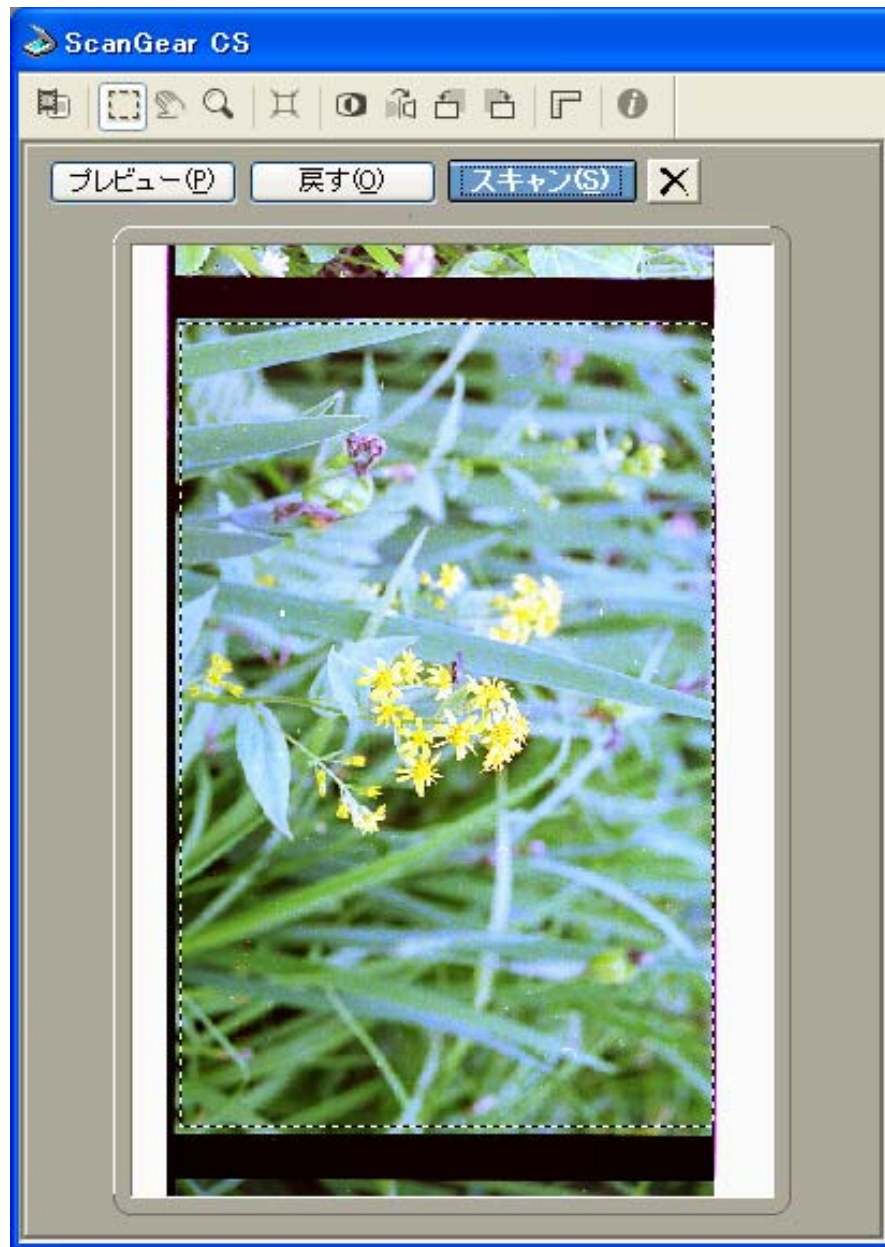
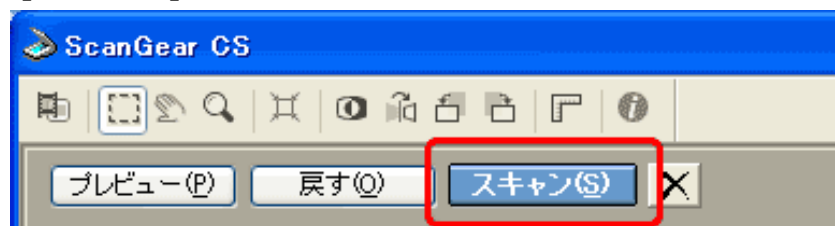
原因	８：	設定した解像度が高すぎて、スキャンの途中で止まる。
対処	：	適切な「出力解像度」を設定し、スキャンし直してください。 コンピュータが動かなくなったときは、コンピュータを再起動してからおこなってください。

先頭へ戻る▲

症状２５：　プレビュー後、正常にサムネイル表示されない

原因	：	非常に暗いシーンや非常に明るいシーンのフィルムまたはフィルムまたはフィルムのコマの間隔が非常に狭いフィルム（通常の間隔は2mm程度）をスキャンしようとしている。
対処	：	ScanGear CSでプレビューしたときに、正常にサムネイル表示されない場合は、以下の手順を行ってください。（ここでは「拡張モード」の例を紹介しています。「基本モード」でも同じようにできます。）

1. サムネイルボタンをクリックし、サムネイル非表示にします。

2. フィルム全体と周囲が表示されます。

3. クロップ枠で必要な範囲を指定します。
このとき［ズーム］ボタンを利用すると、範囲指定を正確にできます。

4. ［スキャン］ボタンをクリックしてスキャンします。

先頭へ戻る▲

症状２６： きれいにスキャンできない、適切な色合いでスキャンできない（ディスプレイに表示された画像がきたない）

原因　１： 原稿台ガラス面やフィルム用光源ユニットの光源部にほこりや汚れが付着している。

対処　　： 原稿台ガラス面やフィルム用光源ユニットの光源部の汚れをきれいに取り除いてください。「安全にお使いいただくためには」の「日常のお手入れ」の手順にしたがって、清掃してください。

原因　２： キャリブレーションデータの更新が必要になった。

対処　：ScanGear CS の「拡張モード」で、画像設定の「キャリブレーション設定」にある「キャリブレーション」の［実行］ボタンをクリックします。

原因　3：フィルムにごみがついていたり、褪色していたりで、原稿の状態が悪い。

対処　：ScanGear CS の「拡張モード」の画像設定で「ごみ傷除去」、「褪色補正」、「粒状感低減」など、補正してスキャンしてください。

・ディスプレイに表示された画像に問題がないのに、プリンタで印刷したときに、画質が悪くなったり余白が出てしまう場合は、プリンタの設定を変更する必要があります。あるいは、プリンタにトラブルがあることが考えられます。
詳しくは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

原因　4：フィルムマウントが白色のとき、その照り返し光が映り込む。

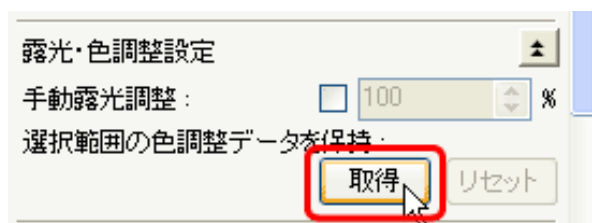
対処　：マウントを黒色にするか、黒い枠などでマウント部を覆ってください。

先頭へ戻る▲

症状２７：　クロップ枠を移動、拡大・縮小すると、色味がおかしくなる

原因　：クロップする大きさや場所により、適切な色調整データにならない。

対処　：ScanGear CSの「拡張モード」で、次のことを行ってください。

1. ［プレビュー］ボタンをクリックして、再度プレビューする。
2. サムネイル表示になっていることを確認します。
サムネイル非表示のときは、サムネイルボタンをクリックして、サムネイル表示にします。
3. 「選択範囲の色調整データを保持」の［取得］ボタンをクリックします。

4. クロップ枠を指定します。
5. ［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンします。

先頭へ戻る▲

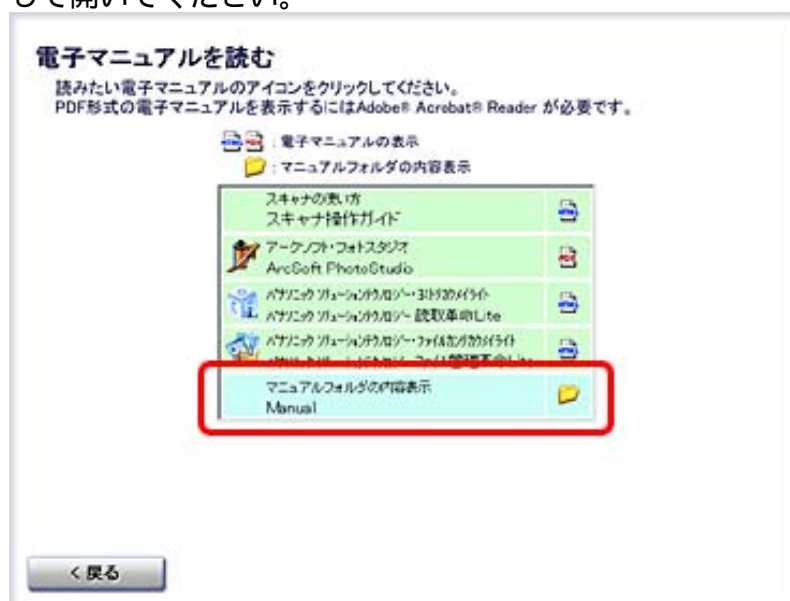
症状２８：　コマを正しく認識できない

原因	：	フィルムの位置がずれている。
対処	：	フィルムを白線で示した基準位置より手前に置き、フィルムのコマがフィルムガイドに隠れないように、フィルムの位置をセットし直してください。

先頭へ戻る▲

その他のトラブル

症状２９： Windows キヤノスキャンセットアップCD-ROMの「マニュアル表示」で目的のマニュアルをクリックしても表示されない

対処　：「電子マニュアルを読む」の［マニュアルフォルダの内容表示］をクリックし、目的のマニュアルアイコンを直接ダブルクリックして開いてください。

先頭へ戻る▲

症状３０： Windows CanoScan Toolboxのコピーボタン、プリントボタンで、複数枚指定したときに、2枚目以降正しく印刷できない

原因	：	プリンタドライバのバージョンが低い、またはプリンタ自体に問題がある。
対処　１	：	プリンタドライバを最新のものへアップデート
対処　２	：	プリンタのサポート先へ問い合わせ 詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧下さい。

先頭へ戻る▲

ScanGear CSメッセージ/エラーメッセージ一覧

メッセージ 1

100MBを超える大きな画像をスキャンしようとしています。この容量の画像をスキャンすると、PCに大きな負担をかけたり、アプリケーションソフトによっては、画像を受け取れない場合があります。
続行しますか？

原因　　：スキャンした画像の容量が100MB を超える。
対処　　：解像度あるいは選択範囲を小さくしてスキャンし直します。

先頭へ戻る▲

メッセージ 2

スキャナ本体にエラーが発生しました。
操作説明書に従った処理を実行してください。
スキャナドライバを終了します。(Code : XX)

原因　1：スキャナが接続されていない。
対処　　：スキャナとコンピュータが正しく接続されているか確認してください。

原因　2：ScanGear CSが正常にインストールされていない。
対処　　：ScanGear CSを削除し、再インストールしてください。
ScanGear CSの削除の方法はWindowsはこちら、Macintoshはこちらをお読みください。

原因　3：スキャナ本体が故障している。
対処　　：コンピュータを再起動し、スキャナを接続し直してください。それでも同じエラーメッセージが表示される場合は、お客様相談センターまでご連絡ください。

先頭へ戻る▲

メッセージ 3

スキャナとの通信ができません。ケーブルが外れているか、電源が入っていない可能性があります。
スキャナの状態を確認してください。
スキャナドライバを終了します。

原因　1：ScanGear CS の起動時に、スキャナが認識できなかった。
対処　1：USB ケーブルの接続をチェックしてください。
対処　2：USB ケーブルを接続し直します。

原因　2：ScanGear CSが正常にインストールされていない。
対処　　：ScanGear CSを削除し、再インストールしてください。

先頭へ戻る▲

メッセージ 4

メモリを確保できません。
使用可能なメモリ領域を増やしてください。
スキャナドライバを終了します。

原因 ： ScanGear CSの起動に必要なメモリが確保できなかった。
対処 ： 他のアプリケーションソフトを終了させます。

先頭へ戻る▲

メッセージ 5

必要なファイルがないか壊れている、または設定が正しくありません。
再インストールしてください。
スキャナドライバを終了します。

原因 ： ScanGear CSの起動に必要なファイルが見あたらないか壊れている。
対処 ： ScanGear CSを削除し、再インストールします。

先頭へ戻る▲

メッセージ 6

ロックスイッチを解除し、I/Fケーブルを抜いて、接続し直してください。
スキャナドライバを終了します。

原因 ： スキャナのロックスイッチがロックされた状態で使おうとした。
対処 ： スキャナのロックスイッチを解除します。スキャナのロックスイッチを解除してもメッセージが表示される場合は、スキャナが故障している可能性があります。お客様相談センターまでご連絡ください。

先頭へ戻る▲

メッセージ 7

読み取りを完了するために必要なディスクの空き容量がありません。
スキャナドライバを終了します。

原因 ： スキャンに必要な空きディスク容量がハードディスク内にない。
対処 ： ハードディスク内の不要なファイルを削除してスキャンし直します。

先頭へ戻る▲

メッセージ 8

メモリが足りません...

原因 ： 使用中のアプリケーションソフトなどでメモリを使用しているため、スキャンに必要なメモリ容量が確保できない。
対処 ： 起動中のアプリケーションソフトを終了してから、もう一度実行してください。

先頭へ戻る▲

メッセージ 9

アプリケーションが48ビットカラーもしくは16ビットグレースケールに対応していなければ、画像を転送することはできません。
また、これに対応しているアプリケーションでも、読み取りサイズによっては画像を受け取れないことがあります。続けますか？

原因　：　48ビットカラーのスキャンを行なおうとしている。

対処　：　48ビットカラーに対応していないアプリケーションソフト（CanoScan Toolboxなど）をご使用の場合には、［キャンセル］を選び、「カラーモード」で［カラー］または［グレースケール］を選んで、再度スキャンしてください。

先頭へ戻る▲

索引

- 数字
- A
- C
- E
- O
- P
- S
- V
- W
- ア行
- カ行
- サ行
- タ行
- ナ行
- ハ行
- マ行
- ヤ行
- ラ行

索引

数字

先頭へ戻る▲

A

先頭へ戻る▲

C

先頭へ戻る▲

E

先頭へ戻る▲

O

先頭へ戻る▲

P

先頭へ戻る▲

S

先頭へ戻る▲

V

先頭へ戻る▲

W

先頭へ戻る▲

ア行

先頭へ戻る▲

カ行

先頭へ戻る▲

サ行

先頭へ戻る▲

タ行

先頭へ戻る▲

ナ行

先頭へ戻る▲

ハ行

先頭へ戻る▲

マ行

先頭へ戻る▲

ヤ行

先頭へ戻る▲

ラ行

先頭へ戻る▲

CanoScan 5400F スキャナ操作ガイド

このガイドの使いかた

Webブラウザの準備

このスキャナ操作ガイドは、Webブラウザでご覧いただくように作られています。ただし、ご使用になるWebブラウザによっては、文章や画像の表示が異なることがあります。次にあげるような条件でご覧になることをおすすめします。

Windows

- Microsoft Internet Explorer 5.0以上
- ディスプレイの表示解像度は800 x 600ピクセル以上
- ディスプレイの色数はHigh Color以上

Macintosh

- Mac OS X v10.2
  - Microsoft Internet Explorer 5.2

  Mac OS X v10.3以降
  - Microsoft Internet Explorer 5.2
  - Safari 1.2以上
- ディスプレイの表示解像度は800 x 600ピクセル以上
- ディスプレイの色数は32,000以上

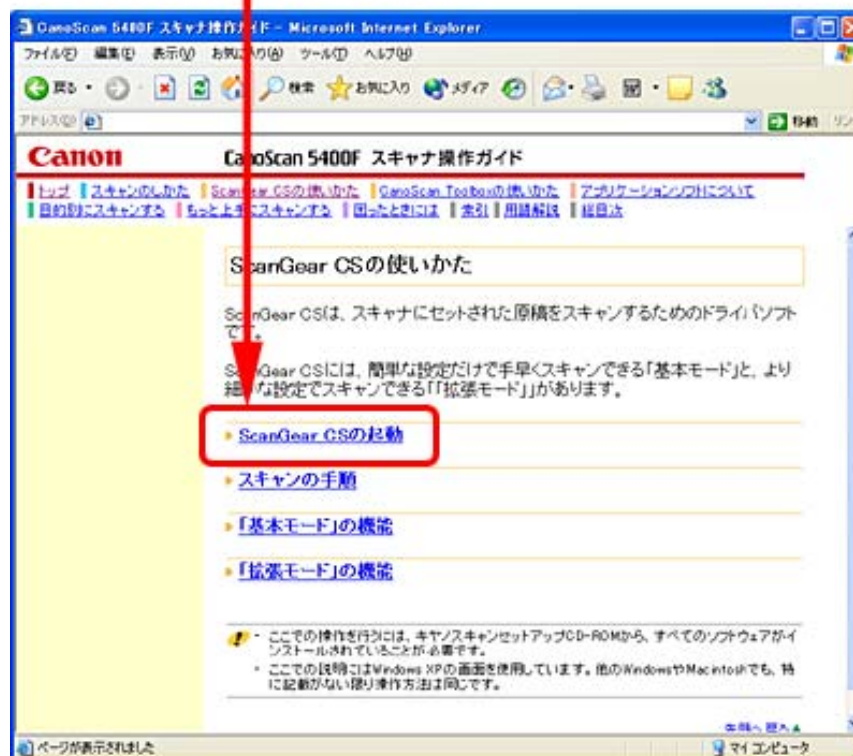
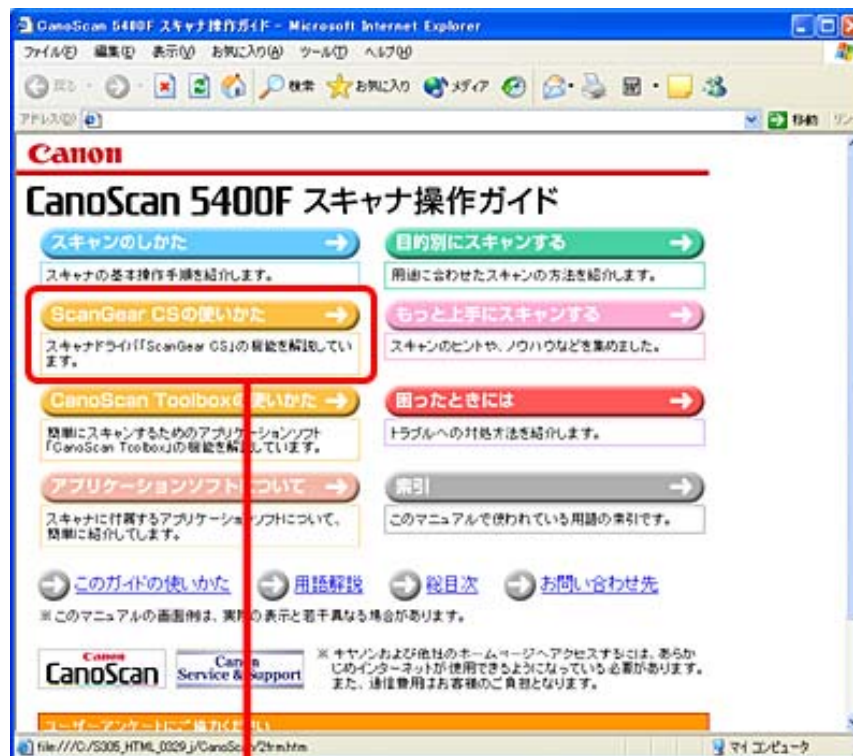
文字が重なったり、欠けて表示される場合は、ブラウザの設定で文字サイズを小さくしてください。

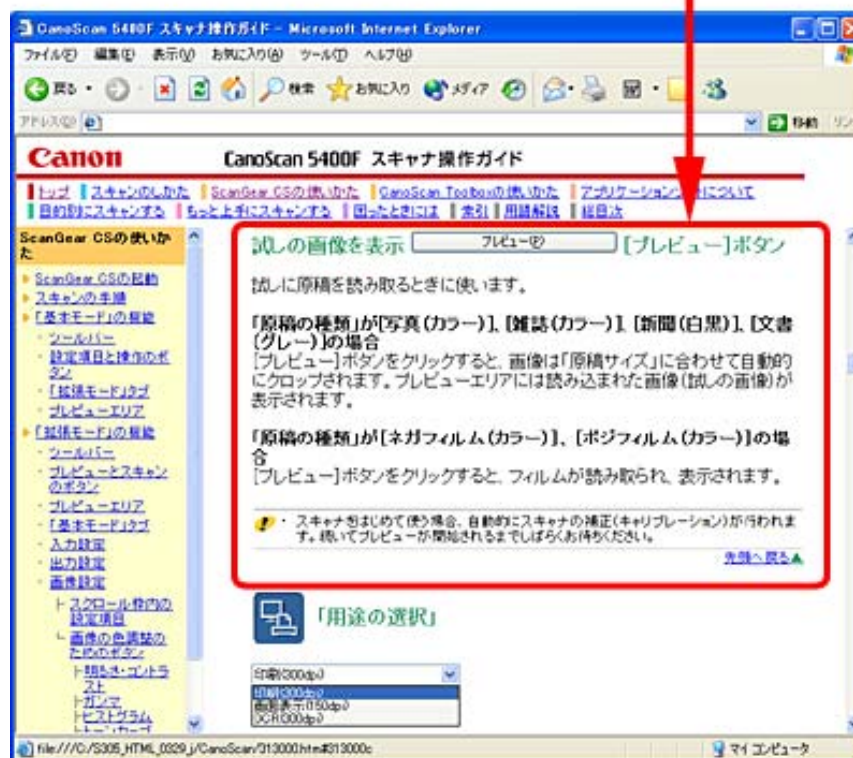
先頭へ戻る▲

読みかた

このスキャナ操作ガイドには、必要なページを検索するためのメニューや関連情報を参照するためのリンク（下線で示されるテキスト）など、適切な情報にすぐアクセスできるようさまざまな手段が用意されています。

トップページからメニューを選ぶ

最初に表示されるのが「トップページ」です。このページにはいくつかのメニューがあり、使用目的に合わせて必要な項目を選ぶと、さらに詳細な目次ページが表示されます。目次ページの項目を選ぶと、解説ページが表示されます。

2 画面の中から解説ページを表示する

「ScanGear CSの使いかた」、「CanoScan Toolboxの使いかた」では、画面上の知りたい項目をクリックすると、その項目の解説ページが表示されます。

3 ナビゲーションから別のページに移動する

解説ページが表示されると、画面左側には現在選ばれているメニューがわかるように「ナビゲーション」が表示されます。ナビゲーションの項目をクリックすることで、他の項目を表示することができます。

4 ヘッダーメニューや総目次から解説ページを表示する

画面上端には「ヘッダーメニュー」があります。ヘッダーメニューには、常にトップページとほぼ同じ項目が表示されています。どのページを表示していても、トップページまで戻ることなく、他のメニューを選ぶことができます。

トップ | スキャンのしかた | ScanGear CSの使いかた | CanoScan Toolboxの使いかた | アプリケーションソフトについて
目的別にスキャンする | もっと上手にスキャンする | 困ったときには | 索引 | 用語解説 | 総目次

トップページ画面下端のフッターメニューから［総目次］をクリックすると、このスキャナ操作ガイドの総目次が表示されます。

このガイドの使いかた　用語解説　総目次　お問い合わせ先

総目次の各項目は、それぞれの解説ページにリンクされています。

先頭へ戻る▲

スキャナ操作ガイドで使われているマーク

スキャナ操作ガイド中のマークは、次のような意味で使われています。

操作上の注意事項や重要な点が記述されています。かならずお読みください。

操作の説明内容についての補足が記述されています。参考までにお読みください。

先頭へ戻る▲

スキャナ操作ガイドの印刷

このスキャナ操作ガイドは、基本的に画面に表示して使うように作られています。印刷して使用するときには、次のような点にご注意ください。

- ページによっては、表示どおり印刷されないことがあります。
- 表示中の本文が長く、複数ページにわたって印刷される場合、ページの上下で画像、文章が切れることがあります。
- ブラウザの印刷設定で背景色とイメージを印刷する設定にしてください。
- このスキャナ操作ガイドでは、フレーム機能を使用して表示しています。印刷するフレーム内（リンクの貼られていない箇所）を1度クリックし、Internet Explorerの［印刷］-［オプション］で「選択されたフレームのみを印刷する」（Windowsの場合）を指定して印刷してください。

- MacintoshでInternet Explorerをお使いの場合、［印刷プレビュー］の機能を使うと、印刷イメージを確認したうえで印刷することができます。
- ページの右側が印刷されずに切れてしまう場合は、ブラウザの［ファイル］メニューの［ページ設定］（Windowsの場合）で、用紙の左右の余白をできるだけ少なく設定してください。
- 文字が正しく表示されない、または文字が小さいなど、文字の表示に関する不具合が生じたときは、［表示］メニューから［文字の大きさ］や［文字コード］などを変更してください。
- その他ブラウザの機能に関する疑問は、［ヘルプ］メニューから［ヘルプ］を表示してご確認ください。

先頭へ戻る▲

用語解説

数字

2階調化するしきい値

画像を白と黒に2分して表現するとき、元の画像を白と黒に分ける分割点のことを2階調化するしきい値といいます。値を大きくすると暗くなり、小さくすると明るくなります。

先頭へ戻る▲

A

Adobe RGB

Adobe社が提唱するカラープロファイル（色空間）です。
カラープロファイル（色空間）とは、パソコンの画面や一般の印刷物などで、どのくらいの範囲の色を再現できるか決めた、その範囲のことです。
通常はsRGBというカラープロファイル（色空間）が使用されますが、それよりも広い範囲を利用できるようにしたものが、Adobe RGBです。
Adobe社のアプリケーションソフトとの相性がよく、画像ファイルをAdobe RGBで保存しておくと、より実際の画像に近い結果が得られます。
CanoScan Toolboxの［プリント］ボタン、［保存］ボタン、［スキャン-1/-2］ボタンで使用できます。

先頭へ戻る▲

C

Canon ColorGear (Windows)

キヤノン独自の色処理技術を採用し、高速かつ高精度な処理を実現するカラーマネジメントシステムです。
Canon ColorGearは、業界標準フォーマットである「ICCプロファイル」に対応し、ICCプロファイルに記述されたカラー機器の特性を使った高度な色管理を実現し、キヤノン製のスキャナ、レーザービームプリンタ、カラーレーザーコピア等、多くのキヤノン製品に採用されています。
ディスプレイに表示したカラー画像をプリンタに印刷した場合、微妙に異なる色で印刷されることがあります。この問題を改善するのがCanon ColorGearです。

ColorSync (Macintosh)

米アップルコンピュータ社がMac OSの拡張機能として開発したカラーマネージメントシステムです。入力デバイス（スキャナ）と出力デバイス（ディスプレイやプリンタ）間のカラープロファイルを一致させ、スキャナとカラー画像の色を合わせる機能です。
たとえば、ディスプレイに表示したカラー画像をプリンタに印刷した場合、微妙に異なる色で印刷されることがあります。この問題を改善するのがColorSyncです。

先頭へ戻る▲

D

dpi（ディー・ピー・アイ）

dots per inch（1インチあたりのドット数）の頭文字をとったものです。ディスプレイやプリンタの解像度は、1インチあたりに表示または印刷できるドット数で表します。「ピクセル」、「入力解像度」、「解像度」もご覧ください。

先頭へ戻る▲

E

Exifファイル

画像ファイルの保存形式のひとつです。主にデジタルカメラで使用され、ダイレクトプリントに対応しています。CanoScan Toolbox、ScanGear Starterで作成することができます。

先頭へ戻る▲

M

MAPI

パソコン間で電子メールなどのメッセージをやり取りするための仕様です。この機能を提供するソフトウェアが組み込まれていればMAPI対応のアプリケーションソフトは、具体的な転送方法を意識せずに電子メールを送信することができます。

先頭へ戻る▲

O

OCR（光学式文字認識）

OCR（光学式文字認識）ソフトウェアは、テキスト画像を、ワードプロセッシングプログラムやそれに類似したアプリケーションソフトで読み取り可能な実際のテキスト文字に変換します。［テキスト（OCR）］スキャン設定は、OCRソフトウェアが文字を正確に認識できるように、スキャンした画像の白と黒のコントラストをシャープにします。

OCRソフト

画像データを文字データに変換するソフトウェアです。CanoScan ToolboxのOCRボタンには、初期設定では、読取革命LiteというOCRソフトがリンク（登録）されています。

先頭へ戻る▲

P

PDF（ピー・ディー・エフ）

Portable Document Formatの略。Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerで扱うファイル形式。
CanoScan Toolboxでは、スキャンした原稿をPDF形式で保存することができます。また、原稿中の文字を認識することも可能です。保存したPDFファイルは、簡単なキーワード検索などに利用できます。

先頭へ戻る▲

R

RGB（アール・ジー・ビー）

色を表す「光の3原色」、Red（赤）、Green（緑）、Blue（青）の頭文字をとったものです。スキャナは、原稿で反射した光を赤、緑、青のセンサーで検出しています。一方、カラープリンタは、赤、緑、青の補色関係となるシアン、マゼンタ、イエローとブラック（CMYK）で色を表現しています。シアン、マゼンタ、イエローを「色の3原色」と呼びます。

先頭へ戻る▲

T

TWAIN（トウェイン）

TWAIN とは、スキャナやデジタルカメラなどのデバイスからコンピュータに情報を転送するための業界標準規格です。イメージスキャナなどの入力装置のアプリケーション・プログラミング・インターフェース（API）の標準規格で、装置とアプリケーションソフトの両方がこの規格に対応していれば、メーカーやモデルの違いに関係なく互換性を持つことができます。
たとえば、TWAIN対応の画像処理ソフトを使えば、このソフトのメニューからスキャナのTWAINドライバ（ScanGear CS）を起動してスキャンし、スキャン画像を元の画像処理ソフトに渡すことができます。

先頭へ戻る▲

V

VIVIDフォト

キヤノンの特定のインクジェットプリンタでサポートされている機能です。これを使うと各画像における最適な色を判断し、独自の方法で補正して高彩度なシアンやグリーンまで、広範囲な色域を表現する機能です。この機能を使ってプリントすると、空や海の青さや、新緑のみずみずしいグリーンなどを従来にない鮮やかな色彩でプリントできます。ただし、人の肌などのように、自然のままで表現された方がいい色については、画像の色を詳細に判断し、自然な肌色でプリントします。このように、VIVIDフォト機能を使うと、どんな画像も最適な色に補正して表現できます。

先頭へ戻る▲

ア行

明るさ

スキャン時に原稿を読み取る明るさのことです。明るさを上げると明るい画像に、明るさを下げると暗い画像になります。

先頭へ戻る▲

カ行

解像度

画像をドットの集まりで表現するときのドット密度のことです。1インチあたり何ドットで表現されているか（dpi:dots per inch）を単位にして画像の細かさ／粗さを表します。

拡大プレビュー

プレビューエリア内で範囲を指定し［ズーム］ボタンをクリックすると、指定した範囲の画像だけが再度プレビューされ、拡大表示されます。
ディスプレイの解像度に応じて、拡大したい範囲を高解像度で再プレビューするため、きめ細かな画質のプレビュー画像が表示されます。

画像ファイル

画像を色や明るさの情報を持つドットの集まりで表現し、コンピュータで扱えるフォーマットでデータ化したものです。
基本的には縦横に並ぶ各ドットの色情報を集めたビットマップ情報で構成され、フォーマットの違いでTIFF形式やJPEG形式、BMP形式などさまざまな種類があります。

カラーマッチング

スキャナで読み取った色の範囲が、ディスプレイで表現できる色の範囲と一致しないことがあります。また、ディスプレイに表示したカラー画像をプリンタに印刷した場合、微妙に色が異なることがあります。このような問題を改善して、ディスプレイやプリンタの色を、スキャンした色と一致させるようにするのがカラーマッチングです。
「Canon ColorGear」や「ColorSync」もご覧ください。

カラーモード

画像をどのようにスキャンして取り込むかを設定します。
基本的には［白黒］、［グレースケール］、［カラー］の3種類があります。

［白黒］	原稿を白と黒だけで表現します。画像の1つの点は1ビットで表現されます。
［グレースケール］	原稿を白から黒までの連続した色で表現します。画像の1つの点は、8ビットで256階調、16ビットで65536階調で表現されます。
［カラー］	原稿をカラーで表現します。画像は光の3原色であるRGBの3つの点の集まり（画素）で構成され、画素を構成する1つの点はそれぞれにグレースケールと同様の階調を持ちます。1つの点の階調が8ビットの場合、8×3＝24で「24 ビットカラー」、16ビットの場合は「48ビットカラー」と呼ばれ、それぞれ1670 万色、280 兆色の表現ができます。

スキャナの種類やソフトウェアによる読み取り階調、「モアレ低減」や「オートクロップ」などの画像処理機能の違いでいろいろな設定が選択できます。
ScanGear CSやCanoScan Toolboxでは、これらの機能と「カラーモード」を組み合わせることにより、原稿の種類や目的に合った設定が選択できるようになっています。

■ScanGear CS の「カラーモード」の例（スキャナの機種により異なります）

［白黒］	写真などの原稿をモノクロのプリンタで出力するときに選択します。画像を白と黒の2色で表現します。
［グレースケール］	白黒写真などのスキャンやモノクロ画像が必要なときに選択します。画像を8ビットで表現します。
［グレースケール（16ビット）］	白黒写真などのスキャンやモノクロ画像が必要なときに選択します。画像を16ビットで表現します。フィルムのスキャンでのみ設定できます。
［カラー］	原稿をカラーで表現します。画像は光の3原色であるRGBの3つの点の集まり（画素）で構成され、画素を構成する1つの点はそれぞれにグレースケールと同様の階調を持ちます。1つの点の階調が8ビットの場合、8×3＝24で「24ビットカラー」、16ビットの場合は「48ビットカラー」と呼ばれ、それぞれ1670 万色、280兆色の表現ができます。
［カラー（写真）］	カラー写真をスキャンするときに選択します。画像を8ビットで表現します。
［カラー（文書,表）］	写真だけでなく、文字や表などが入ったカラー文書をスキャンするときに選択します。画像を8ビットで表現します。
［カラー（48ビット）］	カラー写真をスキャンするときに選択します。画像を16ビットで表現します。
［テキスト（OCR）］	文字などをはっきりと読み取るときに選択します。特に、OCRソフトなどでテキストを読み込むときに選択します。原稿を白と黒の2色だけで表現します。Macintoshでは選択できません。

CanoScan Toolbox では、「スキャンモード」と呼んでいます。CanoScan Toolbox の「スキャンモード」の例は、用語解説の「スキャンモード」をご参照ください。

かんたんカラーマッチング

スキャナとプリンタの色味を合わせる機能です。原稿の色合いとプリンタでの印刷結果の色合いを自動的に合わせます。
CanoScan Toolboxの［プリント］ボタンで行える機能です。

ガンマ

元の原稿の明るさ（入力側）、画面上で見る明るさ（出力側）、さらには印刷仕上がりの明るさ（出力側）を一致させるために明るさを調整する設定です。ガンマ値という数値で表され、1を基準に、1より小さい数値では暗く、1より大きい数値では明るく変化します。

逆光補正

逆光で撮影された写真を補正する機能です。
逆光で撮影された写真は、多くの場合目的の被写体への露光が不足して、期待した明るさを得られません。
逆光補正では、暗い部分を明るくして、また、明るい部分を暗くして、写真を補正します。

キャリブレーション

自動的に基準の白が正しい白色になるように調整するスキャナの機能です。

クロップ

画像の一部分を選択する動作のことです。プレビュー画像の一部分を選択して、スキャンします。

ごみ傷除去

フィルムをスキャンするときに、フィルム上の小さなごみや傷を自動的に除去してスキャンする機能です。

ごみ傷低減

写真原稿をスキャンしたときに、主にごみや傷が原因でできた白い点状のノイズが現れることがあります。このごみや傷をできるだけ少なくしてスキャンを行う機能です。

コントラスト

原稿を読み取るときの、明暗差のことです。コントラストを上げると全体にはっきりした画像に、コントラストを下げると全体にぼやけた画像になります。

先頭へ戻る▲

サ行

サムネイル表示

ScanGear CSでフィルムをスキャンした場合のプレビュー画像です。フィルムガイドにセットされたコマを切り出してプレビューされた状態のことをいいます。これに対して、コマの周辺も含めたプレビュー画像のことをサムネイル非表示と呼んでいます。サムネイル表示／非表示の切り替えは、ツールバーのサムネイルボタンで行います。

自動色調整

画像を自動的に解析して、ハイライトやシャドウを最適な状態に調整する機能です。

自動露光調整

フィルムの濃度に応じて自動的に露光データ（RGBそれぞれの露光量やレベル補正）を設定し、最適なスキャン画像が得られるようにする機能です。

出力解像度

原稿をスキャンするときに設定する項目です。原稿を読み取るときの細かさを、dpi（1インチあたりのドット数）という単位で指定します。数値が大きいほど、精細な画像を得られます。
「解像度」、「dpi」もご覧ください。

スキャナドライバ

スキャナを制御するためのソフトウェアです。本機用のスキャナドライバは「ScanGear CS」です。詳しい使いかたは、「ScanGear CSの使いかた」をお読みください。

スキャンモード

CanoScan Toolboxで原稿をスキャンするときに設定する項目です。

［白黒］	白と黒の2 色で表現される画像になるように原稿をスキャンします。
［グレースケール］	白～灰色～黒の無彩色で表現される画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿をスキャンします。
［カラー］	「モアレ低減」機能をオフにして、カラー画像になるように原稿をスキャンします。
［カラー（雑誌、カタログ）］	「モアレ低減」機能をオンにして、カラー画像になるように原稿をスキャンします。
［カラー（マルチスキャン）］	カラー画像になるように原稿をスキャンします。原稿台に複数の原稿が置かれているときは、それぞれの原稿を自動的に読み取り、傾きを補正して複数の画像ファイルを作成します。
［カラー（オートクロップ）］	カラー画像になるように原稿をスキャンします。原稿の位置を自動的に読み取り、すべての原稿が入る最小のエリアをスキャンします。

ズーム

ScanGear CSのプレビューエリア内や、画像処理アプリケーションソフト内の画像の一部分、または画像全体を拡大することです。

先頭へ戻る▲

タ行

褪色補正

経年変化などで褪色したフィルムや色カブリした写真およびフィルムを色補正してスキャンする機能です。

チャネル

カラー画像の赤、緑、青の要素です。
カラー画像は、赤、緑、青の各チャネルで1ピクセルあたり8ビットのデータを持っているため、各ピクセルは24ビットのデータを持っていることになります。
カラー画像をスキャンする場合は、画像の赤、緑、青の明るさとコントラストを個別に変更できます。
マスターチャネルは、この3色を統合したものです。

ツールバー

ScanGear CSのプレビューエリア上部にあるツールボタンのセットです。各ボタンを使うことで、画像の選択、画像回転、スキャン情報の表示などができます。

テキストボックス

スキャンした画像を印刷するときにいっしょに出力するテキストを入力するボックスです。Toolboxの「印刷レイアウト」画面（「プリント」画面でスキャン終了後表示される画面）で設定します。
印刷する用紙の任意の位置に置いて、最大10個まで追加することができます。
テキストボックスに入力したテキストには、フォントの種類やサイズ、色などの書式を設定できます。

ドット

画像は縦横に並ぶ点の集まりでできています。この点をドットと呼びます。スキャナで原稿を読み取るとき、1インチあたり何ドットの細かさで読み取るかという設定値を解像度といい、dpi（dots per inch= ドット・パー・インチ）という単位で表わします。

トーンカーブ

ScanGear CSでは、スキャナからの画像の読み取りが「入力」、ディスプレイへの表示が「出力」となります。この入力と出力の明暗のバランスを、チャネルごとに示したものがトーンカーブです。
これを編集して、画像の明るさを調整することができます。特定の領域の明るさを、きめ細かく調整することもできます。

先頭へ戻る▲

ナ行

入力解像度

スキャナの解像度の能力です。1インチあたり何ドットを読み取ることができるかをdpi という単位で表わします。スキャナの機種によって、入力解像度は異なります。「dpi」、「解像度」もご覧ください。読み取り解像度を倍率で割ったものが出力解像度です。通常は出力解像度を設定します。

先頭へ戻る▲

ハ行

ピクセル

画素（picture element）のことで、画像イメージを作り上げる最小単位です。

ヒストグラム

ひとつの画像にはさまざまな明るさを持つデータが集まっています。明るさのレベルは、もっとも暗い領域（シャドウ）からもっとも明るい領域（ハイライト）まで、0～255の数値で表わされます。どのレベルにどれだけのデータが分布しているかを示すグラフがヒストグラムです。

ビット、ビット数

1ビットの画像は、画像の明暗をあるレベル（2階調化するしきい値）で白と黒に分割し、白と黒の2色だけで表現します。
8ビットのグレースケール画像は、画像を白黒256段階で表現します。
24ビットのカラー画像は、赤、緑、青各色を256段階（8ビット）、1ドットを約1670万色で表現します。

フチなし全面印刷

スキャンした画像を印刷するときに設定する項目です。印刷用紙の全面にフチなしで印刷します。ただし、キヤノン製インクジェットプリンタでフチなし全面印刷に対応しているモデルのみ選択できます。

プレビュー

スキャナにセットした原稿を、低解像度でスキャンし、プレビューエリアに表示します。プレビューエリアに表示された画像を確認しながらスキャン範囲の設定、明るさや色合いの調整、画像処理などを行います。

プレビューエリア

ScanGear CSのメインウィンドウの左側の領域です。［プレビュー］ボタンがクリックされると、スキャナ上の画像をスキャンし、このエリアにプレビュー画像を表示します。この段階ではまだアプリケーションソフトにスキャン画像は渡されていません。

並行処理コピー

CanoScan Toolboxの［コピー］での機能です。通常の［コピー］機能では、原稿をすべてスキャンし終わってから印刷を開始しますが、並行処理プリントが可能な環境であれば、スキャンしながら印刷を同時に行います。短時間でのコピーを実現します。
Windowsでのみ使用できます。また、特定のインタフェースやプリンタでだけ使用できます。

先頭へ戻る▲

マ行

マルチクロップ

複数の写真をスキャナにセットして、プレビューを行った後、各写真を別々に連続してスキャンするためのクロップ枠を作り出す機能です。このとき、写真がやや斜めになっていても、［スキャン］ボタンを押すと、傾斜が10度以内であれば自動的に補正された画像が得られます。

マルチスキャン

スキャナにセットした複数の原稿を、一度の操作で別々の画像として連続スキャンできる機能です。このとき、原稿がやや斜めになっていても、傾斜が10度以内であれば自動的に補正されます。

モアレ低減

点と点が干渉を起こし、画像に濃淡のむらや縞模様があらわれる現象を「モアレ」といいます。本や雑誌に印刷されている写真や絵を低解像度でスキャンするときに起こることがあります。このモアレを低減する機能が「モアレ低減」です。

先頭へ戻る▲

ラ行

粒状感低減

高感度フィルムや増感撮影されたフィルムおよび、それらのフィルムから作成された写真、または高解像度でフィルムをスキャンした場合に感じられる粒状感を低減する機能です。

輪郭強調

画像の輪郭を強調する機能（アンシャープマスク）です。

先頭へ戻る▲

総目次

- スキャンのしかた
- ScanGear CSの使いかた
- CanoScan Toolboxの使いかた
- アプリケーションソフトについて
- 目的別にスキャンする
- もっと上手にスキャンする
- 困ったときには

総目次

スキャンのしかた

ScanGear CSの使いかた

CanoScan Toolboxの使いかた

アプリケーションソフトについて

目的別にスキャンする

写真、書類、フィルムからスキャン

写真、書類からスキャン

■もっと上手にスキャンする

■困ったときには

先頭へ戻る▲

お問い合わせ先

下記の情報は2005年5月現在のものです。
記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

お問い合わせ窓口

ホームページには、製品情報、Q&A 検索、ドライバダウンロードなどの情報が掲載されています。ぜひご利用ください。

キヤノンホームページ

http://canon.jp/ 「サポート」

先頭へ戻る▲

付属のソフトウェアに関するお問い合わせ窓口とホームページ

各ソフトウェアの製造元へお問い合わせください。
ソフトウェアについては、キヤノスキャンセットアップCD-ROMの電子マニュアル、またはソフトウェアのREAD ME ファイル、HELP などを合わせてご覧ください。

ソフトウェア名	お問い合わせ先	電話番号 ホームページおよび選択する項目名
■Adobe Acrobat Reader （アドビ・アクロバット・リーダー）	アドビシステムズ（株）	— http://www.adobe.co.jp/ 「サポート」
■ArcSoft PhotoStudio （アークソフト・フォトスタジオ）	アークソフトジャパン	03-5795-1392 http://www.arcsoft.jp/ 「テクニカルサポート」
■読取革命Lite （ヨミトリカクメイ・ライト） ■ファイル管理革命Lite （ファイルカンリカクメイ・ライト）	パナソニックソリューションテクノロジー株式会社 パナソニック ソリューションテクノロジー ソフトサポートセンター	0570-00-8700 http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/bundle/

■ScanGear CS （スキャンギアCS） ■CanoScan Toolbox （キヤノスキャン・ツールボックス）	キヤノン販売（株） お客様相談センター	050-555-90021 http://canon.jp/canoscan/ 「サポートメニュー」

先頭へ戻る▲

スキャナの電話ご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）
050-555-90021

受付時間

＜平日＞９：00～20：00
＜土日祝日＞10：00～17：00（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9555をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

先頭へ戻る▲

修理受付窓口について

本スキャナの修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。

修理受付窓口

下記、修理受付窓口の受付時間は9:00 ～ 17:30です。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。（ただし、東京ＱＲセンターおよび新宿ＱＲセンターの営業時間は10:00 ～ 18:00、休業日は日曜・祝祭日です。）
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。
お願い：このスキャナのお取り扱い方法のお問い合わせは、かならず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北海道地区	※札幌サービスセンター　TEL 011(728)0665 〒060-8522 北海道札幌市北区北７条西１－１－２　ＳＥ山京ビル１Ｆ　札幌支店内
東北地区	※仙台ＱＲセンター　TEL 022(217)3210 〒980-8560 宮城県仙台市青葉区国分町３－６－１　仙台パークビルヂング１Ｆ　仙台支店内
関東・信越地区	大宮サービスセンター（持ち込みのみ）　TEL 048(649)1450 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町１－１０－１７　シーノ大宮サウスウイング６Ｆ　さいたま営業所内
	東日本修理センター(持ち込みのみ) TEL 043(211)9032 〒261-8711 千葉県千葉市美浜区中瀬１－７－２　キヤノン販売ビル１Ｆ　幕張事業所内
東京・神奈川・山梨地区	東京ＱＲセンター（持ち込みのみ）　TEL 03(3837)2961 〒110-0005 東京都台東区上野１－１－１２　信井ビル１Ｆ
	新宿ＱＲセンター（持ち込みのみ）　TEL 03(3348)4725 〒163-0401 東京都新宿区西新宿２－１－１　新宿三井ビル１Ｆ

	※キヤノンテクニカルセンター　TEL 0297(35)5000 〒306-0605 茨城県坂東市馬立１２３４　Ｆ７棟３Ｆ 関東地区・東京地区で、郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記テクニカルセンターにお送りください。
	横浜サービスセンター（持ち込みのみ）　TEL 045(312)0211 〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸２－６－２６　ＨＩ横浜ビル２Ｆ　横浜営業所内
中部・北陸地区	※名古屋ＱＲセンター　TEL 052(939)1830 〒461-8511 愛知県名古屋市東区東桜２－２－１　高岳パークビル１Ｆ　名古屋支店内
近畿地区	※大阪ＱＲセンター　TEL 06(6459)2565 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島６-１-２１　ＣＦＭ中之島ビル２Ｆ
中国・四国地区	※広島サービスセンター　TEL 082(240)6712 〒730-0051 広島県広島市中区大手町３－７－５　広島パークビルヂング１Ｆ　広島支店内
	※高松サービスセンター　TEL 087(823)4681 〒760-0027 香川県高松市紺屋町４－１０　鹿島紺屋町ビル１Ｆ　高松営業所内
九州地区	※福岡ＱＲセンター　TEL 092(411)4173 〒812-0017 福岡県福岡市博多区美野島１－２－１　キヤノン販売福岡ビル１Ｆ　福岡支店内

先頭へ戻る▲

各種情報の入手方法

本スキャナに付属のキヤノン製ソフトウェアは、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップの情報およびバージョンアップしたファイルは、次の方法でご入手ください。

最新のドライバ、ユーティリティの入手方法

インターネット：キヤノンホームページ

http://canon.jp/

「ダウンロード」を選択、「パーソナル向けスキャナー【CanoScan／IX】」を選択し、目的のソフトウェアをダウンロードしてください。

※ インターネットの通信料はお客様のご負担になります。

※ ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

代引き配送サービス

配送時に代金引き換えにて、ドライバのCD-ROMをお送りいたします。
インターネットで、製品に関する情報、提供中のドライバの種類や内容をご確認ください。

先頭へ戻る▲

商標について

- Adobe®、Acrobat®およびPhotoshop®はAdobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®はMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac、Macロゴは米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。
-